

東京大学大学院新領域創成科学研究科

社会文化環境学専攻

2016年度 修士論文

フィリピンにおける低所得層向け住戸の増改築システムに関する研究
-メトロ・マニラからの再定住地セントマーサエステートを対象として-

Housing Renovation and Extension of Low-Income Residence in Philippines
-A case study in St. Martha Estate, one of the resettlement sites from Metro-Manila-

2017年1月23日提出

指導教員 清家 剛 准教授

小司 優海

Shoji, Yumi



- 論文目次 -

1章	序論	003
1-1	背景と目的	
1-2	本研究に関連する既往研究	
1-3	研究方法	
1-4	用語の定義	
1-5	研究構成	
2章	St. Martha Estate 事業の位置付けと概要	021
2-1	本章の目的と調査方法	
2-2	フィリピンにおける不法占拠居住区改善事業	
2-3	敷地概要	
2-4	小結	
3章	住環境実態	039
3-1	本章の概要	
3-2	外観写真分析	
3-3	内観調査	
3-4	増改築理由と実施内容	
3-5	小結	
4章	増改築生産システムと住民属性	91
4-1	本章の概要	
4-2	住民属性と住環境への意識	
4-3	増改築生産システム	
4-4	増改築生産システムのパターン分類	
4-5	小結	
5章	増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関分析と考察	116
5-1	本章の目的	
5-2	分析方法	
5-3	増改築生産システムと増改築実態の関係	
5-4	増改築生産システムと住民属性の関係	
5-5	増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関	
5-6	小結	
6章	まとめ	144
6-1	総括	
6-2	考察と提案	

資料集

- 現地調査資料セット（プラン書き込みシート、住民・増改築生産者用ヒアリングシート）
- データシート（住民回答）

1 章 序論

- 1-1 | 背景と目的
- 1-2 | 本研究に関連する既往研究
- 1-3 | 研究方法
 - 1-3-1 | 調査方法
 - 1-3-2 | 分析方法
- 1-4 | 用語の定義
- 1-5 | 研究構成

第1章 序論

1-1. 背景と目的

2016年現在、フィリピンにおける都市人口の約4割が劣悪な環境に暮らすスラム居住者であると言われている¹。農村部から都心部への過剰な人口流入により、経済と人口の均衡を崩した都市でスラムが発生すると考えられている²。フィリピンのメトロ・マニラ³においても人口増加はとどまることなく⁴、今後のスラム拡大につながると予想されている。このような都市スラムでは、労働力を搾取される貧困層はいつまでも貧困を抜け出せず⁵、スラム居住者は法外な住戸や職の不安定さ、過密で不衛生な住環境、度重なる犯罪への恐怖など、多くの問題を抱えて暮らしている。

このような事態を受けて、フィリピンでは政府や民間によるスラム対策事業が行われてきた。1960年代はスラム居住区で既存住戸を取り壊し、公共住宅を建設するスラム・クリアランスが行われていた⁶が、これの目的は居住者の生活水準の向上ではなく土地水準の向上であり、従前スラムの居住者には高価な家賃の公共住宅が建設され、家賃の支払えない低所得者による転売が繰り返された³。その後コラソン・アキノ政権下に民主化運動が活発化し『都市開発・住宅法 (Urban Development and Housing Act of 1992)』が制定されたことが転機となり、政府は都市に居住する低所得層の住環境改善に注力することになった⁷。住宅政策部の幹部が住宅改善を行う NGO で活動していたこともあり⁸、フィリピンでは世界銀行からの融資を受け、先進的な取り組みが行われた⁶。具体的な事業として、スラム居住地でインフラの整備や所有権の取得を進めるスラム改善事業や、新たな土地で宅地開発を行い、土地と安価な基本住戸、もしくは宅地のみを供給するサイト・アンド・サービス事業や再定住事業がある⁷。

移住者のコミュニティや雇用機会の継続を考慮すると、居住地を変えずにその場で改善

1 UNdata, Number of urban population living in slums, Philippines, 2014

2 岡 利実 (1982) 『横浜市調査季報 73, ②都市住居(スクォッターズスラム)と居住政策』

3 Metropolitan Manila の通称。マニラ市を含む 16 市 1 町により構成された首都圏を意味している。

4 UN Habitat, The challenge of Slums, Global Report on Human Settlement 2003

5 Davis, Mike(2006) 『スラムの惑星』(酒井隆史監修、篠原雅武・丸山里美訳)、明石書店

6 田中麻里、赤澤明、菊池雪代、小林正美、布野修司(1996) 『アジア都市圏におけるコアハウジングに関する研究その1』

7 株式会社三菱総合研究所実施、日本貿易振興機構(ジェトロ)委託(2011) 『BOP ビジネス潜在ニーズ調査報告書-フィリピン：低所得階層向け住宅分野-』

8 内田雄造、藤井敏信、大月敏雄、安田奈美子、加藤麻由美、ホルヘ・アンソレーナ、中村哲也(1993) 『フィリピンにおける住環境改善事業に関する調査研究-その1』

するスラム改善事業が最も望ましいが、メトロ・マニラのような都心部は商業地や中高所得層の居住地としての需要も高く、安価に低所得者の居住地を確保することは難しい。サイト・アンド・サービス事業や再定住事業は公共住宅より安価な基本住戸を供給し、かつローン制度も取り入れている⁹ため、住民が土地や住戸の所有権を得ることが最も現実的な居住区政策である。一方で再定住地における問題点として、移住場所での雇用機会の少なさや既存コミュニティの崩壊などにより住民の定住につながらないことがあげられる。

以上より、フィリピンの低所得者の住環境を改善するためには、再定住事業で行われる安価な宅地や住戸、金銭などの物的な支援に加え、居住地における雇用機会や地域の充実したコミュニティの創出などを一体的に行っていく必要がある。

再定住地において政府や NGO から安価に供給される住宅は、最低限の広さと水まわり設備を備えるのみ¹⁰であり、これらの多くは居住者によって増改築が施される。住民自らの増改築が各々のニーズに合わせた住環境を創造し、地域住民による相互扶助の生産方法がコミュニティの活性化につながると期待できる一方で、廃材等を用いた無秩序な増改築による住環境の悪化が危惧されるなど、増改築の生産過程が地域コミュニティや住戸実態に大きく影響すると考えられる。しかし現状では、住戸実態、住民の経済やコミュニティ状況をそれぞれ調査した研究はみられるが、増改築生産システムとこれらの相関は十分に明らかにされていない。

本研究の対象地であるセントマーサエステートは、フィリピン中央政府によるメトロ・マニラの防災・減災政策の中で 2013 年に作られたインフォーマル居住者のための郊外型再定住地である¹¹。ここでも上述のように、供給された基本住戸に対する様々な増改築が見られるが、その実情は明らかにされていない。

上記の背景より、本研究ではセントマーサエステート再定住地において、①住環境実態、③増改築の生産システム、②住民属性を把握し、増改築生産システムが住環境に与える影響と、その生産システムがとられる背景となる住民属性を明らかにすることで、住民の生活水準を向上・改善する増改築のあり方を検討するための基礎資料を整備することを目的とする。

9 Marife M Ballesteros, Jasmine V Egana(2012)『Efficiency and effectiveness review of the national housing authority(NHA) resettlement program』

10 2016年8月4日に National Housing Authority から受領した図面より把握した内容

11 2016年8月4日に行った National Housing Authority へのヒアリング調査より把握した内容

1-2. 本研究に関連する既往研究

本節では、フィリピンにおける、①政府や NGO、民間企業による不法占拠居住区改善事業の把握と、②住民による増改築の実態およびその可能性の把握を目的として、各分野に関する既往研究を整理する。

調査対象として、フィリピンにおける再定住地に関連する研究と、低所得者が自ら住宅を建設する生産方法に関連する研究について、日本語もしくは英語で書かれた論文に限り調査した。

まず、フィリピンにおける政府や NGO、民間企業による不法占拠居住区改善事業に関する既往研究について整理する。また、研究対象とされた事業の内容として住民に住宅を供給するものだけでなく、住民への融資を行うもの、地域のコミュニティ支援を行うものがみられたため、取り扱う事業形態によって、既往研究を『住宅供給系』『融資系』『コミュニティ支援系』に分けて整理した。これらの既往研究調査の中で、本研究に関わる事業内容の詳細については、次章 3 節の『フィリピンにおける不法占拠居住区改善事業』にてまとめる。

① 政府や NGO、民間企業による不法占拠居住区改善事業に関する既往研究

(i) 「住宅供給系事業」を対象としたもの

- Marife M Ballesteros, Jasmine V Egana (2012) 『Efficiency and effectiveness review of the national housing authority(NHA) resettlement program』

NHA がこれまでフィリピンで行ってきた再定住事業の効果を報告している。特に North and South Rail の国家主導インフラ整備に併せて 2003 年から 2011 年に行われた再定住事業に焦点をあてている。再定住事業の事業内容や事業進行プロセスを示し、事業の内容と移住場所別にこれまで行われてきた再定住事業を整理している。

- 株式会社三菱総合研究所実施、日本貿易振興機構（ジェトロ）委託（2011）『BOP ビジネス潜在ニーズ調査報告書 -フィリピン：低所得階層向け住宅分野-』

フィリピンの低所得層向け住宅の現状を報告している。フィリピンの概要、低所得層の生活実態、低所得層住宅を対象とする政府・NGO・民間の取り組み、低所得層が入手可能な製品やサービスなどに言及している。これまでのフィリピンにおける不法占拠居住区改善事業の全貌が整理され、政府や NGO により供給された住宅に住民が増改築を行なっていることが明らかになった。

- 田中 麻里、赤澤 明、菊池 雪代、小林 正美、布野 修司（1996）『アジア大都市圏におけるコアハウジングに関する研究その1：フィリピンとタイにおける住宅政策とコアハウジング』

マニラ郊外のダスマリニャス再定住地において居住者属性や、増改築に対する政府や NGO の活動を明らかにしている。ダスマリニャスは NGO 団体 Freedom to Build¹²が住民参加による住宅建設活動(=Housing by People)を支援した初期事業であり、住民に対して大工技術の伝授や資材運搬援助などを行っていたことが明らかになった。

- Marie Stephanie N. Gilles, Michae V Tomeldan（2012）『Humanizing Socialized Resettlement Housing』

政府や NGO から得たメトロ・マニラにおける住宅供給システムや住宅ローンに関する情報を整理し、これまでの制度の問題点と評価点を提示している。移住の開始時に受益者を組織化する CMP(Community mortgage program)¹³がその後の住環境に良い影響を与えていることや、移住前後の居住環境として所有権、清潔さ、犯罪の軽減の点では良い評価が得られるが、雇用機会が減少することが問題点になることを明らかにした。

(ii) 「融資系」事業を対象としたもの

- ANZORENA JORGE（1983）『スラムの住宅改善に果たす少額融資（Small loan）の役割について（そのⅠそのⅡ）』

インドのジャハングルプリ、パキスタンのカラチ、フィリピンのマニラを対象に、政府から貧困層への住宅資金援助の手法を明らかにしている。マニラでは、火災被災者に対してカウラン多目的センターで行われた融資に言及している。受給者にグループを結成させ、個人ではなくグループへの融資を行うことで、他者への責任を受給者に負わせることが返済の成功につながるということが明らかになった。

12 本論第2章 2-2-1「フィリピンにおける不法占拠居住区改善事業」にて言及する。

13 フィリピンの政府機関である社会住宅金融公庫による事業。

詳細は本論第2章 2-2-1「フィリピンにおける不法占拠居住区改善事業」にて言及する。

- 小早川 裕子 (2014) 『スラム世帯経済のフォーマル化と持続的な返済システムの形成 -持続可能な年貧困層向け社会住宅事業の実現に向けて-』

フィリピン・セブ市の2箇所で行われる社会住宅事業において、住宅資金返済額と世帯経済を比較し、社会住宅事業の問題点を明らかにしている。都市貧困層での融資事業への返済滞納や中断の問題は、住民がインフォーマルな職業に就き不安定な月給であることが起因しており、対象地における地域コミュニティが社会ネットワークを拡大し、新たな雇用機会やビジネスの機会を生み出していることが明らかになった。

- 鎮西 武、濱谷 洋次、田上 健一 (2014) 『マイクロファイナンスによる低所得者用住宅改善の課題 - フィリピン・KASAGANA-KA を対象として -』

低所得層を対象に無担保で小規模融資を行うマイクロファイナンス(MFI)の居住環境改善に関する影響を明らかにしている。対象はフィリピン NGO 団体の KASAGANA-KA である。対象地では MFI による融資で個人事業を始めるなど貯蓄を増やすものは多いが、居住環境改善への投資は少なく、居住者は独自に居住環境改善を進めていることが明らかになった。

(iii) 「コミュニティ支援系」事業を対象としたもの

- 田上健一,大西陽子,David T. Yap(2008) 『デラコスタ住宅改善事業におけるコミュニティ・エンパワーメント その1、その2』

その1では、2002年から Freedom to Build¹²によって行われた住宅改善事業のデラコスタプロジェクト5を対象として、住環境マネジメントの手法と住環境実態を調査し、居住者と運営者が一体となった住環境マネジメントの可能性を提示している。対象地を持続可能な住宅地にするためには、住民が自発的に住環境を形成することが重要であると結論づけている。ただし、Freedom to Build が行う事業の受益者は一定の所得があること、定職についていること、近隣に職場があることが前提となっている。

その2では、上記の“その1”を基盤とし、デラコスタプロジェクト5において Freedom to Build が定める増改築の規定や現地での取り組みについて整理している。問題点として、オープンスペースなどの屋外環境に関する増築規制に対して、住民たちによる違反が確認されることを明らかにした。

- 大西陽子, 大月敏雄, 田上健一(2009)『メトロマニラの低中所得者用住宅供給事業における協調的住環境マネジメント その1、その2』

その1では、Freedom to Build¹²によるデラコスタプロジェクトの5つ全てを対象にして、HOA と呼ばれる住宅所有者組織が行う移住後の居住地整備のシステムを明らかにしている。結論として、HOA が継続的に協議の場をもち、住民の意見を住環境整備に反映してきたことが明らかになった。

その2では、HOA を通して行われる住環境整備がどのように居住空間に反映されているかを明らかにしている。住民たちは所有住戸のみならず、周辺にある屋外共用部を含めて近隣で協調性をもちながら住環境を整備していることが明らかになった。

- 白石レイ, 田上健一(2014)『メトロマニラの不当定住地改善事業における People's plan-NGO による建築ワークショップを通して-』

NGO 団体である TAO-Philippines によるワークショップから、People's Plan という住民が宅地開発の計画段階に参加する事業の現状と課題を整理している。問題点として、ワークショップで住民から出されたアイデアが、法律の制約や予算から実現しない場合があること、評価点として、ワークショップを通しての住民たちのコミュニティ形成や維持、住民の居住地への理解を深めることなどが明らかになった。

次に、フィリピンにおける住民による増改築に関する既往研究を整理する。このとき、現地に赴いて住戸の増改築実態を明らかにすることに重きを置いているものと、住戸の耐震性への懸念や今後の可能性に重点をおいて言及しているものが見られたため、まずは『増改築実態』に重きを置いた研究に触れることで実態を把握し、その後、懸念や可能性について整理する。

- ② 住民による増改築に関する既往研究
 - (i) 「増改築実態」に重きを置いた研究

- Sandra Carrasco, Chiho Ochiai, Kenji Okazaki (2016) 『A Study on Housing Modification in Resettlement Sites in Cagayan de Oro, Philippines』

フィリピンに流れるカガヤンデオロ川流域に居住していた人々が移住した再定住地の増改築実態と増改築部位の用途を調査し、住民による増改築実施の背景を明らかにしている。低所得者ほど店舗運営のための増改築が多いことや、フィリピンで伝統的な Dirty Kitchen¹⁴ と呼ばれる屋外キッチンが好まれて増築されることがわかった。経済状況に関わらず住宅を変化させようとする積極的な姿勢からもわかるように、外部増築は住民の居住地適応のために不可避であり、適切な住宅の提供と地域特性に適した解決策の構築が必要だと結論づけている。

- 豊嶋太朗、牧紀男、小林正美 (1996) 『フィリピン・ピナツボ火山噴火災害に伴う再定住地の居住空間に関する調査研究』

都市スラム居住者の再定住ではなく災害により住戸を失った人々の再定住地における増改築の実態と、移住前後の住居形態の相違や、災害がもたらした住民への精神的影響を明らかにしている。住民たちは、政府から供給された住戸の形態を各自変更し、住居形態や住民の住まい方を移住前後で似たものにするすることで、精神的・物質的喪失の中でアイデンティティを支えていることが明らかになった。

- Jose Miguel GB IBARRA, Hidehiko TANIMURA, Monday Ohi ASIKHIA(2003) 『STATED RESIDENTIAL PREFERENCE OF SQUATTERS AND RESETTLERS IN DAVAO CITY, PHILIPPINES』

スラム居住地と再定住地の住民それぞれの住環境に対するニーズを調査し、居住環境を構成する要素の優先順位を明らかにしている。優先順位としては、住戸の所有権、都心部への近さ、インフラ設備、交通、住戸形態、公共施設の順に望まれることがわかった。住戸の所有権が都心部への近さを上回って優先され、都心部から遠くとも住戸の所有権があった方が良いというニーズが明らかになった。

- ANZORENA JORGE(1982) 『マニラ郊外 DASMARINAS BAGONG BAYAN の再定住について』

今回の既往研究調査の中でフィリピンの再定住地増改築実態に言及した最初期の論文である。Freedom to Build¹²が行なった郊外型再定住地の住民属性と発展過程を明らかにした。

¹⁴ Dirty Kitchen in the Philippines, Philippines plus <<http://www.philippinesplus.com/2013/12/21/dirty-kitchens-philippines/>> (2017.01.22 アクセス)

NHA が供給する住宅に対して住民が自由に増改築を行い、資材には木材や CHB、セメント、トタンが使用されることや、立ち退きの恐怖がないため住環境に対する満足度は高いことが明らかになった。

■ Sandra Carrasco, Chiho Ochiai, Kenji Okazaki(2016) 『Impacts of resident-initiated housing modifications in resettlement sites in Cagayan de Oro, Philippines』

フィリピンの再定住地カガヤンデオロにおける増改築実態とその危険性について明らかにしている。住民主体の増改築は資材の耐久性の低さが問題となっているが、初期段階から段階的に耐久性の高い資材を利用した増改築に変化することが明らかになった。NGO や地方自治団体からの財政的、技術的支援があるとロフトの作成においてはより質の良い増改築が行われることがわかった。

■ 福木聡、大月敏雄、安武敦子(2004) 『コアハウジングによる増改築の経年的変化-フィリピン・マニラにおける低所得者向けハウジング調査-』

マニラの低所得者に向けて Freedom to Build¹² が行うコアハウジング供給プロジェクト(=デラコスタプロジェクト)を対象として、住戸の増改築実態と住民のニーズを明らかにしている。住民のニーズとしては、住居の拡大と水回りトリビングの分離が求められることがわかった。

■ 中村哲也、内田雄造、藤井敏信、加藤真由美、安田奈美子(1993) 『フィリピンにおける住環境改善事業に関する調査研究 -その5 住民によるコアハウスの増改築の考察』

マニラ市郊外と市内で行われる住環境改善事業の両方で住戸増改築実態を調査し、比較している。共通のニーズとしては外台所へのニーズがあり、どちらも経年的に資材が恒久材へと変化していることがわかった。特に CHB の評価が高く、土着材を導入する気運がみられないことが明らかになった。

(ii) 「セルフヘルプの懸念事項と可能性」に重点をおくもの

- Satoshi TANAKA, Kaoru MIZUKOSHI, Kei HORIE, Norio MAKI, Haruo HAYASHI(2004) 『Seismic Vulnerability Analysis for Non-engineered Housing in Marikina, Philippines』

フィリピンのマリキナを対象とした non-engineered 住宅の耐震性を積載実験によって明らかにしている。Non-engineered 住宅は脆弱であり、RC フレームの強度を高めるためには、柱を大きくすること、コンクリートの混合物・混合率を制御すること、柱梁の鉄筋配置の変更、柱用コンクリートの保存方法を変更することなどが有効であり、対象地では 15% 程度の増改築費増加で最大負荷に対する最大変位が 2 分の 1 になることが明らかになった。

- Rowena Santos-Delgado (2009), 『Adopting Organized Self-Help Housing Approach in Low-Cost Housing in Davao City, Philippines』

フィリピンのダバオ市で行われる低コスト住宅プロジェクトでセルフヘルプハウジングを実施することを目的とし、その可能性を整理している。フィリピンの住宅改善事業の中でセルフヘルプを採用したものを取り上げ、セルフヘルプの可能性として、低コストでの建設が可能・住民のニーズや優先順位に従い住戸が設計される・住民が住宅への愛着をもつ・住宅生産時にコミュニティ関係が強化される・住民が社会の中で自己価値を見出すことができる、という項目をあげている。

- Rossella Nicolin(2009) 『Centro Migrante: Self-help Housing Community For Transient Seafarers in Manila』

メトロ・マニラで住宅供給計画を行う Centro Migrante の取り組みの中で、特に船員として務める人々の居住地改善計画に焦点をあて、事業計画地の材料、技術、気候条件などを明らかにしている。この中で、フィリピンの伝統的住戸のように地元の資材を使ったセルフヘルプによる住宅建設が持続可能で経済的にも負担が少ないと述べている。

以上の既往研究調査から把握したことを整理する。

政府や NGO、民間企業による不法占拠居住区改善事業に関する既往研究調査では、これまでの政府・NGO・民間による不法占拠居住区改善事業や支援について把握した。郊外型再定住事業では雇用機会が少ないことや、財源的理由などから Housing by People に代表される住民参加の住宅建設が求められることが明らかになった。

住民による増改築に関する既往研究調査では、フィリピン国内の再定住地の増改築実態や住民の住環境へのニーズを把握した。供給される基本住宅ユニットに対する住戸拡大などのニーズから増改築は避けられないこと、しかし住民主体で建設された住戸の耐震性や資材の耐久性が低いこと、初期は耐久性が低くとも段階的に耐久性の高い材に変化すること、住民主体の増改築は地域コミュニティを強化し、経済的負荷が少なく生産方法なのではないかと期待されていることが明らかになった。

上記の既往研究調査から、低所得者の住環境に対するニーズや増改築実態の経年変化についての研究は多く見られたが、増改築が行われる際の関係主体やその方法などの生産システムを調査して、増改築生産システムが住環境に与える影響や、その生産システムの背景となる住民属性を明らかにする研究は見られなかった。

以上より、本研究では、施工者の経験や資材の調達方法によってあらわれる増築部の様相に違いが生じるのではないかと、その生産システムがとられる背景として住民の属性が関係しているのではないかとという視点から、増改築生産システム・住環境実態・住民属性を把握し、増改築生産システムが住環境に与える影響や、その生産システムの背景となる住民属性を明らかにすることに意義があると考えられる。

1-3. 研究方法

1-3-1. 調査方法

本研究で用いた調査方法は、大きく以下の3つに分けられる。

- ① 既往研究調査：フィリピンで実施される不法占拠居住区改善事業の中でのセントマーサエステートの位置付けや、それ以外の再定住地の住環境実態を把握するため、主に以下の既往研究を利用した調査を行なった。
 - 株式会社三菱総合研究所実施、日本貿易振興機構（ジェトロ）委託（2011）『BOP ビジネス潜在ニーズ調査報告書 -フィリピン：低所得階層向け住宅分野-』
 - Marife M Ballesteros, Jasmine V Egana（2012）『Efficiency and effectiveness review of the national housing authority(NHA) resettlement program』
 - 田中 麻里、赤澤 明、菊池 雪代、小林 正美、布野 修司（1996）『アジア大都市圏におけるコアハウジングに関する研究その1：フィリピンとタイにおける住宅政策とコアハウジング』
 - Marie Stephanie N. Gilles, Michae V Tomeldan（2012）『Humanizing Socialized Resettlement Housing』
 - 小早川 裕子（2014）『スラム世帯経済のフォーマル化と持続的な返済システムの形成 -持続可能な年貧困層向け社会住宅事業の実現に向けて-』
 - 渡邊 暁子、中須 正、井口 隆(2011)「フィリピンの台風被災をめぐる表象と都市貧困層被災者の生活再建 -オンドイ台風の事例-」『防災科学技術研究所主要災害調査 第45号』
- ② ヒアリング調査：2016年8月2日から8月10日にかけてフィリピン・ボカウエ市を訪れ、セントマーサエステート事業の主導者であるNHAのブラカン州支部と、セントマーサエステートが位置するボカウエ市についての知識を得るために、ボカウエ市の建築主事にヒアリングを行った。
- ③ 現地調査：2016年10月14日から10月21日にかけて行われた第2回調査の際に、対象地セントマーサエステートに赴き、最も建設時期の早いPhase1aと呼ばれる地区の全951件の住戸を接道面から撮影した。また、同エリアにおいて60件を抽出し、詳細な内観調査とともに、住民に対して住民属性や住環境への意識、増改築生産システムについてのヒアリングを行った。

1-3-2. 分析方法

現地の外観調査で得られた 951 件の接道面写真データからの分析は、調査を共に行なった同研究室の國江が行い、結果を卒業論文で発表しており、本論ではそれに私見を加筆する形をとっている。以下、國江が行なった分析方法を記載する。Phase1a の全住戸 951 件を接道面から撮影した写真から、住戸の増改築実態を明らかにするために、接道面増築部の室内化度合いと使用資材の関係を分析した。また、同様のデータを用いて、Phase1a という街の構造を把握するために、地図上に特徴的な住戸をプロットした。(→第 3 章)

内観調査で得られた増改築実態に関するデータからは、対象住戸 60 件の室内化増築部と内部間仕切りによる平面パターンと、増改築部の使用資材の関係を分析し、外観調査で得られた結果との割合の比較を行った。(→第 3 章)

住民へのヒアリング調査で得られた住民属性に関するデータからは、セントマーサエステート全体における住民の特徴を把握するため、住民の経済状況とコミュニティ状況に着目し、分析を行った。(→第 4 章)

また、同調査で得られた増改築生産システムに関するデータからは、生産実態を把握するため、増改築の計画段階・施工段階・資材調達段階にわけ、それぞれの関係主体や方法を分析した。(→第 4 章)

さらに、同調査で得られた増改築実態に関するデータからは、住民のニーズをはかるために、移住後いちばんはじめに取り組んだ増改築と今後行いたい増改築の目的と実施内容の対応を分析した。(→第 3 章)

最後に、セントマーサエステートにおける住戸の増改築における増改築実態・生産システム・住民属性の相関を明らかにするために、住戸の増改築実態と増改築生産システム、増改築生産システムと住民属性の関係を分析した。

1-4. 用語の定義

【本論で用いる略式表記・略語・単位の意味】

- CHB：コンクリートブロック。フィリピンで流通しており、専門家でなくとも製造機器を入手することができる。
- NHA：フィリピンで低所得者への住宅供給を直接的に行う唯一の政府機関。本研究の対象事業の提案・統括を行なっている。
- 基本住戸：NHA から事業受益者に支給される住宅。1階型とロフト設置可能型の2タイプがあるが、どちらも床面積は22 m²であり、間口4m、奥行き10mの10 m²の敷地に建てられている。
- ○○戸：NHA から支給される基本住戸を単位として住戸を数える場合の単位。
- ○○件：一世帯が住む住戸を単位として住宅を数える場合の単位。
- 連棟：隣接する基本住戸2件以上に一世帯が暮らす、もしくは複数世帯が共有して暮らす住宅。
- 転売：事業の受益者による住宅ローンの返済が終わっていないにも関わらず、他者に住戸を販売する行為。つまり、転売による入居者もまた土地や住戸の所有権を保持していない。
- 住戸前面・背面：住戸の接道面を前面とし、反対側を背面とする。

【言葉の定義】※本論において独自に定義している。

- 増改築：増築、改築する行為。
- 増改築部の様相：増改築が行われた住戸の物的な状態。
- 増改築方法：増築、改築の内容。例)CHBを使用すること、増築部を室内化すること、内部に天井を新設すること。
- 増改築実態：特定の範囲における増改築方法の全体像。
- 増改築の典型パターン：特定の範囲における増改築方法の中で代表的なもの。
- 増改築生産システム：増改築の生産体制。計画、施行、資材調達時に関係する主体や方法。例)住民が施行すること。知人から資材を譲渡されること。
- 住民主体度合い：増改築生産システムにおいて、住民が関わっている程度。生産段階を住民のみが行っているか、住民と他者が共同で行っているか、他者のみが行っているの3つに分類した上で、住民のみが行っているものをもっとも住民主体度合いが高いと定義する。
- 住環境：人々が暮らす住戸とその周辺をとりまく自然や社会環境。
- 住民属性：住民に備わっている性質。例)世帯人数、世帯収入、コミュニティ状況
- 生活水準：住民属性と住環境を合わせた、住民の生活内容の程度。

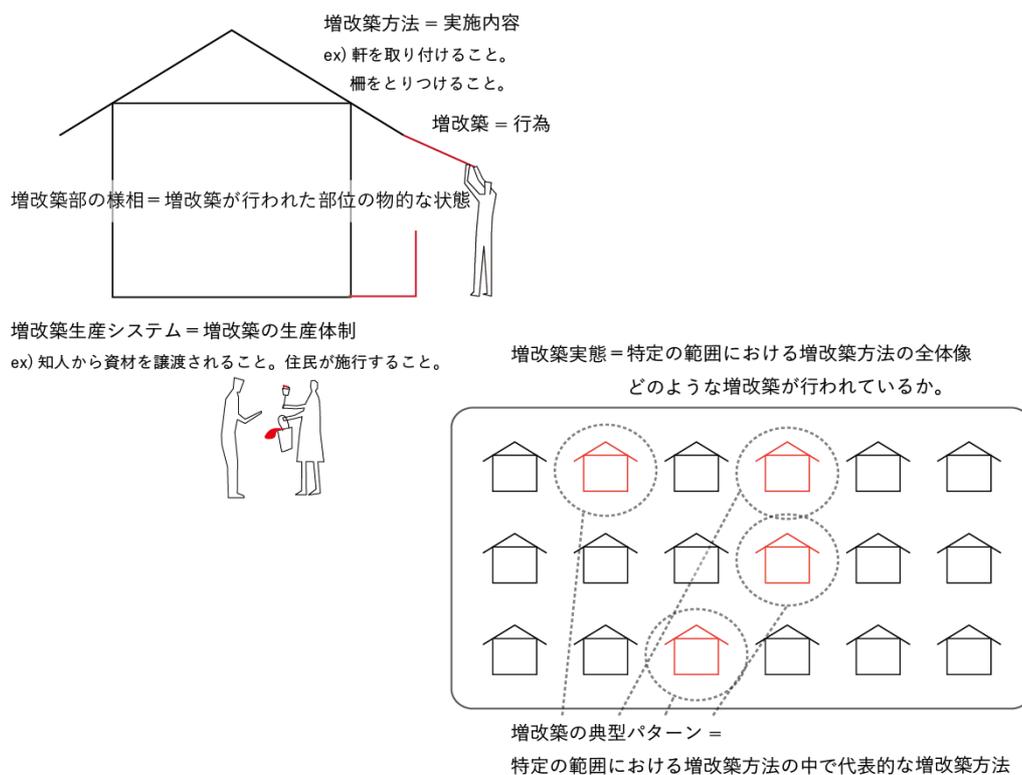


図 1-1 言葉の定義図

1-5. 研究の構成

本研究の構成を図 1-2 に示した。その概要を以下に述べる。

第 2 章では、本研究の対象地であるセントマーサエステートの敷地的特徴や事業の概要を整理する。

第 3 章では、セントマーサエステートの住環境実態を明らかにすることを目的とする。951 件の外観調査と 60 件の内観調査と住民へのヒアリング調査から、住戸の増改築方法の分析と街の中で特徴的な住戸の分布を整理する。

第 4 章では、住民属性と増改築生産システムを明らかにすることを目的とする。第 3 章で内観調査とヒアリング調査を行なった 60 件へのヒアリング調査から、住民属性と増改築生産システムの分析を行う。

第 5 章では、住戸の増改築生産システムが増改築実態に与える影響と、その生産システムがとられる背景となる住民属性を明らかにすることを目的とする。第 3 章で述べた増改築実態と、第 4 章で述べた増改築生産システムの関係と、第 4 章で述べた増改築生産システムと住民属性の関係を分析し、セントマーサエステートにおける増改築の問題点と評価点をあげる。

第 6 章では、以上の総括と、対象地セントマーサエステートでの増改築における問題点、評価点を踏まえ、住民の生活水準が改善・向上するための提案と課題点を指摘する。

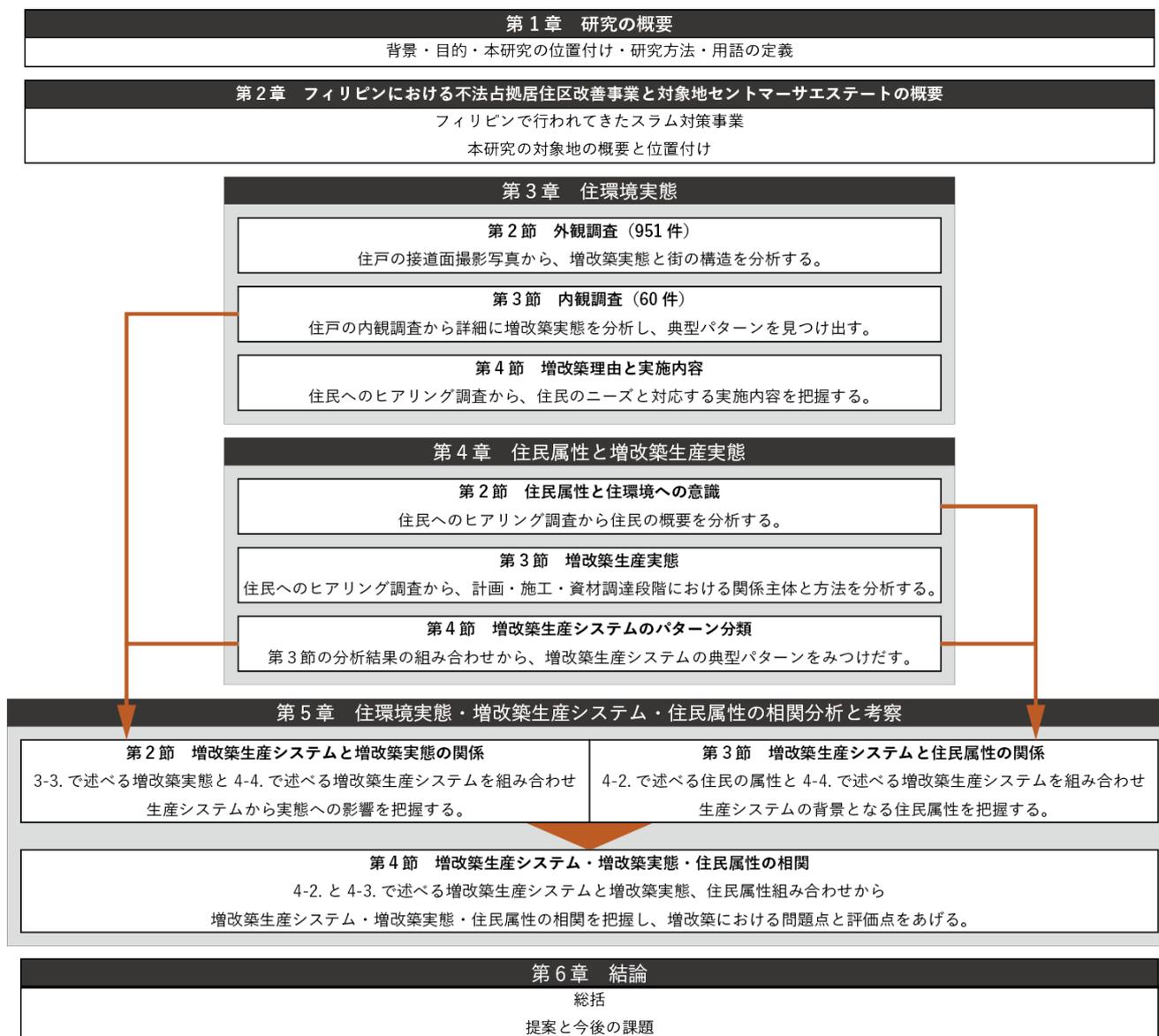


図 1-2 論文構成図

2 章 St. Martha Estate 事業の位置付けと概要

- 2-1 | 本章の目的と調査方法
- 2-2 | フィリピンにおける不法占拠居住区改善事業
 - 2-2-1 | フィリピンにおける不法占拠居住区改善事業
 - 2-2-2 | NHA による再定住事業の概要
- 2-3 | 敷地概要
 - 2-3-1 | 地理的特徴
 - 2-3-2 | 事業概要
 - 2-3-2-1 | 事業プロセス
 - 2-3-2-2 | 住民と住民組織
 - 2-3-2-3 | 基本住戸と宅地開発
 - 2-3-2-4 | 移住後の維持管理
- 2-4 | 小結

2 章 セントマーサエステート事業の位置付けと概要

2-1. 本章の目的と調査方法

本章では、本研究の対象地であるセントマーサエステート再定住地の敷地的特徴や事業の概要を整理することを目的とする。

文献調査及び 2016 年 8 月 2 日に行われた事業主体である NHA へのヒアリングと同年 8 月 4 日に対象地の位置する Bocaue 市のエンジニアリング担当職員へのヒアリングから明らかになったことを整理する。

2-2. フィリピンにおける不法占拠居住区改善事業

前章にて言及したように、フィリピンにおいて都市スラムの拡大が大きな問題となっている。本節では対策としてこれまで取られてきた居住環境改善事業を時系列に把握し、事業を展開する主な政府機関と NGO 団体について整理した上で、本研究の対象であるセントマーサエステート再定住事業の位置づけを明確にする。

2-2-1. フィリピンにおける不法占拠居住区改善事業

まず、これまでフィリピンで行われてきた居住環境改善事業を時系列に整理する。参考資料として、特に言及がない限り、『BOP ビジネス潜在ニーズ調査報告書 -フィリピン：低所得階層向け住宅分野-』（株式会社三菱総合研究所実施、日本貿易振興機構（ジェトロ）委託、2011）と『横浜市調査季報 73、②都市住居（スクォッター・スラム）と居住政策』（岡利実、1982）を参照し、以下を記述した。

【1960年代 スラム・クリアランス】

1960年代のフィリピンでは、スラム居住区にある不良住宅を取り壊すスラム・クリアランスと並行して公共住宅を建設する住宅供給事業が政府主導で行われた¹⁵。しかし、これらの目的は居住者の生活水準の向上ではなく、居住区の水準の向上であったため、従前のスラム居住者には経済的負担となり転売が繰り返された。さらに、世界銀行からの融資を受けて行われた公共住宅の建設であったが、住宅ローンの回収率の低さから財源的限界を迎え、1980年代後半から民活導入による住宅提供が推進された。

【1980年代】

1980年代末から、住民組織の自主的な居住環境改善の取り組みを期待する、住民参加型のコミュニティ・ベースド・アプローチが注目された。

【1990年代】

コラソン・アキノ政権（1986~1992）の下で『都市開発・住宅法（Urban Development and Housing Act of 1992）』が制定され、これを転機に低所得層向け住宅の整備が進んだ。同法の内容の中で、ディベロッパーは住宅開発プロジェクトの最低 20%を社会住宅（Social Housing）と呼ばれる低所得層向け住宅の開発に割り当てることが義務づけられた。

【2000年代】

住宅・都市開発調整評議会を中心として、近年の住宅政策の基本となる『フィリピン中期シェルター開発計画（The Medium Term Philippines Development Plan for shelter(2004~2010)）』が策定された。この計画では、都市貧困層の居住水準の向上が主要な政策目標となっており、「持ち家」政策を積極的に実施している。

また、2009年に巨大台風オンドイがメトロ・マニラを直撃し、メトロ・マニラの湾岸や河川沿いに住む人々は甚大な被害を被った。これを受けて、フィリピン政府は防災・減災政策の一貫として、都市貧困層の移住事業に取り組むこととなった¹⁶。

15 田中麻里、赤澤明、菊池雪代、小林正美、布野修司(1996)『アジア都市圏におけるコアハウジングに関する研究その1』

16 渡邊 暁子、中須 正、井口 隆(2011)「フィリピンの台風被災をめぐる表象と都市貧困層被災者の生活

次に、フィリピンにおいてスラム不法占拠居住区改善事業を行っている主な政府機関と NGO 団体を以下に挙げる。これに関しては、特に言及がない限り「BOP ビジネス潜在ニーズ調査報告書 -フィリピン：低所得階層向け住宅分野-」（株式会社三菱総合研究所実施、日本貿易振興機構（ジェトロ）委託、2011）を参照し、NHA に関する記述は Marife M Ballesteros, Jasmine V Egana (2012) 「Efficiency and effectiveness review of the national housing authority(NHA) resettlement program」を参照している。

【政府機関】

- ① 住宅・都市開発調整評議会（HUDCC: Housing and Urban Development Coordination Council）
 - ▶ 国家シェルタープログラムに関する全体統括を実施。
- ② 国家住宅庁（NHA: National Housing Authority）¹⁷
 - ▶ 直接的に住宅生産に従事している唯一の政府機関である。所得層下位 30%の低所得者への直接住宅供給および民間のディベロッパーを通じた住宅供給支援をメインに行なっている。事業として、所得層下位 30%を対象とした再定住事業、スラム改善事業、サイト・アンド・サービス事業や、下位 50%を対象とするコアハウス事業、中層住宅事業がある。

再定住事業(Resettlement Program)とは、政府によるインフラ整備の対象地や危険地区であるという理由から退去を余儀なくされる世帯を収容する宅地開発と住宅供給を行う事業である。本研究の対象地セントマーサエステートも NHA による再定住事業にて開発された住宅地である。事業詳細は次節『NHA による再定住事業の概要』にて言及する。

スラム改善事業(Slum Upgrading)とは、スラム居住地から移動することなく、その場の所有権を確保したり、道路や通路、上下水道や電気などの生活インフラの整備を行うオンサイト事業である。

サイト・アンド・サービス事業とは、再定住事業と同様にインフォーマル居住者や農村からの移民を収容する宅地整備を行うものだが、住宅の供給はせずに融資を受けた住民が自力建設により住戸を得るようなものもあり、どの段階までの支援を行うかは受益者の任意による。

再建 -オンドイ台風の事例-」『防災科学技術研究所主要災害調査 第 45 号』

¹⁷ Marife M Ballesteros, Jasmine V Egana(2012) 『Efficiency and effectiveness review of the national housing authority(NHA) resettlement program』

コア住宅事業とは、低賃金の公務員や民間企業の被雇用者を対象に土地収用から宅地造成、住宅建設までを行うものである。これも受益者の購買力に応じて提供されるものに差がある。

中層住宅事業とは、都心部に 3~5 階建の集合住宅を建設する事業である。NHA が事業者となる公営賃貸住宅と、他の政府機関や民間企業が共同して運営する民営分譲住宅の 2 種類がある。

③ 住宅・土地利用規制委員会 (HLURB: Housing and Land Use Regulatory Board)

- ▶ 住宅と土地利用に関する規制を行う唯一の機関。社会住宅建設時の基準となる BP220 を定めており、本研究の対象地であるセントマーサエステートでもこの基準に即して宅地開発や住戸建設が行われた。

④ 住宅開発互助基金 (HDMF: Home Development Mutual Fund)

- ▶ 上記は英語名で、フィリピン語で Pag-IBIG としても親しまれている。メンバーは雇業者や公務員等で構成され、貯金・貸付機能を提供する機関。セントマーサエステートでもこれを利用する住民が少数いることが確認された。

⑤ 社会住宅金融公庫 (SHFC: Social Housing Finance Corporation)

- ▶ インフォーマル居住者およびフォーマル居住者に関わらず、低所得層を対象とした社会住宅関連事業を提供する上、コミュニティ抵当事業 (CMP) やその他公営住宅の計画の運営や管理を行う。CMP 事業とは、国が事業主となった土地・住宅取得の融資事業である。マイクロファイナンス型に住民組織の決定を義務づけ、オリジネーターという世話役人を儲けている¹⁸。既往研究 Marie Stephanie N. Gilles, Michae V Tomeldan (2012) 『Humanizing Socialized Resettlement Housing』から CMP 事業が移住後の住民のコミュニティに良い影響を与えるとされているが、セントマーサエステートでは移住後の政府や NGO 機関からの介入は今回の調査からは確認できなかった。

【NGO 団体】

① フリーダム・トゥ・ビルド (FTB)

- ▶ 低所得階層の住宅プロジェクトにおいて居住者がともに協力し、政府の支援に頼らず

¹⁸参照：スラム世帯経済のフォーマル化と持続的な返済システムの形成 - 持続可能な年貧困層向け社会住宅事業の実現に向けて - 小早川

自立することを重要とする NGO 団体である。所得階層下位 35~60%を対象にした低価格住宅供給事業であるデラコスタプロジェクト (DLCH) を実施している。ただし、入居者選定の際には、入居者に一定の所得がある、定職についている、近隣に職場があることが前提となっている。事業の特徴として、居住者を住宅所有者とした上で、住環境の管理・運営の主体と位置づけており、FTB は住宅竣工後には住環境管理からコミュニティ支援までを行う。入居希望者は、入居前に近隣者に関する規定（高さ規制、セットバック規制、通風や採光確保のための増築制限など）・ローン・住宅所有者組合 (HOA) の説明を受けることが義務づけられている。数年程度経過を見たのち、最終的には全ての運営管理を HOA に委託する。

② ハビタット・フォー・ヒューマニティ・フィリピン (HFHP)

- ▶ 財閥系ディベロッパーであるアヤラ・グループ等からの支援を受け、低所得階層向けの住宅供給を行う国際 NGO 団体である。比較的安価でかつ耐久性の高い住宅の提供およびコミュニティ形成支援を行う。劣悪な居住環境に住む子供のいる家庭のうち、低所得者であるが資金返済見込みがあると思われる家族を対象とする。最低 400 時間の労働提供を居住者に求め、労働力を確保することで住宅コストを下げている。特に災害リスクの高い都市部のスラム地域を対象とする事業を積極的に実施している。住居の建設は、アヤラ・グループ、アヤラ・モールズ、シンガポール銀行、シェブロン、セメックス・フィリピン基金、シティバンク・インターナショナル等の民間事業者や個人寄贈者の支援を元に行っている。

③ ガワド・カリンガ (GK)

- ▶ 最貧困層を対象に、最低限の強度を持った住宅を提供している。2003 年に GK777 (7 年間で 7,000 の地域に 70 万戸の家を提供する) という目標を掲げ、国内外の多くの企業やボランティアが加わり、わずか数年のうちに政府も支援する全国的なプログラムに成長した。不法占拠されたスラム街を再開発することが周辺の地価高騰に繋がると予想されるという理由から、土地については民間や政府から無料で提供してもらうケースが多い。当団体では住宅提供のみならず、受益者に向けたローン返済方法、貯金、住環境の維持、住宅の管理等についての研修を開催している。

上述の NGO 団体により介入された低所得層の居住地では、住民が移住した後にコミュニティや経済面での様々なバックアップがされているが、セントマーサエステートではこのような活動は確認できていない。

筆者が調査を行なった既往研究の対象地はアフターケアが充実した地域が多く、このような居住地では比較的良好な住環境がつくられていると考えられるが、セントマーサエステートのような移住後のコミュニティや融資による支援、住環境の維持管理についてのアフターケアが乏しい居住地を対象とした既往研究は見つけることができず、その住環境も不明確である。

そこで本研究では、移住後に政府や NGO からの力に多くは頼らず、住民たちにより独自に営まれる生活に着目し、住環境実態・増改築生産システム・住民属性を把握することを目的とする。

2-2-2. NHA による再定住事業の概要

以下に本研究の対象地であるセントマーサエステート事業が該当する再定住事業の概要を示す。本項の内容は特に言及がない限り、Marife M Ballesteros, Jasmine V Egana (2012) 『Efficiency and effectiveness review of the national housing authority(NHA) resettlement program』を参照している。

再定住事業(Resettlement Program)とは、政府によるインフラ整備の対象地や危険地区であるという理由から退去を余儀なくされる所得層下位 30%に入る低所得世帯を収容する宅地開発と住宅供給を行う事業である。主導は政府で唯一の住宅供給機関の NHA である。2003 年から 2011 年の間に国家の大規模インフラ事業が計画され、これに合わせて再定住事業が活発に行われた。この時期の NHA に割り振られた予算の 85%が再定住事業に当てられた。再定住事業の 9 割以上がメトロ・マニラとその周辺地区(Greater Manila Area)での移住である。

再定住事業での主活動は livelihood facility と住戸の支援である。Livelihood facility とは、福祉センターやトライシクル、ジブニーの車庫など、日々の生活に必要な設備を指す。この建設のための土地取得も NHA の役割の一つであったが、1990 年代以来 NHA の分権化政策によって最小限に抑えられている。そこで近年では NHA 認定の開発業者または地方自治体(Local Government Unit)から提供される土地リストから再定住地を選定するようになった。

た。敷地は環境基準と BP220¹⁹から作成された TOR(Terms of Reference)に基づいて選定される。

他にも、移住後の住環境向上のために建設技術のトレーニングや就職機会創出や生活支援プログラムの開催、助成金による支援なども行っているが、再定住事業の全受益者の2割程度にしか行われていない。

再定住事業は、事業方法と再定住地の場所特性によって分類することができる。

【事業方法別分類】

- ① NHA が認可したディベロッパーによって宅地と住宅が開発される完成住宅プロジェクト(CHP: Completed Housing Project)
- ② 開発された宅地のみを受益者に配分するサイト・アンド・サービス形式のプロジェクト(IHP: Incremental Housing Project)
- ③ NHA は資金援助や技術的専門知識の共有を行い、LGU が土地取得や受益者の選定、移転地の運営管理を行う NHA と LGU の合同事業 (RAP-LGU: Resettlement Assistance Program)

【再定住地の場所による分類】

- ① 従前居住地のある市内での移住
- ② 従前居住地のある市外への移住

地方居住者の移転は全て同市内への移住が行われたが、メトロ・マニラとその周辺地区からの移転は主に市外への移住が行われた。今回対象にしているセントマーサエステート再定住事業は、事業方法別の分類では①CHP、場所別の分類では②メトロ・マニラと周辺地域から市外への移住に該当する。

再定住事業は過密緩和や住戸所有が実現する有効な不法占拠居住区改善事業であるが、市外への移住の場合、雇用機会や地域コミュニティに十分な配慮がなければ受益者の定住が望めない可能性がある。

¹⁹低価格住宅プロジェクト(Economic and Socialized Projects)では、フィリピン建築基準(NBCP: National Building Code of the Philippines)に代えて住宅・土地利用規制委員会(HLURB: Housing and Land Use Regulatory Board)が定める基準 BP220 が適用される。

2-3. 敷地概要

2-3-1. 地理的特徴

セントマーサエステートは、フィリピン・ブラカン州・ボカウエ市バティア地区内の、メトロ・マニラから北に 30km 程離れた場所にある再定住地である。

このような郊外型再定住地では居住地周辺での雇用機会が乏しいことが問題となるが、対象地でも商業と経済の中心地であるメトロ・マニラまでトライシクルやバスを使って片道 1~3 時間と約 200 ペソ²⁰の交通費がかかる²¹。これはセントマーサエステート内でマツトづくりなどの内職によって 1 日に得る金額の 2 倍程度である²⁰。調査の結果から多くの世帯主がメトロ・マニラで働いていることがわかっており、メトロ・マニラで働く人々の中には、平日は職場近くに滞在して週末のみセントマーサエステートに帰るといった者も少なくない。このように、交通費の経済的負担や家族が揃う生活時間の減少など、対象地であるセントマーサエステートにおいても住戸と職場の距離の隔たりが問題となっていると考えられる。



図 2-1 フィリピン全体
(google map より)



図 2-2 対象地の地理状況
(google map より)

20 1 ペソ=2.2974 円(2017 年 1 月 22 日現在)

21 現地調査のヒアリング内容を参考にしている。

2-3-2. 事業概要

以下に、本研究の対象であるセントマーサエステートの事業概要を述べる。特に言及していない限り、NHA と Bocaue 市へのヒアリング内容に基づいて記載している。

セントマーサエステート再定住事業（正式名称：St. Martha Estate Homes）は NHA が行う CIA(Community Initiative Approach)プログラムの一貫として発足した再定住事業であり、ボカウエ市にメトロ・マニラからの移住者を受け入れる唯一の再定住地を整備するものである。CIA プログラムとは、メトロ・マニラの災害危険区域や水際に住む不法占拠居住者（Informal Settler Family）²²に対して土地の取得・開発、および住宅ユニットまたは中規模建物（MRB: Medium Raised Building）のいずれかを事業受益者に提供するものである²³。特に海岸、河川沿いでは港湾労働者としての雇用機会が豊富なことから、多くのインフォーマル居住者が暮らしていたため²⁴、2009 年に直撃した台風オンドイによってマニラ湾やパッシング川沿いに住んでいた不法占拠居住者は甚大な被害を被り、政府は防災・減災への取り組みに注力した¹⁵。

セントマーサエステート再定住事業では、2013 年 5 月から移住が開始し、2015 年 12 月末までに正式な移住者受け入れは一旦完了している。約 19ha の敷地に 3,316 戸の住戸が建ち並び、うち 3,163 戸に受益者が入居しており、残りの 153 戸は政府機関に承認されたインフォーマル居住者を受け入れるために確保されている。

前項の終わりで述べたように、対象のセントマーサエステート再定住事業は NHA が認可したディベロッパーによって宅地と住宅が開発される完成住宅プロジェクト(CHP)であり、関係主体としては土地開発や住宅建設を行う民間企業の Baque corporation と、住民移転後の管理・規制を行うボカウエ市がある。

²² フィリピン政府では土地・住戸ともに地主の同意がなく無料で借りている世帯を ISF(Informal Settler Family)としている。

²³ National Housing Authority, News Releases, CIA for Manila ISFs
<http://www.nha.gov.ph/news/articles/cia_manila_isf.html>(2017.01.22 アクセス)

²⁴岡 利実(1982)「横浜市調査季報 73, ②都市住居（スクォッター・スラム）と居住政策」

2-3-3. 事業プロセス

【事業提案・統括】

事業の提案者である NHA は複数の地域に支部をもっており、セントマーサエステート再定住事業では、ブラカン州の支部が移住先での活動を主に行う Receiving Unit として、マニラ首都圏の支部が移住対象者の従前居住地であるメトロ・マニラを拠点とする Sending Unit として役割を担っている。Receiving Unit が主に事業全体のマネジメントや移住後の公共施設の管理を行い、Sending Unit は ISF⁷ の国勢調査、被災者世帯居住地のマッピング、移住世帯数の決定、ディベロッパへの住戸設計の引き継ぎ、敷地に対する要求条件（敷地面積、床面積、上下水道、電気など）の取りまとめを行う。

【敷地決定】

敷地を現在の Bocaue 市 (municipality Bocaue) に決定したのは Sending Unit である。Bocaue 市にとっては再定住地を受け入れることが大幅な市民増加につながり、自治区の経済活性化や行政区のランクアップを期待している。現に San Jose Del Monte というセントマーサエステート同様のブラカン州に属する地域は、再定住地受け入れによる人口増加に伴いブラカン州で初めて municipality から city に認定された。フィリピンの自治区として municipality よりも city の方が人口が多く、経済力が高いとされている²⁵。

【住民交渉】

メトロ・マニラ内の Informal Settler Family との移住交渉に関しては、Sending Unit が担当していた。移住者はあくまで住民から志願があったものに対してのみ受け付けているため、強制移住は行なっていない。

【土地開発】

まず Receiving Unit が住戸の基本設計、インフラ設備の仕様をまとめ、土地開発の条件を民間企業である Baque corporation に提示する。Baque corporation はこれを元に詳細な開発計画を取りまとめ、設計内容を NHA に提出し、NHA が承認の可否を決める。都合により予定していた用地取得が困難であるなど、計画変更がやむをえない場合にはディベロッパが計画変更を NHA に要求し、NHA が許可すれば変更される。

【住民に住戸を割り当てる】

基本的には、迅速な対応をするために Receiving Unit が移住者に入居先を割り振っている。ただし、特定の不法占拠居住地から複数の移住者が見込まれる場合、移住日を Sending Unit が決定し、その日を志願して移住する家族に対して居住可能な住戸を対象に住戸の選択肢が与えられる。つまり、同じ不法占拠居住地に住む人々が同日に移住を希望すれば、近

²⁵ Local Government Code of 1991 (Republic Act No. 7160) により定められている。

隣住戸に移住することが可能である。

【移住後の維持管理】

土地開発後の公共施設の整備・住戸ローンの回収は Receiving Unit が担当している。

2-3-4. 住民と住民組織

本再定住地には、マニラ湾やパッシング川沿いに住むメトロ・マニラ内と、その周辺のケソン市やボカウエ市のインフォーマル居住者がこれまでに移住している。

本事業は CIA プログラムの一環であると前述したが、CIA プログラムでは HOA (Home Owner's Association) などの住民組織が政府からの融資を受け、住民自身で自治して行く体制をとっている。セントマーサエステートでは各ブロックに一人ずつ HOA が存在し、HOA による集会が定期的に行われているとされているがその実情は不明確である。今後 NHA による生活支援プログラム (Livelihood program) が提供される計画があり、HOA が住民と NHA の媒体として活動する予定である。

表 2-1 移住者の従前居住地一覧(NHA 提供資料)

point of origin		2013	2014	2015	total no. of families	
1. regular row house	Quezon city	Dupax Old Balara	3	-	-	3
		Halamanan Comm	5	-	-	5
		Kasunduan Ext.	3	-	-	3
		North Fairview	12	-	-	12
		Sierra Monte	66	-	-	66
		Sta. Lucia	5	-	-	5
		Tandang Sora	3	-	-	3
		West fairview	30	-	-	30
	Damayan	320	71	-	391	
R-10	431	-	-	431		
sub total 1		878	71	0	949	
2. loftable row house	Quezon city	Agham Road	11	86	-	97
		Bahay Toro	15	34	-	49
		Brgy. Commonwealth (NGC)	33	-	-	33
		Brgy. Petronia, Novaliches	32	-	-	32
		Brgy. San Bartolome	26	1	-	27
		Brgy. Siiangan	16	-	-	16
		Brgy. Tagumpay	106	-	-	106
		Drachma	9	-	-	9
		Dupax Old Balara	14	-	-	14
		Erwin Garcia St.	1	-	-	1
		Kasunduan Ext.	2	2	-	4
		Mariblo	-	1	-	1
		North Fairview	164	31	-	195
		North Triangle	7	1	-	8
		Odelco	-	5	-	5
		Old Balara	-	144	-	144
		Payatas	-	2	-	2
		Petronia Novaliches Proper	-	1	-	1
		Pud Escopa II	1	-	-	1
		San Antonio	24	22	-	46
		Sierra Monte	12	5	-	17
		Sitio Mendez, Baesa	19	11	-	30
		Sitio Militar	-	6	-	6
		Sto. Domingo	31	-	-	31
		Talayan Riverside	-	6	-	6
		West Fairview	22	-	-	22
		West Riverside	1	-	-	1
		Zuaregui, Old Balara	-	36	-	36
	Estero	Dela Reina	359	25	-	384
		Pandacan	56	-	-	56
		San Miguel	36	17	-	53
		Quiapo	-	25	-	25
	Malabon	-	150	-	150	
	Novotas	-	15	-	15	
	R-10	438	18	-	456	
	Vitas, Tondo	9	3	11	23	
	LGU - Bocaue	Bunlo	-	-	76	76
		Batia	-	-	22	22
		Lolomboy	-	-	13	13
		Tambubong	-	-	1	1
Sub-Total 2		1444	647	123	2214	
Total		2322	718	123	3163	

2-3-5. 基本住宅ユニットと宅地開発

【基本住宅ユニット】

敷地内の住戸は建設順に4つのフェーズ(1a,2b,3,4)、147のブロックに分けられ、さらにブロック毎にロット番号が割り振られている。つまり、フェーズ1a・ブロック1・ロット1の住戸から建設された。フェーズ1aと1bの違いは建設された住戸種類の違いにある。

セントマーサエステートに建つ住戸には1階建タイプ(regular row house: 961戸)とロフト設置可能タイプ(loftable house: 2355戸)の2種類がある。どちらも40㎡の敷地に床面積24㎡の住戸が建てられるが棟までの高さがそれぞれ3.9mと4.8mと異なる。社会住宅建設基準であるBP220では最低敷地面積32㎡と定めており、近年は40㎡と余裕を持たせた設計が採用されている。セントマーサエステート再定住事業の住戸建設当初は限られた予算で建設可能な1階建タイプを建設していたが、事業提案から約半年後に予算が追加されたため、フェーズ1aは1階建タイプの住戸、フェーズ1bからは全てロフト設置可能タイプの住戸が建設された。各住戸の建設費は1階建タイプがフィリピンの一般戸建住戸のおよそ半分の建設費である175,000ペソ、ロフト設置可能タイプが240,000ペソである。

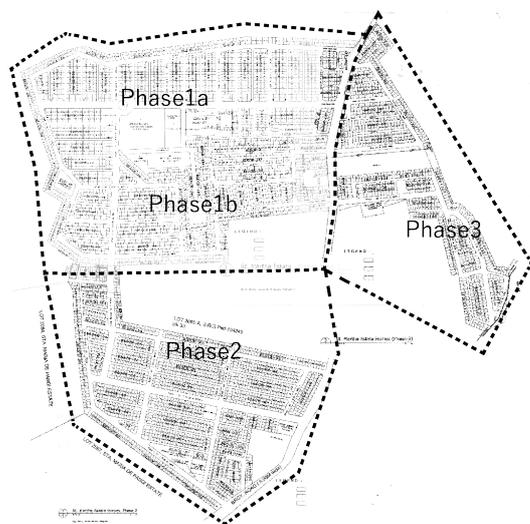


図 2-3 対象地全体図
(NHA 提供資料に加筆)

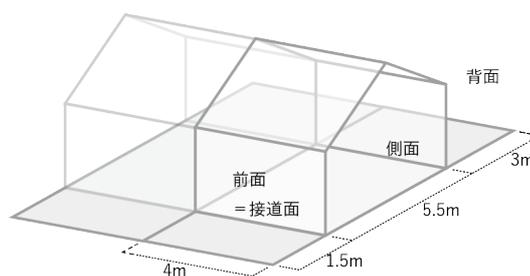


図 2-4 基本住戸

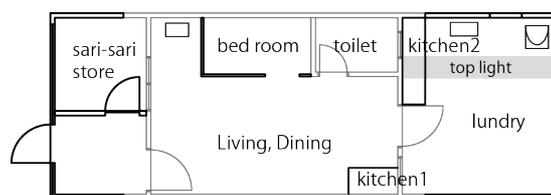


図 2-5 基本住戸の図面と増改築例

【インフラ設備】

生活に必要なインフラ設備(livelihood facility)として、電気・水道に関しては今後各住戸に整備される予定であり、現在は住戸毎の増改築に一任している。セントマーサエステート周辺地区では電気・水道が民営化しており、電気は“MERALCO”水道は“Centennial Water Resource Venture Corporation”という民間企業が担当している。

【公共施設】

敷地内には公共用地として小学校、市場、多目的広場があり、土地の所有権を持つ NHA が管理している。市場は、NHA と住民組織である vender's corporative が利用方法に関する契約を交わした上で、NHA が住民に土地の使用を許可しており、この契約によれば住民同士のコミュニティを促すための利用方法であれば私的利用も可能である。

新たに診療所、警察署、MRF(Material Recovery Facility)、生活支援施設(livelihood building)を建設する計画もあるが、今後の予算次第である。MRF とは、一度不要になった廃材のようなものを集めてリサイクルをする拠点である。フィリピンの法律において1つの Barangay 自治区につき1つの MRF を設置するよう定められている。現在セントマーサエステートは Barangay Batia に所属しているが、来年から Barangy St. Martha として独立する計画がある。

2-3-6. 移住後の維持管理

【ローン支払い制度】

住戸1戸の建設費のうち 35,000 ペソは補助金で賄われるため、1階建タイプは 140,000 ペソ、ロフト設置可能タイプは 205,000 ペソを住民が NHA に支払わなければならない。ローン支払い期間は最大 30 年とされ、土地代にのみ 6%の利子がかかる。

NHA による再定住事業では基本的に入居開始1年後からローンの支払いが始まるが、セントマーサエステート事業の場合は移住者やその他に関する情報処理に時間がかかってしまったため、入居時期にかかわらず 2016 年 1 月からローンの支払いが開始した。ローンの支払い額は4年毎に高くなっていく仕組みであり、毎月の支払い額は住戸によって異なる。一般的な例を以下に示す。

表 2-2 ローン支払い金額例(NHA 提供資料参考)

1 st 4 years	200 peso	4 th 4 years	990 peso	7 th 4 years	1,280 peso
2 nd 4 years	590 peso	5 th 4 years	1,090 peso	8 th 4 years	1,310 peso
3 rd 4 years	890 peso	6 th 4 years	1,250 peso	9 th 4 years	1,330 peso

住宅ローンの支払いが完了するまでは土地と住宅の所有権は NHA にあるが、完済すれば

住民が所有権を得られる。受益者は支払いを完了し所有権を持たない限り他人への転売や貸付は禁止されているが、多くの住民はこれに反して転売を行なっている。2016年8月の調査時には、約10戸の住民が既に支払いを終え、住戸と敷地を所有しているということだ。土地の所有権取得後には小額な税金が発生する。

ローンの支払いが3ヶ月間連続して滞った場合、NHAは住民に対して退去命令を出し、住戸を取り上げることができる。他の再定住地においても同様の罰則があり、既に80件程の住戸が取り上げられているが、セントマーサエステートでは住戸の取り上げは未だない。

【増改築への規制】

受益者入居後の維持管理・取り締まりに関しては Bocaue 市の地方自治体(LGU: Local Government Unit)が担当している。セントマーサエステートのみ適用される特別な規制は存在せず、周辺地域に適用される規制や規則に従った増改築が求められる。

以下に Bocaue 市での建築規制・規則を整理する。Bocaue 市内で新築・増築する場合、マルコス政権時に定められた建築基準である PD(Presidential Decree)1096 に従う必要がある。そのため、計画段階で市の building office に申請を出しエンジニアから設計プランの許可を得たのち、竣工後に再度市のエンジニアに視察されることが求められる。ただし、対象部位の床面積が 20 m²以下である場合は竣工後の視察を省略することができ、セントマーサエステートでは2階建の増築をしない限り増築可能な残余面積は 16 m²であるため、施工前に市のエンジニアによる許可を得るのみで良い。しかし現状で建築許可申請を提出している住戸はセントマーサ内全体の 1%にも満たない 20 戸程度である。高さ規制は地盤の強さにより定められており、市内では5階建までが一般的であるが、セントマーサエステートでは地盤調査を行っていないため明確な高さ制限は不明である。

以上の規則が守られていない場合、市のエンジニアが居住者に対して違反部分の破壊を命じることができるが、Bocaue 市の建築業務全般を1人のエンジニアでこなしているためセントマーサエステートへ赴く頻度が少なく、取り締まりきれていない。

また、NHA 主導の再定住事業では、受益者は入居後1年が経過するまで住戸の増改築を行うことは認められていないが、現状は多くの住民が入居後すぐに増改築を行っている。

3章 住環境実態

3-1 | 本章の概要

3-1-1 | 目的と調査方法

3-1-2 | 章構成

3-2 | 外観写真分析

3-2-1 | 本節の目的と調査方法

3-2-2 | データ整理手法

3-2-3 | 接道面増築部の室内化度合い

3-2-4 | 接道面増築部使用資材

3-2-5 | 接道面増築部の増築パターン

3-2-6 | 特徴的な住戸の街の中での分布

3-3 | 内観調査

3-3-1 | 本節の目的と調査方法

3-3-2 | データ整理手法

3-3-3 | 室内化増築部の増築方向と内部間仕切りからみる平面パターン

3-3-4 | 増築部使用資材

3-3-5 | 基本住戸内部改築方法

3-3-6 | 増改築パターン

3-4 | 増改築理由と実施内容

3-4-1 | 本節の目的と調査方法

3-4-2 | データ整理手法

3-4-3 | 移住後最初の増改築内容と理由

3-4-4 | 今後の増改築計画

3-4-5 | 住民の住環境に対するニーズと今後増加すると予想される増改築

3-5 | 小結

3章 住環境実態

3-1. 本章の概要

3-1-1. 目的と調査方法

本章では、セントマーサエステートの Phase1a における住環境実態を把握し、現地で行われる住戸増改築の典型的なパターンと増改築費の関係、街の構造、増改築の目的と今後増加すると予想される増改築を明らかにすることを目的とする。

調査方法としては、セントマーサエステートにおける住環境実態を把握するために、以下のことを行なった。

- 現地にて接道面から住戸写真を撮影
- 上記で撮影した住戸の一部を対象とした内観写真撮影・住戸プランの書き込み
- 資材種類や増改築費、増改築の目的、今後の計画などを住民にヒアリング

対象住戸として、接道面から住戸写真を撮影する外観調査の際には Phase1a と呼ばれるもっとも建設時期の早い住戸 951 件を対象とした。建設時期が早いと住民の居住年数も長く、増改築が比較的多く行われていると考えたためである。

次に、上記で外観調査を行なった 951 件のうち 60 件を選定し(図 3-1)、住戸の内観写真の撮影や、住戸プランの書き込み、住民へのヒアリング調査を行なった。具体的なヒアリング調査の内容は、資材種類や増改築費、増改築の目的、今後の増改築計画などである(表 3-1)。調査対象の 60 件の選定方法としては、使用資材、増築部の仕様などに偏りが生じないよう意識しつつ、無作為に写真から選定し、現地で訪問した際に住民が居合わせて調査を快諾してくれた住戸に対して調査を行なった。また、調査を行う中で、住戸の所有形態として、事業の受益者が住んでいる住戸、受益者から他者に住戸が転売された住戸、受益者が他者に無償で貸している住戸があることがわかり、転売による住戸取得者は受益者よりも比較的所得が高いことが明らかになった。そこで、本研究の目的である低所得者の住環境の改善のためにはできるだけ受益者を対象とするべきだと考え、受益者の住む住戸を選定した。

表 3-1 調査対象と調査項目一覧

調査対象	調査方法	調査内容			
Phase1a の 951 件	外観写真撮影	増築部		基本住戸内部	
		前面	背面		
		室内化度合い	—	—	
		壁・柵	—	—	
		軒・庇	—	—	
		窓	—	—	
		床	—	—	
		仕上げ	—	—	
Phase1a から選出した 60 件	内観写真撮影・プラン書き込み	室内化度合い	室内化度合い	間仕切り	
		壁・柵	壁・柵	既存壁	
		軒・庇	軒・庇	天井	
		窓	窓	ロフト	
		床	床	床	
		仕上げ	仕上げ	—	
	ヒアリング調査	増改築費			
		収入			
		移住当初の増改築の目的と実施内容			
		今後計画する増改築の目的と実施内容			



図 3-1 Phase1a の中で選出した 60 件の調査対象住戸

※青く塗られた住戸は調査したが調査内容不足、もしくは特異例で分析が難しいと判断したため分析からは除いている。

3-1-2. 章構成

第 2 節では、接道面から撮影した 951 件分の外観写真に関して接道面増築部の室内化具合、壁・軒・開口部の使用資材を分析し、典型的な増築パターンを見つけ出す。また、住戸毎の詳細な実態ではなく、特徴的な使われ方をする場所が街の中にどのように分布しているかという街の構造も明らかにする。

第 3 節では、60 件に対する内観調査から、外観調査からは把握できなかった住戸の内観・背面部に踏み込んだ詳細な住戸実態を把握し、増築方法と内部改築方法を合わせた増改築の典型パターンを見つけ出す。また、前述の典型的な増改築が施された住戸を対象として、住戸実態と増改築費・世帯収入の関係を示す。

第 4 節では、60 件の住民に対するヒアリング調査から、セントマーサエステートにおいて住民が住環境に求めるものと、今後増えると予想される増改築を把握する。

3-2. 外観写真分析

3-2-1. 本節の目的と調査方法

本節では、セントマーサエステートの Phase1a における住環境実態を把握するために、①住戸の典型的な増改築パターンをみつけ、②街の構造を明らかにすることを目的としている。

調査方法としては、2016年8月に行われた第1回調査と同年の10月14日から10月21日にかけて行われた第2回調査の際に、対象地である再定住地に赴き、最も建設時期の早い Phase1a と呼ばれる地区の全 951 件の住戸を接道面から撮影した。上記の住戸選定理由は、建設時期が早い時期であれば住民の入居時期も早く、比較的多くの増改築が行われていると考えたためである。撮影の際、セントマーサエステート在住者と外部者に通訳として同行してもらい、日本人1人と通訳者1人以上を1チームとして撮影を行なった。以下の表に調査の詳細を示す。

表 3-2 接道面から住戸撮影 行程表

撮影日	撮影ブロック	
2016. 08. 02	グループ 1	B01~03
	グループ 2	B05~08
	グループ 3	B09~12
2016. 10. 15	グループ 1	B13,14,17~19
	グループ 2	B15,16,24~26
	グループ 3	B30~32
	グループ 4	B33,34,37,38

3-2-2. データ整理手法

本節で取り扱うデータは、調査を共に行なった同研究室の國江の卒業論文（「フィリピンの再定住地における住宅改修の実態に関する研究－ファサード・内観から見る性能分析－」2016、p14~28）ですすでに分析されている。本節ではこれと同様の調査結果と分析手法を用いて、筆者が國江による分析結果に考察を加筆する形をとっている。

【接道面増築部の増築パターンを把握するための分析方法】

まず撮影した写真から、接道面増築部の室内化度合い別に『完全室内化』『半室内化』『屋外』の3タイプに分類する(図3-2)。完全室内化というのは増築された軒と壁が接着している増築タイプ、半室内化というのは増築された軒と壁の間に隙間がある、もしくは軒か壁のどちらかしか増築していない増築タイプ、屋外とは何も増築していない住戸タイプとする。

次に、室内化度合いにより分類された住戸毎に、増築部の『壁・柵』『軒』『窓』に使われる資材の種類毎に分類した。また、各部位に仕上げが施されている場合には、仕上げの種類により記号で記した。表3-3に増築部に使用される資材と仕上げ項目の一覧をのせる。

以上の分析から接道面増築部の室内化度合いと各部資材の組み合わせとして多くみられる、住戸増築の典型的なパターンを見つけ出す。

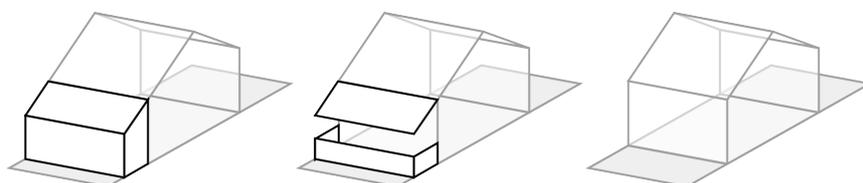


図3-2 室内化度合い例（左から完全室内化・半室内化・屋外タイプ）

表3-3 増築部の部位別資材分類と資材の仕上げ種類

壁・柵	CHB	木材	金網	トタン	布	-	-	-
軒・庇	トタン	布	瓦	金属板	-	-	-	-
床	コンクリート	タイル	植栽	砂利	-	-	-	-
窓	金網	鉄格子	木材	竹	布・ビニール	ガラス	処理なし	窓なし
仕上げ	ペンキ	モルタル	タイル	装飾	-	-	-	-

【街の構造を把握するための分析方法】

住戸毎の詳細な住環境実態ではなく、街の構造を明らかにするために、前述した住戸増改築の室内化度合いに加えて、いくつかの特徴を有する場所の位置を、対象エリアであるPhase1aの地図上にプロットする。また、項目毎に該当箇所の合計を算出する。

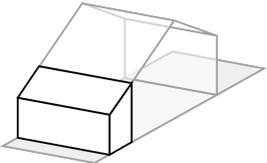
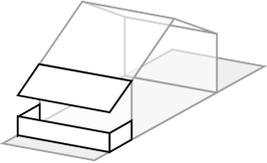
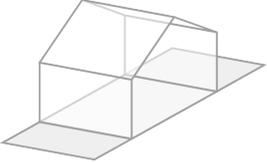
特徴的な使われ方をしている場所

- 『側面部増築住戸』
- 『接道面に植栽が置かれた住戸』
- 『接道面増築部が店舗化された住戸』
- 『増築可能境界を超えて歩道まで増築している住戸』
- 『向かい合う住戸の間に庇や植物を渡している場所』
- 『接道面に椅子を出しレストスペース化している場所』

3-2-3. 接道面増築部の室内化度合い

本項では、調査対象 951 件を接道面増築部の室内化度合い別に『完全室内化』『半室内化』『屋外』の 3 タイプに分け、タイプ毎に算出した合計件数を示す。

表 3-4 増築部の室内化度合い別住戸件数

	空間構成	写真例	住戸件数
完全室内化			490
半室内化			251
屋外			210

結果として、完全に室内化しているタイプの住戸がもっとも多くみられ、次いで半室内化、屋外タイプの順になった。

3-2-4. 接道面増築部使用資材

本項では、調査対象 951 件を前項で分けた 3 タイプのうち増改築を行っていない屋外タイプを除いた『完全室内化』『半室内化』毎に使用資材を分析した結果を示す。増築部の壁・柵、軒・庇、窓の順にみていく。

【壁・柵】

まず、完全室内化タイプの壁に使われている資材(表 3-2-4.1)をみると、CHB がもっとも多く、完全室内化住戸全体の 8 割近い住戸で使用されている。対象地で CHB が広く普及していることがわかる。次いで多くなったのは木材である。木材はリサイクル材としても販売されていることが調査からわかっており、CHB よりも比較的安価に手に入ると予想される。

次に、半室内化タイプの壁材をみると、もっとも多く使用される資材は木材であり、このタイプの 4 割の住戸で使用されている。次いで多いものがトタンなどの金属板であり、CHB は 3 番手となった。また、半室内化タイプは完全室内化タイプよりも資材の偏りが少ないことがわかる。

以上から、完全室内化タイプの住戸は壁に CHB を使用する傾向にあり、半室内化の場合は木材や金属板が多用されることがわかった。

おそらく、室内化された増築部は住戸の延長部分として住民に使用されており、そのため耐久性の高い CHB が多用されると考えられる。一方、半室内化された増築部は住戸の延長というよりもテラスや庭として機能しており、資材の耐久性に強いこだわりがないのではないかと推測する。ただし、住民のニーズで先に増築部の用途が決まり、それに合わせて増築されたのか、住民の経済力などの理由から入手できる資材に限られたのかは判断が難しい。

表 3-5 接道面増築部の壁・柵使用資材

	CHB	金属板	金網	木材	竹	ビニール・ 布・網
完全室内化	379	7	5	92	6	1
半室内化	46	60	13	86	2	9

※表内の数字は該当住戸件数を示す。

完全室内化住戸の壁資材写真例



完全室内×CHB



完全室内×金属板



完全室内×金網



完全室内化×木材



完全室内×竹



完全室内×布

半室内化住戸の壁資材写真例



半室内化×CHB



半室内化×金属板



半室内化×金網



半室内化×木材



半室内化×竹



半室内化×網

【軒・庇】

接道面増築部の軒・庇に使用される資材をみると、7割近くの住戸で軒にはトタンが使用されており、セントマーサエステート内部で広く普及していることがわかる。

増築部の室内化度合い別にみると、完全室内化の増築を行う住戸の増築部に使用される軒材はトタンが85%と圧倒的に多く、半室内化増築を行う住戸の増築部に使用される軒材には布やビニールのようなシート材が多いことが分かった。

表 3-6 接道面増築部の軒・庇材

	トタン	トタン+雨樋	布・ビニール	瓦葺き
完全室内化	408	41	40	1
半室内化	60	0	125	0

※表内の数字は該当住戸件数を示す。

増築部の室内化度合い別の軒・庇材写真例



完全室内化×トタン



完全室内化×トタン+雨樋



完全室内化×布・ビニール



完全室内化×瓦葺き



半室内化×トタン



半室内化×布・ビニール

【窓】

ここでは、接道面増築部が室内化されている場合の窓の有無と使用資材(表 3-7)についてみる。窓の種類として『処理なし』という項目があるが、これは壁に開けられた開口に何も挿入されていないものをさす。また、本研究では『金網』と『鉄格子』の違いを、細い金属が格子状に組まれているものを金網とし、比較的太い金属で単なる格子ではなく装飾など複雑な形状に組まれているものを鉄格子としている(下記写真一覧参照)が、國江の「フィリピンの再定住地における住宅改修の実態に関する研究 -ファサード・内観から見る性能分析- (2016)」では、金網を金属フェンスと表記していることに留意する必要がある。

分析結果から、金網か鉄格子を使用する住戸が多いことが分かる。住民に理由をきいたところ、防犯のためという回答が多かった。特に接道面で店舗を営む住戸では、店の商品の盗難を防ぐためか、窓に金網か鉄格子を取り付けている割合が高かった(57/88 件)。

表 3-7 完全室内化増築を行う住戸の窓資材

金属板	金網	鉄格子	金網+ 鉄格子	木材	竹	布・ビ ニール	ガラス	処理な し	窓なし
14	161	147	27	22	5	17	3	65	29

完全に室内化された増築部の窓材写真例



金属板



金網



鉄格子



金網+鉄格子



木材



竹



布・シート



ガラス



処理なし



窓なし

3-2-5. 接道面増築部の増築パターン分類

本項では、第4項にて述べた接道面増築部の室内化度合いと各部使用資材の分析結果を組み合わせ、典型的な増築パターンを明らかにする。増築部の室内化度合いでは『完全室内化』がもっとも多かったため、このパターンの住戸の各部資材の組み合わせで該当する件数が多いものから順に9つの組み合わせを以下に示す。

各部資材組み合わせ		住戸件数	写真例
壁	CHB モルタル仕上げ	69	
軒	トタン		
窓	鉄格子		
壁	CHB モルタルペンキ仕上げ	44	
軒	トタン		
窓	鉄格子		
壁	CHB モルタル仕上げ	40	
軒	トタン		
窓	金網		
壁	CHB タイル仕上げ	40	
軒	トタン		
窓	鉄格子		

壁	CHB むき出し	20	
軒	トタン		
窓	処理なし		
壁	CHB モルタルペンキ仕上げ	20	
軒	トタン		
窓	金網		
壁	木材	15	
軒	トタン		
窓	金網		
壁	CHB モルタル仕上げ	13	
軒	トタン		
窓	処理なし		
壁	CHB タイル仕上げ	12	
軒	トタン+雨樋		
窓	鉄格子		

上記の表から、壁が CHB モルタル仕上げ、屋根がトタン、開口部が鉄格子という資材で増築している住戸がもっとも多く、69 件であることがわかった。これは今回の対象エリアの 7%にあたる。資材の種類が多様であり、その組み合わせも様々であることから、典型パターンといえど該当する住戸は 10%未満となる。ただし、仕上げの有無や窓材を考慮せずに壁材と軒材のみに着目すると、上記にあげた 9 つの典型パターンのうち 8 パターンで壁が CHB、軒がトタンであることから、壁に CHB、軒にトタンを使用して室内化する増築がセントマーサエステートの中で典型的な増築手法だと言える。

～短評：竹を使用する住戸～

今回の調査では竹を使用する住戸があまり見られなかった。竹はフィリピンの地に古くから自生しており、伝統住戸などは竹を使っている。なぜ使用住戸数が少ないのかと住民に尋ねてみたところ、質の良い竹は他の材に比べて高価に販売されており、かつ住民たちは竹を使っていると貧相に見えるという意識があるらしい。今回の調査でセントマーサエステート周辺の竹を扱う資材店に訪問してみたが、ここでは竹の販売を 50 本から行っており、質の良いものだと 1 本につき 300 ペソがかかるため最大 15,000 ペソかかることになる。これは本研究で調査した 1 戸あたりの世帯月収の平均と、突出して増改築費が高い住戸を除いた 1 戸あたりの増改築費の平均とほぼ同額である



図 3-3 竹を使う住戸



図 3-5 竹専門店の商品（既製品）



図 3-4 竹専門店の商品(素材)

3-2-6. 特徴的な住戸の街の中での分布

これまで住戸スケールで増築の実態をみてきたが、本項では調査対象エリア全体を鳥瞰して街の中に特徴的な住戸・場所がどのように分布しているのかを示す。

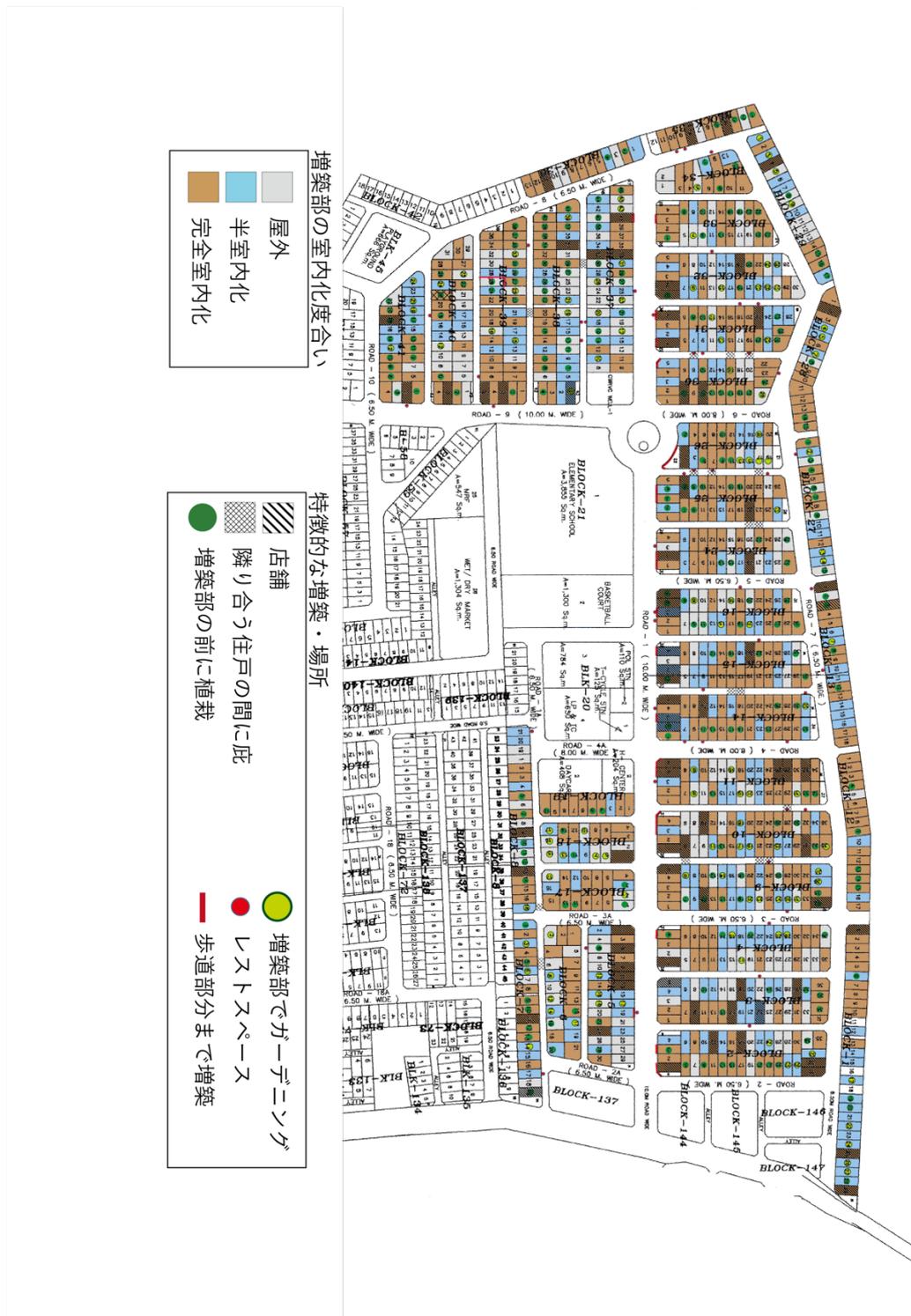


図 3-6 対象エリア Block01~41 の街の構造

店舗増築



るようだ。

住戸の接道面増築部を店舗として使用しているものは 88 件あった。そのうち 29 件は角地の住戸、29 件はメインストリートのロード 1 沿いにあり、ロード 1 以外の名称がついた広い道に面している住戸も含めると 55 件の店舗が大通り沿いにあることがわかった。やはり店舗は人目につく場所にあるようだ。

また、店舗の種類としては“サリサリストア”という日用品をおく店舗が多かった。サリサリストアとはパックで売られた日用品を小売にして販売する店舗であり、まとまったお金をつくりづらい低所得者が居住する地域によく見られる。

隣り合う住戸の間に庇を渡す/道をレストスペース化する



たのは 6 箇所であった。

隣り合う住戸の間に庇をかけている場所は 18 箇所あり、すべて名称のつかない細い通りであった。また、家の前に椅子や机を出してレストスペースにしている場所は 56 箇所あった。ただし、椅子や机は仮設的なものであるため時間帯によって箇所数は違ってくると思われる。この両方がみられたのは 6 箇所であった。

住戸の小さなセントマーサエステートでは、住民の生活領域が住戸内にとどまらず路地にも表出しているようだ。熱帯気候であるこの場所では家の中よりも外の方が涼しく過ごしやすいという可能性もある。実際、我々が調査に行った際の体感としては住戸内部よりも外の方が涼しく感じられた。

増築部の前に植栽



住戸の接道面増築部の前に低中木を植えている、もしくは鉢植えを置いている住戸は全体の約 3 分の 1 にあたる 343 件であった。中には野菜や果物を育てている住戸もあり、これは自らが食べるため、もしくは販売するためのものと思われる。それ以外の植物を育てている理由には、見栄えを良くするため、植物を育てることが好きだから、知人からもらったため、というものがきかれた。植物は近所の友人と分け合うという意見が住民たちからきけた。

増築部でガーデニング



接道面に増築をせず、ガーデニングとして使用している住戸は 123 件あった。これらの住戸も上記同様の理由からガーデニングを行なっているという話がきけた。多くの住民が住戸の拡大を望む中、住戸の拡大よりも植物を育てる方が住環境の中での優先度が高い住民が一定数存在すると言える。また、上記の植栽を置くだけの住戸とガーデニングをする住戸を地図上でみると、寄り集まって存在しているようにみえる。

歩道部分にはみ出して増築



大通りであるロード 1 沿いに歩道が整備されており、本来はこの通りに面する住戸は歩道まで増築をすることを許可されていないのだが、これに反して増築を行なっている住戸が 111 件中 21 件あった。規制に違反するという行為が重なれば無秩序な状態に変遷していく可能性がある。

以上より街の構造としては、メイン通りなどの広い道沿いには店舗を経営する住戸が多く軒を連ね、少し細い道に入るとレストスペースとして路地を活用するなどの住民の生活が見えることがわかった。また、植物を育てている住戸が比較的寄り集まって存在することや植物を知人から分け与えてもらうという話が聞けたことから、植栽を施している住戸の住民は比較的周辺住民とのつながりが強いのではないかと推測する。

～短評：木陰になっている路地と住戸前面部～



図 3-7 木陰になっている路地

調査を行う中で、大木が生えている下で住民たちが集っている風景を何度か見かけた。セントマーサエステートに住む男性たちは平日マニラに働きに出ることが多く、子供は昼間学校へ通うため、女性たちはこのような場所で交流を深めているのだと考えられる。

3-3. 内観調査

3-3-1. 本節の目的と調査方法

本節では、前節の外観調査からは確認できなかった住戸の内観・背面部に踏み込んだ詳細な増改築実態を把握することを目的とする。

調査方法としては、まず外観調査を行なった Phase1a の 951 件から増築部の仕様に大きな偏りが生じないように 60 件の住戸を選出した。このときに住民が事業の受益者であるかどうかもきいており、事業受益者が住む住戸をメインに選出した。理由として、低所得者の住環境改善を本研究の目的としており、ヒアリング調査をする過程で転売による住戸取得者は比較的所得が高いことがわかったためである。次に、調査対象である 60 件の住戸内部に入らせてもらい、内観写真の撮影、住戸平面図の描き起こし、住民に資材の種類などのヒアリングを行なった。内観写真の撮影点は次頁の図 3-8 に示す。

住民へのヒアリング調査は 2016 年 8 月 4 日、6 日、8 日、9 日と、同年 10 月 15 日、16 日、18 日の計 7 日間で行われた。8 月は全て 1 住戸に対して 1 回のみ調査としたが、10 月の調査までに追加の質問項目があがったため、10 月の調査時には新たな住戸への新規調査と 8 月に訪問した住戸に追加の調査を行なった。住民へのヒアリング調査では、英語とタガログ語の通訳を、8 月の調査時にはフィリピンの大学である University of Santo Tomas の学生に、10 月の調査時にはセントマーサエステート在住者 3 名と外部者 4 名の計 7 名に依頼し、各グループに 1~3 人同行してもらった。通訳者には、基本的に我々日本人スタッフの準備した英文版調査資料(資料編参照)をタガログ語に翻訳してもらった。以下にヒアリング調査の行程を示す。

表 3-8 ヒアリング調査 行程表

	新規調査 各グループの人数			追加調査 各グループの人数
	グループ 1	グループ 2	グループ 3	
2016. 08. 04	3 人	-	-	-
2016. 08. 06	1 人	2 人	-	-
2016. 08. 08	1 人	1 人	1 人	-
2016. 08. 09	1 人	1 人	1 人	-
2016. 10. 15	1 人	2 人	-	2 人
2016. 10. 16	1 人	1 人	1 人	1 人
2016. 10. 18	1 人	1 人	1 人	1 人(新規調査グループの 1 人が追加調査も行なった。)

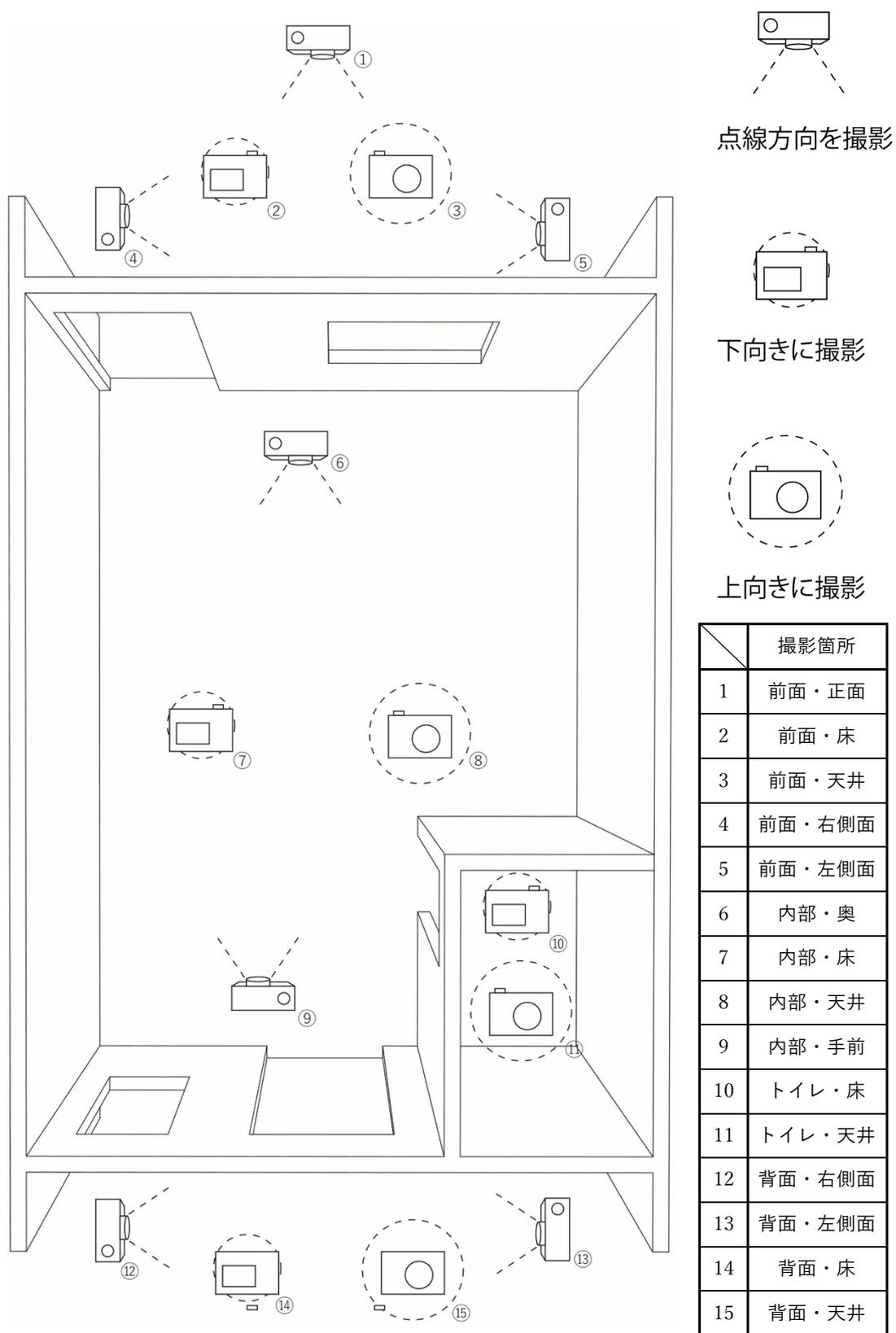


図 3-8 内観写真の撮影方法(図：國江作成)

3-3-2. データ整理手法

住戸内観調査から把握したデータの整理手法を述べる。

【前後増築部の分析】

まず完全に室内化された増築部が住戸の前面・背面・側面のどこにあるかという室内化増築部の平面パターンを整理した。このとき増築方向を、前面道路に対して垂直方向を X 軸、平行方向を Y 軸、高さ方向を Z 軸とした。Z 軸への増築は少数しか見られなかったため、X 軸と Y 軸への増築度合いをそれぞれ 3 段階にわけて計 9 つの平面パターンに調査住戸 60 件を分類した(図 3-10)。また、基本住戸内部に新たに間仕切りを設けているか否かを確認し、間仕切りがないものを A、あるものを B とした。ここまでの整理手法は國江によるものであるが、筆者が元のデータ(「フィリピンの再定住地における住宅改修の実態に関する研究 -ファサード・内観から見る性能分析-」2016、p33-34)を再確認したところ、多少の誤りを発見したため國江の結果とは差異が出た。また、間仕切りの種類にはカーテンやビニールのような布地のものと、合板を使用したものが見られ、この差は施工者の技術力と関係しているのではないかと考え、國江の分析方法に加えて間仕切りに木材を利用している場合には『B 木』とあらわした。

次に、前面・背面の増築部を『壁・柵』『窓』『軒・庇』『床』にわけ、それぞれに使われる資材の種類を分析した。各部位の資材項目は表 3-9 に示す。また、表内では、各部材に仕上げや装飾が施されているものには○印をつけた。

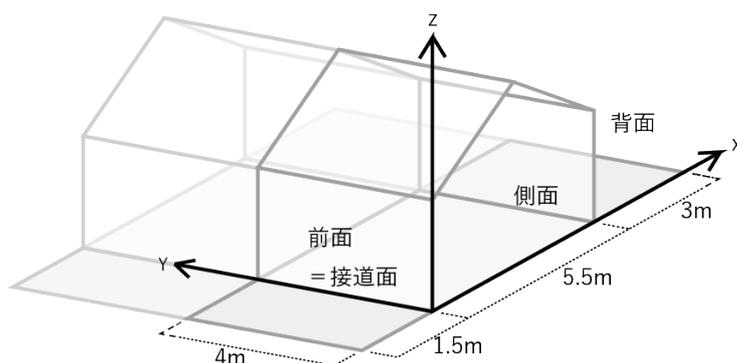


図 3-9 増築方向の XZY 軸

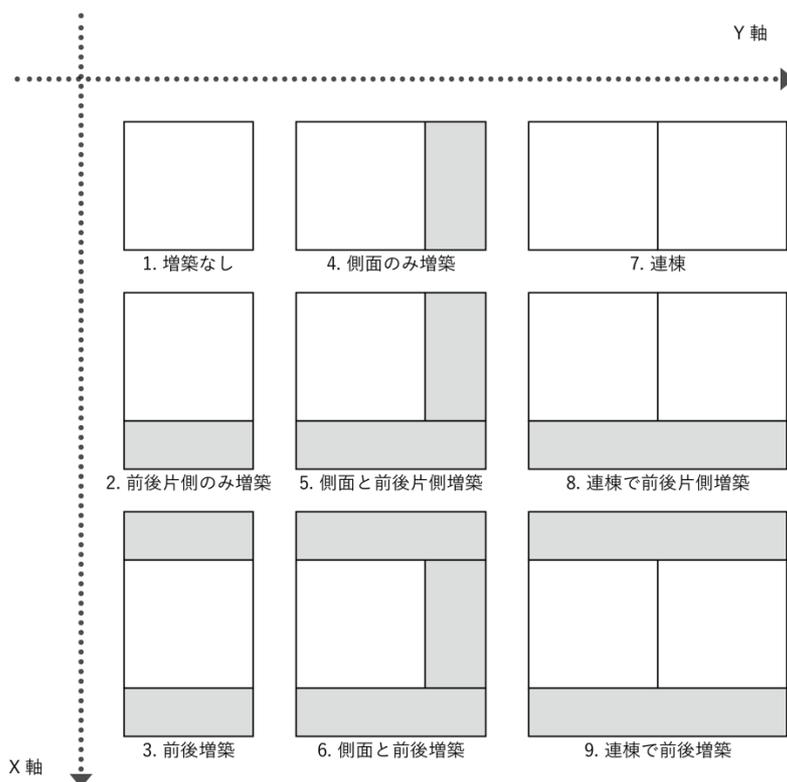


図 3-10 室内化増築部の平面パターン(図：國江作成データを元に筆者作成)



図 3-11 平面パターン 4,5,6 の側面増築例



図 3-12 平面パターン 7,8,9 の連棟例

【基本住戸内部改築部の分析】

次に、調査対象 60 件について基本住戸の内部で行われる改築の仕様として、『既存壁』『既存床』の改修と『天井』『ロフト』『間仕切り』の新設の 5 項目を行なっているか否かを確認した。既存床の改修については使用する資材がシート材かタイルかによって分類した。

【一覧表作成】

増築部・内部改築部の分析を調査住戸 60 件それぞれについて行った後、住戸実態の一覧表を作成した。このとき、増築部として前面部・背面部・側面部・2 階という 4 箇所が見られたが、側面と 2 階への増築を行う住戸が少なかったため、前後への増築のみを分析対象とする。各部使用資材や仕上げの種類などは次のページの表 3-9 に示す。

【統計】

次に、一覧表から『室内化増築部の平面パターン』と、前後増築部の『壁・柵材』『窓材』『軒・庇材』『床材』と、内部の『床材』『壁仕上げの有無』『天井新設の有無』『ロフト化の有無』と、増改築部の『仕上げ箇所数』について該当する住戸の統計をとった。このとき、転売により住戸を取得した住民は比較的所得が高いなど、受益者とは住民属性が異なることから、個別に住戸件数を算出した。

【増改築の典型パターンを見つける】

以上の分析から住戸の増築部の室内化度合いによる平面パターンと、増築部・内部改築部の各部資材の組み合わせとして多くみられる、増改築の典型的なパターンを見つけ出す。

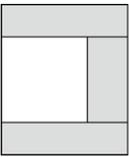
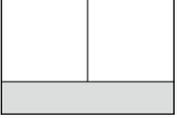
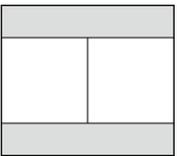
表 3-9 内観調査分析一覧表

	室内 化増 築部 の増	資材										所有 者タ イプ	1戸あ たりの 増改築 費(千ペ	
		前				後				中				装飾/ 仕上げ 箇所数
		壁・柵	窓	軒・庇	床	壁・柵	窓	軒・庇	床	床	壁仕上げ 天井/ロフト			
住戸1	1B	網	—	シ	セ	×敷地外(田んぼ)	×	×	×	—	○壁	1	受	0
住戸2	2B	網 シ	処理なし	シ	セ	ト	—	シ	—	—	○壁	1	受	0
住戸3	2B	—	—	シ	セ	木連子 金網	窓なし	木 シ	—	○シ	○壁	2	借	0
住戸4	3B木	木	金網	ト	セ	ト	窓なし	ト	—	○シ	○壁	2	受	0
住戸5	2B	ト+木	木	ト	セ	ト	—	シ	—	—	○壁	1	受	0
住戸6	1B	CHB	—	シ	セ	ト	—	シ	—	—	—	0	受	0
住戸7	1A	—	—	シ	セ	—	—	シ	—	○シ	—	1	受	0
住戸8	1B木	木柵	—	シ	セ	×所有者別	×	×	×	—	○壁	1	受	0.7
住戸9	2B	木柵	窓なし	木 シ	セ	金網	—	—	—	○シ	○壁 口	2	受	0.735
住戸10	2B	木	木	木 ダンボール	セ	×所有者別	×	×	×	○シ	—	1	受	1
住戸11	1B	中木	—	シ	砂利	中木	—	シ	—	○シ	—	1	受	1.13
住戸12	3B木	木	網	ト	セ	木	窓なし	ト	—	○シ	—	1	受	1.2
住戸13	2B	—	—	—	—	CHB○モ	窓なし	ト シ	—	○シ	—	2	受	1.3
住戸14	3B	木柵○色	窓なし	ト シ	セ	木	木連子	ト	セ	—	○壁	1	受	1.475
住戸15	1B	木	—	—	—	—	—	シ 布	—	○シ	—	1	受	1.7
住戸16	2B	木○色 ト	金網○色	ト シ	セ	CHB	—	シ	セ	○シ	—	3	受	1.9
住戸17	2B	木○色	金網○色	ト シ	セ	ト	—	布	—	○シ	—	3	受	2
住戸18	1B	—	—	シ	—	—	—	網	—	○シ	○壁	2	受	2.125
住戸19	2B	木○色	木○色	木 シ	○シ	木	—	—	—	—	—	3	受	3
住戸20	3B	ト+木	金網	シ	?	CHB	窓なし	?	○シ	○シ	—	2	転	3
住戸21	2B	CHB○モ	金網	ト	セ	CHB	—	シ	—	—	○壁	2	受	3
住戸22	1B	—	—	—	—	—	—	—	—	○シ	口	1	受	3
住戸23	2B	CHB	処理なし	ト	セ	木	—	ト+木	—	—	○壁	1	受	3.3
住戸24	2B	CHB○パ飾	—	ト	セ	CHB	窓なし	ト	セ	○モ	口	2	受	4.5
住戸25	2B	CHB 木	シート	シ	セ	CHB○モ 木	ジャルジー	ト シ	セ	○シ	—	2	受	5
住戸26	2B	木柵	—	ト	セ	木 木連子+布	窓なし	ト	セ	○シ	—	1	受	5.5
住戸27	2B	木柵○色	—	ト	—	CHB	窓なし	ト 木 布	セ	○シ	—	2	借	7.5
住戸28	9A	CHB○モ色	鉄格子○ ガラス	ト○色	○タ	CHB○モ色	窓なし	ト+天○色	○タ	○タ	○壁 天井	9	転	8
住戸29	1B	CHB○モ色	—	ト○色	セ	CHB	—	ト	—	○シ	○壁 口	4	受	8.02
住戸30	2A	CHB○モ色 木	金網	ト	セ	CHB○モ	—	—	セ	—	—	2	受	9.1
住戸31	2B	CHB○モ色	シート	ト	セ	シ	—	シ	—	○シ	○壁	3	受	9.2
住戸32	2B木	CHB○モ	—	—	セ	CHB	○花ブロック	ト+ポリカ	セ	○タ	○壁	4	受	11
住戸33	2B	—	—	シ	セ	CHB○モ色	ジャルジー ○花ブロック	ト	セ	○タ	○壁	3	受	13.5
住戸34	8B	CHB○パ	鉄格子○	ト	○タ	ト	—	シ	セ	○シ	○壁	5	受	17.5
住戸35	1B木	—	—	—	セ	金属板	—	ト	セ	—	—	0	受	17.5
住戸36	3B	CHB	処理なし	ト シ	セ	CHB	○花ブロック 鉄格子	ト+ポリカ	セ	○シ	○壁	3	借	18
住戸37	8A	木柵	—	ト	—	CHB	窓なし	シ 網	—	○シ	○壁	2	転	18.25
住戸38	9A	CHB○モ	鉄格子○色	ト	セ	CHB	窓なし	シ 網	—	—	—	2	転	18.25
住戸39	3B	CHB○モ色	鉄格子○色	ト○色	セ	CHB○モ	窓なし	ト	セ	—	○壁	5	受	24
住戸40	8B	CHB○モ色	鉄格子○	ト+雨○色	○タ	CHB	—	ト	セ	○タ	○壁 天井	6	転	25
住戸41	9B	CHB○パ	鉄格子○ シャッター	ト+天+雨○色	○タ	CHB○モ色	窓なし	ト+天○色	○タ	○タ シ	○壁 天井	9	転	25
住戸42	3A	CHB	処理なし	ト+シ	セ	CHB	窓なし	ト	セ	—	○壁	1	受	26
住戸43	9B	CHB○モ色	鉄格子○+シート	ト	セ	CHB○モ	窓なし	ト	?	—	○壁	4	転	26.6
住戸44	9B木	CHB○モ色	鉄格子○+シート	ト	セ	CHB○モ色	○花ブロック	ト	?	—	○壁	5	転	26.6
住戸45	3A	CHB○モ色	鉄格子○+シート	ト+天	セ	CHB○モ	窓なし	ト+天	セ	—	○壁 天井	4	転	26.6
住戸46	6B	CHB○モ	金網○色	ト+シ	セ	CHB	鉄格子○色	ト	セ	○タ	—	4	受	31
住戸47	2B	—	—	シ	セ	CHB○モ	○ガラスブロック	ト	セ	○シ	○壁	4	受	33.6
住戸48	3A	CHB○タ	鉄格子○	ト○色	セ	CHB	窓なし	ト	セ	—	○壁	4	転	40
住戸49	3B	CHB○モ	鉄格子○色+金網+シート	ト	セ	CHB	窓なし	ト	セ	—	—	2	受	46
住戸50	3B木	CHB○モ色	鉄格子+金網+木戸○色	ト	セ	CHB○モ色	○花ブロック	ト+ポリカ	セ	○タ	○壁	6	受	47
住戸51	3A	CHB	金網	ト シ	セ	CHB○モ色	窓なし	ト+天○	○タ	○タ	○壁 天井	5	転	50
住戸52	3B	CHB○モ	鉄格子○	ト	セ	CHB○モ	鉄格子○色	ト	○タ	○シ	○壁 天井	7	受	86
住戸53	3B木	CHB○モ色	鉄格子○+シート	ト+雨○色	○シ	CHB○モ色	鉄格子○	ト+ポリカ	○シ	○シ	○壁 天井	9	受	95
住戸54	2B	CHB○モ色	—	ト	○シ	CHB○モ色	○花ブロック	ト+ポリカ	セ	○シ	○壁	6	受	103
住戸55	6B木	CHB○モ色	鉄格子○ 金網	ト○色	セ	不明	写真NG	×	×	○モ	○壁 天井	5	受	400
住戸56	6A	CHB○モ色	鉄格子○+シャッター	ト+雨○色	○タ	CHB○モ色	窓なし	金網	?	○タ	○壁 口	7	受	500
住戸57	3A	CHB○モ	処理なし	ト シ	セ	CHB	窓なし	ト	セ	—	—	1	受	?
住戸58	3A	CHB○モ色	金網○色	ト+天○色	セ	CHB○モ色	窓なし	ト	○シ	—	○壁	6	借	?
住戸59	2B木	—	—	シ	セ	木	ジャルジー	ト シ	○シ	○シ	○壁	4	受	?
住戸60	2B	CHB○モ	処理なし	ト	セ	CHB	—	シ	セ	○シ	○壁	3	転	?

【凡例】
 室内化部位の平面パターン 図 3-12 参照
 壁・柵 シ：シート、ト：トタン、○色：ペンキ塗装、○モ：モルタル仕上げ、○タ：タイル仕上げ、○パ：サイディングなどの外装パネル
 窓 鉄格子○（鉄格子は元々装飾的な部材であるため、仕上げ・装飾がついていることを表す○印をつけている）
 軒・庇 ト+雨：雨樋付きのトタン、ト+天：天井付きのトタン
 床 セ：セメント、タ：タイル
 中壁仕上げ・天井/ロフト ロ：ロフト
 所有者タイプ 受：受益者が住戸に住む、転：転売により住戸を取得した人が住戸に住む、借：親戚や知人から無償で住戸を借りている人が住戸に住む
 灰色ハッチング 半室内化、屋外部分を示す。
 ※複数資材を使用している場合、同じ箇所に複数資材を重ねて使用しているものは+で、別の箇所に異なる資材を用いているものは|で示している。

3-3-3. 室内化増築部の増築方向と内部間仕切りからみる平面パターン

表 3-10 室内化増築部の増築方向と内部間仕切りからみる平面パターン毎の住戸件数(n=60)

	合板で間仕切り	布・家具で間仕切り	間仕切りなし
 <p>1. 増築なし</p>	2	7	1
 <p>2. 前後片側のみ増築</p>	1	20(1)	2
 <p>3. 前後増築</p>	4	6(1)	6(3)
 <p>6. 側面と前後増築</p>	1	1	1
 <p>8. 連棟で前後片側増築</p>	0	2(1)	1(1)
 <p>9. 連棟で前後増築</p>	1(1)	2(2)	2(2)

※ () 内に転売タイプの住戸件数を示す。(n=12)

室内化増築部と内部間仕切りからみる平面パターンをみると、パターン4・5・7に該当する住戸はなかった。最も多くみられたのは、パターン2にあらわされる単体住戸の前後どちらかのみ室内化増築を行ない内部では布や家具による間仕切りを行なっている住戸であった。全体の3分の1の住戸がこれに該当した。片側のみ室内化している住戸の中で前面部を室内化している住戸は12件であった。

室内化増築部のみに注目すると、パターン3の単体住戸の前後どちらも室内化増築を行なっているもの、パターン1の単体住戸で室内化増築を行っていないものが多くなり、ここからY軸方向への増築や改修はあまりみられないことがわかった。また、パターン8、9にあらわされる連棟住戸は転売により住戸を取得した人が住んでいるものが多いことがわかった。

内部間仕切りのみに注目すると、布や家具で間仕切りを行う住戸が38件ともっとも多く、合板による間仕切りは8件しかなかった。プライバシーを重要視しているのか、仕切りをつける意欲はあるが、合板を使って部屋を区切ることは難しいと考えられる。

前節の外観写真分析結果と比較を行うと、外観調査からは前面を室内化する住戸が調査対象住戸の中の5割近くであったことが明らかになっており、内観調査からは前面部を室内化している住戸が60件中32件(前後室内化のパターン3,6,9の24件と前面のみ室内化の12件)とほぼ同様の結果となった。

～短評：Z軸方向への増築と側面部のみの増築～

今回は住戸数が少なかったため分析は行わないが、セントマーサエステートには高さ方向（Z軸）への増築を行なっている住戸も何件も見られた。後の4章にて言及するが、2階やロフトのような高さ方向への増築を今後行いたいという住民が多く、今後増えていくと予想される増築形態といえる。

また、基本住戸の側面部を増築し、基本住戸を使用する世帯と側面部に暮らす世帯が異なるというものがあった。この所有形態は、元々基本住戸に住んでいた住民が妻の目の治療費を支払うために借金をし、借金相手に担保として基本住戸を貸しているため生じているとのことだ。



図 3-13 二階建て増築例



図 3-14 側面部と基本住戸の所有者が異なる住戸

3-3-4. 増築部使用資材

【増築部の壁・柵に使用される資材】

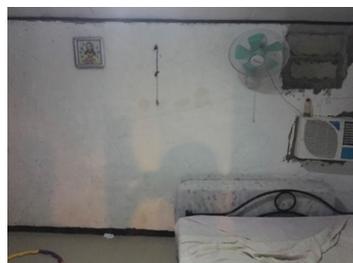
まず、増築部の壁・柵に使用される資材を『CHB』『木材』『金属』『シート』『植栽』『網』『木材/金属/シート/網の組み合わせ』の6種類に分類し、それぞれに該当する住戸件数を示す(表 3-11)。このとき、壁を増築していない住戸と、なんらかの事情で背面増築部を見られなかった住戸に関しては分析から除いている。

表 3-11 増築部の壁・柵材

	CHB	木材	金属	シート	植栽	網	複数材組み合わせ
前面 n=51	33(11)	12	0	0	1	1	4(1)
背面 n=52	35(12)	5	8	1	1	0	2

※ () 内に転売タイプの住戸件数を示す。(n=12)

前後増築部の壁・柵材の写真例



CHB(背面)



木材(前面)



金属(背面)



シート(背面)



植栽(前面)



複数材組み合わせ(前面)

結果として、前面増築部にも背面増築部にも約半数の住戸が CHB を使用していることがわかった。次いで多くなったのが前面部では木材、背面部では金属となった。

転売タイプの住戸に着目すると、ほぼ全ての住戸が前後に CHB を使用していることがわかる。

前節の外観写真分析の結果と比較すると、外観写真分析からは 951 件中 425 件と 45%の住戸が前面増築部に CHB を使用していることが明らかになったが、今回の調査対象 60 件に関しては 55%の住戸で CHB が用いられており、若干 CHB の使用率が高い。

【増築部の窓に使用される資材】

増築部の窓に使用される資材は『鉄格子単体もしくはシートが付随』『金網』『鉄格子と金網/シャッター/ガラスの組み合わせ』『木材』『網/シート』『花ブロック/ガラスブロック/ジャルジー窓』『処理なし』『窓なし』の 8 種類に分類した(表 3-12)。室内化された住戸にのみを対象とし、かつ 1 住戸に複数個の窓が設置されていることもあるため、母数は調査住戸の 60 件にはならない。

表 3-12 増築部窓材

	鉄格子/ 鉄格子+ シート	金網	鉄格子+ 金網/シ ャッター /ガラス	木材	網/シー ト	花ブロッ ク/ガラ スブロッ ク/ジャ ルジー	処理なし	窓なし
前面 n=39	9(6)	10(2)	6(2)	3	3	0	6(1)	2
背面 n=37	2	2	0	1	0	10(1)	0	22(9)

※ () 内に転売タイプの住戸件数を示す。

前後増築部の窓材の写真例



鉄格子+シート(前面部)



金網(前面部)



シャッター(前面部)



木材(前面部)



網・シート(前面部)



花ブロック(背面部)



ジャルジー窓(背面部)



処理なし(前面部)



窓なし(背面部)

結果として、前面部と背面部の窓には異なる資材が使用されていることがわかった。

前面増築部には鉄格子や金網にシャッターを組み合わせたものなど、金属を開口部にはめ込んでいる住戸が多くみられた。

背面増築部には室内化されているが窓がないというものが約6割と高い割合をしめた。対象住戸のように長屋形式であると側面部に窓を設けられないため、窓がない背面部の通気や採光ができないだけでなく、住戸全体として空気の流れる道がなくなり、住戸の衛生状態にも悪影響が出ると予想される。背面部に窓を設けない住戸が多い理由として、背面部の増築可能エリア全体に増築してしまうと隣接住戸と壁を共有することになり、窓が開けづらいのではないかと推測される。また、窓を背面部に設けている場合の窓の種類は、花ブロックやガラスブロック、ジャルジーが多くみられた。これらの資材は金属製品よりも比較的高価であるという話を住民からきけた。

前節の外観写真分析の結果と比較すると、鉄格子や金網、木材、処理なし、窓なしがそれぞれ似た様な割合としてあらわれており、鉄格子や金網を使用する住戸の割合が6割から7割でもっとも多くなった。また、外観調査ではみられなかった背面部には、花ブロック、ガラスブロック、ジャルジー窓といった新たな窓資材が見られた。

【増築部の軒・庇に使用される資材】

増築部の軒・庇に使用される資材を『トタン単体』『トタン屋根に天井が付随したもの』『トタンの先に雨樋がついているもの』『トタンの一部にポリカーボネートが挿入されたもの』『トタンと木材やシート材の組み合わせ』『金網』『木材とシート材の組み合わせ』『シート材』の9項目に分類し、それぞれに該当する住戸件数を示す。

表 3-13 増築部軒・庇材

	トタン	トタン +天井	トタン +雨樋	トタン +天井+ 雨樋	トタン +ポリ カ	トタン +(木材/ 防水シ ート/網 /布)	金網	木材 +(シ ート/網/ 段ポー ル)	防水シ ート/網 /布
前面 n=55	25(7)	2(1)	3(1)	1(1)	0	8(1)	0	3	13(1)
背面 n=51	20(4)	4(4)	※	※	5	5	1	1	15(3)

※背面部の軒材に雨樋がついているかは内部からは確認できなかった。

※ () 内に転売タイプの住戸件数を示す。(n=12)

前後増築部の軒・庇・天井の写真例



トタン単体(背面部)



トタン+天井(前面部)



トタン+雨樋(前面部)



トタン+ポリカーボネート(背
面部)



トタン+シート(背面部)



金網(背面部)



木材+ダンボール(前面部)



シートのみ(背面部)

結果として、全体的に前面増築部と背面増築部どちらも似たような資材が使われていることがわかる。

前後増築部に共通して言えることとして、トタンを単体で使用する住戸が約半数でもっとも多いことがわかった。他にもトタンに雨樋、天井が付随したものや、ポリカーボネート、木材、シート材などを組み合わせたものを含めると、前後とも約7割の住戸で軒材としてトタンが使用されている。壁や窓にも使われていた木材やシート材などの使用は2～3割の住戸にのみ確認できる。ここから、軒材にはトタンを使用することが一般的になっており、さらに雨樋や天井、ポリカーボネートを組み合わせている住戸は、雨水を住戸側面に流し、屋根から熱が侵入することを防止し、屋根面から採光ができるような工夫を行なっていることから、住戸の衛生環境への意識が高いと考えられる。

また、背面部にのみ、トタンとポリカーボネートを組み合わせて使用する住戸が一定数みられた。この理由として、前面部では壁面に窓をつけて採光することができるが、背面部では増築境界線まで増築すると隣接住戸と壁を共有することとなり壁面に窓を設けづらいため、天井から採光をとろうとする意識のあらわれだと考えられる。

前節の外観写真分析の結果と比較すると、概ね似た様な割合でトタンが約7～8割、布やビニールが約2～3割の住戸の軒材として使用されている。

【増築部の床に使用される資材】

増築部の床に使用される資材に着目して、『セメントのみ』『セメントにシート仕上げ』『セメントにタイル貼り』『砂利敷』と『既存地面』の5項目に分類し、それぞれに該当する住戸件数を示す。

表 3-14 増築部床材

	セメントのみ	シート	タイル	砂利敷	既存地面
前面 n=59	44(7)	3	5(3)	1	6(1)
背面 n=53	24(4)	4(1)	4(3)	0	21(2)

※ () 内に転売タイプの住戸件数を示す。(前面：n=11, 背面：n=10)

前後増築部の床材の写真例



セメントのみ(前面部)



シート(前面部)



タイル(背面部)



砂利敷(前面部)

結果として、前面増築部と背面増築部に共通して言えることとして、セメントを敷設する住戸が最も多いことがわかった。特に、前面増築部に関してはセメントを敷設しているものが75%と高い割合を占めた。

前面部と背面部の違いとして、前面増築部ではほとんどの住戸が床に何かしらの操作を行なっているが、背面部の床は既存の地面のままという住戸がセメントを敷設する住戸とほぼ同数であることがわかった。理由を推測すると、前面部は知人や他者の訪問がある対人用の場所として使用されるため床も清潔にしようとするが、背面部は住戸内に収まりきらなかった荷物置き場やガーデニングなどのバックヤードとして機能しているため床は既存地面のままで良いのではないかと考えられる。

【増築部資材の典型パターン】

以上の結果から、前後増築部の部位毎に使用される資材の典型例を表 3-15 に整理した。

表 3-15 前後増築部に多く使われる典型的な資材一覧

	壁	窓		軒	床	
	前後	前	後	前後	前	後
多	CHB	鉄格子	窓なし	トタン	セメント	セメント
↑ ↓	木材	金網	花ブロック/ガラスブロック/ ジャルジー窓	防水シート	-	既存の地面のまま
少	金属	鉄格子+金網	-	トタン+防水シート/網/布	-	-

【外観分析住戸 951 件と内観調査住戸 60 件の接道面増築部の様相の比較】

ここで、外観写真分析を行った 951 件と内観調査を行った 60 件の前面増築部において、典型的な増築を行なっている住戸件数を比較し、内観調査を行なった住戸の特徴に偏りが生じていないかを把握する。窓材については、外観写真分析では國江が 1 件につき 1 つの窓材に分類しているが、内観調査住戸に関しては筆者がより詳細に窓のある箇所数を合計している、つまり 1 件に 2 つの窓が設置されている場合は 2 つの項目に回答数を入れていることに留意する必要がある。

概ね似たような割合となったが、内観調査住戸は壁や柵に CHB を使用する住戸が若干多くなった。理由として、調査当初は比較的整備された住戸を選定していたため、木材やシートを使用する住戸よりも CHB を用いている住戸を無意識に選定していたことが考えられる。

表 3-16 外観写真分析住戸と内観調査住戸の増築方法比較

		外観写真分析住戸		内観調査住戸	
増改築方法	前面増築部完全室内化	490/951 件	51%	32/60 件	53%
	壁・柵：CHB	425/951 件	44%	33/60 件	55%
	窓：金網や鉄格子	335/490 件	68%	25/39 箇所	64%
	軒：雨樋や天井のついたトタンかトタン単体	509/951 件	53%	31/60 件	51%

3-3-5. 基本住戸内部改築方法

まず、基本住戸内部で行われる改築内容を『既存壁』『既存床』の改修と『天井』『ロフト』の新設の4項目にわけ、調査対象60件のうち何件が各項目の改築を行なっているかを以下の表に示す。ただし、間仕切りも基本住戸内部の改築方法ではあるが、3-3-3で平面パターンとして間仕切りの仕様に言及しているためここでは省略する。

表 3-17 内部改築内容と行なっている住戸件数

	既存壁塗装	床仕上げ	天井新設	ロフト新設
件数	38(10)	40(8)	8(5)	5

※ () 内に転売タイプの住戸件数を示す。

基本住戸内部の改築方法の写真例



既存壁塗装



床仕上げ



天井新設



ロフト新設

結果として、既存住戸の壁塗装や床の仕上げを行う住戸がそれぞれ3分の2ずつであり、天井やロフトを新設する住戸は全体の10%程にしかならないことがわかった。

既存住戸の壁や床の改修を行う理由を住民に尋ねたところ、表面が粗い、汚いなどの理由から美しく整える必要があるということだった。床はシートやタイルで、壁はペンキやモルタルで仕上げを施していた。

次に、内部改築方法の典型パターンを把握するために、内部改修の程度を『既存のまま』、床や壁の仕上げのみを行う『改修のみ』、天井やロフトの新設を行う『新設』の3段階にわけ、3-3-3で述べた間仕切りの『A. 間仕切りなし』『B. 家具やカーテンによる間仕切り』『B木. 木材による間仕切り』の3分類と掛け合わせて分析を行う。

表 3-18 基本住戸内部の間仕切りの仕様と天井・ロフト新設と床や壁の改修の有無(n=60)

	なし	床や壁の改修のみ	天井・ロフト新設
A. 間仕切りなし	3(1)	5(2)	4(3)
B. 家具やカーテン	3	27(3)	8(2)
B木. 木材間仕切り	1	7(1)	2

※ () 内に転売タイプの住戸件数を示す。

結果として、内部の間仕切りには家具やカーテンを用い、床や壁の改修のみを行う住戸が約半数であった。これよりも多少大掛かりと言える天井やロフトの新設、木材による間仕切りを行う住戸は大きな資材を入手できる経済力と、頭上から天井やロフトが落ちてこないようなレベルでの施工技術をもつ住民のみが行えるのではないかと予想する。

以上より、多くの住戸で行われる『床や壁の改修』と『家具やカーテンによる簡易間仕切り』が典型的な内部改築方法だといえる。



図 3-15 典型的な住戸内観

3-3-6. 増改築のパターン分類

本項では、3-3-3 で述べた①室内化増築部の増築方向と内部間仕切りによる平面パターンと、3-3-4 で述べた②増築部の各部に使用される資材と、3-3-5 で述べた③基本住戸内部の改築方法を組み合わせ、増改築の典型パターンを分析する。分析方法としては、まず平面パターンと増築部使用資材を比較し(①×②)、その中で多くみられたものと内部の改築方法の組み合わせを分析する((①×②)×③)。

【①平面パターン×②増築部各部の仕様】

まず、①平面パターンと②増築部使用資材を比較分析する。平面パターンは Y 軸方向への増築があまり見られなかったため、X 軸方向にのみ着目して『室内化増築なし』『片側室内化』『前後室内化』の 3 パターンに分類し、増築部の壁・軒の資材と窓の有無に着目して、『壁に CHB と軒にトタンが使用され、増築部に窓がある/室内化していない』『壁に CHB と軒にトタンが使用され、増築部に窓がない』『壁に CHB か軒にトタンが使用され、増築部に窓がある/室内化していない』『壁に CHB か軒にトタンが使用され、増築部に窓がない』『壁に CHB、軒にトタンのどちらも使用されておらず、増築部に窓がある/室内化していない』『壁に CHB、軒にトタンのどちらも使用されておらず、増築部に窓がない』の 6 パターンに分類した。

表 3-19 室内化増築部の平面パターンと部位毎の仕様

	壁 CHB かつ軒トタン		壁 CHB もしくは軒トタン		壁・軒に木材やシート	
	前後窓あり /室内化し ていない	窓なし増築 部あり	前後窓あり /室内化し ていない	窓なし増築 部あり	前後窓あり /室内化し ていない	窓なし増築 部あり
 室内化増築なし	1	-	2	-	7	-
 片方室内化増築	13(2)	4(1)	3	1	3	2
 前後室内化増築	7(1)	14(8)	0	3	0	0

表 3-19 から、『CHB と軒にトタンを使って前後を室内化し、どちらかの増築部に窓がない』という住戸が 14 件で最も多くなり、次いで『CHB と軒にトタンを使って片側を室内化し、室内化増築部に窓がある』という住戸が 13 件であることがわかった。また、壁・軒に CHB もトタンも使用していない、すなわち壁と軒に木材やシートを使用している住戸は、前後とも室内化していない平面パターンが 7 件と、全体の中で 3 番目に多くなっている。

以上の結果から、増築部の平面パターンと壁・軒材と窓の有無の組み合わせとして代表的なパターンを示す。また、これを増築の典型パターンとする。

- A. 『CHB と軒にトタンを使って前後片側を室内化し、増築部に窓がある』 13 件
- B. 『CHB と軒にトタンを使って前後を室内化し、どちらかの増築部に窓がない』 14 件
- C. 『木材やシートを使って前後とも室内化しない増築がされている』 7 件

【増築の典型パターン(①×②)×内部改築方法③】

次に、上記の結果で明らかになった増築の典型パターンと、内部改築方法を比較する。内部改築方法の分類としては、『改築なし』、『床や壁の改修と間仕切りのみ』、『ロフトや天井の新設を含む』の3つを設定した。

表 3-20 増築の典型パターン×内部改築方法 の組み合わせ

	改修なし	壁や床の改修+間仕切りのみ	ロフトや天井の新設を含む
A. CHB と軒にトタンを使って前後片側を室内化し、増築部に窓がある	1	11(1)	1(1)
B. CHB と軒にトタンを使って前後を室内化し、どちらかの増築部に窓がない	3(1)	6(3)	5(4)
C. 木材やシートを使って前後とも室内化しない増築がされている	0	6	1

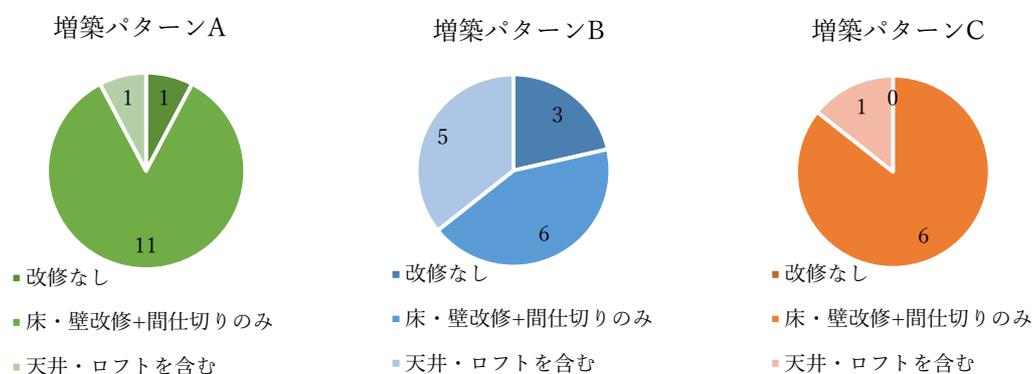


図 3-16 典型的な増築パターン別 内部改築方法分類の割合

以上から、増築パターンと内部改築方法の組み合わせ結果を以下に述べる。全体的に壁や床の改修、間仕切りをみの設置という簡易的な改修方法がとられていることがわかる。個別にみると、増築パターン B (CHB と軒にトタンを使って前後を室内化し、どちらかの増築部に窓がない) では他のパターンに比べてロフトや天井の新設を行う住戸が多いことがわかる。これらの住戸は前後への室内化増築部をみても内部の改築方法をみても比較的大規模な増改築を行い、住戸を大きく変化させている。一方、増築パターン A(CHB と軒にトタンを使って前後またはどちらかを室内化し、増築部に窓がある)や増築パターン C(木材やシ

ートを使って前後とも室内化しない増築がされている)では、ほとんどの住戸で内部の床や壁の改修、間仕切りの設置が行われており、増築も内部改築も簡易的なものにとどまっている。

まとめると、主に住戸の増改築方法として、前後へ CHB とトタンを使用して室内化増築を行う住戸は内部改築も天井やロフトを新設し、大きく住戸の様相を変化させる内容のものが行われることがあり、増築部が前後のうち片側、もしくは両方とも室内化されておらず、資材に木材やシートを使用する住戸では、内部の改築も簡易的なものにとどまること明らかになった。

以上の結果から、増築パターンと内部改築方法を組み合わせた増改築の典型パターンを示す。

表 3-21 増改築の典型パターン

	増築			内部改築	住戸 件数
	室内化度合い	構成資材	窓の有無	仕様	
パターン 1	片側室内化	CHB と トタン	あり	壁床改修、間仕切り 取り付けのみ	11
パターン 2	前後室内化	CHB と トタン	なし	壁床改修、間仕切り 取り付けのみ	6
パターン 3	前後室内化	CHB と トタン	なし	天井ロフト新設	5
パターン 4	室内化増築なし	木材やシート	—	壁床改修、間仕切り 取り付けのみ	6

【増改築パターンと増改築費・世帯収入の関係】

ここでは、これまでに明らかになった増改築パターンと増改築費、住民の世帯収入の関係を示し、これらが増改築方法にどのように影響しているかを分析する。

増改築の典型パターン凡例

	増築			内部改築	住戸 件数
	室内化度合い	構成資材	窓の有無	仕様	
パターン1	片側室内化	CHBとトタン	あり	壁床改修、間仕切り取り付けのみ	11
パターン2	前後室内化	CHBとトタン	なし	壁床改修、間仕切り取り付けのみ	6
パターン3	前後室内化	CHBとトタン	なし	天井ロフト新設	5
パターン4	室内化増築なし	木材やシート	—	壁床改修、間仕切り取り付けのみ	6

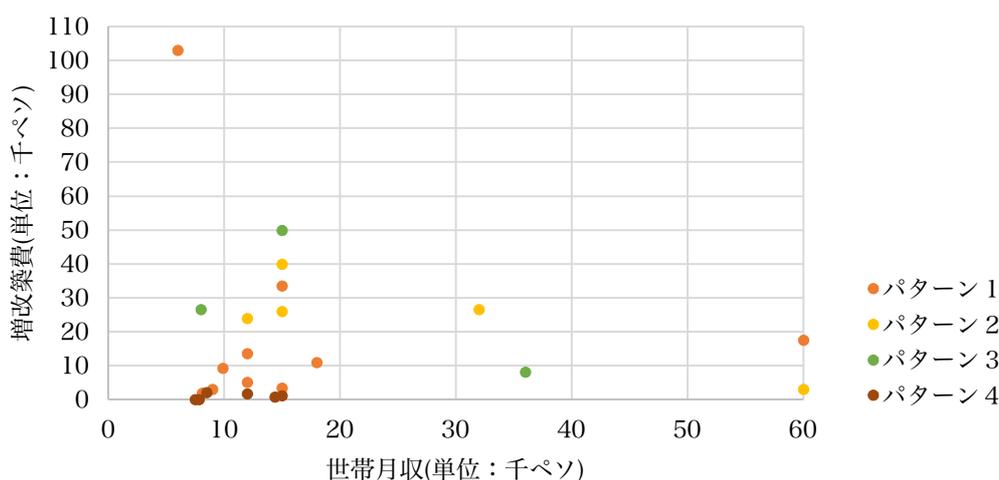


図 3-17 増改築の典型パターン別増改築費と収入の関係

結果として、例外的に所得の高い住戸を除いて概ねの住戸で世帯月収に大差はないが、増改築費に変化がみられ、増改築費が低い順に典型パターン4、1と続き、2と3はほぼ似たような増改築費であった。ここから、増改築費が高くなると考えられる増改築方法を以下に示す。

- 増築部を室内化する
- 木材やシートよりも CHB やトタンを使用する
- 既存住戸内部の床や壁の改修、間仕切りの取り付けだけでなく天井やロフトを新設する

3-4. 増改築理由と実施内容

3-4-1. 本節の目的と調査方法

本節では、セントマーサエステートにおいて住民が住環境に求めるものと今後増えると予想される増改築を把握することを目的としている。

調査方法は、内観調査を行なった Phase1a の 60 件を対象にした住民へのヒアリングを行なった。行程については内観調査と同様のため割愛する。住民へのヒアリング項目の中に、『セントマーサエステートへ移住して最初に増改築を行なった部位はどこか。また、それを行なった理由は何か。』と、『今後増改築を予定しているか、また、予定している場合はどんなことを計画しているか。』というものを入れ、それぞれに回答してもらった。移住後最初に行なった増改築をたずねたのは、住民が住環境にもっとも望むものが一番初めの増改築にあらわれるのではないかと考えたからである。

3-4-2. データ整理手法

データの整理手法としては、まず移住後最初に行われた増改築と今後計画される増改築それぞれについて、住民へのヒアリング調査から得られた回答を目的と実施内容にわけた。ここで、住戸 1 戸から 1 つの回答を得ずに複数回答を得ている場合があるため、合計件数の母数は調査住戸数と同じにならないことに留意する必要がある。次に、目的を『安全』『住民用空間の拡大』『客人用空間の拡大』『店舗空間の拡大』『水回りの分離』『プライバシー』『防雨・遮光・鳥よけ』『防暑』『既存住戸の粗さ・汚れの改善』『見栄え』『目的はないが資材を知人からもらったため使用した』というものに分類した。さらにこれに対応する実施内容が住戸の『前面部』『背面部』『既存住戸内部』のどこを対象としたものかによって整理し、目的と実施箇所による分析表を作成した(表 3-22,23)。また、わかる範囲で実施内容を簡易に表内に示した。

3-4-3. 移住後最初の増改築の目的と実施内容

まず、住民がセントマーサエステートに移住して最初に着手した増改築内容とその目的を整理する。

表 3-22 移住後最初の増改築の目的と実施内容一覧 (n=62)

目的		実施内容			合計 件数	
		前	後	中		
安全		前増築 6	後増築 6	中窓に鉄格子 2	14	
住 戸 拡 大	住民用 空間	LD・寝室・物置・レスト スペース	前ガーデニン グ 1	後増築 8	既存トイレ上 ロフト化 1	10
		水回りのみ	—	後増築 5	—	5
	客人用空間		前増築 1	—	—	1
	店舗空間		前増築 2	—	—	2
水回りの分離		—	—	中間仕切り 1	1	
プライバシー		—	後増築 1	中間仕切り 4	5	
防雨・遮光・鳥よけ		前庇 6	後庇 2	—	8	
防暑		—	—	中天井 1	1	
既存住戸の粗さ・汚れ改善		前床 1	—	中床 10、中 壁 1	12	
見栄え		—	—	中壁 2	2	
材を知人にもらった		—	—	中床 1	1	

要望に着目すると、『安全』『住戸の拡大』『既存住戸の粗さや汚れの改善』をあげる住民が多いことがわかった。

『安全』を目的とした増改築の実施内容をみると、住戸の前後に増築するというものが同数みられた。接道面である前面の方が他者との距離は近いと考えられるが、背面にも容易に回り込むことができるため、背面部からの侵入を警戒した増築が行われているようだ。

『住戸の拡大』という目的の中には、住民が生活する場だけでなく、客人用空間や店舗としての機能を持つ場を要望するものも少数みられた。住民用空間の拡大を目的とする増改築の実施箇所をみると、背面部に多く、対象的に客人用や店舗として使われる空間は前面部に増築をしているようだ。この客人用や店舗としての空間は、住環境の改善というよりも住

民の経済的な目的から生じていると考えられる。一方、水回りとりびングの分離を目的とした増改築は、フィリピンにおいて慣習的と言われている Dirty Kitchen¹⁴ という母屋と独立したキッチンを要望するものであり、住民のライフスタイルに合わせた増改築であると言える。

『既存住戸の床や壁の粗さを改善する』という目的に着目すると、『安全』『住戸拡大』に次いで全回答数の2割近くを占めており、これは政府から供給される基本住戸の施工精度の低さを示唆している可能性がある。上記の表3-22では移住後はじめに行われた増改築のみを選出しているが、表3-9の内観調査分析一覧表(p89)をみるとわかるように、調査対象住戸全体の3分の2程度で床と壁それぞれに対する改修が行われており、ここからも住民たちの基本住戸に対する不満がうかがえる。



図 3- 18 dirty kitchen 例(背面増築部)



図 3- 19 店舗例(前面増築部)

3-4-4. 今後の増改築計画

次に、今後の増改築計画として目的と計画内容を整理した表を以下に示す。

表 3-23 今後の増改築計画の目的と計画内容一覧

目的	実施予定内容				合計 件 数	
	前	後	中	二階		
安全	前増築 1	後増築 1、壁 強化 1	扉二重化 1	—	4	
住戸 の 拡 大	住民用空間	前増築 1	後増築 9	ロフト改修 1	二階増築 7	18
	レンタルルーム	植栽や仕上げ 1	—	—	—	1
	店舗空間	前増築 3	—	—	—	3
水回りの分離	—	水回り移設 2	—	—	2	
プライバシー	—	—	中間仕切り 1	—	1	
防雨・遮光・鳥よけ	—	—	屋根新設 1	—	1	
防暑	—	キッチン移設 1	—	—	1	
既存の粗さ・汚れ改善・見栄 え	—	—	床 4、壁 3	—	7	
計画なし	5				5	

※n=43

今後の増改築計画の目的に着目すると、『住民用空間の拡大』がもっとも多く、回答数の約 4 割を占めた。これに対する実施予定内容をみると、移住後最初の増改築の実施内容にはなかった『二階建ての増築』という回答が 7 件から得られている。

今回の調査対象住戸 60 件の中で二階・もしくは中二階を増築している住戸は 2 件のみ(図 3-21, 22)であったことからわかるように、現在二階建てなどの Z 軸方向への増築はあまりみられない。しかし、前面部と背面部の増築が完了してもなお住空間が不足していると感じる居住者が二階建ての増築を検討していると考えられる。しかし、二階建ての増築には適

切で丈夫な資材や施工者の技術が求められ、これまで以上の費用や時間がかかることとなる。事実、本研究で調査した2階建て住戸の増改築費がそれぞれ40万ペソと50万ペソと、全住戸の増改築費を平均した3万ペソを大きく上回っており、その住戸実態も他の住戸と比べて質が高い。

以上より、住民の経済力の向上、もしくは施工技術の向上が進めば適切に2階建などの高さ方向への増築が行われるが、住民の乏しい施工技術や経済力で高さ方向への増築がされると安全や衛生に悪影響が出る可能性があるといえる。



図 3-20 二階増築例

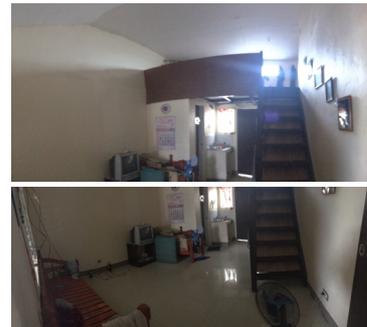


図 3-21 内部にロフト新設例

3-4-5. 住民の住環境に対するニーズと今後増加すると予想される増改築

以上の結果から、住環境に対する住民のニーズと今後増加すると予想される増改築について整理する。

住民がセントマーサエステートに移住して最初に住環境に望むものは、『安全』『住戸の拡大』『既存住戸の壁や床の粗さ、汚れを改善する』であるといえる。住戸の拡大としては住民が生活する場だけでなく、店舗や来客用の場所をつくるために増築を行うものもみられ、増築方向としては住民の生活の場が背面部、店舗や来客用の場所が前面部に増築されることが明らかになった。また、既存住戸の壁や床の汚れを改善するためにペンキやモルタルによる湿式仕上げやシートによる被覆を行う住戸比較的多く存在したことから、政府から供給される基本住戸の施工精度の粗さに住民が不満をもっていることがうかがえる。

次に、今後増加すると予想される増改築として、二階建ての増築が考えられる。多くの住民が前面部や背面部に住戸空間を拡大する行為が見られるが、それでもなお住民が満足する広さを確保できておらず、二階建ての増築を計画するという声が多くきかれた。しかし二階建ての増築にはおそらく資材や技術的な施工者の雇用などに多くの費用がかかり、容易に行えるものではないと考えられる。住民の経済力の向上、もしくは施工技術の向上が進めば適切に2階建などの高さ方向への増築が行われるが、住民の乏しい施工技術や経済力で高さ方向への増築がされると安全や衛生に悪影響が出る可能性があるといえる。

3-5. 小 結

第2節では、セントマーサエステートの Phase1a における住環境実態を把握するために、接道面から住戸 951 件の写真を撮影し、住戸の典型的な増築パターンをみつけ、街の構造を明らかにした。

まず、住戸の典型的な増築パターンをみつけるために、接道面増築部の室内化度合いと、壁、軒、窓材について分析した。室内化度合いとしては、軒と壁が接し完全に室内化されたものが全体の半数近くになり、残りは半室内化、もしくは屋外のままであることがわかった。増築部の各部資材としては、壁は CHB、軒はトタン、窓は金網か鉄格子が最も多く、それぞれ4割、7割、5割程度の住戸で使用されていることがわかった。また、増築部を室内化している住戸の各部資材の組み合わせとしても、壁に CHB、軒にトタン、窓に金網や鉄格子という組み合わせがもっとも多く、これが増築の典型パターンであることが明らかになった。

次に、街の構造を把握するために、前面を店舗にしている住戸や、住民が道端をレストスペースにしている場所、植物を育てている住戸などを地図上にプロットしたところ、メイン通りなどの広い通りには店舗を営む住戸が多く軒を連ね、少し細い道に入るとレストスペースとして路地を活用するなどの場所が多いことがわかった。また、植栽を施す住戸は比較的寄り集まって存在しており、住民へのヒアリングから植物は購入するよりも近隣住民の間で譲渡される傾向があるという話がきけた。

第3節では、外観調査を行なった住戸から 60 件を選出し、外観からは確認できなかった住戸の内観、背面部に踏み込んだ詳細な増改築実態を明らかにした。外観調査と同様に、室内化された増築部に限った増築方向と、増築部の資材によって前後増築部の仕様を整理することに加えて、内部の改築方法としてよく見られた間仕切り、天井、ロフトの新設と、既存壁と床の仕上げをそれぞれ行なっているかを分析した。

まず、室内化増築部の増築方向と基本住戸内部の間仕切りの有無によって住戸の平面パターンを分類したところ、前面背面のどちらかを室内化し、布や家具により簡易的な間仕切りを取り付けているものが3割でもっとも多いことが明らかになった。

次に、前面増築部の資材には、外観調査とほぼ同じ割合で、壁に CHB、軒にトタン、窓に鉄格子や金網が使用されており、結果として調査住戸 60 件は概ねその仕様に大きな偏りなく 951 件から選出されていると考えられる。背面増築部では、壁にトタンなどの金属、軒にトタンやシート材が多く使われ、室内化された増築部にも関わらず窓が設けられていない住戸が全体の3割を占めて最も多いことがわかった。ただし、一定数の住戸の背面部に

は、トタンの間にポリカーボネートをはさんで使用するものが見られたことから、背面部では隣住戸と壁を共有するため壁に開口を設けることが難しく、屋根面から採光をとる手法がとられるのではないかと考えられる。また、内部調査では外観からは確認することが難しかった床材の分析も行なっており、前面・背面ともにセメントを敷設するものが最も多くなったが、背面は既存地面のままの住戸もセメントを敷設する住戸とほぼ同数存在することが示された。理由として、背面部は物置やガーデニングとして機能しており、セメントを敷く必要性がないのではないかと考えられる。

次に、住戸内部の改築方法を、間仕切り、天井、ロフトの新設と既存床、壁の仕上げのいずれを行なっているかによって分類したところ、家具やカーテンによる間仕切りと床や壁の仕上げのみの簡易改修を行う住戸が全体の約半数であることがわかった。

最後に、増築と改築の方法を組み合わせた増改築の典型パターンを分析したところ、壁に CHB、軒にトタンを用いて前面か背面のどちらかを室内化する増築方法と、基本住戸の壁や床の改修と間仕切りを取り付ける改築方法をとる住戸が全住戸の約 16%でもっとも多いことが明らかになった。以下の表 3-25 に該当件数が多くなった 4 つの典型パターンを示す。表中のパターン 3 から、増築方法として CHB とトタンを用いて室内化するという方法をとる住戸は、内部改築でも天井やロフトの新設を行い、全体に住戸に大きく手を加えていることがわかった。また、これらの増改築パターン毎に、増改築費と世帯収入を比較したところ、どのパターンも世帯収入に大差はないが、増改築費はパターン 4 がもっとも安く、次いで 1、2、3 となり、増築費が高額になる条件として、『室内化増築部が多い』『木材やシートよりも CHB やトタンを多用』『既存住戸内部の天井やロフトの新設』があげられた。

表 3-24 増改築の典型パターン

	増築			内部改築	住戸 件数
	室内化度合い	構成資材	窓の有無	仕様	
パターン 1	片側室内化	CHB とトタン	あり	壁床改修、間仕切り 取り付けのみ	11
パターン 2	前後室内化	CHB とトタン	なし	壁床改修、間仕切り 取り付けのみ	6
パターン 3	前後室内化	CHB とトタン	なし	天井ロフト新設	5
パターン 4	室内化増築なし	木材やシート	—	壁床改修、間仕切り 取り付けのみ	6

第4節では、60件の住民に対するヒアリング調査から、セントマーサエステートにおいて住民が住環境に求めるものと、今後増えると予想される増改築を把握した。住民が移住当初に住環境に望むものは『安全』『住戸の拡大』『既存住戸の粗さや汚れの改善』であり、住民の生活空間は背面部へ、店舗やレセプションは前面部へ増築されることが明らかになった。また、今後は住戸の拡大を目的とした二階建ての増築を計画する住民が多くいることが示され、安く質の悪い資材を用いて施工技術の乏しい住民が施工することで、二階建て増築は住環境の安全や衛生に悪影響を及ぼすのではないかという懸念が生じた。

4 章 増改築生産システムと住民属性

4-1 | 本章の概要

4-1-1 | 目的と調査方法

4-1-2 | 章構成

4-2 | 住民属性と住環境への意識

4-3 | 増改築生産システム

4-3-1 | 計画段階

4-3-2 | 施行段階

4-3-3 | 資材調達段階

4-3-4 | 生産過程における住民主体度合い

4-4 | 増改築生産システムのパターン分類

4-5 | 小結

4章 増改築生産システムと住民属性

4-1. 本章の概要

4-1-1. 目的と調査方法

本章では、セントマーサエステートに住む人々の属性、住民による増改築の生産システムを明らかにし、増改築生産システムの典型パターンをみつけだすことを目的とする。

調査方法は、第3章で内観調査を行なった、Phase1aから選出した60件を対象としたヒアリングにより行った(図4-1)。ヒアリングの項目については表4-1に示し、各住戸の分析結果一覧表を表4-2に示す。



図4-1 Phase1aの中で選出した60件の調査対象住戸

※青く塗られた住戸は調査したが調査内容不足、もしくは特異例で分析が難しいと判断したため分析からは除いている。

表 4-1 本章で取り扱う住民へのヒアリング項目一覧

住民属性に関する項目	基本情報	居住者の住戸所有形態
		居住者数
	経済状況	世帯月収
		増改築に関する融資の融資元
		現在の借金の有無と借金先
	コミュニティ状況	セントマーサエステート内部に何人友人がいるか
上記の友人と移住前から友人であったか、移住後に関係をもったか		
住民の住環境に対する意識に関する項目		地域コミュニティに満足しているか
		永住希望か
増改築生産システムに関する項目	増改築実態に関する項目	増改築費
	計画段階	増改築の計画者が誰か
	施行段階	施工者が誰か
		施工者が住民ではない場合の住民と施工者の関係
		施工者は仕事として施行を行なっているか
		施工者は誰かから施行を教わったことがあるか
		施工費をいくら支払っているか
	資材調達段階	資材調達者
		資材調達方法

4-1-2. 章構成

第2節では、対象住戸 60 件の居住者属性を分析する。

第3節では、増改築の生産システムを計画・施工・資材調達の段階毎の、関係主体と資材調達の方法を分析する。また、各生産段階での関係主体に着目し、住民がどの程度関わったかという『住民主体度合い』を各段階において整理したのちに、全段階を通しての住民主体度合いの分析を行う。

第4節では、第3節で述べる増改築生産システムの分析結果から、増改築の計画・施工・資材調達それぞれの段階を組み合わせた増改築生産システムのパターン分類を行う。

表 4-2 増改築生産システムと住民属性一覧

	増改築生産実態					住民属性と意識										
	設計者	施工者		資材調達者と方法		世帯人数	1戸あたりの増改築費(千円)	経済状況			コミュニティ状況			永住希望	所有形態	
		内	外	住民	他(調達者)-(調達方法)			世帯月収(千円)	現在借金の有無と融資元	増改築融資経緯と融資元	(友人と会ったのは移住前か後か)-(友人数)	交友の場	満足度			
住戸1	住	住△	—	市場	—	4	0	7.5	○知人	—	—	前10	外	○	×	受
住戸2	住	住△	—	再利用	—	9	0	4.55	—	—	—	前50	住戸内外	○	○	受
住戸3	所有者	—	他○	職場	—	3	0	23.6	—	—	—	後20	住戸内外	○	○	借
住戸4	住	住○	—	—	知-譲	3	0	7	—	—	—	前後50	外	○	○	受
住戸5	住+友	住 他○	—	再利用	施-店 知-譲	1	0	0.5	—	—	—	前後20	外	○	○	受
住戸6	住	住○	—	再利用	知-譲	4	0	7.8	○小売店	—	—	前10	住戸内	○	○	受
住戸7	住	住	—	店舗購入	—	5	0.7	14.4	—	—	—	前50	住戸内外	○	○	受
住戸8	親戚	他○	—	店舗購入,再利用	—	9	0.735	4.8	—	—	—	前20	外	○	○	受
住戸9	住	住△	—	店舗購入	—	5	1	9	○?	—	—	前後200	住戸内外	○	○	受
住戸10	住	住△ 他○	—	店舗購入	知-譲	5	1.13	15	○?	—	—	前たくさん	住戸内外	○	×	受
住戸11	住	住	—	店舗購入,再利用	知-譲	5	1.2	8.24	—	—	—	前2	外	○	×	受
住戸12	住	住○	—	店舗購入,職場	—	10	1.3	7.6	○小売店	—	—	前後たくさん	住戸内外	○	○	受
住戸13	住	住△	—	店舗購入	知-譲	6	1.475	8	○?	—	—	後20	外	○	○	受
住戸14	住	住	—	店舗購入	知-譲	7	1.7	12	—	—	—	前40	外	○	×	受
住戸15	住	住	—	店舗購入	—	3	1.9	8.1	?	?	?	?	?	?	○	受
住戸16	住	住○	—	店舗購入	NHA-再	10	2	27	—	—	—	前20	外	○	△	受
住戸17	住	他○	—	店舗購入	—	5	2.125	8.5	—	—	—	後2	住戸内外	○	○	受
住戸18	住	住	他	店舗購入	—	9	3	8.4	—	—	—	後10	住戸内外	△	×	受
住戸19	住	住◎	—	店舗購入	—	7	3	32	○知人	○知人	—	後10	外	○	○	転
住戸20	住	住 他○	—	—	施-店	4	3	9	—	○知人	—	前5	住戸内外	○	○	受
住戸21	住	住△	—	店舗購入	知-譲	6	3	6.5	?	?	?	?	?	○	○	受
住戸22	住	他○	他	店舗購入	—	8	3.3	15	○政府	○政府	—	後4	住戸内	○	○	受
住戸23	住	住	—	店舗購入,再利用	—	7	4.5	7.5	○知人	—	—	後20	外	○	○	受
住戸24	住	住	—	店舗購入	NHA-再	5	5	12	○?	—	—	後3	住戸内外	○	○	受
住戸25	住	住 他○	—	店舗購入	—	4	5.5	3	○?	○?	—	前10	外	○	○	受
住戸26	住	住○	—	店舗購入	—	5	7.5	5	○NGO	—	—	前後100	住戸内外	○	○	借
住戸27	住	他○	—	店舗購入	—	6	8	36	—	—	—	前4	住戸内外	○	×	転
住戸28	住	住	—	店舗購入	—	7	8.02	6	○小売店	—	—	前後40	住戸内外	○	○	受
住戸29	住	他○	—	店舗購入	知-譲	2	9.1	9	○政府	○政府	—	前100	外	○	○	受
住戸30	住	住 他◎	—	店舗購入	施-店 知-譲	2	9.2	9.9	—	—	—	前後20-30	住戸内外	○	○	受
住戸31	住	住○	—	市場	知-譲	7	11	18	—	—	—	前100	外	○	○	受
住戸32	住	住△ 他○	—	店舗購入	知-譲	6	13.5	12	—	—	—	前後10	住戸内	○	○	受
住戸33	住	他	—	店舗購入	—	3	17.5	60	○コープ	—	—	後10	外	○	○	受
住戸34	住	住 他△	—	店舗購入	—	5	17.5	17	○?	—	—	0	—	○	○	受
住戸35	住	住◎	他◎	店舗購入	知-譲	8	18	3	○?	—	—	前50~100	住戸内外	○	○	借
住戸36	親戚	他○	—	職場	—	3	18.25	7.5	?	?	?	?	?	?	△	転
住戸37	住	他○	—	店舗購入	—	7	18.25	8	?	?	?	?	?	?	△	転
住戸38	住	他○	—	店舗購入	—	5	24	15	○政府	○政府	—	後5	住戸内外	○	×	受
住戸39	住	住△ 他○	—	店舗購入	—	4	25	35	—	—	—	前2後2~3	外	○	×	転
住戸40	親戚	他○	—	—	施-店	7	25	不定	—	—	—	後5	店	○	○	転
住戸41	住	住	—	店舗購入	—	5	26	18	○?	—	—	前100	住戸内外	○	○	受
住戸42	住	住◎	—	店舗購入	—	4	26.6	15	?	?	?	?	?	?	?	転
住戸43	住	他◎	—	店舗購入	—	3	26.6	25	?	?	?	?	?	?	?	転
住戸44	住	他◎	—	店舗購入	—	3	26.6	8	—	—	—	後50	住戸内外	○	?	転
住戸45	住	—	他○	店舗購入	—	8	31	11.75	○?	—	—	前10	住戸内外	○	○	受
住戸46	住	他◎	—	店舗購入	知-譲	2	33.6	15	○MFI	—	—	前10	住戸内外	○	○	受
住戸47	住	住◎	—	店舗購入	—	3	40	60	—	—	—	後5-7	外	○	×	転
住戸48	住	住 他○	—	店舗購入	知-譲	8	46	18	○?	—	—	前10	店	○	×	受
住戸49	住	住○	—	店舗購入	—	5	47	不定	—	—	—	後10	住戸内外	△	×	受
住戸50	住	—	他○	店舗購入	—	5	50	15	○銀行、知人	○銀行	—	後10	住戸内外	○	○	転
住戸51	住	他○	—	店舗購入	—	7	86	14.7	—	—	—	前後15	住戸内外	○	○	受
住戸52	住	他	他	店舗購入	—	6	95	29	—	○?	—	後20	店	○	○	受
住戸53	住	住	他○	店舗購入	—	5	103	6	—	—	—	前後20	住戸内外	○	○	受
住戸54	住	他○	他	—	施-店	6	400	不定	○融資会社	○融資会社	—	後30	外	○	×	受
住戸55	住	他◎	—	—	施-店	6	500	90	—	○知人	—	後5	外	×	○	受
住戸56	住	住○	—	店舗購入	—	5	?	不定	—	—	—	前30	外	△	○	受
住戸57	?	?	?	?	—	4	?	2.5	?	?	?	後5	外	○	?	借
住戸58	住	他○	—	再利用	—	3	?	1.2	○?	○?	—	前5	外	○	○	受
住戸59	住	住◎	—	店舗購入	知-譲	7	?	25.5	—	—	—	前20	住戸内外	○	○	受
住戸60	住	他○	—	店舗購入	—	4	?	22	○政府	—	—	後5,6	外	○	○	転

【凡例】

設計者・施工者 | 住：住民、所有者；借家の場合の貸し主、他：住民と所有者以外の人物
 資材調達者 | 施：住戸の増改築を行った施工者、知：住民の知人
 資材調達方法 | 市場：市場で入手、職場：職場で入手、再利用：従前居住地で使用していたものをリサイクル、譲：譲渡
 増改築費と世帯月収 | 単位 千円
 所有者タイプ | 受：受益者が住戸に住む、転：転売により住戸を取得した人が住戸に住む、借：親戚や知人から無償で住戸を借りている人が住戸に住む
 灰色ハッチング | 生産過程にお金のやり取りが生じたもの。

4-2. 住民属性と住環境への意識

調査を行った 60 件を対象に、住民の属性と住民の住環境への意識を以下にまとめる。項目は、『居住者の住戸所有形態』『居住者数』『世帯月収』『増改築費』『増改築に関する融資を受けた経験の有無と融資元』『増改築に限らず多目的に借りられている借金の有無と借金先』『セントマーサエステート内部に住む友人の数と友人と出会ったのは移住前か後か』『現状の地域コミュニティに満足しているか』『セントマーサエステートに永住を希望するか』の 9 項目である。

【居住者の住戸所有形態】

まず、居住者の住戸所有形態に着目すると、事業の受益者が住む住戸は 44 件であり、他に、以前セントマーサエステートに住んでいた人から他者に売り渡された転売タイプと、受益者から他者に無償で賃借されている借家タイプの住戸があることが明らかになった。転売により移住してきた人々については住民属性が受益者と異なると考え、今後の分析の際には個別に言及する。

表 4-3 居住者の住戸所有形態

	受益者が住む	受益者から住戸を 購入して住む(=転売)	知人から 無償で借りて住む	合計
該当件数	44	12	4	60

【居住者数】

60 件の住戸の居住者数の分布と平均人数を整理する(表 4-4)。居住者数の分布として、5 人が居住する住戸がもっとも多く、14 件となった。3 人から 7 人が住む住戸が多く、全体の 8 割近くがここに含まれる。居住者数の平均も 5 人程度であることがわかった。

表 4-4 居住者数の分布と平均

	居住者数									
	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人	9 人	10 人
該当住戸件数	1	3	9(4)	8(3)	14(1)	7(1)	9(3)	4	3	2

※ () 内に転売タイプの住戸件数を記す。

	全体(60 件)	転売タイプ(12 件)
平均	5.33 人	4.66 人

【世帯月収】

次に、世帯月収の分布と平均をみる(表 4-5)。

調査住戸全体では、世帯月収の分布は 5 千ペソから 1 万ペソの間という住戸が最も多く、平均は 15,800 ペソとなった。

転売タイプの住戸に関しては、世帯月収の分布として 2 万ペソ以上の住戸がもっとも多く、平均が 23,950 ペソと全体の平均よりも約 1 万ペソ高いという結果から、比較的所得の高い世帯が多いことがわかった。

表 4-5 世帯月収の分布と平均(金額単位：ペソ)

	0~5,000	5,001 ~10,000	10,001 ~20,000	20,001 ~90,000	不定
該当件数	8	20(3)	16(2)	12(5)	4(1)

	全体(60 件)	転売タイプ(12 件)
平均	15,800 ペソ	23,950 ペソ

【増改築費】

次に、増改築費の分布と平均をみる(表 4-6)。ここでいう増改築費とは、基本住戸 1 戸にかかる増改築費とし、連棟(2 件以上を共有して親戚や家族が住んでいる住戸)で合計の増改築費が分かっている場合、合計増改築費を基本住戸数で割った数値を分析に使用する。

調査住戸 60 件全体についてみると、1 戸あたりの増改築費が 3 千ペソ以下である住戸が 3 分の 1 を占めてもっとも多くなり、平均は 32,700 ペソとなった。

転売タイプの住戸のみについてみると、増改築費が 3 千ペソ以下の住戸は 1 件しかなく、12 件中 9 件が 1 万ペソ以上と比較的高額な増改築費である住戸が多いことがわかった。しかし、平均としては全体の 32,700 ペソよりも約 8 千ペソ低い 24,300 ペソとなった。理由として、受益者が住む住戸の中に増改築費が 40 万ペソと 50 万ペソの住戸があり、これらの住戸が全体の増改築費の平均をあげていることが考えられる。前述の 2 件を除いた全体の平均は 16,200 ペソであり、転売タイプの住戸の増改築費平均よりも約 8 千ペソ低いことがわかった。

表 4-6 1 戸あたりの増改築費の分布と平均

	0~3,000	3,001 ~10,000	10,001 ~25,000	25,000 ~50,000	不明
該当件数	21(1)	9(1)	10(4)	15(5)	5(1)

※ () 内に転売タイプの住戸件数を記す。n=12

	全体(55 件)	転売タイプ(11 件)	特に高い住戸 2 件を除いた平均(53 件)
平均	32,730 ペソ	24,300 ペソ	16,232 ペソ

※平均値を算出する際には増改築費が不明であった住戸を除いている。

【増改築に関する融資を受けた経験の有無と融資元】

次に、住民がこれまでに増改築に関する融資を受けた経験があるか、また、受けた経験がある場合には融資を受けた相手(以下、融資元)について着目する。現状は返済し終えたものも含んでいる。結果として、ほとんどの住戸で増改築に対する融資を受けた経験はないことがわかった。

表 4-7 増改築に関する融資元

	なし	知人	政府 ・ NGO	銀行 ・ 会社	借金先 不明	借金の有無不明
該当件数	42(6)	3(1)	3(1)	2(2)	3	7(4)

※『借金先不明』とは、借金をしている事実は確認できたがどこに借りているかはわからないというものをさす。

【増改築に限らず多目的に借りられている借金の有無と借金先】

現在住民に借金があるか否かと、ある場合の借金先をみると(表 4-8)、約半数の住民が何かしらの借金をかかえていることがわかった。

表 4-8 現在の借金の有無と借金先

	なし	知人 ・ 小売店	政府・ NGO	銀行・ 会社・ コープ・ MFI	借金先不明	借金の有無 不明
該当 件数	27(5)	6(1)	5(1)	4(1)	11	7(4)

【セントマーサエステート内部に住む友人の数と、友人と出会ったのは移住前か後か】

セントマーサエステートに住む友人がおおよそ何人いるか、また友人との関係は移住前からあったか後に形成されたかについて分析する(表 4-9)。この質問を住民にする際には、友人の定義として『よく会話をする人』として以下の回答を得ている。

結果をみると、概ねの住民が地域に友人がおり、人数としては 1~200 人と幅があることがわかった。

また、出会った時期としては、移住前から交友関係があった、つまり従前居住地でのコミュニティが継続しているという住戸が 6 割以上という結果が得られた。再定住事業の問題点として、従前の居住地から移住先が遠く離れ、以前のコミュニティが継続しないというものがあるが、セントマーサエステートではその問題があまり深刻ではないことになる。要因にセントマーサエステート事業における移住方法が加味していると考えられる。受益者がセントマーサエステートに移住する際には入居できる住戸の中から受益者が選択することができ、親戚や友人が同時に移住申請をすれば近隣の住戸に暮らすことが可能である(第 2 章)。つまり移住前からのコミュニティが現在にも継続しやすい移住方法であると言える。

転売者のみに着目すると、友人数が 10 人以下という回答が多く得られた。また、友人との関係が築かれた時期が移住前か後かに着目すると、移住後という回答が多く、従前の居住地から継続した交友関係はあまりないことがわかる。

表 4-9 地域の友人の数と出会った時期

		友人との関係は移住前にあったか、後にできたか		
		前	後	前後
友人数	1~10	10(1)	14(5)	2(1)
	11~	12	6(1)	9
	0	1		

※ () 内に転売タイプの住戸件数を記す。

※回答が得られた 54 件(うち転売者 8 件)のみを対象とする。

【現状の地域コミュニティに満足しているか】

住民が現状の地域コミュニティに満足しているか否かに着目すると、大概の住民が現状に満足しているということがわかった(表 4-10)。

表 4-10 地域コミュニティに満足しているか

	満足しているか		
	満足している	満足しているがさらなる向上を望む	満足していない
該当件数	51(8)	3	1

※回答が得られた 55 件(うち転売者 8 件)のみを対象とする。

【セントマーサエステートに永住を希望するか】

住民がセントマーサエステートに永住を希望するか移住を希望するかに着目すると、7割以上の住民がセントマーサエステートに永住することを望んでいることがわかった。ただし転売者にのみ言及すると、回答が得られた 9 人のうち、永住希望者は 4 人という結果となり、セントマーサエステートでの暮らしづらさを感じている住民が多いと考えられる。

表 4-11 永住希望か移住希望か

	希望の種類		
	永住を希望する	今のところ永住を希望するが場合によっては移住したい	移住を希望する
該当件数	41(4)	3(2)	12(3)

※ () 内に転売タイプの住戸件数を記す。

※回答が得られた 56 件(うち転売者 8 件)のみを対象とする。

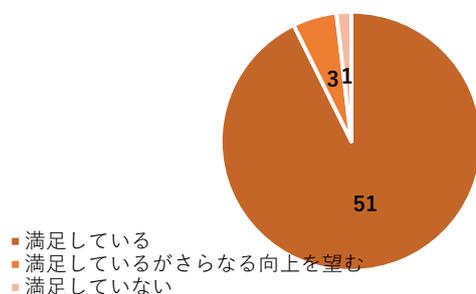


図 4-2 地域コミュニティに満足しているか

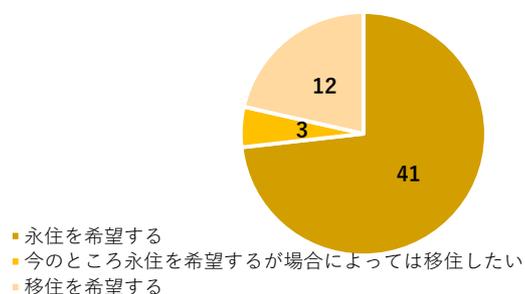


図 4-3 セントマーサエステートに永住を希望するか

4-3. 増改築生産システム

60 件を対象に行ったヒアリング調査の結果から、住宅増改築の生産システムを整理する。増改築の生産段階を計画段階・施工段階・資材調達段階の 3 つにわけ、それぞれの関係主体と資材調達段階の方法を分析する。また、ヒアリング対象者が住戸の増改築生産について多くを知らない住戸が 1 件あったため、特に言及がなければ 59 件を対象とする。

4-3-1. 計画段階

増改築の計画段階に着目すると、概ねの住戸で住民が計画を行なっていることがわかった。住民以外が行なっているものは、対価の払われたものはなく、設計料は全て無料であった。具体的には、連棟に住む住民の親戚（連棟同時設計）・住民の父・住民の娘・借家の実際の持ち主・近隣に住むデザイン経験のある友人が含まれる。

表 4-12 増改築計画者

	住民	その他	合計
該当件数	53(10)	6(2)	59

※（ ）内に転売タイプの住戸件数を記す。

4-3-2. 施行段階

本項では施工段階において、①施工者が住民かそれ以外の人物が関わっているか、②施工費が発生しているか否か、③施工者の施工技術があるか否かに着目して分析を行う。

【施工者属性】

まず、施工者をそれぞれ『住民のみ』『住民とセントマーサエステート内部在住者（以後、内部者）』『住民とセントマーサエステート外部在住者（以後、外外部者）』『住民と内部者と外部者』『内部者のみ』『外部者のみ』『内部者と外部者』に分類し、それぞれに該当する住戸の件数を算出した(表 4-13,図 4-4)。

全体の結果としては、住民による施工がもっとも多く、25 件となった。次いで内部者のみが行うものが 16 件、住民と内部者によるものが 9 件と続いた。外部者が施工に関わるものである『住民と外部者』『住民と内部者と外部者』『外部者のみ』『内部者と外部者』を合計した件数は全体の 15%ほどにしかならず、大多数の住戸ではセントマーサエステートの内部で施工者がまかなわれているという現状が把握できた。

転売タイプの住戸のみに着目すると、住民は関わらず内部者のみが施工を行う住戸が 7 件ともっとも多くなった。

表 4-13 増改築施工者

	住民	住民と他者の共同		他者			合計
		住民 +内部者	住民 +外部者	内部者	外部者	内部者+外	
該当件数	25(3)	9(1)	3	16(7)	3(1)	3	59

※ () 内に転売タイプの住戸件数を記す。

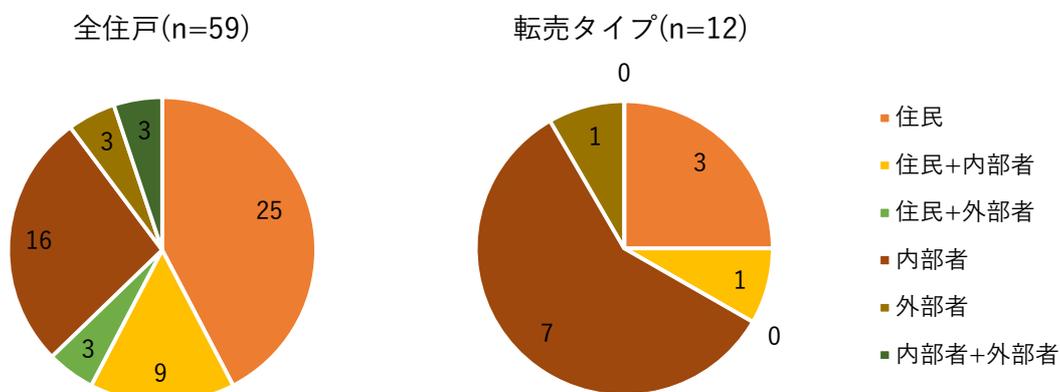


図 4-4 全住戸と転売タイプ住戸の施工者分類別割合

【施工費の有無】

次に、施工者へ支払う施工費が発生しているかを把握するため、住民以外が施工を行っている住戸 34 件を対象として『施工費なし』と『施工者を雇用した』に分類する(表 4-14)。

全体の結果としてはセントマーサエステートの内部者を雇用する住戸が 12 件ともっとも多くなった。住民以外の人物が無償で施工を行うものに関しては、このうち 7 件が親戚による施工であった。逆に言うと、2 件では住民と親戚でないにも関わらず無償で施工を手伝っていることがわかった。

転売タイプのみに着目すると、住民以外が施工を行っている 9 件のうち 7 件が施工者を雇用していることがわかった。施工費がかからない 2 件の施工者を個別にみると、連棟に住む親戚による施工だということがわかった。つまり、転売タイプの住戸では親戚の手伝い以外、他者からの無償の施工は受けていないことになる。

表 4-14 施工費の有無

	住民 +内部者	住民 +外部者	内部者	外部者	内部者 +外部者	合計
施工費なし	2	1	4(2)	2	0	9
雇用	7(1)	2	12(5)	1(1)	3	25

※ () 内に転売タイプの住戸件数を記す。

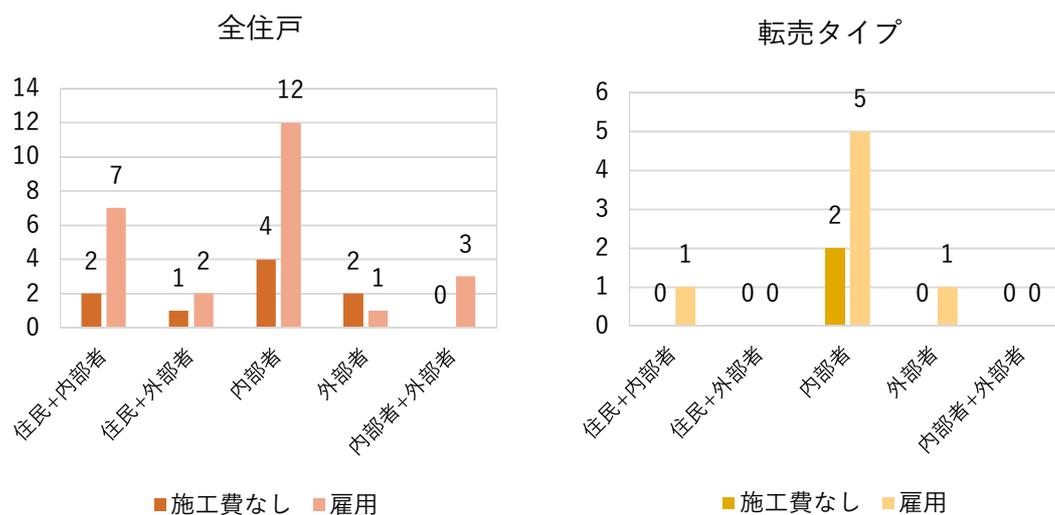


図 4-5 全住戸と転売タイプ住戸の施工費の有無別割合

【施工者の施工経験】

次に、施工者の施工技術の把握のため、調査住戸 59 件を、施工者が施工会社に勤めるなど施工費を支払われる施工を行った経験(以後、施工経験)がある、施工経験はないが知人に教わったことがある、施工経験も知人に教わったこともない、という3つに分類した。ただし、施工者の施工経験が把握できなかった住戸3件を除いて分析している。

全体の結果をみると、施工経験があるというものがもっとも多く、39件となった。このうち住民自身が施工を行うものは8件しかなく、残りの31件は技術のある施工者に依頼をして施工を行ったということがわかった。

転売タイプのみ結果をみても、住民以外の施工経験者が施工するものがもっとも多かった。施工経験者が施工をしていない住戸は1件しかなく、転売タイプの住戸は概ね技術のある施工者が施工を行なっていると言える。

表 4-15 増改築施工者の施工経験

	仕事としての施工経験あり		施工経験はないが教わったことがある	施工経験がなく教わったこともない	合計
	住民以外	住民			
該当件数	31(11)	8(1)	4	14	57

※ () 内に転売タイプの住戸件数を記す。

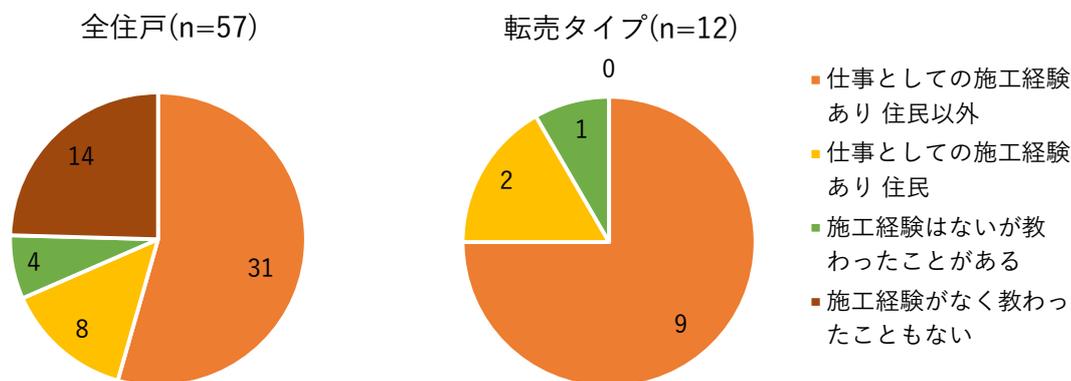


図 4-6 全住戸と転売タイプの増改築施工者の施工経験別割合

4-3-3. 資材調達段階

本項では、資材調達段階において、資材調達者と、資材調達方法に着目して分析を行う。

【資材調達者属性】

まず、施工調達段階と同様に、資材調達者によってそれぞれ『住民が入手した資材のみ』『住民が入手した資材と知人から譲渡された資材』『住民が入手した資材と NHA が従前居住地から運送した資材』『住民が入手した資材と知人から譲渡された資材と NHA が従前居住地から運送した資材』『住民が入手した資材と知人から譲渡された資材と施工者が購入した資材』『知人から譲渡された資材のみ』『施工者が購入した資材のみ』に分類し、それぞれに該当する住戸の件数を算出した(表 4-16,図 4-7)。

全体をみると、住民が資材を入手していることが 37 件で全体の 6 割を超えてもっとも多く、他者が入手した資材のみを使用している住戸は 8 件しかないことがわかった。住民が入手した資材に加えて知人から譲渡された資材を使用する住戸も、住民のみが入手する住戸に次いで多くなった。また、NHA へのヒアリング調査からは確認できなかったが、住民へのヒアリング調査からは、NHA により住民が以前住んでいた場所からセントマーサエステートまで運送された資材を使用する住戸も、2 件と少数ではあるが確認できた。全体的に資材調達は住民が行う傾向があるようだ。

転売タイプの住戸のみに着目すると、12 件中 1 件が施工者の調達した資材を使用し、他の 11 件が住民の入手した資材のみを使用していることが明らかになった。

表 4-16 増改築の資材調達者

	住民のみ	住民入手と他者入手どちらもあり				他者のみ		合計
	住民	住民+知人	住民+NHA	住民+知人+NHA	住民+知人+施工者	知人	施工者	
該当件数	37(11)	12	1	1	7	4	4(1)	59

※ () 内に転売タイプの住戸件数を記す。

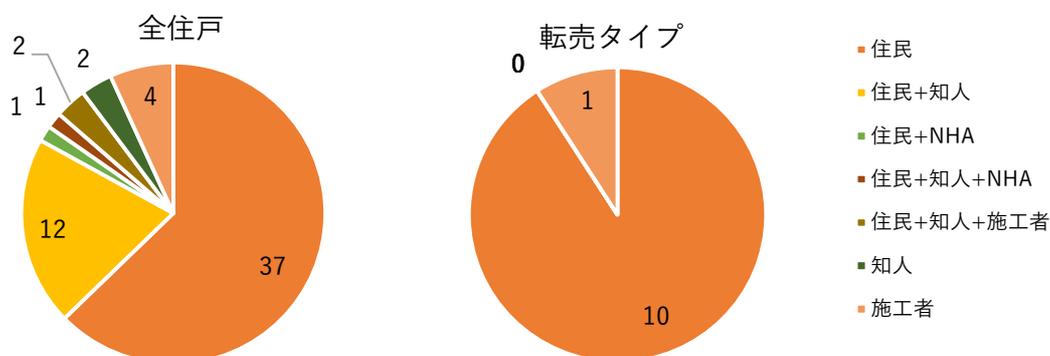


図 4-7 全住戸と転売タイプ住戸の資材調達者別割合

【資材調達方法】

次に、資材調達方法を把握するために、資材調達方法が住民によるものか他者によるものかで分け、その中で資材が『購入』されたものか無償により入手されたものかに分類し、無償による調達方法を『従前居住地から持参』『従前居住地以外で拾得』『NHA が住民たちの従前居住地から運送』『知人が譲渡』の4項目に分類した(表 4-17, 図 4-8)。このとき、1住戸で複数の資材調達方法がとられている場合は複数欄に該当するため、合計は住戸件数と一致しないことに留意する必要がある。

資材調達方法としては、住民が店舗で購入する方法がもっとも多くとられており、調査対象住戸 59 件のうち 48 件と 8 割以上が店舗この方法を採用していることがわかった。次いで多くなった方法が知人から譲渡されるというものであり、住民だけでなく他者から援助を受ける資材調達方法が一定数存在することも明らかになった。

表 4-17 資材調達方法

	住民			他者			合計
	購入	無償		購入	無償		
	店舗購入	従前居住地から持参	従前居住地以外で拾得	施工者が購入	NHA が従前居住地から運送	知人から譲渡	
該当件数	48(10)	8	4(1)	6(1)	2	17	85

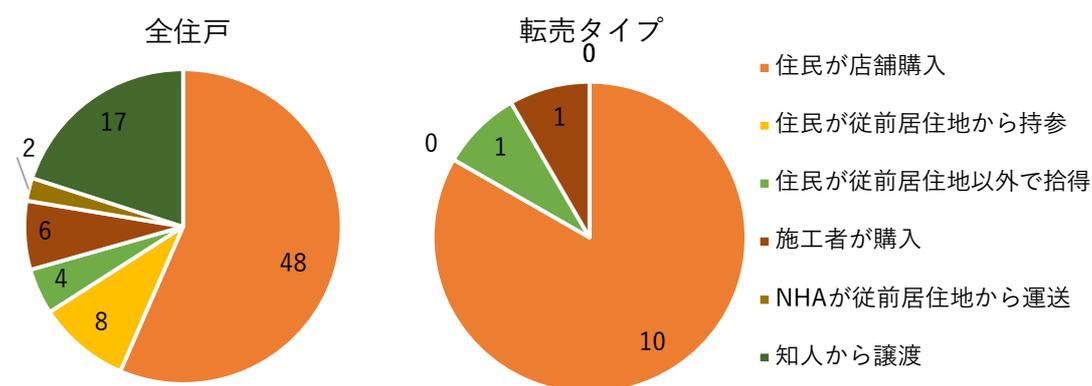


図 4-8 全住戸と転売タイプの資材調達方法分類別割合

4-3-4. 生産過程における住民主体度合い

本項では、計画段階・施工段階・資材調達段階の全生産段階の住民主体度合いを整理し、全行程を住民のみで行う住戸、どこかの段階で住民以外の人物(以後、他者)と共同で行う住戸や他者に一任する住戸の割合をだし、住戸の増改築生産全行程における住民の主体度合いを明らかにする。

ここで言う住民主体度合いとは、増改築の生産段階において住民が関わっている程度をさす。生産段階における関係主体を、住民のみ、住民と他者の共同、他者のみの3つに分類した上で、住民のみが生産する場合がもっとも住民主体度合いが高いと定義する(図 4-9)。

分析方法を以下に述べる。

まず、調査住戸 59 件に対して、第 3 項で明らかにした増改築の計画段階・施工段階・資材調達段階における関係主体を『住民のみ』『住民以外の人物』『住民と他者』の3つに分類する(表 4-18)。

次に、各住戸において計画段階・施工段階・資材調達段階の関係主体の分類を組み合わせた組み合わせパターンを作成し、パターン毎に何件が該当するかを合計する(表 4-18)。

最後に、調査対象である 59 件を①すべての生産段階を住民のみが行う住戸、②どこかの段階に住民と他者の共同による実施が見られるが、他者のみで実施されるものはない住戸、③どこかの段階に他者のみによる実施がみられる住戸の3つに分類し、住戸の増改築生産の全行程を住民のみで行う住戸、どこかの生産段階で他者と共同で行う住戸や他者に一任する住戸の割合を明らかにする。

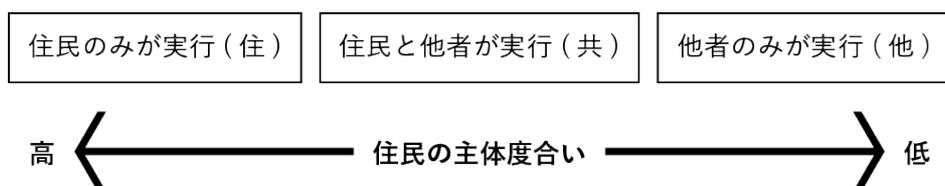


図 4-9 生産システムの関係主体と住民主体度合いの関係

表 4-18 計画段階・施工段階・資材調達段階の関係主体の整理例

住戸番号	計画段階	施工段階	資材調達段階	表記
住戸 52	住民のみ	他者のみ	住民のみ	住他住
住戸 39	住民のみ	他者のみ	住民のみ	住他住
住戸 53	住民のみ	他者のみ	住民のみ	住他住
住戸 23	住民のみ	他者のみ	住民のみ	住他住
住戸 47	住民のみ	他者のみ	住民と他者の共同	住他共
住戸 30	住民のみ	他者のみ	住民と他者の共同	住他共
住戸 56	住民のみ	他者のみ	他者のみ	住他他

表 4-19 設計・施工・資材調達段階毎の関係主体からみる住民主体度合い

	増改築生産における住民の主体度合い (設計・施工・資材調達段階の関係者が住民のみか、住民と他者の両方か、他者のみか)											
	住住住	住住共	住住他	住共住	住共共	住共他	住他住	住他共	住他他	共共共	他共他	他他住
該当 件数	15(3)	9	1	6(3)	4	1	13(4)	3	2	1	1(1)	3(1)

※欄内の赤いハッチングはすべて住民が行うもの、黄色いハッチングは住民以外との共同による生産が含まれるもの、緑のハッチングは他者のみによる生産が含まれるものを示す。

表 4-18 の凡例

	住住住	住住共	住住他	住共住	住共共	住共他	住他住	住他共	住他他	共共共	他共他	他他住
設計	住民のみ	住民のみ	住民のみ	住民のみ	住民のみ	住民のみ	住民のみ	住民のみ	住民のみ	住民と他者の共同	他者のみ	他者のみ
施工	住民のみ	住民のみ	住民のみ	住民と他者の共同	住民と他者の共同	住民と他者の共同	他者のみ	他者のみ	他者のみ	住民と他者の共同	住民と他者の共同	他者のみ
資材調達	住民のみ	住民と他者の共同	他者のみ	住民のみ	住民と他者の共同	他者のみ	住民のみ	住民と他者の共同	他者のみ	住民と他者の共同	他者のみ	住民のみ

表 4-20 住戸の増改築生産全行程を組み合わせた

		住民の主体度合い		
		すべての生産 を住民が行う	他者と共同で 行う生産段階 がある	他者に一任す る生産段階が ある
該 当 件 数		15(3)	35(3)	24(6)

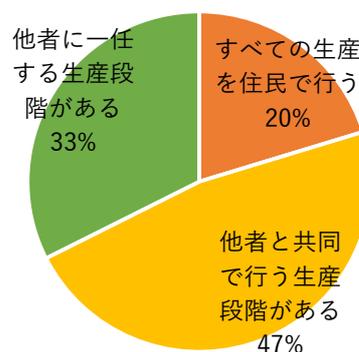


図 4-10 住戸の増改築生産全行程を組み合わせた住民の主体度合い割合

【結果】

まず、計画段階・施工段階・資材調達段階の各段階において住民の主体度合いをみると(表 4-20)、すべての生産段階を住民のみが行なっている住戸が 59 件中 15 件ともっとも多くなった。次いで、計画は住民のみ、施工は他者のみ、資材調達は住民と他者の両方が行なっている住戸が 13 件となった。

次に、計画段階・施工段階・資材調達段階の全行程を組み合わせた住民主体度合いをみると(図 4-10)、他者と共同で行う生産段階がある住戸が約半数の 35 件でもっとも多く、次いで他者に一任する生産段階がある住戸が 24 件、すべての生産を住民のみで行うものは 15 件ともっとも少ないこととなった。

以上の結果から、増改築生産における住民の主体度合いとしては、住民のみで住宅を生産する方法がもっとも普及した生産システムとは言えず、対象地では、他者に依頼するまではいかずとも、他者と共同で行う生産システムが多く取られていることが明らかになった。

4-4. 増改築生産システムのパターン分類

本項では、増改築の生産段階における計画者・施工者・資材調達方法の組み合わせを各住戸で整理し、もっとも多い組み合わせを把握することで、対象地セントマーサエステートにおいて増改築生産システムの典型パターンをみつけだす。

分析方法としては、第2項で明らかにした増改築の計画者・施工者・資材調達方法のうち、増改築の計画は概ね住民により行われていることがわかったため、住民により計画されている住戸53件を対象として、施工者の属性と資材調達方法の比較分析を行い、もっとも多い組み合わせを増改築生産システムの典型パターンとして抽出する。

以下に施工者と資材調達方法の相関表をのせる(表4-21)。縦軸は施工者分類、横軸は資材調達方法の分類を示す。

表4-21 施工者と資材調達方法の組み合わせ

		金銭のやり取りなし	購入を含む		
		住民が拾得 /知人から譲渡 /NHAが住民の従 前居住地から運送	住民による購入 と、知人からの譲 渡	住民が店舗購入	施工者が店舗購入 したものを含む
住民	経験あり	0	0	5(2)	0
	経験なし	4	6	10(1)	0
共同	経験あり	0	4	3(1)	2
	経験なし	0	0	2	0
他者	経験あり	1	2	13(6)	2

結果として、増改築における施工を他者が行い、資材は住民が店舗にて購入するという生産パターンが 59 件中 14 件と、もっとも多くとられることがわかった。次いで多くなったのが、施工経験のない住民が施工を行い、資材調達方法としては住民が店舗にて購入するという生産パターンであり、上位 2 つの生産パターンが群を抜いて多く行われている。次に多くなったのは、施工は施工経験のない住民が、資材調達は住民による購入と知人からの譲渡によって行われるパターンであり、これらの住戸は資材を購入する場面ではか費用がかからないため、金銭的負担は少ないと考えられる。また、このパターン以上に金銭的負担が少ない、すべて無償で行われる生産パターンとして、施工は施工経験のない住民が、資材調達は住民が拾得・知人から譲渡・NHA が住民の従前居住地から運送するのうちのいずれかによって行われるものがあり、これに該当する住戸は 4 件となった。おそらく、資材の質も施工者の技術も高いとは言えず、この生産パターンでは質の悪い増築部が形成されるのではないかと懸念される。

以上から、対象地セントマーサエステートにおいて典型的だと考えられる 6 つの増改築生産パターンを以下に示す。

表 4-22 典型的な増改築生産システム

	増改築生産システム			住戸 件数
	計画 者	施工者	資材調達方法	
パターン 1	住民	施工経験のある他者	住民による店舗購入	13
パターン 2	住民	施工経験のない住民	住民による店舗購入	10
パターン 3	住民	施工経験のない住民	知人による譲渡と住民による店舗 購入	6
パターン 4	住民	施工経験のある住民	住民による店舗購入	5
パターン 5	住民	施工経験のない住民	住民による拾得、知人からの譲 渡、NHA による支給の組み合わせ	4
パターン 6	住民	施工経験のある他者と住民の共同	知人による譲渡と住民による店舗 購入	4

4-5. 小結

第2節では、対象住戸60件の住民属性を明らかにした。住民による住戸の所有形態として、転売により住戸を取得したものが60件中12件あることが明らかになった。全体としては、居住者数は平均して5人ほどであり、世帯月収の平均は約1万5千ペソ、増改築費の平均は増改築費の突出して高い住戸を除くと世帯月収とほぼ同額であり、約半数の住民に現在借金があるが、増改築への融資を受けた経験のある住民の割合は低いことがわかった。住民の現地の友人には、移住前から交友関係があった人が6割以上と多くの住民のコミュニティが移住前後で継続していることがわかった。また、大多数の住民の住環境に対する意識としては、現状のコミュニティに満足し、セントマーサへの永住を希望することが明らかになった。一方、転売により住戸を取得した住民の属性に着目すると、全体の傾向と比較して所得や増改築費が高く、コミュニティとしては移住前の交友関係が継続する友人のいる住民が少ないことがわかった。

第3節では、増改築の生産システムを計画・施工・資材調達の段階毎の関係主体と資材調達の方法を分析した。また、各生産段階での関係主体に着目し、住民がどの程度関わったかという『住民主体度合い』を各段階において整理したのちに、全段階を通しての住民主体度合いの分析を行った。

計画・施工・資材調達の生産段階別に関係主体をみると、すべての段階において住民のみである住戸がもっとも多くなったが、全段階を通すと他者と共同で行う生産段階があるという住戸が全体の半数近くを占め、すべての生産段階を住民のみで行う住戸は2割しか存在しないことがわかった。また、転売タイプの住戸については、住民属性のみならず生産システムも全体と異なる傾向を示し、施工段階の関係主体は住民以外の内部者のみという住戸が全体の7割でもっとも多いことが明らかになった。

資材調達の方法としては、住民が店舗にて購入するという方法が全住戸の8割以上でとられていることがわかった。ただし、約2割の住戸では知人から譲渡される資材を使用していることから、資材調達の方法には住民の経済状況だけでなくコミュニティ状況も影響してくると思われる。

第4節では、第3節で述べた増改築生産システムの分析結果から、増改築の計画・施工・資材調達それぞれの段階を組み合わせた増改築生産システムのパターン分類を行った。増改築の計画は概ねの住戸で住民が行なっていたため、施工者と資材調達方法を組み合わせた生産パターンを作成したところ、施工は経験のある住民以外の人物が行ない、資材調達方法は住民が店舗にて購入するものがもっとも多いことが明らかになり、これがセントマーサエステートにおける典型的な生産パターンだと考えられる。ただし、該当件数としては4件と多くはないが、特徴的な生産パターンとして、経験のない住民が施工し、資材調達はすべて無償で行なうものがあった。これは、資材の質も施工者の技術力も高くないと予想され、この生産パターンでつくられる増改築部は粗雑なつくりになっているのではないかと懸念される。

5章 増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関分析と考察

5-1 | 本章の目的

5-2 | 分析方法

5-3 | 増改築生産システムと増改築実態の関係

5-3-1 | 施工者と壁・軒材と室内化度合い

5-3-2 | 施工者と窓の有無

5-4 | 増改築生産システムと住民属性の関係

5-4-1 | 本節の概要と分析方法

5-4-2 | 施工者と増改築費

5-4-3 | 施工者と施工費

5-4-4 | 施工者と世帯収入

5-4-5 | 施工者と増改築費と世帯収入

5-4-6 | 施工者と増改築関連融資

5-4-7 | 施工者と現在の借金

5-4-8 | 施工者と地域コミュニティ

5-5 | 増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関

5-5-1 | 分析方法

5-5-2 | 施工者分類別相関図

5-6 | 小結

5章 増改築実態・増改築生産システム・住民属性の相関分析と考察

5-1. 本章の概要と目的

本章では、3章で述べた増改築実態と、4章で述べた増改築生産システムと住民属性の3つの相関を明らかにする。内観調査、ヒアリング調査を行った60件を対象に分析を行い、そこから施工者の経験や資材の調達方法によってあらわれる増築部の様相の差、増改築生産システムと経済状況の関係、増改築生産システムと地域コミュニティの関係を明らかにすることを目的とする。

5-2. 分析方法

【増改築実態と増改築生産システムの関係の分析方法】

まず、3章で述べた増改築実態と4章で述べた増改築生産システムの相互関係を把握するために、3章と4章の終わりで述べた詳細な分類ではなく、より単純化した分類を新たに行い、単純化された増改築パターンと生産システムのパターンの相関関係を分析する。(▶本章3節)

増改築生産システムの分類方法として、4章では計画段階・施工段階・資材調達段階のそれぞれについて整理し、全てを組み合わせた増改築生産システムのパターンを示したが、本章では施工段階に着目し、施工者が住民のみか、住民と他者の共同か、他者のみかの3項目と、これまでに建築施工を仕事として行なっていた経験(以後、施工経験)があるか否かの2項目による6パターンに分類した(表5-1)。

このように施工者別に分類した理由は、施工者の技術によって増改築実態の差が生じていると考えたためである。ただし、住民と他者の共同施工、他者のみによる施工が行われた住戸のうち、施工経験のない他者が施工するものは数が少なかったため、分析には入れず、他の4パターンについてのみ分析を行った。また、施工者が誰か把握できなかった住戸もあったため、本章で分析対象となるのは上述の住戸を除いた57件である。

増改築実態の分類方法として、3章では増改築実態を増築部の壁・軒・窓に使用される資材と、内部改築部の既存壁・間仕切り・天井・ロフト・床の改修の何れの改修を行なっているかによって増改築パターンを示したが、本章では増築部の壁にCHB、軒にトタンを使用して室内化しているか否か、内部改築で天井やロフトを新設しているか否かという2点にのみ着目して分類を行った(表5-2)。

表 5-1 施工者分類表

	仕事として経験あり	仕事として経験なし
住民	12(3)	13
共同	10(1)	2
他者	22(8)	0

※表内数字は該当住戸件数を表す。

※表 1・2 共に () 内に転売タイプの住戸件数を示す。

※欄内がオレンジ色に塗られた住戸が分析対象住戸である。

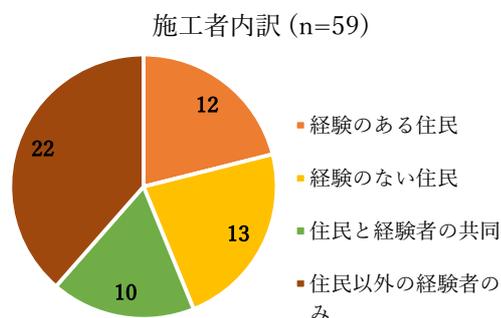


図 5-1 施工者分類別割合

表 5-2 増改築実態分類

	天井・ロフト新設あり	天井・ロフト新設なし
CHB トタンを利用した室内化増築あり	9(5)	28(7)
CHB トタンを利用した室内化増築なし	3	17

以上の分類を行ったのち、施工者パターンと、増築部の壁・軒材と室内化度合いによる増改築パターンの相関関係を示し、施工者の属性によって増改築実態にどのような差異が生じるかを考察する。

また、増改築施工者の施工経験の有無によって住戸の通気・採光といった衛生環境に対する意識の差があるのではないかという仮説に基づき、増築部が室内化されている場合、増築部に窓が設けられているかどうかを施工者パターン別に明らかにする。

【増改築生産システムと住民属性の関係の分析方法】

次に、4章で述べた増改築生産システムと住民属性の関係を把握する。(▶本章4節)

前述のように施工者の施工経験と住民・他者の組み合わせによって調査住戸 57 件を 4 つの施工者パターンに分類し、パターン毎に世帯月収・増改築費・増改築への融資を受けた経験・現状の借金・コミュニティ状況を整理する。世帯月収・増改築費・増改築への融資を受けた経験・現状の借金・セントマーサエステート在住(以後、内部者)の友人と住民が関係をもった時期に関しては第 4 章にて行った全住戸に関しての分析と同様の方法を用いて、本章では施工者分類毎に行う。また、本章では、4 章では触れていない施工費に関しても、住民以外の人物が施工に関わっている住戸を対象として平均と分布を分析する。

以上のように施工者分類毎に増改築実態、住民属性を整理した上で、施工者パターン毎に増改築実態・増改築生産システム・住民属性の相関図を作成する。

最後に施工者分類毎に作成した相関図をまとめ、対象地セントマーサエステートのPhase1a全体に亘る増改築実態・増改築生産システム・住民属性の相関関係を分析し、増改築に関する問題点と評価点を考察する。(▶本章5節)

5-3. 増改築生産システムと増改築実態の関係

本節では、分析対象住戸 57 件の施工者分類と増改築実態の相関関係を分析し、施工者によって増改築方法にどのような影響があるかを考察する。

5-3-1. 施工者と増築部の壁・軒材と室内化度合い

施工者分類毎に増築部の壁・軒材と室内化度合いを分析する(表5-3)。縦軸が施工者分類、横軸が増改築の様相による分類、表内の数字は当てはまる住戸数、表内のハッチング部分は後の考察で触れる箇所を表している。

表 5-3 施工者分類と増改築パターンの相関関係

	CHB トタン室内化 増築 + 基本住戸に 天井/ロフト新設	CHB トタン室内化 増築	基本住戸に天井また はロフト新設	どちらもなし
経験のある 住民	0	8(3)	0	4
経験のない 住民	0	4	2	7
住民と経験 者の共同	1(1)	6	0	3
住民以外の 経験者のみ	8(4)	10(3)	1	3

まず、縦軸最上部にあらわされる『仕事として施工経験がある住民のみが施工』するパターンに着目する(12件)。

増改築部の様相をみると、CHB とトタンを使用した室内化増築(図5-2)を12件中8件で行っている。残りの4件ではCHB とトタンを使用した室内化増築と天井・ロフト新設のどちらも行っておらず、塗装を施した木材で増改築を行っていた(図5-3)。



図 5-2 『施工経験のある住民が施工×CHB トタン室内化増築』外観



図 5-3 『施工経験ある住民が施工×どちらもなし』
左：外観、右：内観

次に、縦軸の上から二番目の行にあらわされる『施工経験のない住民が施工する』パターンに着目する(13件)。

増改築部の様相をみると、表横軸の一番右に表される『CHB とトタンを使用した室内化増築と天井・ロフト新設のどちらも行なっていない住戸』(図 5-4)が半数以上であった。これらの住戸は防水シートを軒先に吊るすような簡易増改築を行なっており、理由として、施工技術がない、資材を購入する金銭的余裕がない、住環境改善に対する意識が低いという3つが考えられる。金銭的余裕があるか否かについては、後に住民の経済状況と比較するときを確認する。住環境に対する意識が低いという可能性については、既往研究や今回の調査から住民は住空間の拡大やプライバシーのために増改築を行う意欲が強いことが分かっているため考えづらい。

また、この施工パターンで基本住戸内部の天井・ロフトを新設している住戸(図 5-5)の施工者は、仕事ではないが住戸建設を手伝った経験がある、塗装職人であるため大工仕事を身近で見ているという理由から比較的施工技術に長けた住民が施工を行なっていることが分かった。



図 5-4 『施工経験のない住民施工とどちらもなし』
左：内観、右：外観



図 5-5 『施工経験のない住民施工とロフト新設』内観

次に、縦軸の上から3番目の行にあらわされる『住民と施工経験者の共同施工』のパターンに着目する(10件)。

住民と施工者の関係としては、住民と共同施工者は元々友人、親戚、または間接的に知人であったことが分かっている。ここから、技術者を雇用したというより、知人に手伝いを依頼したという感覚に近いと考えられる。実際に共同施工者は金銭の受け渡しがなく、施工を手伝っている場合もある。施工者として他者を雇用し、施工者に一任する方法よりも、施工者に手伝いを依頼して共同で行う施工方法の方が、費用は安く済んでいると予想される。これは後に施工者分類毎の増改築費、施工費を整理する際に確認する必要がある(本論5-4-3)。

増改築部の様相をみると、施工経験のある住民が施工する場合と似た分布になっており、ほとんどの住戸でCHBとトタンを使用した室内化増築を行なっている(図5-6)。



図5-6『住民と経験者の共同施工住戸とCHBとトタンを使用した室内化増築』の前面増築部

最後に、縦軸の一番下に表される『住民以外の施工経験者のみが施工』するパターンに着目する(22件)。

増改築部の様相としては、CHBとトタンを用いた室内化増築を行う住戸が約8割と高い割合を占め、その半数が内部に天井・ロフトの新設もしていることが分かった。他の施工パターンでは天井・ロフトの新設を行う住戸はほとんどなかったが、この施工パターンでは比較的多く見られたことから、天井・ロフトの新設には豊富な施工経験と技術に加え、資材にかかる経済的余裕が必要であると考えられる。



図5-7『施工経験者のみ施工とロフト新設』住戸内観

5-3-2. 施工者と窓の有無

本項では、施工者分類別に増築部に窓が設けてあるか否かを把握し、施工者の経験の有無によって通気や採光を行おうとする住居の衛生環境に対する意識に違いが出るかを考察する。表 5-2 に、縦軸が施工者分類、横軸が室内化増築部の窓の有無をあらわす。

結果として、施工者分類に関係なく、室内化増築をしている住戸のうち 4 割から 5 割の住戸に窓が設けられていない(図 5-8)ことが明らかになった。対象地の住戸は長屋形式で側壁は隣住戸と共有のため窓をあけられない。つまり前後に増築した部位に窓が設けられていないと住戸全体の通気ができないことになり、フィリピンのような熱帯気候では不衛生な住環境になることは自明である。

表のカッコ内に示される転売タイプの住戸件数に注目すると、窓のない住戸が 12 件中 9 件と割合が高いことがわかる。転売により住戸を取得した住民は衛生環境に対する意識が低いと考えられる。衛生環境に対する意識の低さの要因は、プライバシーや安全を重視した結果として衛生環境への考慮が後回しになってしまった可能性がある。現に対象地の敷地形状的に、背面部の敷地いっぱい増築すると背面住戸と壁を共有することになり、窓を設けづらい。

以下に述べることは筆者の私見であるが、転売タイプの住戸の増築部に窓がない理由として、プロフェッショナル・スクワッターと呼ばれる不法占拠居住者が住んでいる可能性が考えられる。プロフェッショナル・スクワッターとは、政府から供給された社会住宅の借地権を、政府からの同意を得ずに事業の受益者以外に譲渡する個人、または組織をさす²⁶。このような人々は転売を繰り返し、特定の場所に定住しないため、住環境に対する意識が低い可能性がある。転売が繰り返されると、住戸の所有者が不確定になり、不法占拠居住地になるという問題をはらんでいる。

今回の調査では窓を設けなかった理由を明確にできなかったが、再定住地における住環境改善のために今後調査すべき事項である。

表 5-4 施工者分類と室内化増築部の窓の有無の相関

	室内化部位 に窓あり	室内化部位 に窓無し
経験のある住民	6	6(3)
経験のない住民	9	4
住民と経験者の共同	8	2
住民以外の経験者のみ	11(2)	11(2)



図 5-8 窓のない増築例

26 Jose C. Sison 『Professional Squatters, The Philippine Star Global, Opinion』 <
<http://www.philstar.com/opinion/327500/professional-squatters>> (2017.01.21 アクセス)

5-4. 増改築生産システムと住民属性の関係

5-4-1. 本節の概要と分析方法

次に、前節で述べた施工者分類毎に増改築費、世帯月収、増改築への融資を受けた経験、現状の借金、友人と出会った時期を明らかにする。

『増改築費』は 0~3,000 ペソ、3,001~10,000 ペソ、10,001~25,000 ペソ、25,001~500,000 ペソの 4 項目に分類する。増改築費が不明な住戸が 4 件あったため、分析対象はそれを除いた 53 件である。

『世帯月収』は 0~5,000 ペソ、5,001~10,000 ペソ、10,001~20,000 ペソ、20,001~90,000 ペソの 4 項目に分類する。不安定な収入で回答することができないという住戸を分析対象から除いた結果、母数は 53 件になる。また、不安定な収入ながら収入の幅や平均値を回答してくれた住戸は、世帯月収の平均値を出して分類している。

上記より、『増改築費』と『世帯月収』の関係を分析する。既往研究 Sandra Carrasco(2016)「A Study on Housing Modification in Resettlement Sites in Cayagan de Oro, Philippines」によると、住民は経済状況に関わらず住宅を変化させる意欲があることが分かっている。本研究の対象地であるセントマーサエステートではどのような関係が見られるか考察する。

『増改築への融資を受けた経験』は、融資を受けた相手(以後、融資元と記載)毎に分類する。融資なし、知人、政府や NGO、銀行や会社、融資元不明の 5 項目に分類する。“融資元不明”というのは融資を受けた経験があるということは分かっているが融資元は不明であるという状況を表している。現在は完済している住戸に関しても融資を受けた経験があれば融資元に従って分類する。この質問は第 1 回 8 月調査ではヒアリング項目に入っていなかったため、第 2 回 10 月調査時に追加調査ができなかった住戸からは回答が得られていない。結果、本分析の対象住戸数は 51 件である。

『現状の借金』も、借金先毎に融資なし、知人や小売店、政府や NGO、銀行・会社・MFI・コープ団体、融資先不明の 5 項目に分類する。上記同様、10 月調査時に追加調査ができなかった住戸からは回答が得られていないため、分析対象住戸数は 51 件である。

『友人と出会った時期』は、現在セントマーサエステートの友人について、移住前に出会った、移住後に出会った、移住前に出会った友人も移住後に出会った友人もいるの 3 項目に分類する。この質問も第 1 回 8 月調査時には含まれていなかったため、分析対象住戸は 51 件である。

5-4-2. 施工者と増改築費

施工者分類と増改築費の相関を分析する(表 5-5)。縦軸が施工者分類、横軸が増改築費をあらわす。

表 5-5 施工者分類別増改築費の分布 (n=53)

	0~3,000	3,001~10,000	10,001~25,000	25,000~500,000
施工経験のある住民	5(1)	1	1	3(2)
施工経験のない住民	9	3	0	1
住民と施工経験者の共同	3	2	3(1)	2
住民以外の経験者のみ	3	3(1)	5(3)	9(3)

まず、『施行経験のある住民が施行』するパターンに着目すると、増改築費が 3,000 ペソ以下か 25,000 ペソ以上のどちらかに分かれた。住民が施行しているため施工費はかからず資材費が直接増改築費に反映され、増改築費の差は資材費の差になる。

増改築費が 25,000 ペソ以上の住戸では、壁にモルタルやペンキによる仕上げが施された CHB、軒にトタン、開口部に鉄格子を使用し、見栄えや耐久性に配慮された増築がされている(図 1)他、ポリカーボネートを軒の一部に利用する(図 2,3)ことで採光するなどの衛生環境への工夫も見られた。しかしこれらの住戸では、高額な増改築費が住民の家計を圧迫することが懸念される。

増改築費が 3,000 ペソ以下の住戸では木材やシートを使用(図 5-11,12)している。安価な木材でも無秩序に複数部材を組み合わせた増築ではなく、柱と梁を釘で接合するような適当な増築(図 5-11)も見られ、増改築費に関わらず良好な住環境がつけられていると言える。



図 5-9 増改築費 25,000 ペソ以上の住戸外観



図 5-10 増改築費 25,000 ペソ以上の住戸背面増築部内観



図 5-11 増改築費 3,000 ペソ以下の住戸外観



図 5-12 増改築費 3,000 ペソ以下の住戸
左：外観、右：背面増築部

次に、残りの施工パターンの増改築費をみると、『施工経験のない住民が施行』するパターンの7割近くの住戸が増改築費 3,000 ペソ以下であり、『住民と施工経験者が共同で施行』するパターンでは増改築費が 0~50,000 ペソの広い価格帯に分散し、『住民以外の施工経験者が施工』するパターンでは7割以上の住戸で増改築費が 10,000 ペソ以上になっていることが分かった。つまり、『住民以外の経験者が施工』するパターンでは『住民が施工』するパターンよりも増改築費が 7,000 ペソ以上高くなるが、『住民と経験者が共同で施工』を行うパターンでは、『住民自身が施工』を行うパターンとそれほど増改築費が変わらない場合があることが分かる。ここから、住民と他者の共同施工の方が他者のみの施工よりも安く済むと推測される。そこで次項では、『住民と経験者の共同施工』と『住民以外の他者施工』の2つのパターンに限り、施工費の分布と平均を分析する。

5-4-3. 施工者分類と施工費

本項では、『住民と経験者の共同施工』と『住民以外の他者施工』の2つのパターンに限り、施工者分類毎の施工費の分布と平均を明らかにする。また、施工者がセントマーサエステートの内部在住者か外部在住者かによって住民と施工者の関係や施工費に差が生じているのではないかと考えられるため、施工者属性も合わせて記載する。

施工費の分析と施工費平均を算出する際には、施工費(施工労働費と施工者紹介料を含む)のみを把握できた住戸 21 件を対象としており、住民が施工者に施工費と資材費の合計金額を支払っている住戸は含まない。

表 5-6 施工者分類別 施工費と施工者居住地

	住戸番号	施工費(ペソ)	施工者属性
共同施工	住戸 6	0	内部者
	住戸 11	0	内部者(親戚)
	住戸 33	1,350	内部者
	住戸 36	1,800	内部者+外部者
	住戸 26	2,700	内部者
	住戸 21	3,000	内部者
	住戸 49	5,000	内部者
他者施工	住戸 46	0	外部者(親戚)
	住戸 3	0	外部者(親戚)
	住戸 45	0	内部者(親戚)
	住戸 44	0	内部者(親戚)
	住戸 9	0	内部者(親戚)
	住戸 4	0	内部者(親戚)
	住戸 30	1,800	内部者
	住戸 34B	3,000	内部者
	住戸 28	7,000	内部者
	住戸 34A	8,000	内部者
	住戸 51	10,000	外部者
	住戸 37	10,000	内部者
	住戸 38	10,000	内部者
	住戸 53	28,000	内部者+外部者

表 5-7 施工者分類別施工費平均

	施工費平均(ペソ)
共同施工	1,978
他者施工	5,557

表 5-8 施工と資材調達を一括して他者に依頼している住戸の増改築費と施工者属性

住戸番号	増改築費	施工者属性
住戸 55	400,000	内部者+外部者
住戸 56	500,000	内部者

表 5-9 施工者分類別施工費分布(n=21)

	0(親戚施工)	0(知人施工)	1~3,000	3,001~30,000
共同施工	1	1	4	1
他者施工	6	0	2	6

まず、施工者分類毎に施工費の分布をみる(表 5-6)。住民と施工経験者が共同施工を行う住戸では施工費に 1~3,000 ペソを支払う住戸が多く、住民以外の施工経験者のみが施工を行う住戸では親戚が金銭のやり取りなく施工を行うものと 3,000 ペソより多い施工費がかかっている住戸がもっとも多いことがわかる。

次に、施工者分類毎に施工費の平均をみる(表 5-7)。住民と他者の共同施工の場合は 1,978 ペソ、他者のみが施工する場合は 5,557 ペソであり、3,000 ペソ以上の差をつけて他者のみが施工する場合の方が共同で施工する場合よりも施工費が高いことがわかった。

以上で明らかにした施工費の分布と平均から、親戚により無償で施工される住戸が多いにも関わらず平均費用が高くなった『住民以外の経験者が施工』するパターンでは、親戚以外に施工を依頼する場合の施工費用が著しく高いと言える。

また、施工者の居住地に着目すると、セントマーサエステート外部在住者に施工を依頼している住戸は全て親戚に施工を依頼するものであり、それ以外の住戸では内部在住者のみ、もしくは内部在住者と外部在住者の両方に施工を依頼していることが分かった。つまり施工者調達には主にセントマーサエステート内部で行われており、外部から技術者を雇用することは概ね行われていない。概ねというのは、外部から施工者を雇用し、照明が一体となった天井の新設(図 5-13)や二階建ての増築(図 5-15)のような比較的規模の大きい増改築を行っている住戸が少数存在することを示している。

【特徴的な住戸に個別に言及】(表 5-6)

ここで、本項の分析の対象とはならなかった、施工者が施工も資材調達も行い住民が施工費資材費の合計金額を一括で支払っている住戸に着目する。増改築方法としてはどちらも二階建て(図 5-15)かロフトの増築(図 5-8)を行っており、増改築費はそれぞれ 50 万、40 万ペソと他の住戸に比べて著しく高い。特にこのロフト建設は他の住戸にみられる内部に設置するだけのロフトと異なり基本住戸の屋根を取り外して階高を高くした上でロフトを取り付ける大規模なロフト化と言える。つまり、二階建てや大規模なロフト化のような高さ方向への増改築を行う場合には資材調達も施工も施工者に一任することとなり、多額の費用がかかることが明らかになった。



図 5-13 天井新設住戸の内
観写真

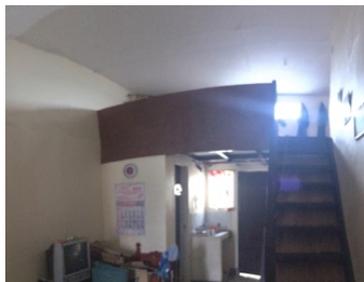


図 5-14 大規模なロフト化を行
なった住戸の内観写真



図 5-15 二階建て住戸の外観写真

5-4-4. 施工者と世帯収入

本項では、施工者分類別に世帯月収を分析する。縦軸が施工者分類、横軸が世帯月収をあらわす。

表 5-10 施工者分類別世帯月収の分布 (n=53)

	0~5,000	5,001~10,000	10,001~20,000	20,001~90,000
経験のある住民	1	3	2(1)	4(1)
経験のない住民	1	8	4	0
住民と経験者の共同	3	3	3	1(1)
経験者のみ	2	5(3)	6(1)	7(3)

『施工経験のある住民が施行』するパターンでは、概ねの世帯が 5,000 ペソ以上の月収を得ており、特に世帯収入が 2 万ペソ以上の住戸が最も多く見られた。施工技術と雇用機会があれば比較的良好な収入が得られると考えられる。再定住地では住民の住戸拡大への意欲が高く、一度ではなく段階的な改善改修が行われることが既往研究から分かっており、本研究の対象地のような 3,000 世帯以上が暮らす大規模再定住地では雇用機会は十分にあると考えられる。

『施工経験のない住民が施行』するパターンでは、世帯月収が 5,000~10,000 ペソと低い所得の世帯が多い。

『住民と施工経験者の共同施工』するパターンでは、世帯月収が 0~20,000 ペソの所得範囲に分散したことから、多様な所得層の世帯が含まれることが分かった。

『住民以外の施工経験者が施工』するパターンでは、世帯月収が概ね 5,000 ペソ~90,000 ペソの範囲に分散したことから、この施工パターンをとる世帯は比較的所得が高い世帯であると言える。また、前述の施工者分類と増改築費の分布(本節第 2 項)からこの施工パターンをとる世帯は増改築費にも多額を費やすことが分かっている。

また、表のカッコ内に示される転売により住戸を取得した世帯では、半数の世帯月収が 20,000 ペソ以上と比較的所得層が高い世帯が多いことが明らかになった。

5-4-5. 施工者と増改築費と世帯収入

次に、施工者分類毎に増改築費と世帯月収の関係を分析する。このとき、増改築費が 400 ペソ、500 ペソと著しく高い住戸を除いて相関分析を行う(図 5-16)。

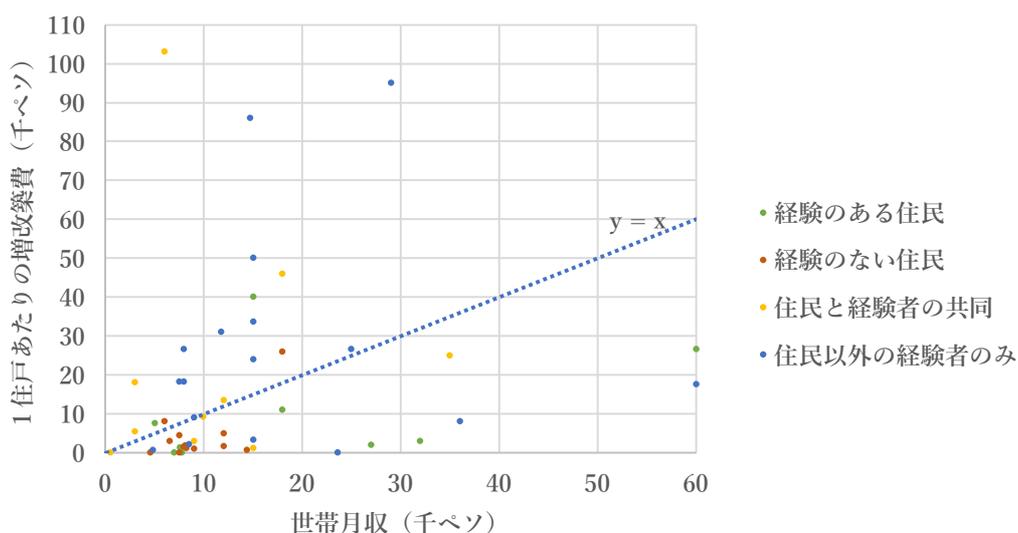


図 5-16 施工者別にみた世帯月収と増改築費の関係

上記のグラフから分かることをまとめる。

『住民以外の施工経験者が施工』するパターンでは、増改築費が世帯月収を上回る住戸数が多いことが分かる。施工者を雇用するとやはり大幅な増改築費の増加につながると考えられる。このパターンを採用する住民の所得は比較的高く、増改築費にかかる金額も大きくなることは自然であるが、他のパターンに比べて月収の割に増改築費にかかる金銭的負担が大きいと言える。世帯の収入のみではなく、融資を受けて増改築を行なっている可能性があるため、のちに行う増改築に対する融資を受けた経験についての分析にて明らかにする。

一方、施工経験の有無に関わらず、『住民のみが施工』するパターンでは、増改築費が世帯月収を下回る住戸数が多い。『特に施工経験のない住民が施工』するパターンの世帯収入は少なく、増改築よりも喫緊に必要なとされる食費や医療費、教育費などへの支出が優先されるのではないかと考えられる。

『住民と施工経験者の共同施工』のパターンでは、増改築費と世帯収入の分布が分散してしまい、考察が難しい結果となった。

5-4-6. 施工者と増改築関連融資

次に、施工者分類別に増改築関連の融資を受けた経験があるか否か、また融資元はどこかを分析する。以下の表の縦軸が施工者分類、横軸が融資を受ける先をあらわしている。

表 5-11 施工者分類別増改築関連融資元 (n=51)

	なし	知人	政府・NGO	銀行・会社	借金先不明
経験のある住民	10(1)	1(1)	0	0	0
経験のない住民	11	0	0	0	0
住民と他者の共同	8(1)	1	0	0	1
他者のみ	11(4)	1	3	2(1)	2

増改築に関連する融資を受ける住戸は全体的に少ない。

主に融資を受けているのは『住民以外の経験者が施工』という施工パターンをとる住戸世帯であることが分かった。増改築費と世帯月収の関係(本節第5項)から、この施工パターンをとる住民は世帯月収の割に増改築費が高いことが分かっており、その一要因が融資を受けているためであることが明らかになった。

一方、『住民による施工』や『住民と経験者の共同施工』といった施工パターンをとる住戸では、知人からの融資を受けるものが少数見られるが、概ね増改築への融資は受けていないことが分かる。

5-4-7. 施工者と現在の借金

本項では、施工者分類毎に現在の借金の有無と借金先について整理する。以下に表を示す。縦軸が施工者分類、横軸が借金先をあらわす。

表 5-12 施工者分類別借金先 (n=51)

	なし	知人・小売店	政府・NGO	銀行・会社 ・コープ・MFI	借金先不明
経験のある住民	7(1)	3(1)	1(1)	0	1
経験のない住民	6	3	0	0	3
住民と他者の共同	6(1)	0	0	0	4
他者のみ	9(3)	0	4(1)	4	2

経験の有無に関わらず『住民が施工』するパターンでは、知人や小売店からの非公式な借金を行なっていることが分かった。

一方、比較的所得が多い世帯が多いことが分かっている『住民以外の施工経験者が施工』するパターンでは、政府・NGO・銀行・会社・コープ団体からの借金や MFI を利用する住戸がみられる。

上記の結果から融資システムと施工者分類の関係を考察する。

鎮西らによる既往研究「マイクロファイナンスによる低所得者用住宅改善の課題 -フィリピン・KASAGANA-KA を対象として-」によると、マイクロファイナンス(MFI)では返済見込みのある世帯への融資を行なっていることが分かっている。ここから、セントマーサエスレートで会社や政府・NGO 団体から融資を受けていない世帯は返済の見込みがない低所得者である可能性がある。すなわち、返済見込みがある、低所得者の中でも比較的高い収入のある世帯は経験のある施工者を雇用するという手段を取れるが、返済見込みのない低所得者の中でも比較的収入の低い世帯には施工者を雇用する余裕がない可能性がある。特に『施工経験のない住民が施工』するパターンは前述の世帯収入も低い傾向にあった上、知人や小売店に借金をしていることから金銭の必要性はありながら正式な融資は受けられないという状況が読み取れる。

上述したことを整理すると、低所得者の中でも比較的高い収入のある世帯はさらに公式な融資を受けることができ、比較的収入の低い世帯は知人から非公式な融資を受けるしかなく、増改築にかけられる費用の差が大きくなると考えられる。

5-4-8. 施工者と地域コミュニティ

最後に、施工者分類毎に住民のコミュニティ状況を把握する。コミュニティ状況として、セントマーサエステート在住の友人を対象に、友人と移居前から関係があったか、移住後に関係を築いたかを整理する。友人の定義は4章と同様、『よく会話をする人』である。以下に施工者分類別に友人と出会った時期を整理する。

表 5-13 施工者分類と友人と出会った時期の関係 (n=51)

	前	後	前後
経験のある住民	5	3(2)	3
経験のない住民	6	3	2
住民と他者の共同	5	0	5(1)
他者のみ	6(1)	12(4)	1

『住民と施工経験者の共同施工』というパターンをとるすべての世帯でセントマーサエステートに移住する前からの友人がいる、つまり従前居住地からの交友関係が継続していることが分かった。

対比的に、『住民以外の施工経験者が施工』するパターンをとる住戸世帯では、移住後の友人しかいないという回答が6割を超えた。

今回の調査では詳細なコミュニティ状況を調査することができず、確実な考察を行うことは難しいが、以下に私見を述べる。移住開始から3年しか経っていないセントマーサエステートでは、移住後にできた友人よりも前からの友人との親交が深く、移居前からの友人が多い世帯では増改築を友人と共同で行うという方法がとられ、移居前からの友人が少ない世帯では共同ではなく一任するという手法がとられるのではないかと推測する。

共同施工は、経験者による質の良い施工や、その後の共同施工者とのつながりの強化・住民自身の施工技術向上が期待されるなど、住環境にも住民属性にも良い影響を与えると考えられる施工方法である。今回の調査ではできなかったが、今後の課題として共同施工という手法をとる経緯を明らかにする必要があると考える。

5-5. 増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関

5-5-1. 分析方法

本節では、3 節、4 節で把握した施工者分類毎の増改築実態・住民属性と 4 章で明らかにした増改築生産システムの相関関係を整理し、施工者パターン毎の増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関図を作成する。このとき、それぞれの影響を矢印で表すが、好影響は黒い実線で、悪影響は破線で、影響がないものを罰印のついた破線で、金銭の流れをオレンジの実線で、不確かだが可能性として考えられるものは疑問符のついた破線で示す(図 5-17)。

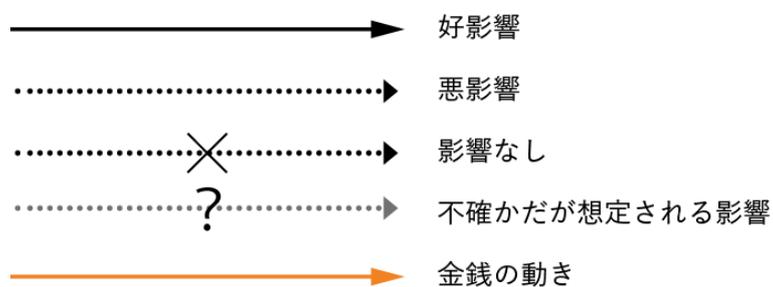


図 5-17 相関図の矢印凡例

5-5-2. 施工者分類別相関図

まず、『施工経験のある住民が施工』するパターンの相関を整理する。

世帯月収が 2 万ペソ以上と比較的所得の高い世帯が多い。技術の差により仕事の機会や対価に差が生じる可能性もあるが、雇用機会と適切な技術があれば高い所得が得られるのではないかと考えられる。

増改築費は 3,000 ペソ以下と 25,000 ペソ以上に大きく分かれた。増改築に対する融資は受けておらず、住民が所有する財産のみを使用している。住民による施工であるため施工費はかからず、増改築費は全て資材費であると言える。

増改築費が 3,000 ペソ以下の住戸と 25,000 以上の住戸それぞれの資材を見ると、資材費が 3,000 ペソ以下の住戸では前面増築部もしくは前後増築部両方に木材やシートが使用され、25,000 ペソ以上の住戸ではモルタルやペンキによる仕上げが施された CHB、トタン、鉄格子が使用されていた。また、資材費に 25,000 ペソ以上かけている住戸では、ポリカーボネートを軒の一部に利用して採光するなどの衛生環境への工夫も見られた。一方資材費を 3,000 ペソ以下にとどめている住戸では、資材の質という点では耐久性で CHB に劣ると考えられるが、柱や梁を使った構法を採用して建設しており必ずしも質の悪い増築がされているとは言えない。

また、著しく増改築費が世帯月収を超える住戸もなく、全体に世帯収入に見合った増改築が行われていると言える。

ただし、室内化増築部に窓がない住戸があり、通風や採光という点では問題がある。

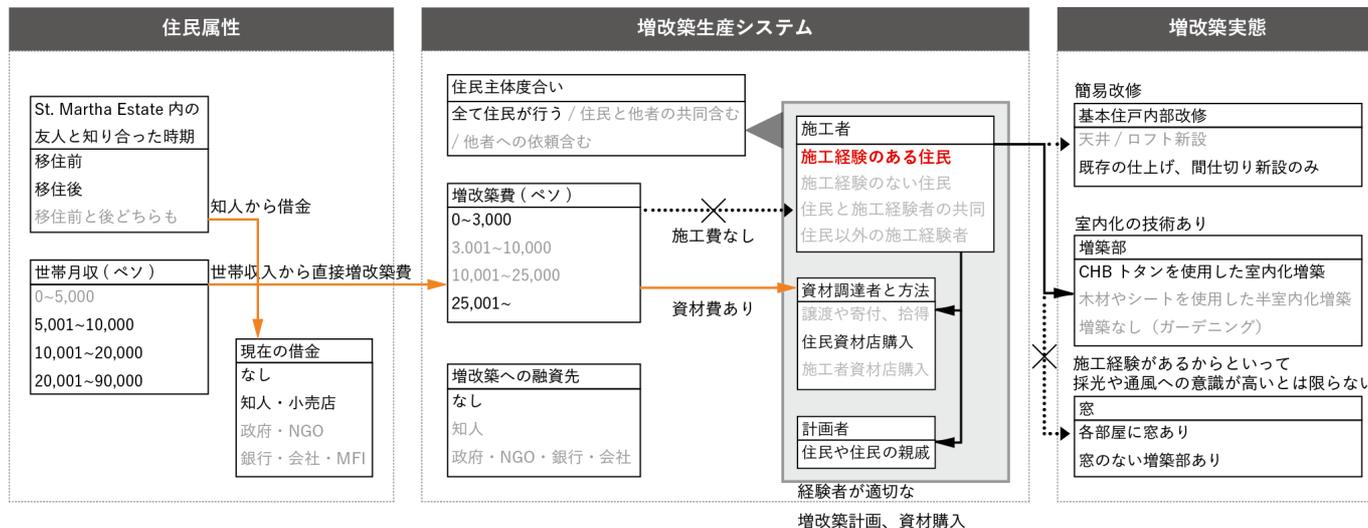


図 5-18 『施工経験のある住民が施工』するパターンの相関図

次に、『施工経験のない住民が施工』するパターンの相関を整理する。

はじめに、住民の経済状況を見る。世帯月収が他のパターンに比べて少なく、約半数の住民が現在借金をかかえている。増改築に対する融資はほとんどの住戸で受けておらず、現在の友人から受けている借金は食費や医療費のためのものだと考えられる。所得が少ないと返済が見込めないため、政府や NGO、銀行、マイクロファイナンスから融資を受けることも難しく、住民の私有財産から増改築費を出すことになる。事実このパターンでは増改築費が 3,000 ペソ以下である住戸が 7 割をこえる。

次に、増改築実態と生産システムの関係を見る。前述のパターンと同様、住民自身で施工しているため増改築費は資材費と同額であり、使用資材としては CHB やトタンに加え、木材やシート、網や一斗缶などの廃材がみられた。これらは住民が店舗で購入した資材や、友人・同僚から譲渡されたもの、教会・NHA の寄付、住民が職場で不要になった廃棄物を拾得したものなどの無料調達物である。このような資材を使用して施工経験のない住民が独自に建設する独自の住戸建設システムをとると、粗雑な住環境が表出する可能性がある。そこで増改築実態をみると、半数以上の住戸が CHB とトタンを使用した室内化増築も基本住戸内部の天井・ロフトの新設も行っていないことが分かった。調査対象住戸の中に基本住戸のままで使用されているものはないため、CHB とトタン以外の資材を使って半室内化増築を行っているか、基本住戸内部の改修や間仕切りを取り付けるような簡易増改築を行っていると言える。

しかし居住者による住戸拡大の意欲は強く、今後増えていくと予想される 2 階建増築（第 3 章にて言及）が脆弱なものとならないよう適切な増改築手法が求められる。

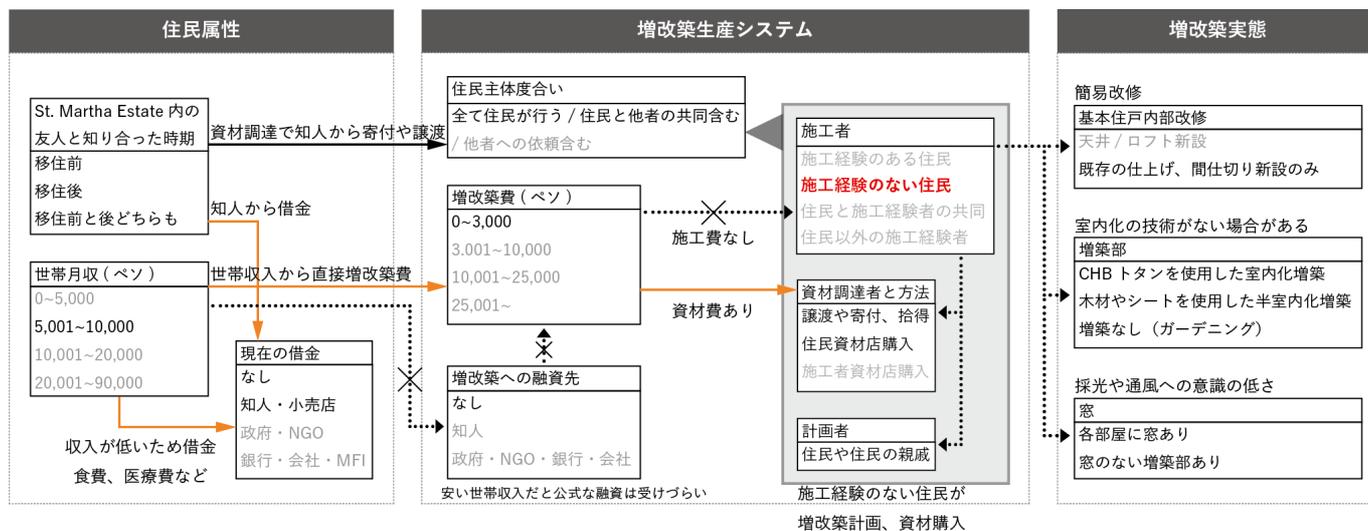


図 5-19 『施工経験のない住民が施工』するパターンの相関図

次に、『住民と施工経験者の共同施工』するパターンの相関を整理する。

増改築費や世帯収入が分散し傾向が見られなかったが、施工費に着目すると他者に一任するよりも共同で施工する方が安くなる場合が多いことがわかった。

住民のコミュニティ状況としては、すべての世帯で従前居住地の交友関係が継続していることが分かっている。移住開始から3年しか経っていないセントマーサエステートでは、移住後にできた友人よりも移住前からの友人の方が、親交が深く施工を依頼しやすいと推測できるが、今回の調査では共同施工者が施工前からの知人であったことは把握できているが、移住前からの知人であったかは把握できていない。

増改築実態を整理すると、共同施工者に施工経験があるためか、CHBとトタンといった耐久性の高い資材を使用した室内化増築を行う住戸が多い。

共同施工の実施による施工者とのコミュニティ強化や、共同施工者から技術を学び住民自身の施工スキルが向上するなどの住民属性に対する良い影響も期待されるが、今回の調査では共同施工者と住民の関係とそれに至る経緯を詳細に把握することができなかった。住民と共同施工者がいつどのような経緯で知り合い、何が要因で共同施工に至ったか、共同施工後にコミュニティや施工スキルに影響が生じているかを、今後明らかにする必要があると考える。

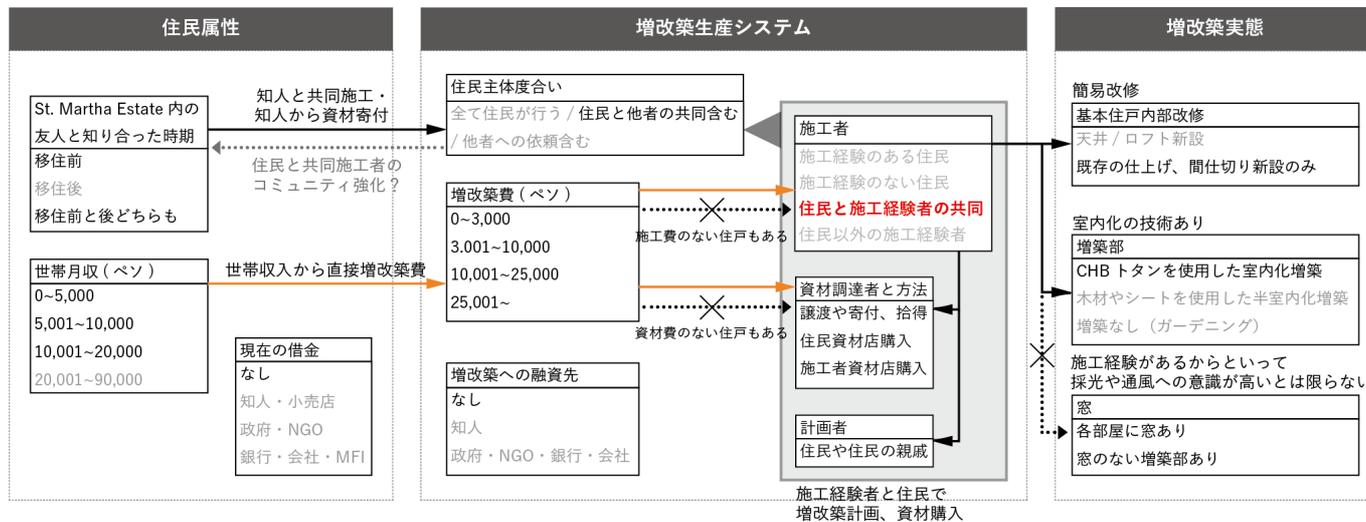


図 5-20 『住民と施工経験者が共同施工』するパターンの相関図

『住民以外の施工経験者が施工』するパターンにおける増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関を整理する。

住民の経済状況としては、世帯収入が他のパターンに比べて高い住戸が多く、いくつかの住戸では政府や NGO、銀行、会社から公式に融資を受けたり、マイクロファイナンスを利用していることがわかった。そのため増改築にかけられる費用も多く、10,000 ペソ以上と比較的高い増改築費をかける住戸が7割に及んだ。

増改築実態をみると、CHB とトタンを使用した室内化増築に加え基本住戸内部に天井やロフトを新設する住戸もあることがわかった。CHB とトタンを使用した室内化増築は施工者に経験があるパターンでは大部分の住戸が行なっていたが、天井やロフトを新設する住戸はこの施工パターンに集中している。天井やロフトの新設には豊富な施工経験と技術に加え、天井部分を覆う資材を手に入れられるだけの経済的余裕がなければ難しいと考えられる。

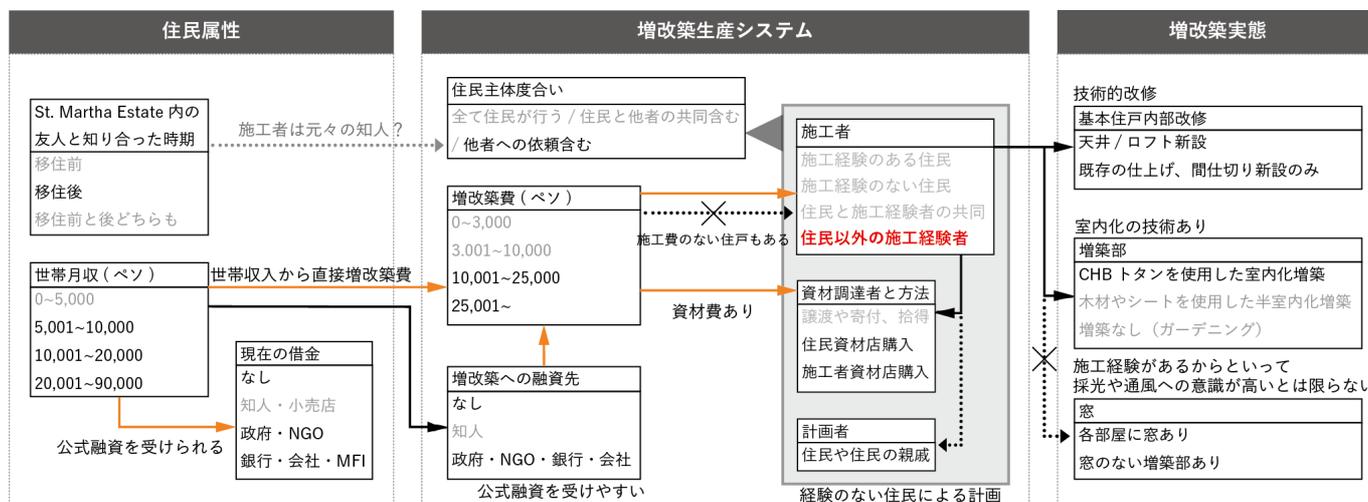


図 5-21 『住民以外の施工経験者が施工』するパターンの相関図

最後に、全ての施工パターンに共通した問題点をあげる。

施工パターンに関わらず室内化増築部に窓がない住戸が4割から5割の割合で存在することから、施工者の施工経験に関わらず住民の衛生環境に対する意識が低いと言える。理由として、住民がプライバシーや安全を重視した結果、衛生環境への考慮が後回しにされていることが考えられる。現に背面部の増築可能範囲全体に増築すると背面住戸と壁を共有することになり、窓が開けづらい。これを改善するために、背面の壁を隣住戸と共有しないような指導や、屋根面からの採光・通風を促すことが必要だと考える。

増築部に窓がない住戸の所有者に着目すると、これに該当する9件の住戸所有者は転売により住戸を取得しており、これは今回の調査で出会った転売居住者の7割を超える。ここから、転売者は特に衛生環境への意識が低いと言える。

以下に述べることはあくまで私見であるが、転売者はさらなる転売を考慮した住宅増改築である可能性がある。転売を繰り返して不当に稼ぐ不法占拠居住者（プロフェッショナル・スクワッター）が存在し、このような人々は特定の場所に定住していないため住環境に対する意識が低い可能性がある。転売が繰り返されると住戸の所有者が不確定な不法占拠居住地に変貌していく。

5-5-3. 対象地における増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関

前項で施工者分類によって増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関を明らかにした。本項ではこれらを組み合わせた対象住戸全体での3つの相関を簡潔に整理し、セントマーサエステートの Phase1a おける住民主体増改築の問題点と評価点を考察する。

住民の施工経験があれば、各住戸の収入に見合った適切な増改築が行われる上、施工技術があることが雇用機会につながり、比較的高い所得を得る傾向がある。住民に施工経験がない場合でも、施工経験者を雇用する経済的余裕か、施工経験者との関係のどちらか、もしくは両方があれば施工経験者に建設を依頼することができる。施工経験のない住民が独自に施工する場合は、上記のどちらも持ち合わせていない可能性がある。

施工経験のない住民が施工する場合、施工に対する知識や技術が乏しい人物による独自の生産方法であるため、質の低い増築部が集積した劣悪な住環境を形成する可能性がある。現に木材やシートを使用した簡易的な増改築部が見られた。

また、施工者の施工経験に関わらず室内化増築部に窓がない住戸が全体の約4割に見られたことから、施工者の経験に関わらず通風や採光に対する意識が低いと考えられる。

以上より、セントマーサエステートにおける増改築の問題点と評価点を考察する。

【問題点】

- 住民自身の施工技術・施工経験者を雇う金銭的余裕・施工経験者との交友関係がない場合、住民が独自に質の低い増改築を行う場合がある。
- 生産方法に関わらず増改築部に窓がなく通風・採光ができていない住戸がある。

【評価点】

- 施工技術のある住民の所得は比較的高い。
- 施工経験者に施工を依頼する際は、施工経験者に施工を一任するよりも住民と共同で施工をする方が施工費が安くなる傾向がある。

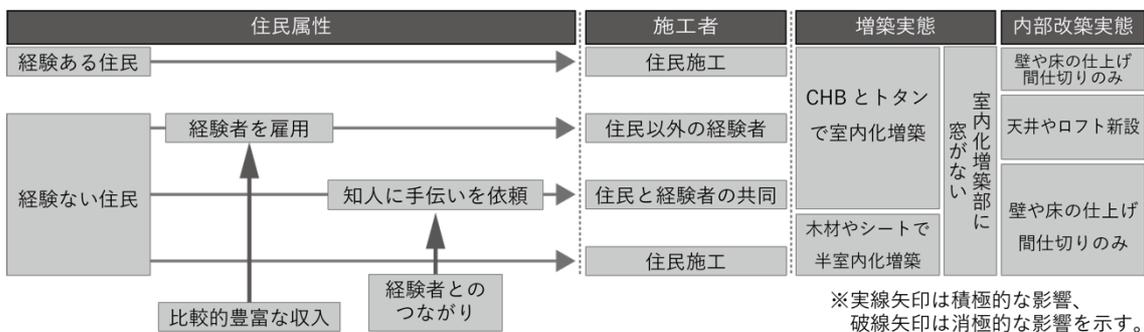


図 5- 22 住民属性・施工者・増改築実態の相関図

5-6. 小結

第3節では、増改築生産システムと増改築実態の関係を明らかにするために、施工者と増築内容・内部改築内容の比較分析を行った。『経験のある住民が施工』する場合と『住民と経験者の共同施工』の場合には耐久性の高い資材（CHB とトタン）を使用した室内化増築が、内部では既存壁・床の改修と間仕切りの設置といった簡易なものが行われる傾向がみられた。唯一経験者がいない『経験のない住民が施工』するパターンでは、増築・改築ともに耐久性の低い資材（木材やシート）で簡素に行われる住戸が多く見られた。『住民以外の経験者が施工』する住戸では、耐久性の高い資材を使用した室内化増築に加えて内部に天井やロフトを取り付ける増改築方法がみられた。また、施工者分類に関係なく室内化増築部に窓がない住戸が約4割あり、これらの住戸は転売タイプの住戸が多いことが明らかになった。

第4節では、増改築生産システムと住民属性の関係を明らかにするために、施工者分類毎に増改築費、施工費、世帯月収、増改築への融資元、現状の借金先、友人と出会った時期を分析した。施工経験のある住民が施工する住戸では、経済面では住民の収入が比較的高く、収入に見合った費用をかけて増改築を行っており、地域コミュニティに関しては、住民の現在の友人の中には移居前から交友がある人も移住後に関係を築いた人もいることが明らかになった。施工経験のない住民が施工する住戸では、経済面では住民の世帯収入が少なく、増改築ではなく他の目的で知人に借金をしており、地域コミュニティに関しては先述のパターンと同様に移居前から交友がある人も移住後に関係を築いた人もいることが示された。住民と他者の共同で施工される住戸では、経済面では住民の世帯収入と増改築費が様々な価格帯に分散し、地域コミュニティに関してはこのパターンにあてはまる全ての住戸居住者には移居前から交友があった友人がいることがわかった。住民以外の施工経験者が施工する住戸では、経済面では住民の世帯収入が高く、増改築やその他への融資を公式な機関から受けている住戸がみられ、全体的に増改築費が多くなっていた。また、地域コミュニティに関しては、現在の友人の中に移居前から交友を持っていた人はおらず、すべて移住後に関係を築いた友人であるという状況の住民が多いことが明らかになった。また、住民以外の施工者はセントマーサエステート内部在住者がほとんどであり、共同施工と他者に一任する施工方法では、共同施工という方法をとる場合の方が施工費が安くなる傾向にあることも明らかになった。

第5節では、3節と4節で把握した施工者分類毎の増改築実態・住民属性と第4章で把握した設計・施工・資材調達者の組み合わせから、施工者分類毎に増改築生産システム・増改築実態・住民属性の相関を明らかにし、それらを相対的に捉え、対象地における増改築の問題点と評価点を考察した。

まず、施工者分類ごとに相関を把握した。経験のある住民が施工する住戸居住者は比較的裕福なことが多く、増改築費は3,000ペソ以下と25,000ペソ以上に大きく分かれた。住民の世帯収入に見合った費用を増改築にあて、安い資材でも適当な構法を採用した増改築を行っている住戸がみられた。施工経験のない住民が施工する住戸では、住民の世帯収入が比較的少なく、増改築への投資金額が制限され、無償で入手したりサイクル材の使用や、住民の独自の施工といった生産方法がとられている。その結果、廃材シートを軒先に吊るすような質の悪い増改築方法が見られた。住民と施工経験者が共同して施工する住戸では、住民と施工者が以前から知人であったことは明らかになったが、共同施工に至る経緯までは把握できなかった。また、経済状況を見ると、増改築費や世帯収入が分散し考察が難しい結果となったが、施工費に着目すると住民以外の経験者に一任するよりも安くなる傾向がみられた。住民以外の施工経験者が施工する住戸では、全体に住民の世帯収入が高く、公式機関から増改築の融資を受けており、増改築費が他の施工パターンをとる住戸と比べて著しく高いことが分かった。増築方法としては、比較的規模の大きい増改築を行っており、多くの住戸でCHBやトタンといった耐久性の高い資材を使用した室内化増築に加えて基本住戸内部に天井やロフトを新設していた。

次に、全施工パターンの特徴をまとめた。住民の施工経験があれば収入に見合った適切な増改築が行える上、大工仕事で比較的高い収入を得ている傾向がある。また、住民に技術がない場合でも、他者を雇用する経済力か施工経験者との関係があれば施工を依頼することができると考えられる。このとき施工経験者に対して支払われる金額は、施工経験者に一任するよりも住民が共同して施工する方が安くなることが多い。しかし、経済力と施工経験者とのつながりのどちらもない住民は自らの乏しい知識で質の低い増改築を行う場合がある。また、施工者分類に関わらず、住戸の室内化増築部に窓が設けられずに通気や採光ができていない住戸が一定数存在することが明らかになった。

最後に、以上の結果からセントマーサエステートにおける増改築の問題点と評価点を考察した。

【問題点】

- 住民自身の施工技術・施工経験者を雇う金銭的余裕・施工経験者との交友関係がない場合、住民が独自に質の低い増改築を行う場合がある。
- 生産方法に関わらず増改築部に窓がなく通風・採光ができていない住戸がある。

【評価点】

- 施工技術のある住民の所得は比較的高い。
- 施工経験者に施工を依頼する際は、施工経験者に施工を一任するよりも住民と共同で施工をする方が施工費が安くなる傾向がある。

6章 結論

6-1 | 総括

6-2 | 考察と提案

6 章 結論

6-1. 総括

本研究では、フィリピンの郊外型再定住地セントマーサエステートにおいて、住環境実態、増改築生産システム、住民属性を明らかにし、それぞれの相関を捉えることで、増改築生産システムが住環境へ与える影響と、その生産システムがとられる背景となる住民属性を明らかにした。

以下に各章の結果を整理する。

第2章では、フィリピンで行われてきた不法占拠居住区改善事業における対象地セントマーサエステートの位置付けと、セントマーサエステートの敷地的特徴や事業の概要を整理した。これまでフィリピンで行われてきた不法占拠居住区改善事業の中で、本事業はNHAという政府機関が行う再定住事業のうちの、完成住宅プロジェクトというディベロッパーによって宅地と住宅が郊外に開発される事業区分であることが明らかになった。住民はメトロ・マニラとその周辺地区に住んでいたインフォーマル居住者であり、敷地はメトロ・マニラから30kmほど北上した位置にある。約19haの敷地に3,316戸の基本住宅ユニットと呼ばれる住戸が長屋形式に建ち並んでおり、受益者には1世帯につき約40㎡の敷地と床面積24㎡の基本住宅ユニットが支給され、増改築可能範囲が住戸の前後に付随しているという敷地状況を把握した。

第3章では、セントマーサエステートにおける住環境実態の把握として、以下のことを明らかにした。

- ① 951件の接道面増築部と、60件の住戸内観を含めた住戸全体を対象として、現地で行われる住戸の増改築方法をパターン化し、典型的なパターンを示した。
- ② 対象エリアの中で特徴的な住戸や場所を地図上にプロットし、街の構造を把握した。
- ③ 住民が移住後最初に行った増改築と現在計画している次の増改築に対して、目的とそれに対応する実施内容を分析し、住民が住環境に求めるものと、今後増えると予想される増改築を明らかにした。

住戸の増改築方法をパターン化する際に、接道面増築部のみを調査対象とした951件と、住戸内観を含む住戸全体を対象とした60件の接道面増築部の仕様が、分析結果から概ね一致したため、この60件の増改築実態はセントマーサエステートのPhase1aを代表すると考えられることがわかった。対象地における増改築方法の典型的なパターンは、住戸の前面背面どちらかをCHBとトタンで室内化する増築と、基本住戸内部の床や壁の改修、間仕切り

の取り付けなどの簡易的な改修を行うものであることが明らかになった。

次に、街の構造把握としては、メイン通りなどの広い道沿いには店舗を経営する住戸が多く軒を連ね、少し細い道に入ると住民たちがレストスペースとして路地を活用していることがわかった。また、植物を育てている住戸が寄り集まって存在することや、植物を知人から分け与えてもらうという話が聞けたことから、植栽を施している住戸住民は比較的周辺住民とのつながりが強いのではないかと考えられる。

最後に、住民が住環境に求めるものと、今後増えると予想される増改築に関しては、移住直後には安全・住戸の拡大・基本住戸の粗さや汚れの改善を重要視しており、住民の生活空間は背面部へ、店舗やレセプションは前面部へ増築されることが明らかになった。また、移住後数年が経ってもなお住民の住戸拡大への意欲は強く、現在はあまり見られない二階建ての増築を計画する住戸が多いことがわかった。

第4章では、セントマーサエステートに住む人々の属性を把握し、住民による増改築生産システムの関係主体と資材調達方法を分析することで住民主体度合いや典型パターンを明らかにした。

住民属性としては、住戸の所有形態として転売により住戸を取得した住民の属性が全体の傾向と差異が出ることがわかった。全体としては、世帯収入や増改築費が約1万5千ペソで、移住前の交友関係が現在も続く住民が6割以上であり、概ねの住民が現状のコミュニティ状況に満足し、永住を希望していることが示された。一方転売により住戸を取得した住民は、世帯収入、増改築費ともに全体平均を上回り、地域の友人の中に移住前から交友のあった人はいない場合が多いことが明らかになった。

増改築生産システムの住民主体度合いとしては、生産段階を計画・施工・資材調達の段階別にみると、関係主体はすべての生産段階において住民のみである住戸がもっとも多いが、全段階を通すと他者と共同で行う生産段階があるという住戸が全体の半数近くを占め、すべての生産段階を住民のみで行う住戸は2割しか存在しないことが明らかになった。また、ここでも転売型住戸は全体と異なる傾向を示し、施工段階の関係主体は住民以外の内部者のみという住戸が全体の7割でもっとも多いことが示された。生産システムの典型パターンとしては、施工は経験のある住民以外の人物が行ない、資材調達方法は住民が店舗にて購入するものがもっとも多いことがわかった。また、数は多くはないが特徴的な生産パターンとして、経験のない住民が施工し、資材調達はすべて無償で行なうものがあった。

第5章では、増改築実態と生産システム、生産システムと住民属性を組み合わせ、施工者の経験や資材の調達方法によってあらわれる増改築方法の差、増改築生産システムがとられる背景としての住民の経済・コミュニティ状況を明らかにした。

結果として、住民に施工経験があれば、収入に見合った適切な増改築が行える上、施工技術による雇用機会の取得も可能であるが、住民に施工経験がなくとも他者を雇用する経済力か、施工経験者との交友関係があれば施工を依頼することができることが示された。経済力と施工経験者との関係のどちらもない住民は、施工経験のない住民が独自に質の悪い増改築を行う場合があり、また施工者に技術がある場合でも、全体として一定数の住戸増築部に窓が設けられておらず、通気や採光ができていないことが明らかになった。

以上の結果から、セントマーサエステートにおける増改築の問題点と評価点を考察した。

【問題点】

- 住民自身の施工技術・施工経験者を雇う金銭的余裕・施工経験者との交友関係がない場合、住民が独自に質の低い増改築を行う場合がある。
- 生産方法に関わらず増改築部に窓がなく通風・採光ができていない住戸がある。

【評価点】

- 施工技術のある住民の所得は比較的高い。
- 施工経験者に施工を依頼する際は、施工経験者に施工を一任するよりも住民と共同で施工をする方が施工費が安くなる傾向がある。

6-2. 提案

以上の研究結果と考察をふまえ、セントマーサエステートにおける地域コミュニティや経済、住環境を一体的に改善・向上するために有効な増改築のあり方を提案する。

前節の終わりで、セントマーサエステートで行われる住民主体の住戸増改築における問題点と評価点について、施工者に関わらず、室内化された増築部に窓を設けないために通気や採光ができていない住戸があることや、住民が仕事として建築施工を行なったことがない上に、施工経験者を雇う経済力や施工経験者との関係がない場合、住民が乏しい知識で質の低い増改築を行うことがあるという問題点と、施工を仕事にしている住民の所得が比較的高いことや、住民が施工経験者に施工を依頼する場合、住民が施工経験者に施工を一任するよりも住民が共同で施工する方が安い傾向があるという評価点を述べた。

ここから、評価点を利用して問題点を改善するため、政府や NGO 団体、大学、地域を管理するボカウエ市の建築主事などの専門家から住民に働きかけるべき内容を提案する。

まず、増築部に窓を設けてもらうために、採光や通風の重要性を住民に教え、窓を設ける阻害となる隣接住戸との壁の共有を防ぐため隣住戸との敷地境界まで増築しないように指導したり、屋根面からの採光や通風を推奨することを提案する。

次に、住民の乏しい施工知識や技術で行われる増改築を減らし、現在は不安定な仕事に従事して所得が低い住民が大工仕事に就けるよう、住民へ適切な施工技術を伝授することが重要だと考える。

最後に、地域住民同士の共同施工が他者に一任する施工方法よりも安くなるということを受けて、地域の施工経験者との共同による施工を推奨することが住民の増改築に対する経済負担を低減し、適切な増改築が行われるだけでなく、その後の地域コミュニティの活性化にもつながると考える。ただし、施工技術をもつ住民が増え、かつ施工経験者と住民の共同による施工が増えた場合、施工技術者の雇用機会が減少したり、施工技術者が住民に対して安く労働力を提供することが考えられ、施工技術者の所得が低下する恐れがある(本論 5-4-3.施工者と施工費の関係参照)。このような現象が起こった場合には、施工者の技術に見合う適切な施工費の設定をする必要があると考える。

以上の提案を行うことで、

- 適切な増改築生産により住環境の質が向上する
- 施工技術を得ることで大工仕事に従事し、所得が上がる世帯が増加する
- 施工技術をもった地域住民との共同施工を推奨することで、住民の負担にならない施工費で適切な増改築が行われることに加え、地域コミュニティが活性化するという3つの観点から住民の生活水準の改善・向上を期待する。

一方、提案から

- 施工経験者が増加しすぎると一人当たりの施工労働機会が減少する
- 住民と施工経験者の共同による低コストでの施工が増えて、施工経験者の所得が下がるという悪影響も考えられるため、より丹念に経済状況、雇用機会を考慮した提案を行うことが今後の課題である。

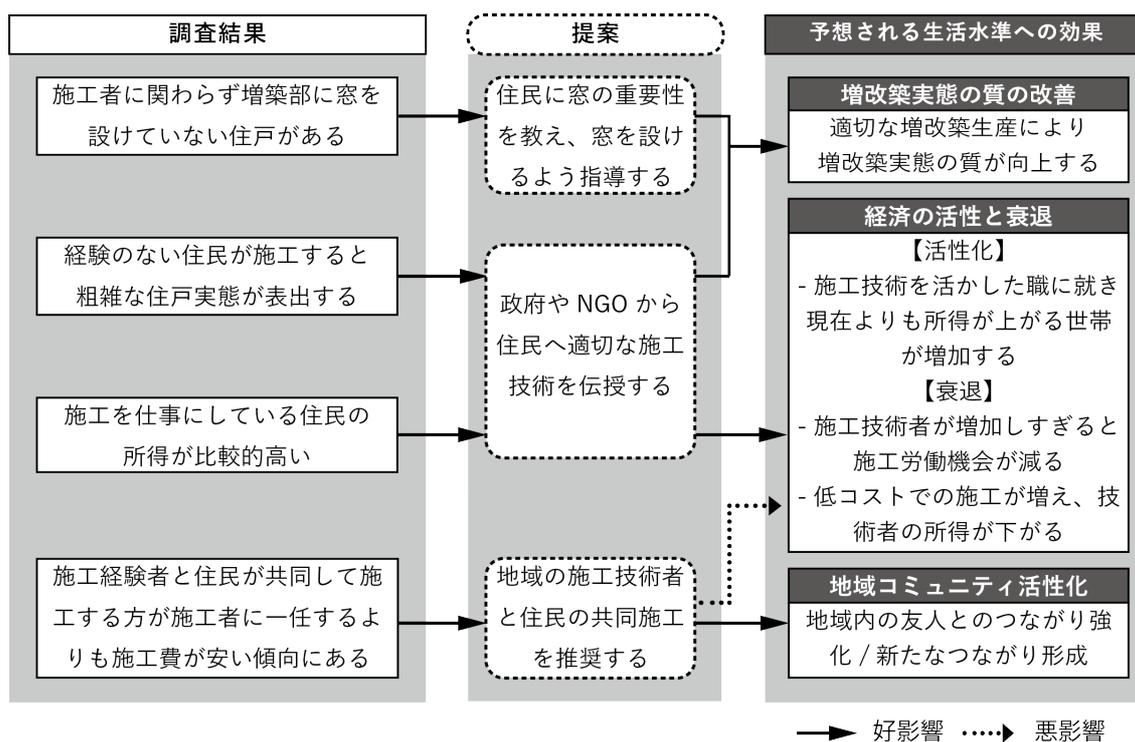


図 6-1 住民の生活水準改善・向上のシナリオ

謝辞

本研究を進めるにあたり、指導教員である清家剛准教授には多くのご指導とご鞭撻をいただきました。ここに深い感謝の意を述べさせていただきます。今まで模型しか作ってこなかった私に、研究を進める方法、言葉や図表を使った表現方法など、研究に取り組む上で必要になることを一から教えていただいたからこそ、今こうして論文を書くことができています。海外調査に行く際には必ず身の安全を第一に考えてくださり、お陰様でこの2年間の海外調査では一度も病気や怪我をせず、現在まで健康に過ごせています。おそらく私は言葉が足らず世話のかかる学生であったと思いますが、最後まで私の考えを汲み取り、懇切丁寧にご指導をしていただいたことに、深く感謝申し上げます。

金容善研究員には、修士論文のテーマを決める際に大変お世話になりました。本研究のテーマに行き着く前にコーポラティブハウスなどの集合住宅に興味を示していたときに、金研究員自身の修士論文やその他の事例をご紹介いただいたことは、人々の住環境を主要なテーマに置こうと決めるきっかけとなりました。また、日本語に堪能で、的確な言葉遣いを教えていただきました。本当にありがとうございました。

副指導員である岡部明子教授には、ご自身の経験から低所得者が暮らす住環境の現状を教えてくださいました。これにより、低所得層の暮らす居住地ではどういった提案が行えるのかをより具体的に考えることができたと思います。ただし、本研究では私の力不足で現実的に良い提案ができた結果とはならなかったもので、そこは今後も継続して考えていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

研究室の先輩である竹村さんには、言葉では言い表せないほどの感謝をしています。竹村さんは、私が研究テーマを決める際から本論を書き終えるまで、一貫してご指導をしてくださいました。研究テーマを決める際に悩んでいる私にセントマーサエステートで何か研究をしてみないかと持ち出し、現地調査の段取りを計画し、関係者との交渉をし、論文の書き方や分析方法、言葉の使い方までを教えてください、本当に多大な苦勞をかけてしまったことを反省しています。しかし、最後まで丁寧に的確なアドバイスをしていただいたことで、私にとっては大きく成長できた時期でした。研究者としてだけでなく、一人の女性としても尊敬しています。本当にありがとうございました。

本研究の調査を行うにあたり、セントマーサエステートで活動を行う NGO 団体である Kamal Freda の Dave さん、Kim さん、Paul さん、フィリピンの大学である University of Santo Tomas の Mercado 先生には、現地調査の際の段取りや現地住民との交渉をしていただきました。皆様のお力添えがなければ、調査を行うことも不可能であったと思います。本

当にありがとうございました。

University of Santo Tomas の学生の皆さん、そしてフィリピン在住の、Genny さん、Angie さん、Cj さん、Nelia さん、Jherlyn さん、Alvin さんには、現地での通訳をしていただきました。皆様のコミュニケーション能力の高さには目を見張るものがあり、おかげで滞りなく、そして何より楽しく調査を行うことができました。本当にありがとうございました。

東京大学の隈研究室の方々とは、セントマーサエステートで提案と、リサーチをする形で共に過ごさせていただきました。時には私の調査のお手伝いをしてくださり、大変助かりました。本当にありがとうございました。

研究室の同期である井田君、原田君、藤原君とは、くだらない話をして息抜きをしながらも、みんなが着々と自らのやるべきことを成し遂げて行く姿に私も引っ張られていました。多様な場面で無知な私でしたが、見放さず、一緒に笑って泣いて過ごしてくれた日々は忘れません。本当にありがとうございました。

研究室の後輩である保坂君、川崎君、國江君には、フィリピンの現地調査に同行していただくのみならず、ヒアリング結果のまとめ作業などもお手伝いしていただきました。私は頼りない先輩でしたが、みんなの下支えがあったからこそ今回の調査が遂行できました。フィリピンで過ごした日々は大変だったかもしれませんが、様々な意見を交わしながら食事をし、眠い目をこすりながら朝早起きをした日々は私の宝物です。こんな私についてきてくださり、本当にありがとうございました。

社会文化環境学専攻の同期の皆さんには、お昼やおやつの時間など、私が休憩したいタイミングで話かけ、院生室の空気が悪いからと突然窓をあけるなど、多くのご迷惑をおかけしたかと思います。それでもいつも笑って許してくださり、本当にありがとうございました。

最後に、修士論文を書いている間の生活面でのサポートをしてくれた両親に、あまり言葉にすることはありませんが、いい機会なのでここに感謝の意を述べさせていただきます。毎日のお弁当や夕飯づくりによる栄養面の援助と、休日に誘ってくれたランニングがあったからこそ、万全の体調で本研究に挑めました。いつも本当にありがとうございます。

皆様のご協力なくして、本論が完成することはなかったと思います。本論文の執筆にあたり、多大なご協力をいただいた皆様に、心から感謝しています。

本当に、ありがとうございました。

2017年1月22日 自宅にて
小司 優海

資料編

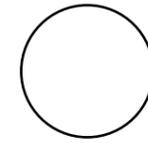
- 現地調査資料セット
 - プラン書き込みシート
 - 住民用ヒアリングシート
- - データシート
 - 住民回答

Sheet to record the part of renovation

Don't forget to fill in this sheet before starting interview

- address Phase: _____ Block: _____
- picture front side materials family member
 ※ Please take the front picture of housing with top-right number.
- Renovation part description below
 ※ Please write the materials' type and feature with the part of renovation.

Orientation

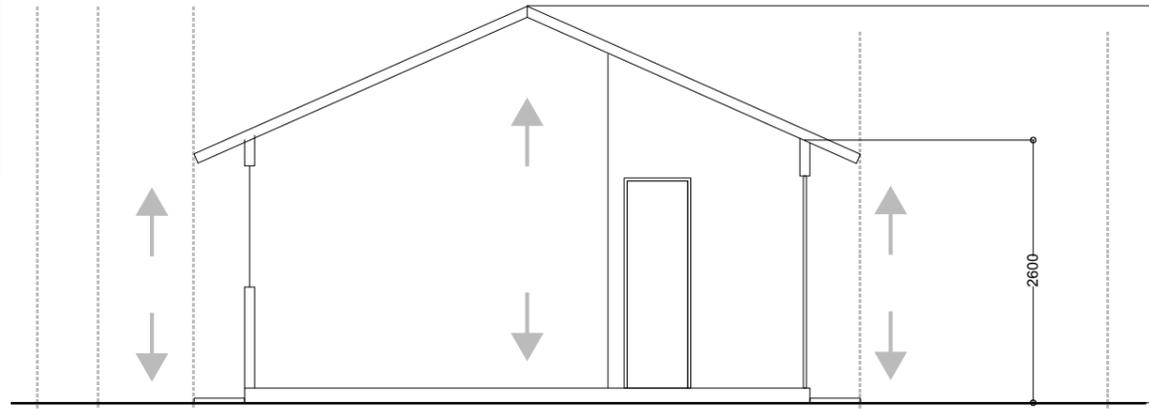


Housing No.

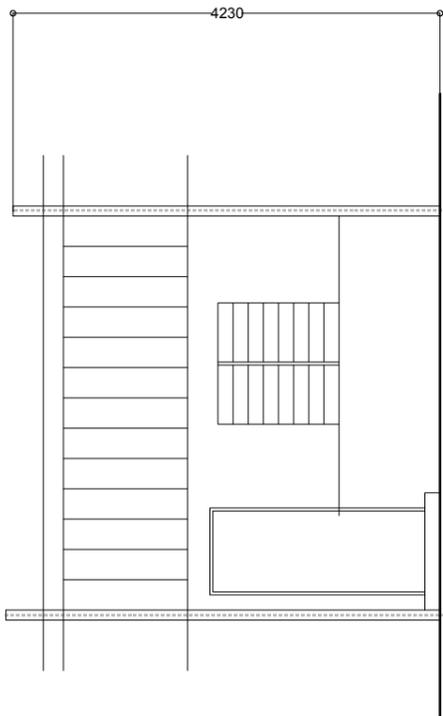


Please take pictures following the direction the arrows indicate as can be seen, wall floor ceiling facility opening part

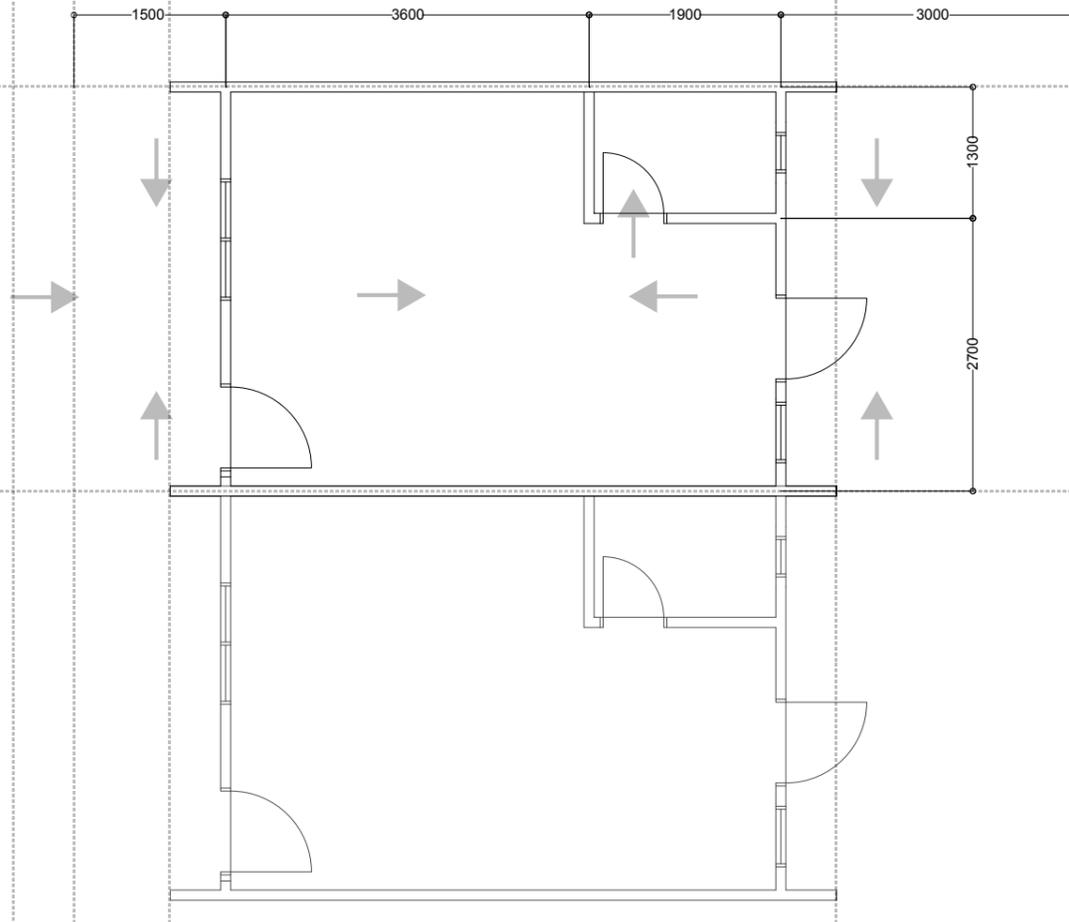
Section



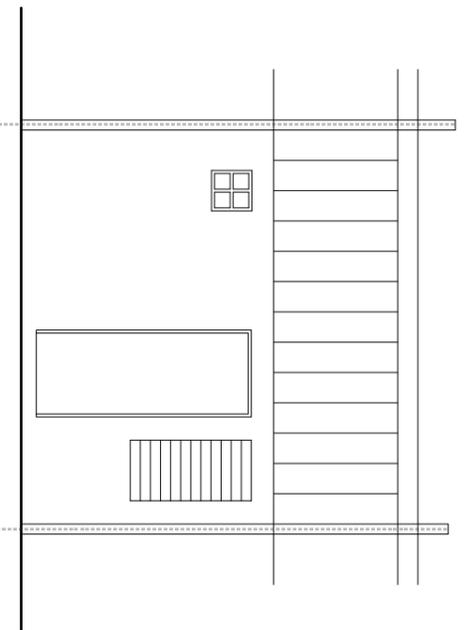
Front part Elevation



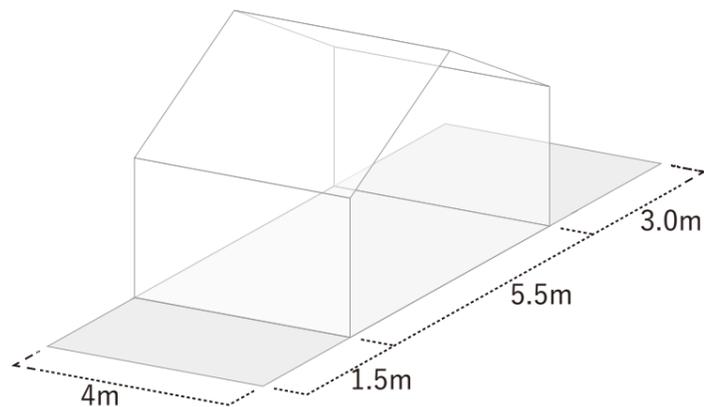
Plan



Back part Elevation



Perspective



scale = 1/70



INTERVIEW SHEET FOR LOCAL RESIDENTS

- BASIC INFORMATION OF RESIDENTS -

servay form (for local residents)

1. Basic information

- 1) How many people live in this house?
- 2) Please tell us each person' s age.
- 3) Have your family members ever studied at a school?



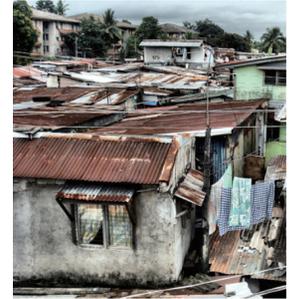
2. About an informal settlement where the interviewee used to live

- 1) Which community did you belong to before you moved to St. Martha Estate?
- 2) Did you yourself build the house that you used to live in, in the informal settlement?

BY YOURSELF

- 2-1) What kinds of tools and/or materials did you use to build your house?
- 2-2) Did you learn from someone how to build your house? Who did you learn from?

BY OTHERS



3. Condition of the household budget

- 1) What is your main source of income? How do you earn money (income)? How do you make your living?
(Agriculture/ labor/ business/ rental housing/ or others)
- 2) Where do you work?
(your house/inside St. Martha estate/Metro Manila/ or others)
- 3) How much per month or per day does the transportation for commuting cost?
- 4) How much per month or per day do you usually earn by your work?
- 5) Are you having any loans now ? Could you tell us for what purpose the loan is?

▼FOR LOCAL RESIDENTS
:BASIC INFORMATION OF RESIDENTS

1. Basic Information

1)

2)

3)

2. About an informal settlement where the interviewee used to live

1)

2)

2-1)

2-2)

3. Condition of the household budget

1) Agriculture labor business rental housing
/ others ()

2) your house inside St. Martha Estate Metro Manila
/ others ()

3)

4)

5)

- STATE OF COMMUNITY AND RESETTLEMENT PROJECT -

servay form (for local residents)

1. About current state of the community you belong to

1) Do your relatives live in St. Martha estate?

YES
1-1) Where does he/she (do they) live?
1-2) How often do you meet him/her (them) ?

NO

2) Are there any local communities or groups you belong to?

YES
2-1) Does the community hold meetings on regular basis?

NO

YES
2-1-1) How often and where are the meetings held (per month/ year) ?

NO

3) About how many persons do you know in St. Martha?
4) About how many persons do you often talk with?
5) When did you know them, before or after coming to St. Martha?
6) Where do you usually meet your friends? (your house/ friend' s house/ others)
7) Are you satisfied with your current relationship with your friends?

8) Has the community or group with the informal settlement where you used to live been continuing?
Or, are you still meeting community members of the informal settlement you used to live?

YES
8a-1) Does it hold meetings on regular basis?

NO
8b-1) what was the reason of your connection to the community has declined?
(most of the residents have moved to other resettlement site/ the community was broken up after people moved to St. Martha Estate)

YES
8a-1-1) How often and where are the meetings held (per month/ year) ?

NO

2. Resettlement project

1) When did you move to St. Martha estate?

3. Ownership

- 1) Do you have ownership of the land and house you live in now?
- 2) What condition (requirement) do you need to meet to acquire the ownership?
- 3) If you have ownership, do you need to pay taxes for the land (real estate)?
- 4) Do you want to live here permanently, or do you have a plan to move to somewhere else?

▼FOR LOCAL RESIDENTS

:STATE OF COMMUNITY AND RESETTLEMENT PROJECT

1. About current state of the community you belong to

1)

2)

2-1)

2-1-1)

3)

4)

5)

6)

7)

8)

8a-1)

8a-1-1)

8b-1)

2. Resettlement project

1)

3. Ownership

1)

2)

3)

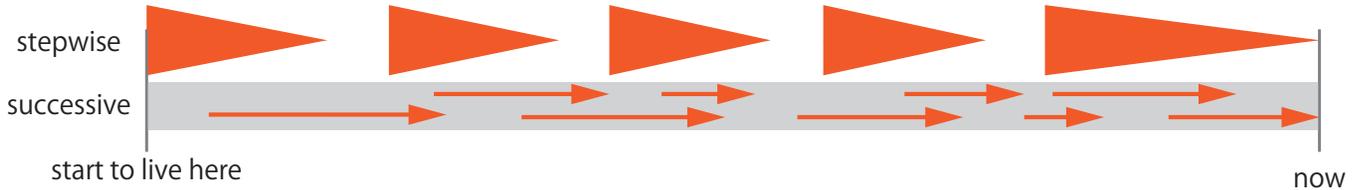
4)

- STATE OF EXTENSION AND RENOVATION OF HOUSES -

servay form (for local residents)

1. Basic information

0) Interviewer make a decision whether the housing have been renovated in a stepwise manner or successively.



- 1) When did you begin the renovation and extension?
- 2) Please tell me the order of renovation and extension. → ※fill in the chart
(I mean which part did you renovate/extend first, second, and so forth.)
- 3) How much did it cost for renovation and extension on a part to part basis? → ※fill in the chart
- 4) Have you completed repayment of your loans of the renovation and extension? Or, are you still repaying now?
- 5) Did you apply for a building permission? Also, was your application approved?

2. Attitudes for renovation

1) Why did you renovate your house? Please tell me for each renovation parts. → ※fill in the chart

For example,

- Extending the front or back part because of narrow (small) space of basic housing unit/ increase of family members.
- Making the windows for better lighting and/or ventilation.
- Putting tiles or seats to mitigate the effect of deterioration of kitchen, bathroom, and living room.
- Mounting ceiling to separate air of living from air of kitchen and toilet.
- Mounting ceiling to prevent from rain leaking.
- Attaching iron bar to windows for enhancement of security.
- Gardening for better appearance.
- Paining the inside walls to make your room brighter.
- Getting better appearance to get better price for your house when you sell your house.
- Having a wide frontage to run a store.
- / resembling neighborhood/ recommendation by an acquaintance (friend)/ anticipation for earthquake resilience/ etc.

2) Do you have a plan for another renovation in the future?

A) YES

2a-1) Why? For example,

(narrow (small) space of basic housing unit/ family member increase/ better lightning/ deterioration (contamination) of kitchen and bathroom/ security enhancement/ better appearance/ resembling neighborhood/ recommendation by an acquaintance (friend) / have time to do/anticipation for earthquake resilience)

B) NO

2b-1) Why? For example,

(No special complaint/ expensive design cost/ expensive construction cost/ expensive material cost/ no place to renovate/ difficulty in acquiring materials/ might induce dispute with neighborhood)

▼FOR LOCAL RESIDENTS

:STATE OF EXTENSION AND RENOVATION OF HOUSES

1. Basic Information

1)

2)

3) ※fill in the chart

4) ※fill in the chart

5)

6)

2. Attitudes for renovation

1) ※fill in the chart

2)

- 2a-1) narrow (small) space of basic housing unit increase of family members
 for better lightning deterioration (contamination) of kitchen and bathroom
 for enhancement of security better appearance resembling neighborhood
 recommendation by an acquaintance (friend) had time to do
 anticipation for earthquake resilience

/ others ()

- 2b-1) No special complaint expensive design cost expensive construction cost
 expensive material cost no place to renovate
 difficulty in acquiring materials might induce dispute with neighborhood

/ others ()

【chart】

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence				
	eave/overhang				
	window/door				
	floor				
back extension part	wall/fence				
	eave/overhang				
	window/door				
	floor				
renovation part	new wall				
	exist wall				
	ceiling				
	roof				
	floor				
others					

- STATE OF EXTENSION AND RENOVATION OF HOUSES -

servay form (for local residents)

3. Designing

1) Who designed the renovation and what kind of relationship do you have with the designer?

(multiple answers are allowed)

(yourself/ local residents who has design experience/ local residents without design experience/ outsider with design experience/ your acquaintance you knew before you came to the St. Martha/ building firm/ architect/ staff of a retail shop of construction material)

A) BY YOURSELF

1a-1) Whom did you learn design method from?

B) BY OTHER PERSON

1b-1) What were the critical points to decide the design engineer?

(cost/ easy to talk/ experience/ the designer' s house is excellent/ the house(s) that the designer planned is/are wonderful/ etc.)

2) Is the designer different from constructor?

YES

2-1) Please tell us the cost you spend for design and construction for each renovation.

2-2) Please tell us how long did it take for design and construction for each renovation.

NO

4. Construction

1) Who constructed the renovation and what kind of relationship do you have with the constructor ?

(multiple answers are allowed)

(yourself/ local residents who has construction experience/ local residents without construction experience/ outsider with construction experience/ your acquaintance you knew before you came to the St. Martha/ building firm/ architect/ staff of retail shop of construction material)

A) BY YOURSELF

1a-1) Whom did you learn methods of construction from?

B) BY OTHER PERSON

1b-1) What were the critical points to decide the constructor?

(cost/ easy to talk/ experience/ the engineer' s house is excellent/ the house(s) that the engineer planned is wonderful/ etc.)

▼FOR LOCAL RESIDENTS

:STATE OF EXTENSION AND RENOVATION OF HOUSES

3. Designing

- 1) yourself local residents who has design experience
local residents without design experience
outsider with design experience
your acquaintance you knew before you come to St. Martha building firm architect
staff of a retail shop of construction material
/ others ()

1a-1)

- 1b-1) cost easy to talk experience the designer's house is excellent
the house(s) that the designer planned is/are wonderful
/ others ()

2)

2-1)

2-2)

4. Construction

- 1) yourself local residents who has construction experience
local residents without construction experience
outsider with construction experience
your acquaintance you knew before you come to St. Martha building firm architect
staff of a retail shop of construction material
/ others ()

1a-1)

1b-1)

5. Materials

1) Who arranged construction materials and what kind of relationship did you have with him/her?

(multiple answers are allowed)

(yourself/ local residents who has experience/ local residents without experience/ outsider with experience/ your acquaintance you knew before you came to St. Martha/ building firm/ architect/ staff of a retail shop of construction material)

A) BY YOURSELF

1a-1) Where did you get them?

(you made/ bought from material retail shops/ accepted donation/ found free articles from somewhere else/ acquire from your friend/ etc.)

1a-2) How much was the cost for transportation and how long did it take?

B) BY OTHERS

1b-1) What were the determining factors when you chose the person to ask?

(cost/ easy to talk/ well experienced/ good reputation/ etc.)

A) YOU MADE

1a-1a-1) Whom did you learn methods to produce construction materials from?

B) MATERIAL RETALL SHOP

1a-1b-1) Which shop did you use?

1a-1b-2) How much did it cost?

C) DONATION

1a-1c-1) Who donated the materials?

D) FOUND ARTICLES

1a-1d-1) Where did you find them?

(road side within the St. Martha Estate/ nearby garbage collection point/ informal settlement where you lived before/ etc.)

2) What do you prioritize when you choose construction materials?

(cost effectiveness/ quality/ reduction of construction period/ appearance/ etc.)

6. Formation of community through the process of housing renovation

1) Have the connections with the people who involved in the renovation of your house been continuing?

2) Do you always use the same designer, constructor, and providers of construction materials for each renovation?

▼FOR LOCAL RESIDENTS

:STATE OF EXTENSION AND RENOVATION OF HOUSES

5. Materials

- 1) yourself local residents who has experience
local residents without experience outsider with experience
your acquaintance before you come to the St. Martha
building firm architect staff of a construction material retail shop
/ others ()

- 1a-1) you made bought from material retail shops accepted donation
found free articles from somewhere else acquire from your friend
/ others ()

1a-2)

1a-1a-1)

1a-1b-1)

1a-1b-2)

1a-1c-1)

- 1a-1d-1) road side within the St. Martha Estate nearby garbage collection point
informal settlement where you lived before
/ others ()

- 1b-1) cost easy to talk well experienced good reputation
/ others ()

- 2) cost effectiveness quality reduction of construction period appearance
/ others ()

6. Formation of community thought the process of housing renovation

1)

2)

Date: 2016.10.18 (1回目: 08.08) (2回目: 10.16)
Interviewer: 小司 (1回目: 川崎) (2回目: 國江)
Interviewee: 住戸1 母 (1回目: 父母) (2回目: 母)

外観(10.18 にファサード写真を撮影していなかったため、外観写真のみ8月時点のもの)



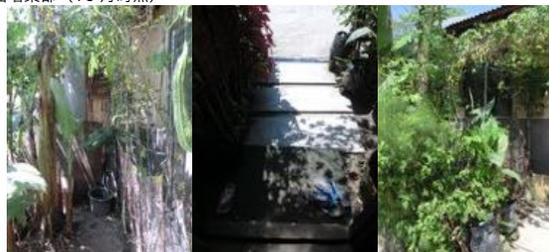
内観 (10月時点)



キッチン・CR



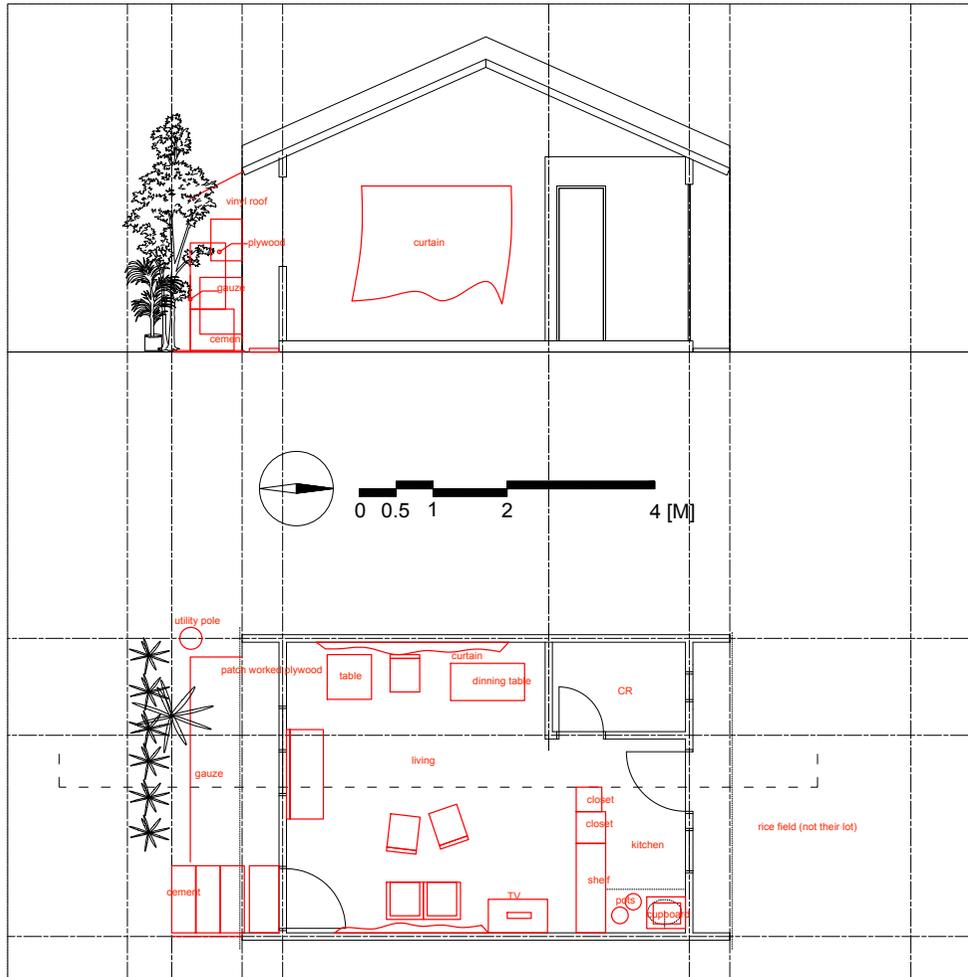
前面増築部 (10月時点)



背面増築部

基本住戸背面すぐには St.M 外の稲田が広がっている。

住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	ガーゼ	0	レストスペースを設けたかった
	eave/overhang	1	ビニールシート (玄関上のみ)	0	
	window	-	-	-	
	door	-	-	-	
	floor	1	セメント	0	
	gardening	1	植物	0	
back extension part	wall/fence	-	-	-	-
	eave/overhang	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
Renovation part	partition	?	カーテン	0	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-
others					

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	4
家族構成(年齢・学歴)	父(40)/母(53)/子供(7)/子供(5)

従前居住地

従前居住地	Tondo
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者 (職業・職場)	早朝野菜配達ドライバー (Quezon,Balintawak の公共市場 St.M から約 1 時間)
収入額	200~300peso/day×30days=6,000~9,000peso/month
融資状況	食費を近所の人から借りている。

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	-
St.M 内在住の知人数 ・知り合った時期	100
St.M 内在住の頻繁に 会話をする友人数 ・知り合った時期	前 10
St.M 内在住の知人・ 友人と会う場所	家の外
現在所属するコミュ ニティグループ	-
従前居住地での知人 との現状交友関係	○週に一度は会う
St.M 移住後の交友関 係満足度	○

再定住事業

移転時期	2014/07/30
所有権	受益者
所有権を得る条件 ・現在の取り組み	200peso/month 支払い中 残り 25 年で返済終了
St.M 永住希望	x

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	無料 パブリックマーケットでもらった植物を育てているのみである。
許可の有無	不要
順序・期間	前面部のみ
今後の計画	防水のため屋根を新設したい。

設計

設計者	住民
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	住民
施工技術の取得方法	以前の経験から
施工者の選定理由	-

建築資材

資材調達者	住民
資材調達方法	公共市場にて無料調達
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	コスト・見栄え

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現 在の交友関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回 同一人物か	-

オボ Date: 2016.10.15 (第1回: 08.08)
Interviewer: 竹村 (第1回: 川崎)
Interviewee: 住戸2 祖母

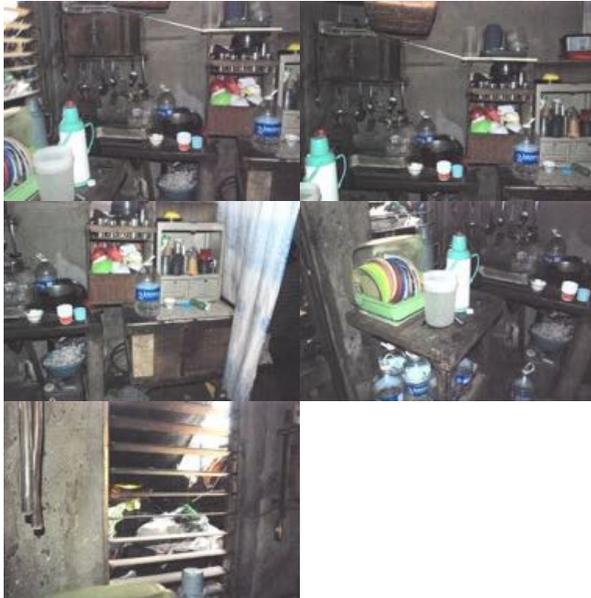
外観



内観



キッチン



CR



前面増築部



背面増築部

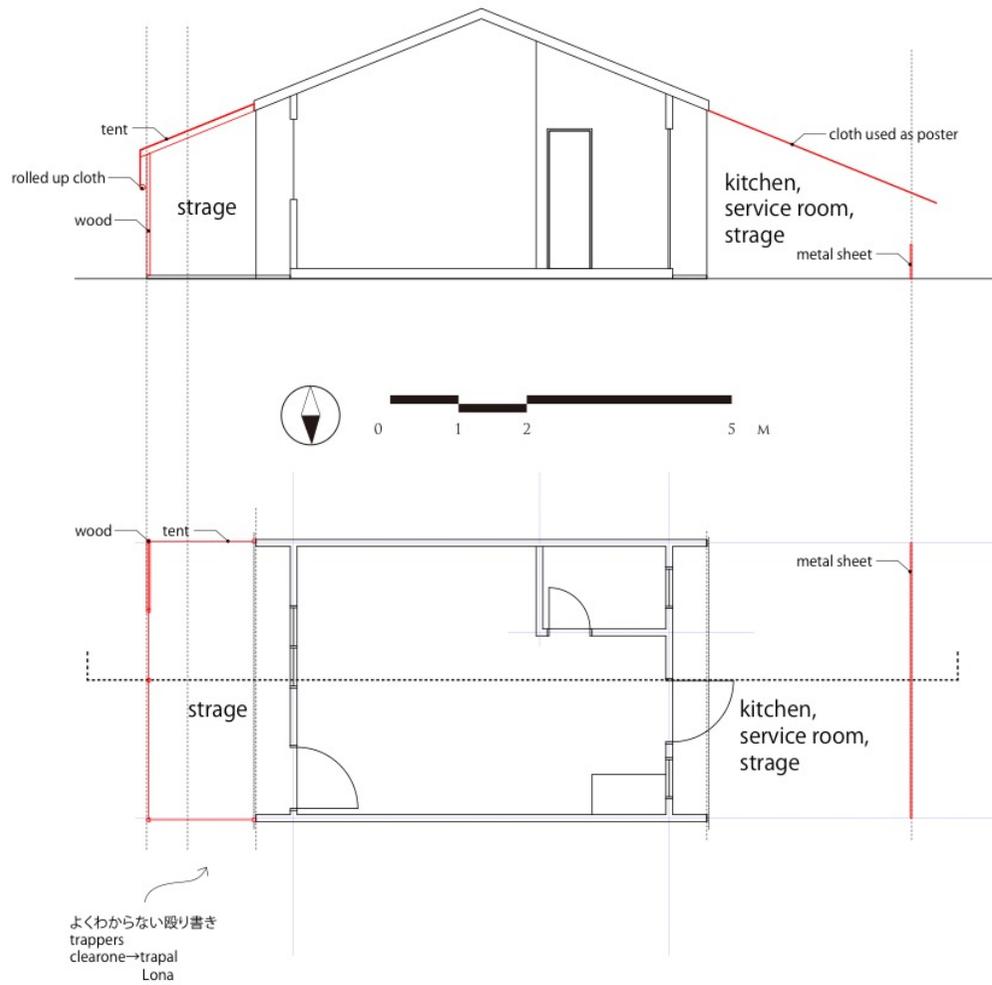


10月撮影



8月撮影

住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	木柱のみ	0	下記参照
	eave/overhang	1	防水シート(地面まで覆う)	0	下記参照
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	1	セメント	0	下記参照
	【増築理由】リサイクルマテリアルショップの倉庫として。後に中古品店に販売する品を貯蔵する。				
back extension part	wall/fence	2	トタン	0	下記参照
	eave/overhang	2	防水シート	0	防雨
	window	2	屋根と壁の間の隙間	0	下記参照
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	【用途】キッチン・倉庫				
renovation part	partition	?	カーテン	0	キッチンとリビングを隔てる
	exist wall	?	カーテン	0	?
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

【補足】

現在資材を集めている（お金ではなく）。資材がたまったら父が施工を始める。

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	8
家族構成(年齢・学歴)	祖母(53)/祖父(62)/孫(15)/孫(10)/孫(8)/孫(6)/孫(5)/孫(1)

従前居住地

従前居住地	Tondo
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者 (職業・職場)	祖父:中古品販売店にて資材スクラップ/祖母:パン屋(家)
収入額	祖父 800/month+祖母 125/day=4,550/month
融資状況	なし

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	◎3件 毎日のように顔を合わせる
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	ほとんど前300
St.M 内在住の頻繁に会話を する友人数・知り合った時期	前50
St.M 内在住の知人・友人と 会う場所	外、家の前、ブロックの角
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との 現状交友関係	○毎日会う
St.M 移住後の交友関係 満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/05/13
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の 取り組み	ローン支払い中? 支払いは必要だと話しているが、 実際支払っているかは不明。
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	? 1週間
コスト	無料
許可の有無	なし
順序・期間	前>後
今後の計画	セキュリティ強化と背面部をソイルセメントで作り変え希望

設計

設計者	住民
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	住民
施工技術の取得方法	経験より
施工者の選定理由	-

建築資材

資材調達者	住民
資材調達方法	前の住戸資材リユース
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	コスト

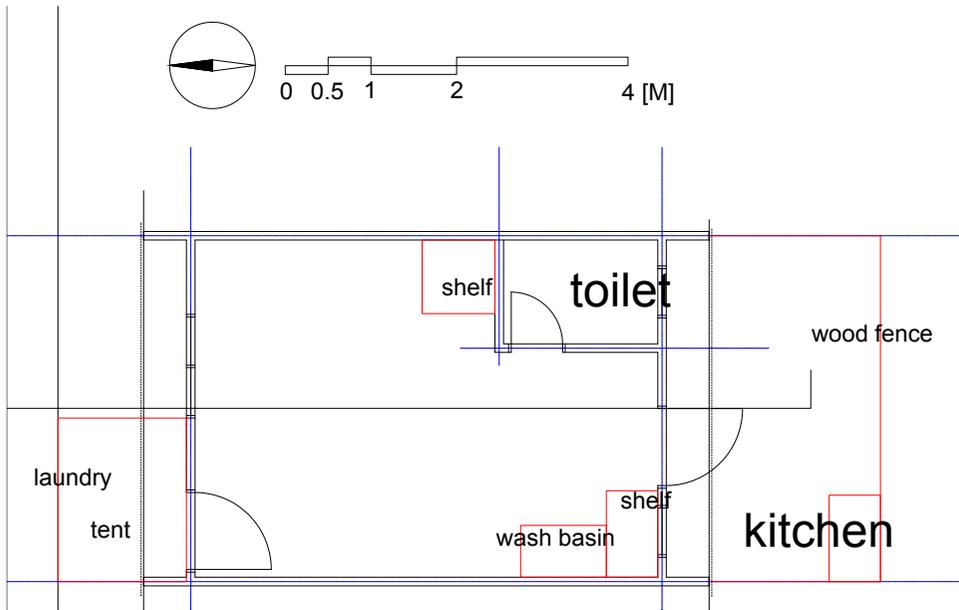
増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の 交友関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回 同一人物か	同じ

Date: 2016.10.16 (1回目: 08.08)
Interviewer: 竹村 (1回目: 保坂)
Interviewee: 住戸3 母



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	-	-	-	-
	eave/overhang	1	防水シート	0	防雨・遮光
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	1	セメント	0	
back extension part	wall/fence	1	木格子柵	0	防犯（既存の背面部扉が壊れてしまったため）
	eave/overhang	1	防水シート	0	防雨・遮光
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
renovation part	partition	1	家具	0	-
	exist wall	1	ペンキ	0	娘の夫が働く施工会社でペンキが余っていたため
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	1	ビニールシート	0	冷え防止 当初はリビング全体にシートを貼っていたが、劣化したため一部剥がした。
	CR	?	?	?	?
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	3家族 10人 (全員親戚)
家族構成(年齢・学歴)	① 母 (64)、三女 (24) →障害者 ② 次女 (27)、夫 (33)、孫 (8)、孫 (7ヶ月) ③ 長女 (33)、夫 (42)、孫 (7)、孫 (3) →下線の引かれた三人は普段会社近くに住んでいて週末のみ帰ってくる。

従前居住地

従前居住地	SAN JOSE DELMONTE (6 YEARS) → PLARIDEL (3 MONTH) → St. Martha (4 YEARS) ※Plaridel は物価が高すぎた
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者 (職業・職場)	家族②の夫：トラックのドライバー (Metro Manila, Blumentritにある、VENUS TRUCKING という会社に勤務・長女が時々②夫の手伝いをする) 家族③の夫：販売業 (Bulacan, Meycauayan city (セントマーサから約 15 キロ)
収入額	家族②：9,600 peso/month 家族③：14,000 peso/month
融資状況	なし No loans. She doesn't use loan since she know she cannot afford to back

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	-
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	後 20
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後 20(近隣住民・友人)
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	家の内外
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	×従前居住地での知人たちはセントマーサに移住できなかった。
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013
所有権	叔母から寄付 実際の受益者 (オリジナルオーナー) は叔母であり、彼らではないらしい。 叔母は Quezon city, Sauyo に家を持ち、家族で住んでいる。 叔母は財布工場で働いており、彼女の子供が学校に通っているため、叔母家族はそこに住み続けている。
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 peso/month のローンを叔母 (家族①の母の姉妹) が支払い中
St.M 永住希望	○ (叔母が帰ってきたら移住の可能性あり)

増改築基本情報

開始時期	? 2時間
コスト	無料
許可の有無	なし
順序・期間	全て同時
今後の計画	不明 叔母が増改築に対する権限を握っているため彼らには決められない。

設計

設計者	叔母 (オリジナルオーナー)
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	長女次女の兄弟 (大工)
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	親戚で経験があるから Meycauayan で大工をしている

建築資材

資材調達者	住民
資材調達方法	職場から無料取得 家族②の夫が働く会社のトラックの廃材を無料でもらった (防水シートやワイヤー等)
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	Quality →トラックの防水シートは雨や風や遮光に優れている

増改築を通じたコミュニティ形成

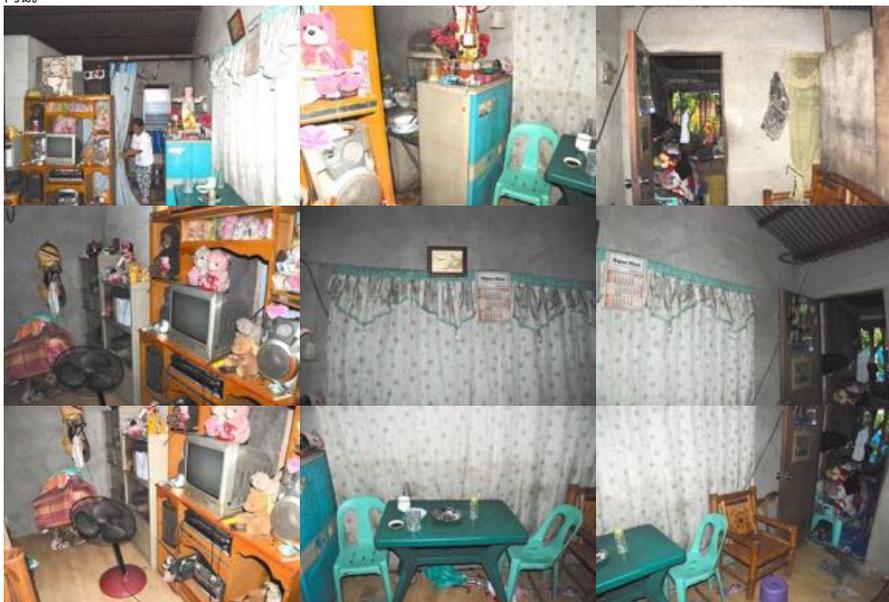
増改築生産者との現在の交友関係	親戚
増改築生産者は毎回同一人物か	-

Date: 2016.10.15 (1回目: 08.08)
Interviewer: 國江 (1回目: 小司)
Interviewee: 住戸4 母 Jocelyn canja

外観



内観



寝室



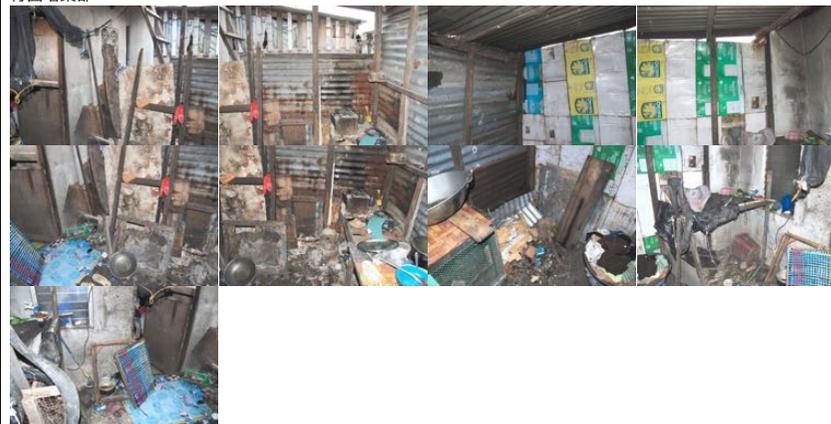
CR・キッチン

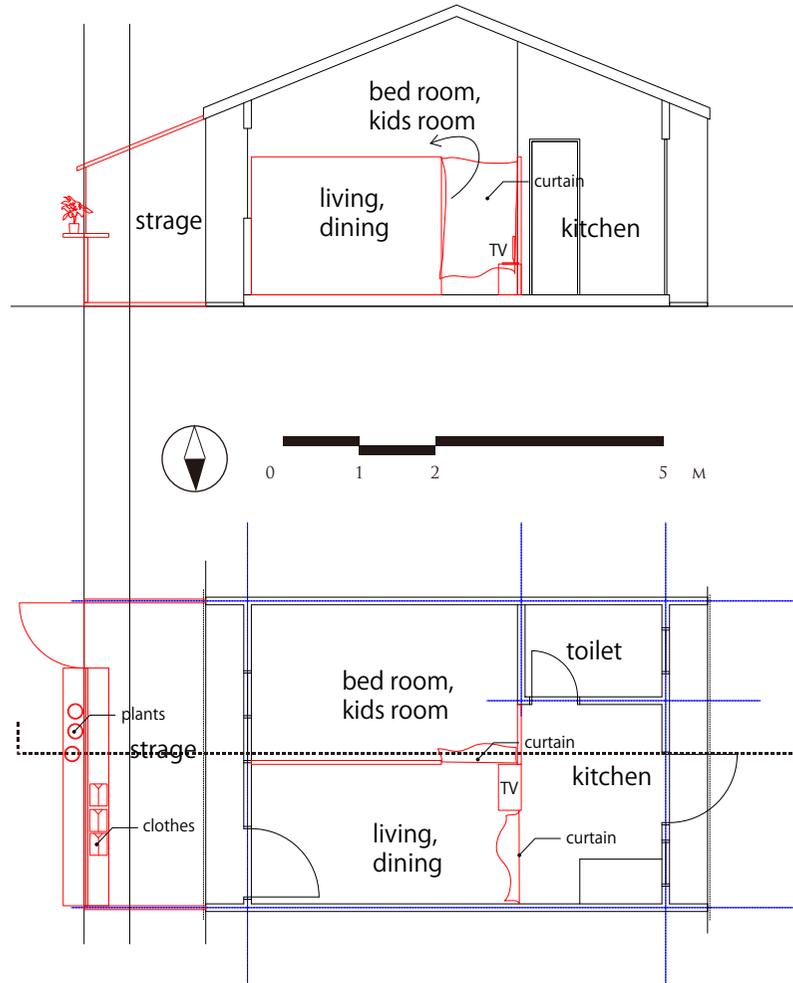


前面増築部



背面増築部





part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	木材	0	下記参照
	eave/overhang	2	トタン	0	下記参照
	window	2	金属格子窓	0	下記参照
	door	2	木板戸 扉下木板柵	0	下記参照 幼児が外に出るのを防ぐ
	floor	2	セメント	0	下記参照
		?	鉢植え+高木	?	?
【全面増築理由】店舗経営のため（現在は予算の都合で営業停止中）					
back extension part	wall/fence	3	トタン	0	キッチン
	eave/overhang	3	一部トタン	0	キッチン
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	kitchen	3	机にコンロと鍋が乗っている	0	キッチン
	plants				
Inside original housing unit	partition	1	ベニヤ	0	子供の寝室
	exist wall	1	カーテン	0	?
	ceiling	-	-	-	-
	roof	1	蔓植物	0	?
	window	-	-	-	-
	floor	1	ビニールシート	0	?
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	3
家族構成(年齢・学歴)	母(46・6年教育)、父(45大卒)、娘(1) 母は6年の教育を受け、父は大学を卒業

従前居住地

従前居住地	TONDO
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	父
当時住戸利用資材	Coco lumber をハードウェアショップにて購入し利用

経済状況

勤労者 (職業・職場)	父：トライシクルドライバー(St.M-Manila)/母：マット製作・販売(自宅)
収入額	300/week=1,200/month
融資状況	後増築費返済中 -バックヤードの増築のための借金あり。現在返済中。

現在のコミュニティ状況

St.M 内在住の親戚	母の姉妹 同時に越してきた
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	前150 Uliang community
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	前5
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	家の外
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	×共に移住後交友破綻 従前コミュニティは破壊され、皆セントマーサに越してきたがその後関係が薄れてしまった。母の妹に会うために最初の1~2年はトンドに通っていた。
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/04/29
所有権	転売(友人から) 彼女は元々の受益者ではなく、転売されてここへ移転してきた。元のオーナーは彼女のトンド時代の友人であったが、ローンを支払えなくなってしまった。
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	無料
許可の有無	NHA 訪問済み
順序・期間	室内(1日) > 前(1週間) > 後、
今後の計画	後増築希望(8月時点でそう言っていたため、10月までの間に後増築したのだと考えられる。)

設計

設計者	母
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	近所友人大工 トンド時代からの知人で、現在セントマーサ在住の経験のある友人 この家の後ろの住宅に住んでいる ※私たちが探しても、近隣住民には「そんな人は知らない」と言われ、見つけれなかった。
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	元々友人だったから

建築資材

資材調達者	住民
資材調達方法	リサイクル店譲渡 リサイクルマテリアルショップで coco lumber を無料でもらった。トンド生活時代に使っていたマテリアルショップと同じ。ショップ名は忘れてしまったらしい。
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	quality

増改築を通じたコミュニティ形成

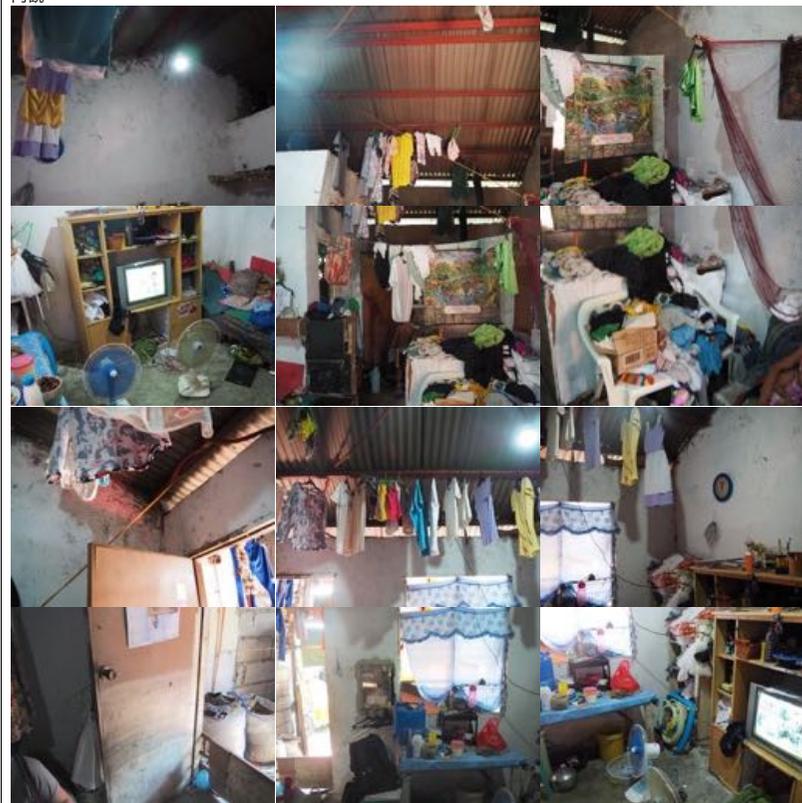
増改築生産者との現在の交友関係	○友人
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.18
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸5

外観



内観



シンクのあった場所



CR



前面増築部

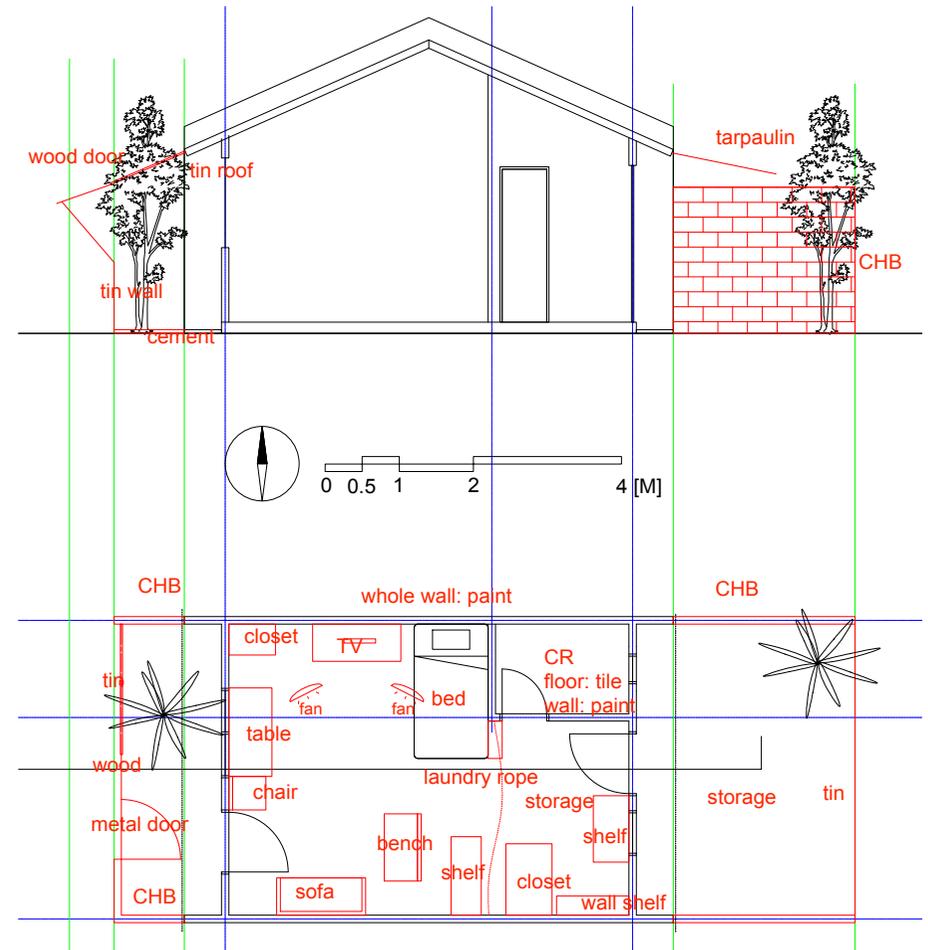




背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	コンクリート	0 (友人からの譲渡)	犬除けのため
	eave/overhang		木材		
	window		-		
	door		-		
	floor		セメント		
back extension part	wall/fence	-	-	-	-
	eave/overhang	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
		-	-	-	-
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	2	ペンキ仕上げ	0 (教会から譲渡された)	ペンキを譲渡されたから
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-
others	floor of the restroom	2	タイル	0 (譲渡された)	タイルを譲渡されたから

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	3家族 11人
構成(年齢・学歴)	父(54 小卒)/母(48 高卒)-弟(44 小卒)/長男(19)/長女(17 高校生)-夫(19)-孫息子(1)/次男(12 小学生)/三男(10 小学生)/次女(9 小学生)/三女(4)

従前居住地

従前コミュニティ	Block10, Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者・職業・職場	父：プロ大工 息子：アマチュア大工 (St.M 外交通費 150~200/week)
収入額	7,000/month
融資の有無	なし

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	-
St.M 内知人数と知り合った時期	前後 300
St.M 内で頻繁に会話を する友人数と知り合った時期	前後 50
St.M 内の知人友人と会う場所	covered court
現在属しているコミュニティグループ	4P's 母はリーダー(月1回 mtg@coverd court)"
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/9
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2015
コスト	—
許可の有無	
増改築順序	前>中
今後の増改築計画	前面増築を終わらせて、背面部も新たに増築したい

設計

設計者	ヒアリング対象者の弟（大工）
住民の場合 >誰に教わったか	-
他者の場合 >選定理由	親戚で経験があるから

施工

施工者	ヒアリング対象者の弟（大工）
住民の場合 >誰に教わったか	-
他者の場合 >選定理由	親戚で経験があるから

建築資材

資材調達者	教会寄付/友人譲渡
住民の場合 >調達方法	-
他者の場合 >選定理由	寄付・譲渡されたのみ
建築資材の 決定理由	-

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	1人
構成（年齢・学歴）	女性(52 高校卒業)

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo, Moriones
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	(コランバー利用→購入したものと譲渡されたもの)

経済状況

勤労者・職業・職場	地元ボリス（インフォーマル）セントマーサ内
収入額	500/month (+近所の友人が物資を恵んでくれる)
融資の有無	なし

現在のコミュニティ状況

StM内親戚	—
StM内知人数と知り合った時期	前後 50
StM内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前後 20
StM内の知人友人と会う場所	B25の角
現在属しているコミュニティグループ	police meeting（月2回バスケットボールコートでミーティング）
従前居住地知人とのつながり	現在も近所に住んでいてほぼ毎日顔をあわせる
StM内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/19
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2013/06/
コスト	無料
許可の有無	不要
増改築順序	後>前>中 各1日
今後の増改築計画	見栄えを良くしたい

設計

設計者	後・内部：住民 前：地元友人（デザイン経験有）
住民の場合 >誰に教わったか	自己流
他者の場合 >選定理由	友人が善意で行ってくれた

施工

施工者	後・内部：住民/前：地元大工
住民の場合 >誰に教わったか	自己流（教わるほどの作業でもない）
他者の場合 >選定理由	（友人が雇ってくれたため無料）

建築資材

資材調達者	住民/地元大工（購入）/友人（譲渡）
住民の場合 >調達方法	前の住居から持ってきた
他者の場合 >選定理由	地元大工や友人の善意であり彼女（住民）が依頼したものではない。
建築資材の 決定理由	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○大工やそれを手配してくれた友人とは現在も交友あり
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.19
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸7

外観



内観



CR



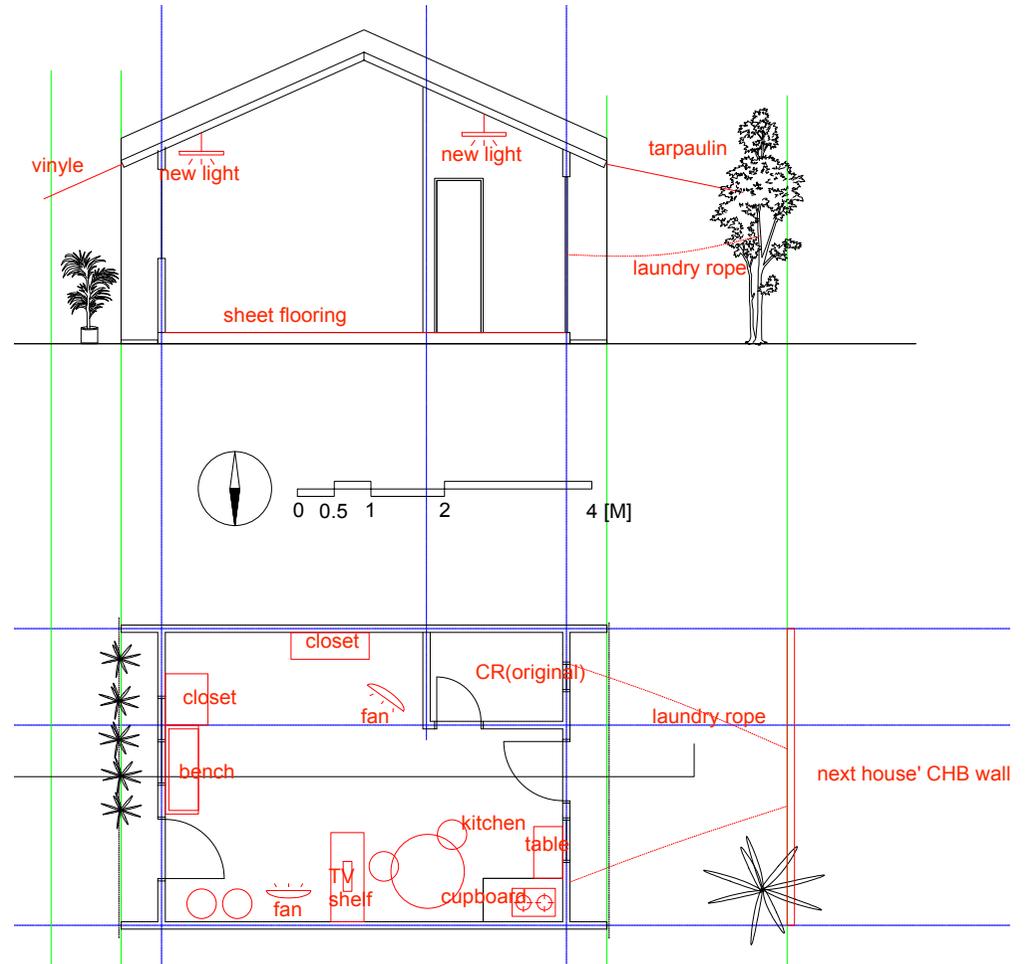
前面増築部

写真なし

背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2		0 (材料はすべて トンドマニラから 持ってきた)	-
	eave/overhang		ビニールシート		雨除け
	window		-		-
	door		-		-
	floor		-		-
	plant		植物		母の趣味
back extension part	wall/fence	3	-	0 (材料はすべて トンドマニラから 持ってきた)	-
	eave/overhang		ビニールシート		雨除け
	window		-		-
	door		-		-
	floor		-		-
	plant		植物		母の趣味
renovation part	partition	-	-	0 (材料はすべて トンドマニラから 持ってきた)	-
	exist wall	4	トイレの壁をペンキ仕上げ		トイレの壁を塗れる分量のペンキを持っていたから
	ceiling	-	-		-
	roof	-	-		-
	window	-	-		-
	floor	1	ビニールシート		床の仕上げが荒かったから
	CR	-	-		-
	kitchen	-	-		-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	4人
構成(年齢・学歴)	父(45 小卒)/母(44 小卒)/娘(9 在学中)/息子(15 在学中)

従前居住地

従前コミュニティ	TondoPier18
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	既に建てられた家を購入
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父：施工者ヘルパー（メトロマニラ交通費 100/day 週末のみ帰宅）
収入額	300/day×26days=7,800/month
融資の有無	サリサリストアに物資を借りている

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	父の姉妹が1件
St.M 内知人数と知り合った時期	前 50
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前 10
St.M 内の知人友人と会う場所	自宅
現在属しているコミュニティグループ	Agape (mtg は不定期) ※住民は Agape のミーティングには参加するが、メンバーではない。
従前居住地知人とのつながり	-
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/9
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 支払わなければならないが、未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2013
コスト	無料
許可の有無	
増改築順序	中床シート貼り>前軒>後軒>中既存壁塗装
今後の増改築計画	背面部を寝室として増築希望

設計

設計者	父
住民の場合>誰に教わったか	(以前船大工だった経験から)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父
住民の場合>誰に教わったか	(以前船大工だった経験から)
他者の場合>選定理由	-

建築資材

資材調達者	父母・近所の友人から譲渡(植物のみ)
住民の場合>調達方法	/従前居住地から持参
他者の場合>選定理由	譲渡
建築資材の決定理由	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○友人
増改築生産者は毎回同一人物か	-

Date: 2016.10.18
 Interviewer: 保坂
 Interviewee: 住戸8

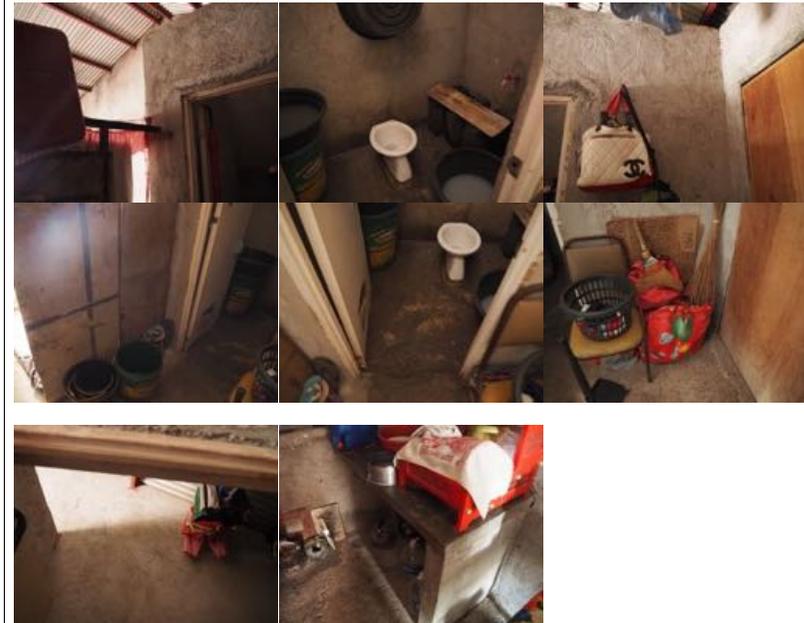
外観(外観のみ 10.15撮影)



内観



CR・キッチン



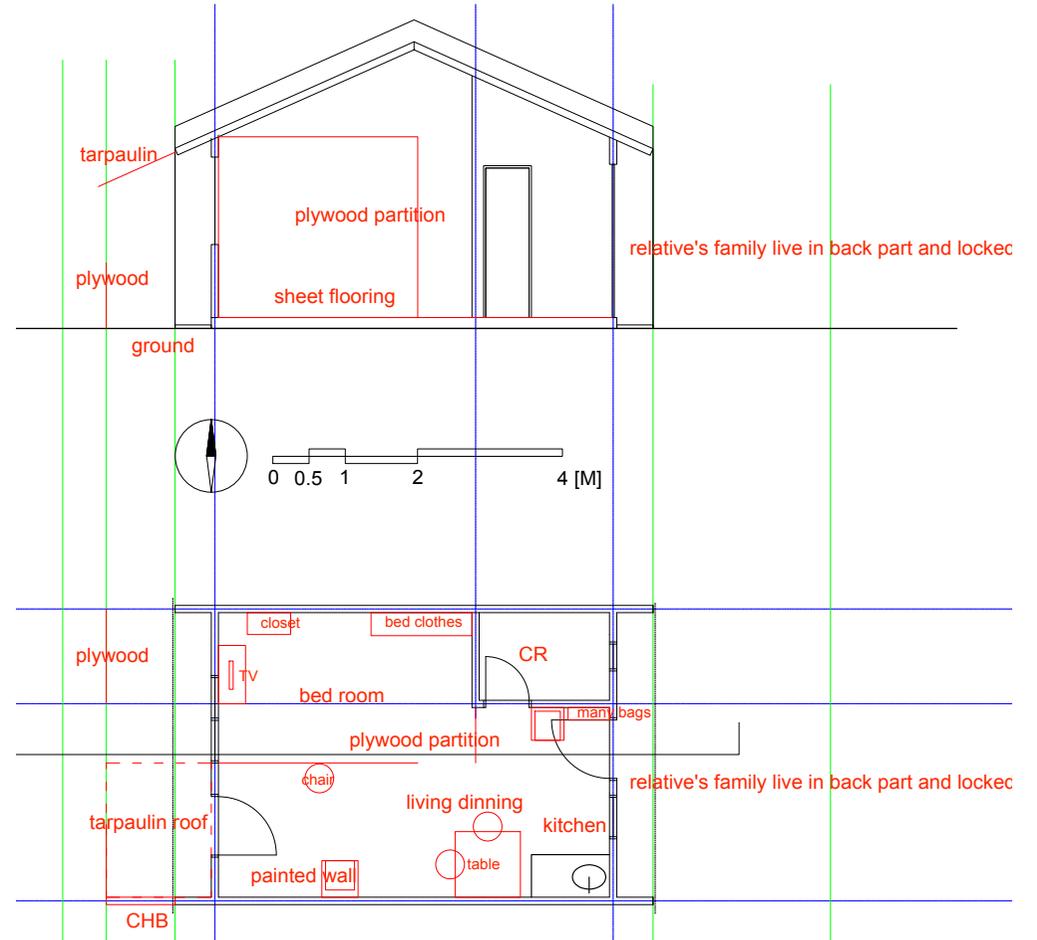
前面増築部



背面増築部

(親戚が住んでおり住人が外出中だったため、入れなかった。)

住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3	木材	200peso	犬除けのため
	eave/overhang		プラスチックシート	100peso	
	window		-	-	
	door		-	-	
	floor		-	-	
back extension part	wall/fence	2	-	-	親戚の夫婦が住んでいる (調査時不在のため調査不可)
	eave/overhang		-	-	
	window		-	-	
	door		-	-	
	floor		-	-	
			-	-	
			-	-	
renovation part	partition	1	木材	400peso	プライバシーのために新しい部屋を作りたかった
	exist wall		-	-	-
	ceiling		-	-	-
	roof		-	-	-
	window		-	-	-
	floor		-	-	-
	CR		-	-	-
	kitchen		-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5人
構成(年齢・学歴)	父(28小卒)/母(26小卒)/息子(小学生)/長女(5小学生)/次女(3小学生)

従前居住地

従前コミュニティ	Sitio Damayan, Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	木造

経済状況

勤労者・職業・職場	父母：清掃員(マニラ市交通費 150/week 週1回帰宅)
収入額	1,800/week×2人=14,400/month
融資の有無	無

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	◎
St.M内知人数と知り合った時期	前100
St.M内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前50
St.M内の知人友人と会う場所	道端・友人宅
現在属しているコミュニティグループ	4P's
従前居住地知人とのつながり	
St.M内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/7/16
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	移住後すぐ
コスト	700(material)
許可の有無	
増改築順序	中>後>前 (中・前1日ずつ)
今後の増改築計画	床の荒さ改善

設計

設計者	父母(
住民の場合 >誰に教わったか	自己流)
他者の場合 >選定理由	-

施工

施工者	父母(
住民の場合 >誰に教わったか	自己流)
他者の場合 >選定理由	-

建築資材

資材調達者	父母
住民の場合 >調達方法	/St.M店舗購入
他者の場合 >選定理由	-
建築資材の 決定理由	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知 り合っ た人々との現 在の関係	セルフビルド
増改築生産 者は毎回同 一人物か	

Date: 2016.10.15
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸9

外観



内観



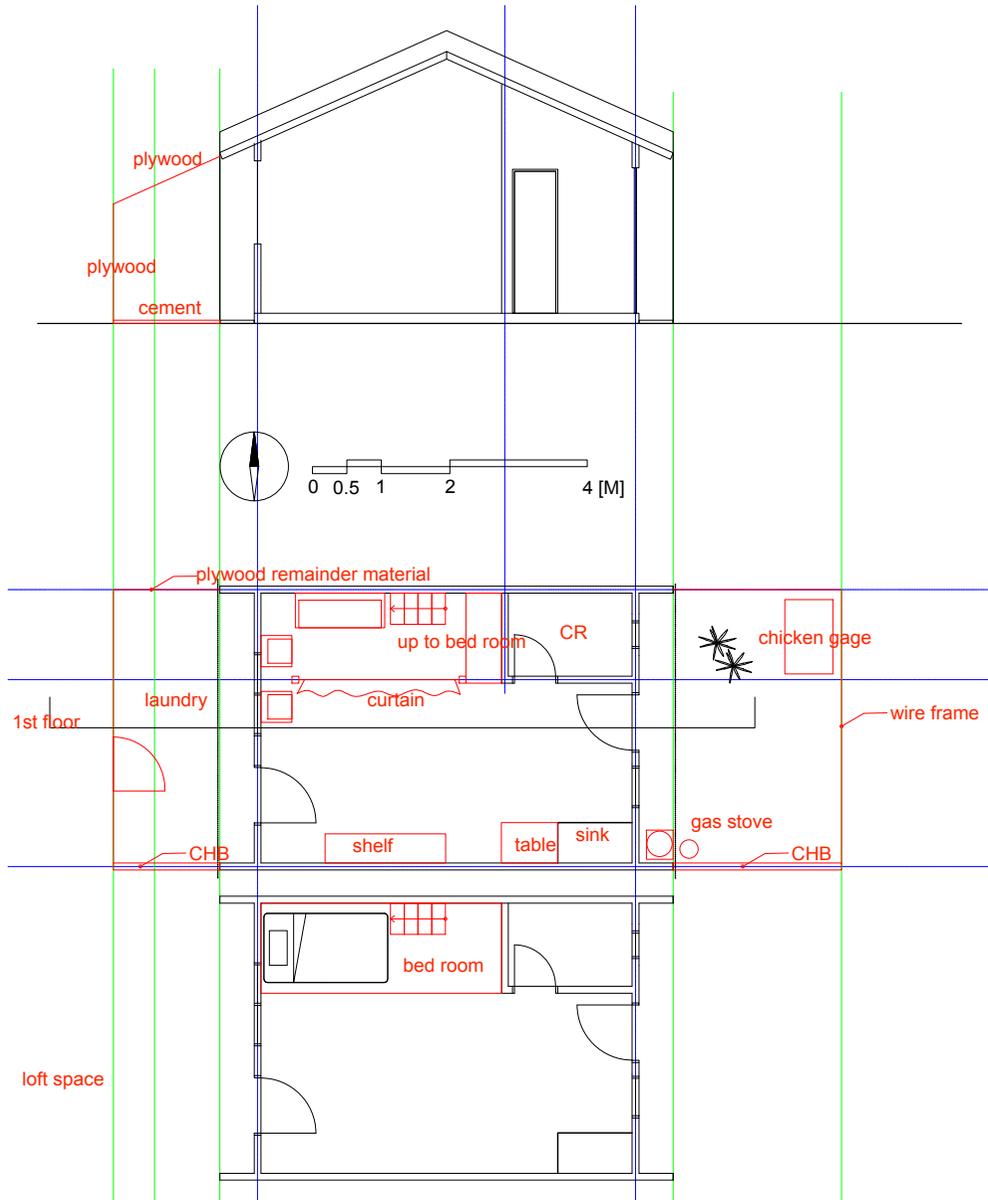
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	木材のフェンス CHB	0 前の家から持ってきた	洗濯場にするため
	eave/overhang		ベニヤ	-	-
	window		フェンスの隙間 が開口	-	-
	door		-	-	-
	floor		-	-	-
back extension part	wall/fence	-	CHB ワイヤフレーム	-	-
	eave/overhang	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	plant	-	植物	-	-
renovation part	partition	2	カーテン	-	-
	exist wall		-	-	-
	ceiling		-	-	-
	roof		-	-	-
	window		-	-	-
	floor		マット	700peso	-
	CR		-	-	-
	kitchen		-	-	-
	2段ベッド		木材	0 前の家から持ってきた	寝るため

住民概要

住人数	9人
構成(年齢・学歴)	父(32 高卒)/母(30 小卒)/長男(13 中退)/長女(9 小学生)/次女(8 小学生)/三女(5)/四女(4)次男(2)/三男(8 ヶ月)

従前居住地

従前コミュニティ	Northville
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	他者建設
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父：農家/母：ネイリスト 交通費 66/day
収入額	父 900/week + 母 300/week = 4,800/month
融資の有無	無

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	-
St.M 内知人数と知り合った時期	前 100
St.M 内で頻繁に会話を する友人数と知り合った時期	前 20
St.M 内の知人友人と会う場所	前庭
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	<input type="radio"/>

再定住事業

移転時期	2013/5/?
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 支払い中?
永住希望	<input type="radio"/>

増改築基本情報

開始時期	越してすぐ
コスト	735(only for material)
許可の有無	
増改築順序	前>中二段ベッド(全てに 5 日間)
増改築理由	広さ：前・中 プライバシー：中
今後の増改築計画	背面増築部に寝室とキッチンを取り付けたい

設計

設計者	父の父
住民の場合 >誰に教わったか	-
他者の場合 >選定理由	親戚だから

施工

施工者	父の父の友人大工
住民の場合 >誰に教わったか	-
他者の場合 >選定理由	設計者の友人で経験のある大工だから

建築資材

資材調達者	住民
住民の場合 >調達方法	/前の家から持参・店舗購入
他者の場合 >選定理由	-
建築資材の 決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	<input type="radio"/> 交友継続
増改築生産者は毎回同一人物か	

【補足】

Date: 2016.10.15 (1回目: 0808)
Interviewer: 竹村 (1回目: 川崎)
Interviewee: 住戸10

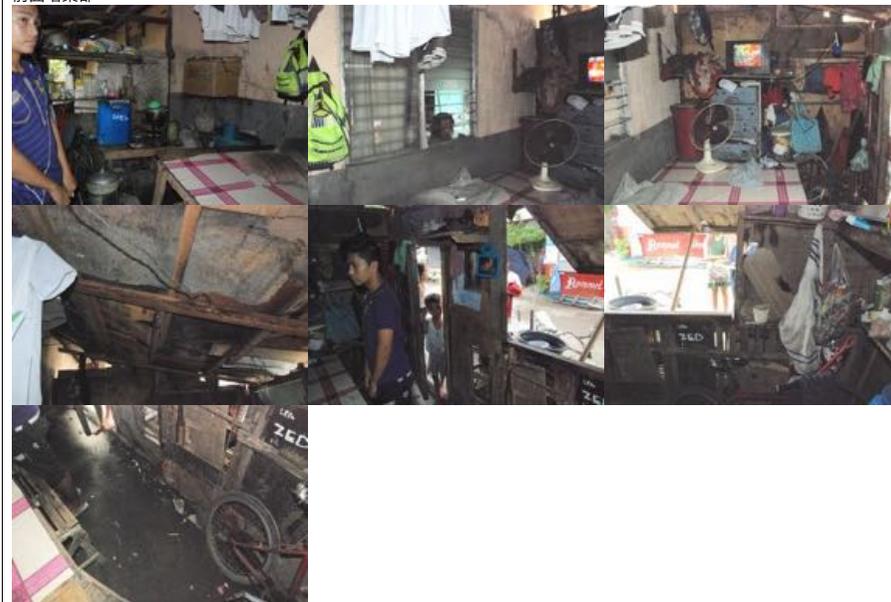
外観



内観

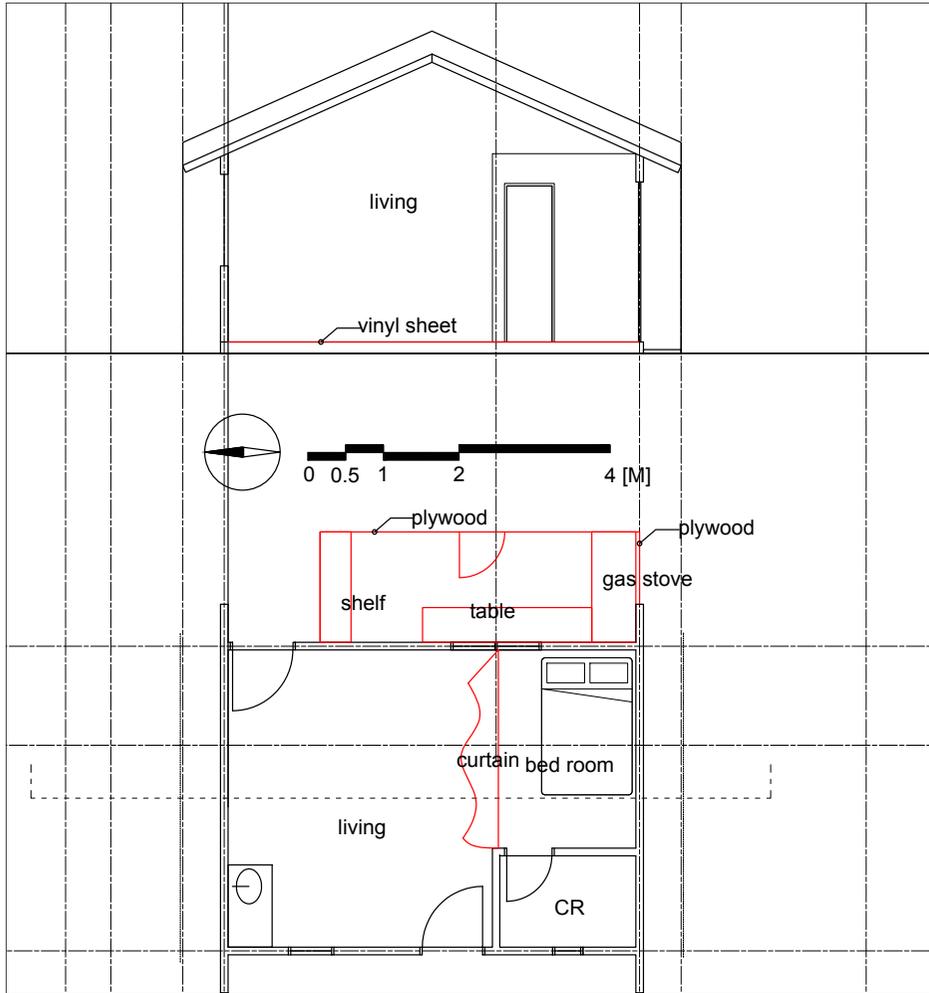


前面増築部



背面増築部
増築なし

住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	ベニヤ	?	?
	eave/overhang	1	ベニヤ・ダンボール	?	?
	window	1	跳ね上げ式木板窓 1	?	?
	door	1	木板戸 1	?	?
	floor	1	セメント	?	?
	kitchen	1	テーブル上にガスコンロ・食器	?	?
	【玄関前を開けている理由】 隣に住んでいる住民が祖父の親戚でたまに交友があるため。				
back extension part	wall/fence	?	?	?	母の父(子供にとっての祖父)の部屋
	eave/overhang	?	?	?	母の父(子供にとっての祖父)の部屋
	window	?	?	?	母の父(子供にとっての祖父)の部屋
	door	?	?	?	母の父(子供にとっての祖父)の部屋
	floor	?	?	?	母の父(子供にとっての祖父)の部屋
	【補足】 祖父が鍵を持っている為入れなかった。				
renovation part	partition	?	カーテン	?	
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	?	ビニールシート	?	
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	6
家族構成(年齢・学歴)	母(22)/父(31)/子供(7)/子供(5)/子供(4)/祖父

従前居住地

従前居住地	Tondo
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者 (職業・職場)	父：製鋼(1箇所に定まらない)
収入額	1,500~3,000/week=6,000~12,000/month
融資状況	食料ローン

現在のコミュニティ状況

St.M 内在住の親戚	◎隣家に母の叔母 毎日顔を合わせる
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	前400後100 歩いていて仲良くなった
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	前後200
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	外(たまに互いの家)
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	○現在もご近所さん
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/05/15
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	ローン支払いが必要 支払っているかどうかは不明
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	? 2日間
コスト	1,000
許可の有無	なし
順序・期間	前のみ(2日間)
今後の計画	見栄えを良くする。

設計

設計者	祖父
設計技術の取得方法	経験
設計者の選定理由	-

施工

施工者	祖父
施工技術の取得方法	経験
施工者の選定理由	-

建築資材

資材調達者	住民
資材調達方法	St.M 内店舗購入
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.15
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸11

外観



内観



寝室



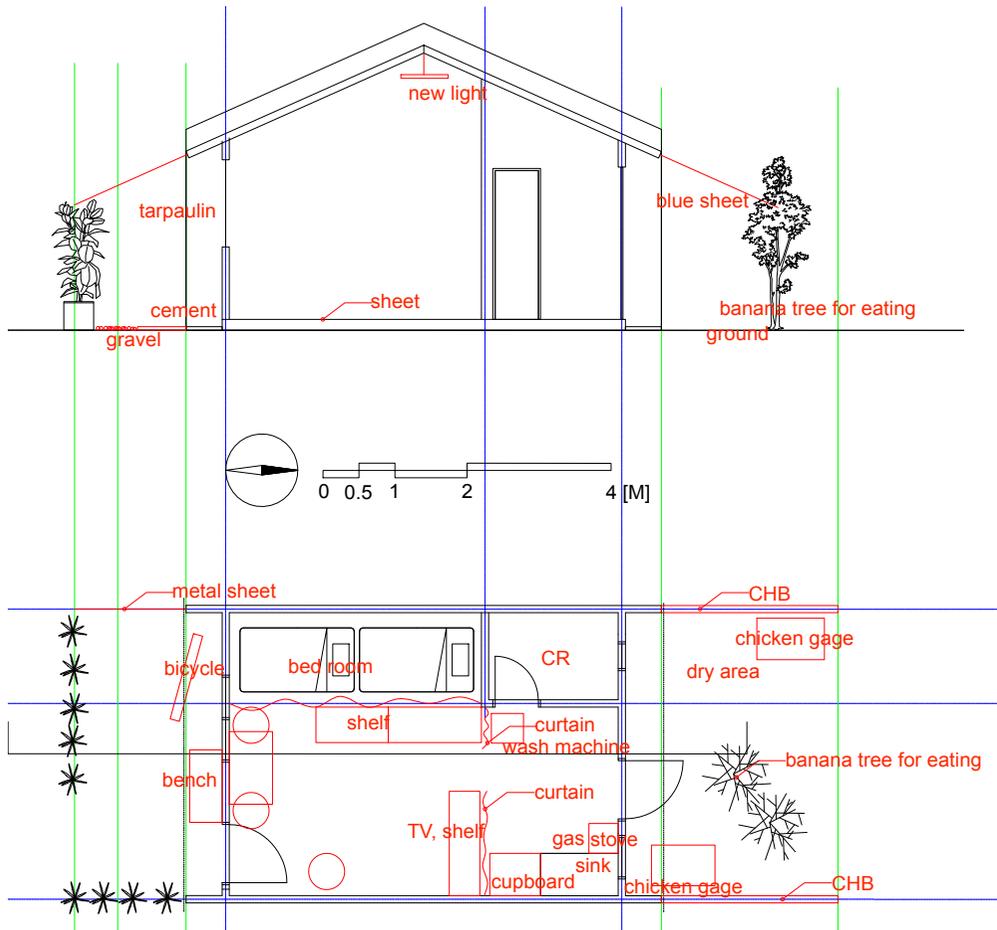
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3		-	?
	eave/overhang			-	雨と日射を避けるため
	window		-	-	-
	door		-	-	-
	floor		砂利	?	?
	plant		植物	?	?
back extension part	wall/fence	4	-	-	-
	eave/overhang		テント布	80peso	雨と日射を避けるため
	window		-	-	-
	door		-	-	-
	floor		-	-	-
			-	-	-
			-	-	-
renovation part	partition	1	カーテン	0 (姉妹からの譲渡)	プライバシー
	exist wall	3	モルタル仕上げ	100peso	元々の仕上げが荒かったので、怪我をしないように
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	2	ビニールシート	700peso	掃除のしやすさのため
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5名
構成(年齢・学歴)	母(49)/父(52)/長男(19)/娘(16)/次男(14)→現在誰も学校へ通っていない

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父：大工(メトロマニラ-交通費 200pesos/day) /母：ネイリスト(セントマーサ) /長男：派遣
収入額	15,000/month(仕事があれば)
融資の有無	日用品購入のための金銭を借りている

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	◎
St.M内知人数と知り合った時期	前100
St.M内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前たくさん
St.M内の知人友人と会う場所	自宅、友人宅、道端
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	
St.M内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/9
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200未納
永住希望	×仕事がない

増改築基本情報

開始時期	移住2週間後
コスト	1,130(material)
許可の有無	不要
増改築順序	中(新壁>床>既存壁仕上げ)>前>後
今後の増改築計画	既存壁仕上げを全体に施したい

設計

設計者	母
住民の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父・親戚大工
住民の場合>誰に教わったか	(親戚大工に教わる)
他者の場合>選定理由	親戚で経験があるから

建築資材

資材調達者	住民・母の姉妹寄付
住民の場合>調達方法	/購入
他者の場合>選定理由	母の姉妹寄付
建築資材の決定理由	コスト・質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	親戚
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.15
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸1 2

外観



内観



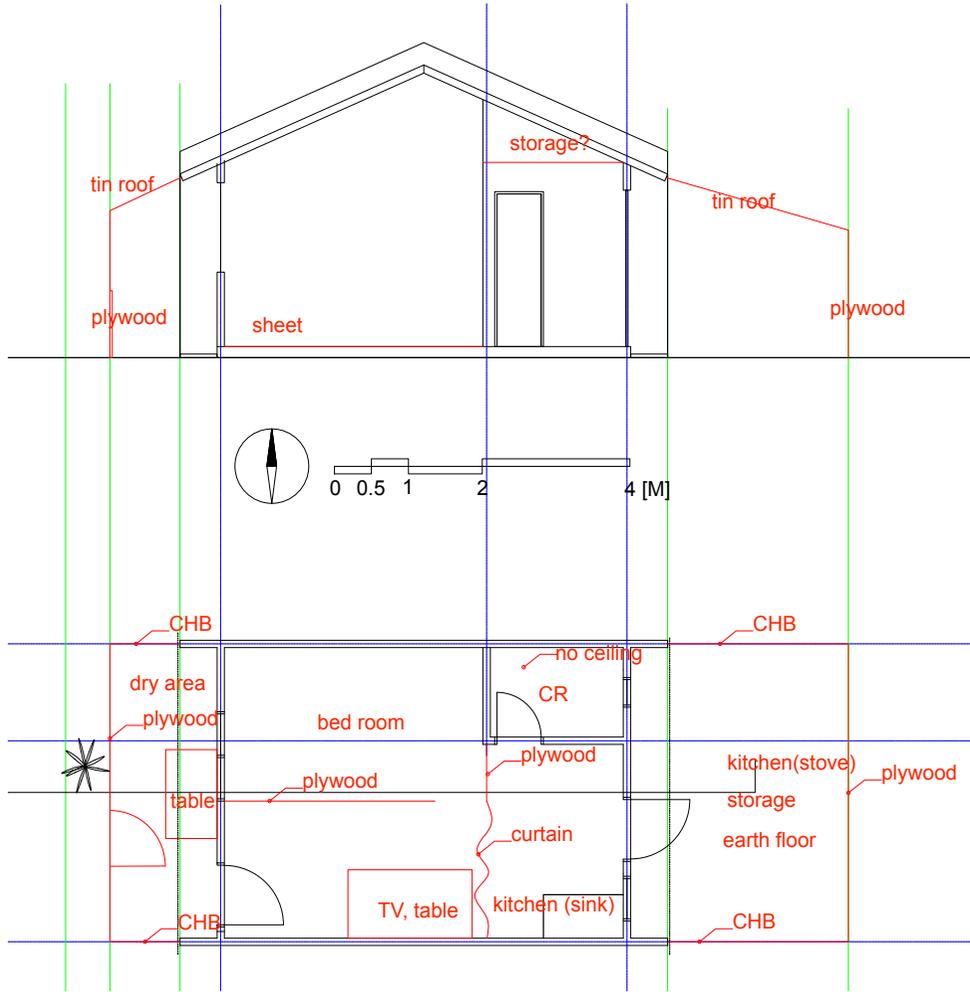
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3	ベニヤと釘 (2kg)	木材は従前居住地トンドから持参	ランドリーのため
	eave/overhang	3	トタン	?	ランドリーのため
	window	3	開口のみ窓1	?	ランドリーのため
	door	3	金属板戸1	?	ランドリーのため
	floor	3	セメント	?	ランドリーのため
	【前面部増築施工期間】 1日				
back extension part	wall/fence	1	ベニヤと釘 (3kg)	木材は従前居住地トンドから持参	キッチン・ダイニングのため
	eave/overhang	1	トタン	?	キッチン・ダイニングのため
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	(kitchen)	1	テーブルにガスコンロと食器	-	キッチンのため (シンクは既存のものを利用)
【施工期間】 1週間					
renovation part	partition	2	ベニヤペンキ塗装・カーテン	1,000peso	寝室を区切るため プライバシー
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	2	照明	200peso 3年前に購入	?
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	2	ビニールシート	友人から譲渡	?
	CR	2	天井板張り	?	? 写真より、物置として利用していると想定。
	kitchen	-	-	-	-
	【施工期間】 1日				

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5人
家族構成(年齢・学歴)	母(32)/父(40)/長男(6・小学生)/次男(5・小学生)/三男(1・小学生)

従前居住地

従前居住地	Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	木製住宅

経済状況

勤労者 (職業・職場)	父：トライシクルドライバー・大工(パートタイム)(St.M 外交通費 70/day) /母：ラグ製作(自宅)
収入額	父 8,000+母 240=8,240pesos/month
融資状況	無

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	◎
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	前 10
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	前 2
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	道端
現在所属するコミュニティグループ	なし
従前居住地での知人との現状交友関係	
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/6
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	200pesos/month のローン支払いが必要(支払い中かどうかは不明)
St.M 永住希望	×

増改築基本情報

開始時期	移住 2 ヶ月後
コスト	1,200(only for materials)
許可の有無	
順序・期間	後(1 週間)>中(1 日)>前(1 日)
今後の計画	キッチン改善・住戸面積拡大

設計

設計者	父
設計技術の取得方法	(自己流)
設計者の選定理由	-

施工

施工者	父母
施工技術の取得方法	(自己流)
施工者の選定理由	-

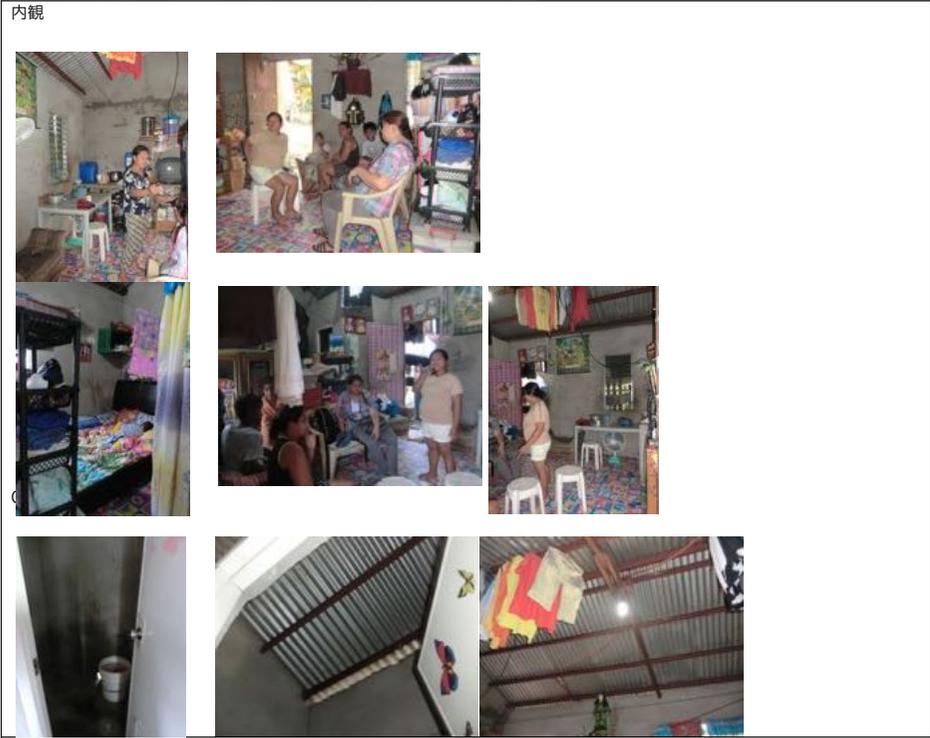
建築資材

資材調達者	父
資材調達方法	従前住居から持参・St.M 内店舗購入
資材調達者選定理由	友人譲渡
資材の決定要因	?

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	○友人
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

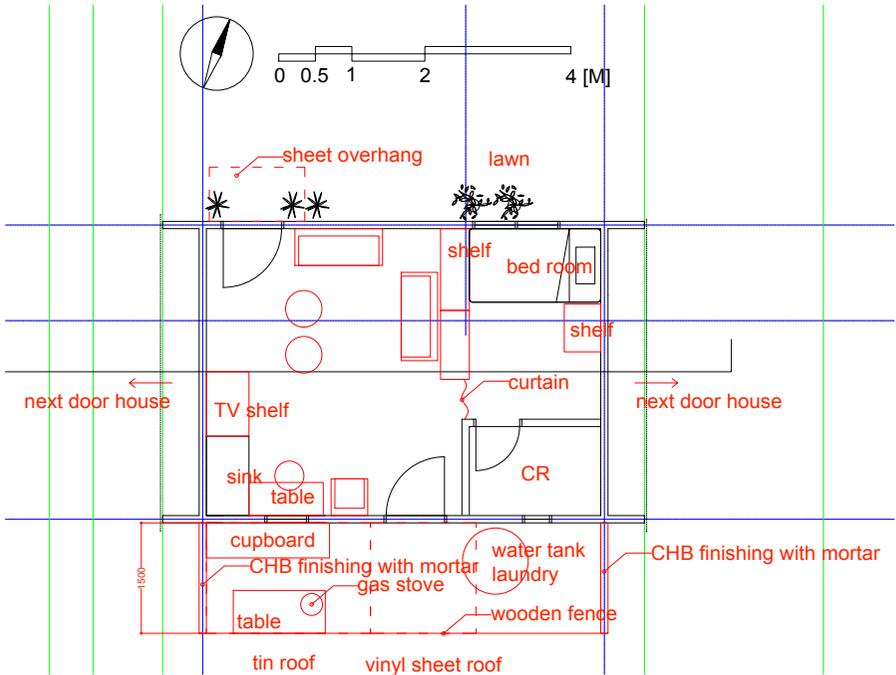
Date: 2016.10.15
 Interviewer: 小司
 Interviewee: 住戸13



前面増築部
 写真なし



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	-		-	-
	eave/overhang	3	ビニールシート	0 (息子の職場から)	雨と日射を避けるため
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
back extension part	wall/fence	1	竹	0 (息子の職場から)	庭とキッチンを守るため
	eave/overhang		トタン		雨と日射を避けるため
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
		-	-	-	-
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	2	ビニールシート	1,300peso	仕上げが荒く、汚かったため 掃除がしやすいように
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	二家族 10 人
構成 (年齢・学歴)	母(41)/義父(41)/長男(30)-妻(31)-孫娘(8 小学生)-孫息子(5 小学生)/次男(28)/娘(15)/三男(17 大学生)/四男(15)

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド (本当の父と息子)
当時住戸利用資材	店舗で購入したセメント・ココランバー等を使用"

経済状況

勤労者・職業・職場	父：大工(Bulacan 毎日帰宅)/仕事がないときには家族全員で家の裏手にあるお米を育てる
収入額	父 1,800-2,000/week=7,200-8,000/month
融資の有無	お金を近所の友人に、物を retail shop に借りている

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎ 2 件
St.M 内知人数と知り合った時期	前後 so many
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前後 so many
St.M 内の知人友人と会う場所	自宅 or 道端
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/9
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	越してすぐ
コスト	735(only for material)
許可の有無	
増改築順序	前>中二段ベッド(全てに5日間)
増改築理由	広さ：前・中 プライバシー：中
今後の増改築計画	背面増築部に寝室とキッチンを取り付けたい

設計

設計者	父の父
住民の場合 >誰に教わったか	-
他者の場合 >選定理由	親戚だから

施工

施工者	父の父の友人大工
住民の場合 >誰に教わったか	-
他者の場合 >選定理由	設計者の友人で経験のある大工だから

建築資材

資材調達者	住民
住民の場合 >調達方法	/前の家から持参・店舗購入
他者の場合 >選定理由	-
建築資材の 決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	<input type="radio"/> 交友継続
増改築生産者は毎回同一人物か	

【補足】

Date: 2016.10.15
Interviewer: 保坂・小司
Interviewee: 住戸14

外観



内観



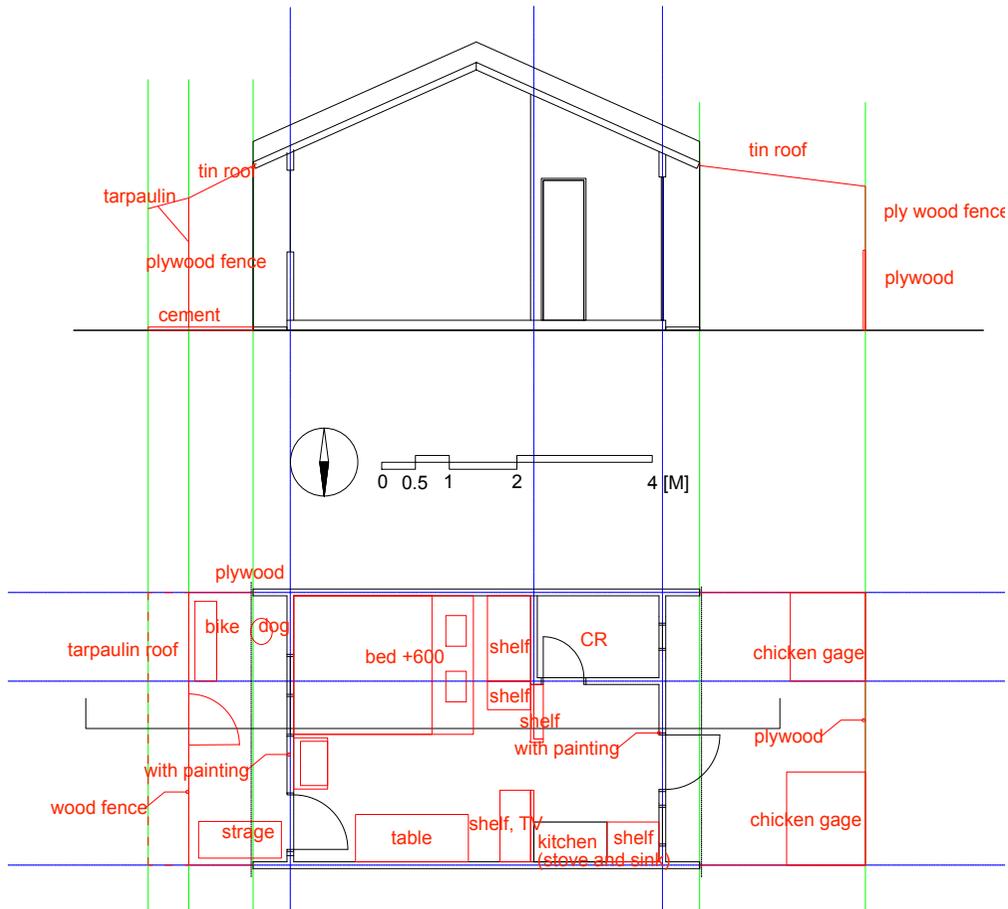
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	ベニヤ連子外側のみペンキ塗装	前合計 9,000peso	ランドリーのため
	eave/overhang	2	トタン・防水シート	前合計 9,000peso	ランドリーのため
	window	-	-	-	-
	door	2	ベニヤ連子外側のみペンキ塗装	前合計 9,000peso	ランドリーのため
	floor	3	タイル	父の職場の上司から譲渡	ランドリーのため
【施工時期】 2013/12 タイル 2014/5					
back extension part	wall/fence	3	ベニヤ	0	防犯
	eave/overhang	3	トタン	0	防犯
	window	3	ベニヤ横連子	0	防犯
	door	-	-	-	-
	floor	3	セメント	?	防犯
【施工時期】 2014/5					
renovation part	partition	1	ベニヤペンキ塗装・家具・カーテン	住戸内合計 5,000peso	リビングとキッチン隔着てるため
	exist wall	1	ペンキ塗装	住戸内合計 5,000peso	?
	ceiling	1	照明	75peso	?
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	6人
家族構成(年齢・学歴)	父(39 小卒)/母(29 小卒)/長男(9 小学生)/次男(8 小学生)/三男(7 小学生)/娘(1)

従前居住地

従前居住地	Binondo, Tondo
当時住戸所有形態	母の姉妹の住宅を間借り
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者 (職業・職場)	父：労働者 (Binondo Manila バイクガソリン代 50/day)
収入額	8000/month
融資状況	バイクローン

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	◎
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	後 300
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後 20
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	家の前
現在所属するコミュニティグループ	SOTO/従前居住地コミュニティ(バスケットボールコートで週 1 mtg)
従前居住地での知人との現状交友関係	
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中?
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	移住後すぐ
コスト	1,475(only for materials)
許可の有無	
順序・期間	後>前>中
今後の計画	?

設計

設計者	父
設計技術の取得方法	(自己流)
設計者の選定理由	-

施工

施工者	父
施工技術の取得方法	(兄弟から教授)
施工者の選定理由	-

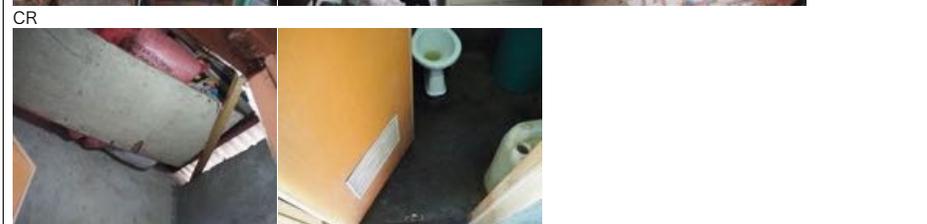
建築資材

資材調達者	父
資材調達方法	//パティア店舗購入
資材調達者選定理由	職場ボス譲渡
資材の決定要因	コスト

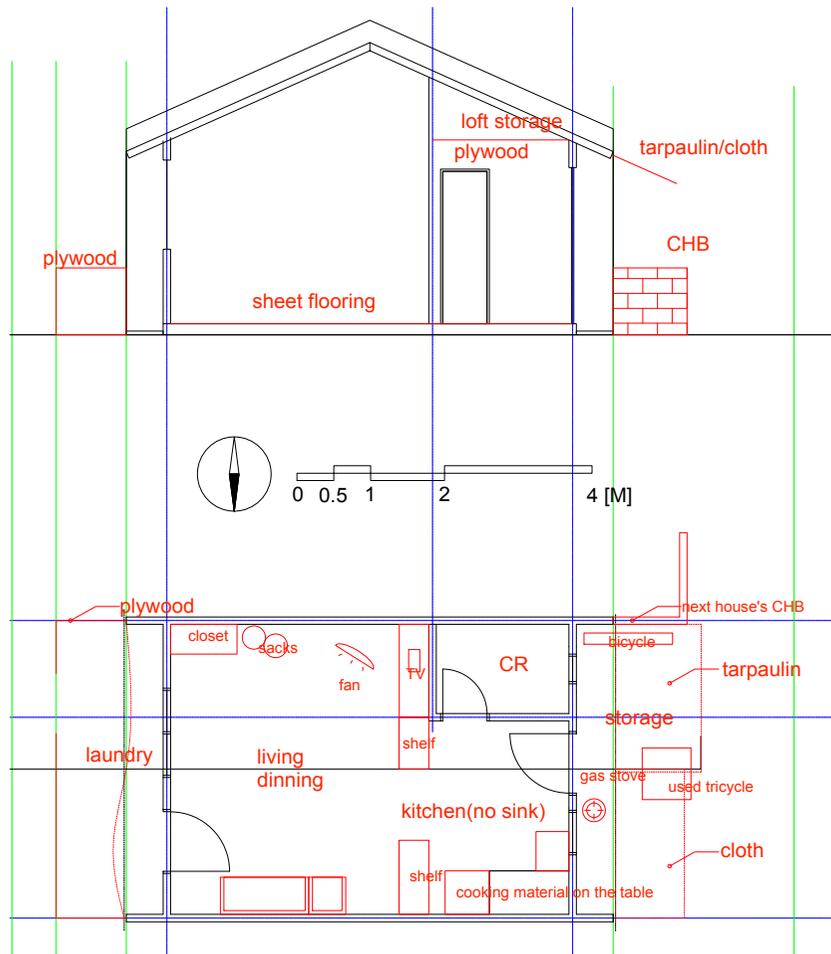
増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	○ 職場のボスとして交友継続
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.18
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸15



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	木材	0 (譲渡された)	犬除け
	eave/overhang		-	-	-
	window		-	-	-
	door		-	-	-
	floor		-	-	-
back extension part	wall/fence	2	-	-	-
	eave/overhang		プラスチックシート	200peso	雨水が家に入らないように
	window		-	-	-
	door		-	-	-
	floor		-	-	-
renovation part	partition	1	-	-	-
	exist wall		-	-	-
	ceiling		-	-	-
	roof		-	-	-
	window		-	-	-
	floor		マット	1,500peso	床の仕上げが荒かったから
	CR		-	-	-
	kitchen		-	-	-
others	ceiling of the restroom	2	木材	0 (友人からの譲渡)	物を載せるため

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	7人
構成(年齢・学歴)	父(37)/母(37)/長女(18 高卒)/息子(14 高校生)/次女(11 小学生)/三女(10 小学生)/四女(6 小学生)

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo, damp site
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父母：洗濯バサミ製作(自宅)/母：爪磨き/父：ドライバーアシスタント(メトロマニラでパートタイム)
収入額	母 300/day(不定期)+父 500/day(不定期)=0-24,000/month
融資の有無	無

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	-
St.M 内知人数と知り合った時期	前 100
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前 40
St.M 内の知人友人と会う場所	4P's の mtg にて
現在属しているコミュニティグループ	4P's(Tondo 時代から。月 1 回 covered court にて mtg)
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2014/7/?
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	ローンを支払う必要はまだない。(本当か?)
永住希望	x

増改築基本情報

開始時期	移住後すぐ
コスト	1,700(material)
許可の有無	
増改築順序	中>前後
今後の増改築計画	狭いため背面部の増築と、店舗開業のため前面部増築を希望

設計

設計者	母
住民の場合 > 誰に教わったか	(自己流)
他者の場合 > 選定理由	-

施工

施工者	住民
住民の場合 > 誰に教わったか	(自己流)
他者の場合 > 選定理由	-

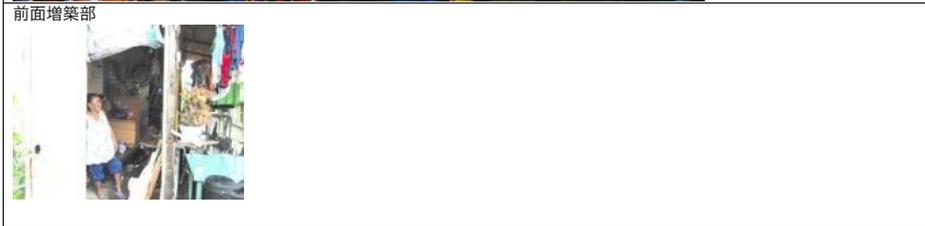
建築資材

資材調達者	住民 近所の友人から譲渡
住民の場合 > 調達方法	/パティアの店舗購入、売り歩き人から購入
他者の場合 > 選定理由	譲渡
建築資材の決定理由	質

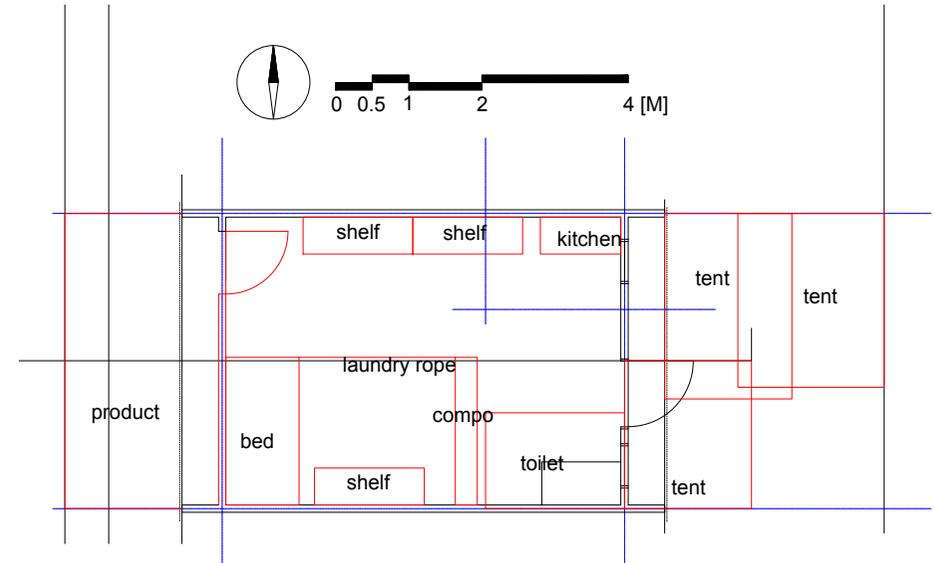
増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○友人
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016. 08.09
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸16 母



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	?	合板 トタン	1,000peso	サイサリストアのため 雨防くため
	eave/overhang		トタン テント布		
	window		鉄格子 ベンキ仕上げ		
	door		-		
	floor		セメント		
back extension part	wall/fence	-	-	1,000peso	-
	eave/overhang	?	テント布		雨を防ぐため
	window	-	-		-
	door	-	-		-
	floor	-	-		-
	plant	?	植物		-
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	?	合板	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	-	ビニールシート	9000peso	-
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	3(平日2人)
構成(年齢・学歴)	母(66)/父(64)/孫(9) 父は週末しか帰ってこない。 孫の両親は離婚して彼が1歳のときに去ってしまった。

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo, Ulingang Block1 St.M から 1-1 時間半離れた場所
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者・職業・職場	父：個人舗装整備施工者(メトロマニラ) /母：サリサリストア(自宅)
収入額	父 1,900/week+母 500/month=8,100/month
融資の有無	?

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	-
St.M 内知人数と知り合った時期	? 近所に住む多くの人々はトンド出身である。
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	?
St.M 内の知人友人と会う場所	?
現在属しているコミュニティグループ	Joyful(St.M 内のキリシタングループ)月2回 mtg St.M 内にたくさんのメンバーがいる
従前居住地知人とのつながり	- 母の兄弟が Samar province におり、遠くて飛行機を使わなければならないため訪問できない。また、彼も3年間行ったきりで帰ってこない。
St.M 内交友関係満足度	?

再定住事業

移転時期	? 『4-5年前』と話していたが、その頃にはまだ St.M 事業が発足していない。住民の記憶が曖昧であるが、3年前の事業発足当初の 2013 年頃ではないかと想定される。
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納 ・ 副大統領が彼らに土地、電気、水道代を支払わなくても済むよう NHA と交渉中のため、現在は支払っていない。 ・ 『もし土地の所有件を住民が得た場合、その後の水道と電気代は無料になる。』と話していたが、このような事実は NHA からは確認できていない。
永住希望	○学校があるため子供の教育に良い

増改築基本情報

開始時期	2015- 1年前から増改築を開始した。
コスト	1,000/増築+900/基本住宅ユニット床=1,900(only for material)
許可の有無	なし
増改築順序・期間	？ 大きな増改築は1週間で行われたが、その後も少しずつ継続中である。 資材を少しずつ購入し、準備ができればサリサリストア用空間を建築した。
今後の増改築計画	○植栽を施したい。追加収入として誰かに部屋を賃したい。室内に塗装を施したい。

設計

設計者	父母
住民の場合>誰に教わったか	自己流、経験なし
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父(母ヘルプ)
住民の場合>誰に教わったか	自己流、経験なし
他者の場合>選定理由	-

建築資材

資材調達者	父母
住民の場合>調達方法	SUNSUN hardware(St.M 内)購入 近所の同郷出身の知人が自転車と荷台を貸してくれたためそれを用いて自宅まで運送した。
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	コスト 防水シート 3枚で 300pesos

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

【補足】

- ・ 見栄えの良い美しい家には不法居住地から来た人は住んでいない。
- ・ この家の住民が移住したときに、2,000pesoを受け取り、貯金したのだが、1年前に母の目の治療費として全て使い切ってしまった。
- ・ 彼らは以前政府機関から、いつかペンションが渡されると聞いていたため、現在もそれを待ち続けている。
- ・ CRの位置が他の家と反対側に取り付けられているのは彼らが移動したのではなく、元々そのようになっていた。
- ・ 彼らは持ち運び可能なハシゴを使ってCRの上を物置として利用している。

Date: 2016.10.16
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸17

外観



内観



寝室



CR・キッチン



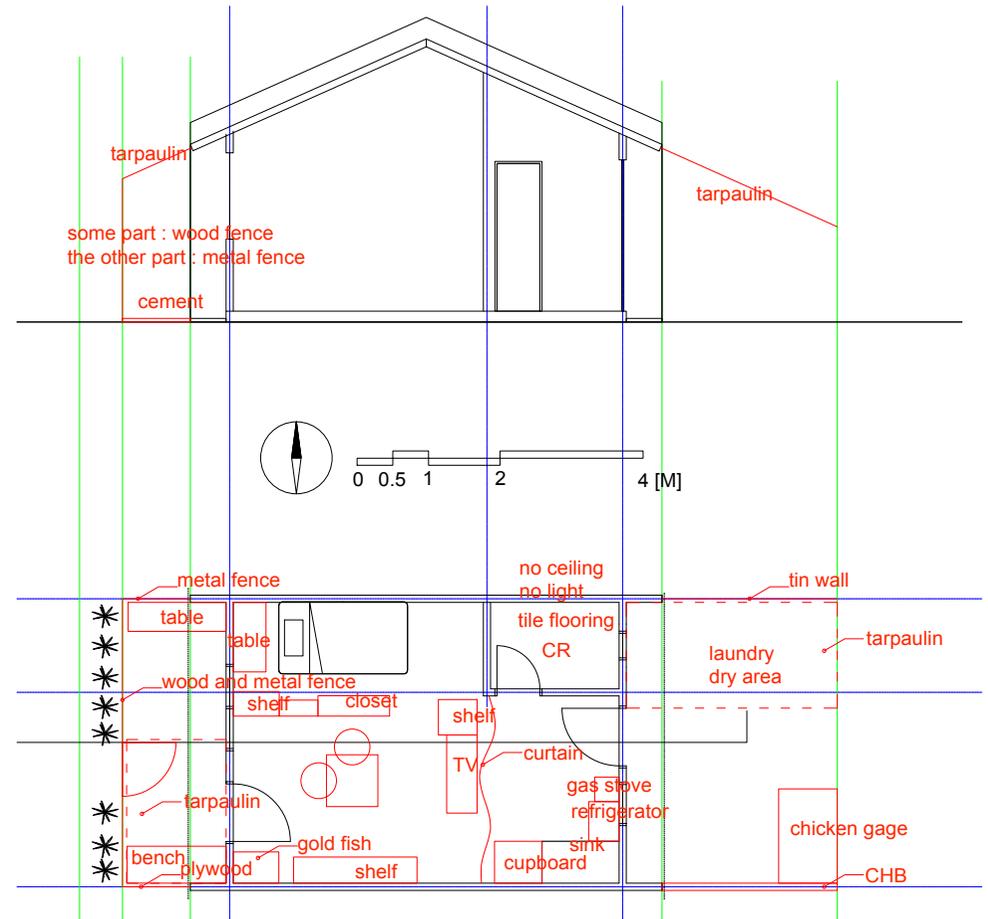
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	木材	1,000peso (一部は従前地区から NHA が運送した)	防犯
	eave/overhang		トタン テント布		
	window		鉄格子		
	door		鉄格子		
	floor		セメント		
back extension part	wall/fence	3	ガルバニウム鋼板	-	防犯
	eave/overhang		テント布	-	日射と雨除け
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
		-	-	-	-
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	1	ビニールシート	1,000peso	仕上げが荒かったから
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	三世帯 10 人
構成 (年齢・学歴)	母(48 小学校卒業)/父(51 小学校卒業)/長男(28 高校卒業)-妻(21)-孫娘(6 幼稚園)-孫息子(4)/次男(28 高校卒業)-妻(20)/三男(24 高校卒業)/四男(18 高校卒業)

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo,Moriones
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父:トラックドライバー (長男次男ヘルプ) (メトロマニラ) /三男:鶏農家 (Marilap,Bulacan) →全員毎日帰宅、交通費 500/day
収入額	三男 9,000(+父長男次男 1.8/day)=9,000-45,000/month
融資の有無	なし

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎毎日会う
St.M 内知人数と知り合った時期	前 30+後 20
St.M 内で頻繁に会話を する友人数と知り合った時期	前 20
St.M 内の知人友人と会う場所	B40 の角
現在属しているコミュニティグループ	"4P's 月に 1 回多目的広場で mtg"
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/10
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納
永住希望	△時々仕事がなくて移住を考える

増改築基本情報

開始時期	2015/05/
コスト	2,000(material)
許可の有無	不要
増改築順序	中床>前>後
今後の増改築計画	背面部に新たな個室をつくりたい

設計

設計者	父母
住民の場合 >誰に教わったか	(自己流)
他者の場合 >選定理由	-

施工

施工者	父(施工労働者経験あり)・息子
住民の場合 >誰に教わったか	-
他者の場合 >選定理由	-

建築資材

資材調達者	父・NHA
住民の場合 >調達方法	//パティアの店舗購入(フリーデリバリー)
他者の場合 >選定理由	NHAが前の住宅から運んできた
建築資材の 決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.18
Interviewer: 國江
Interviewee: 住戸18

外観



内観



CR・キッチン



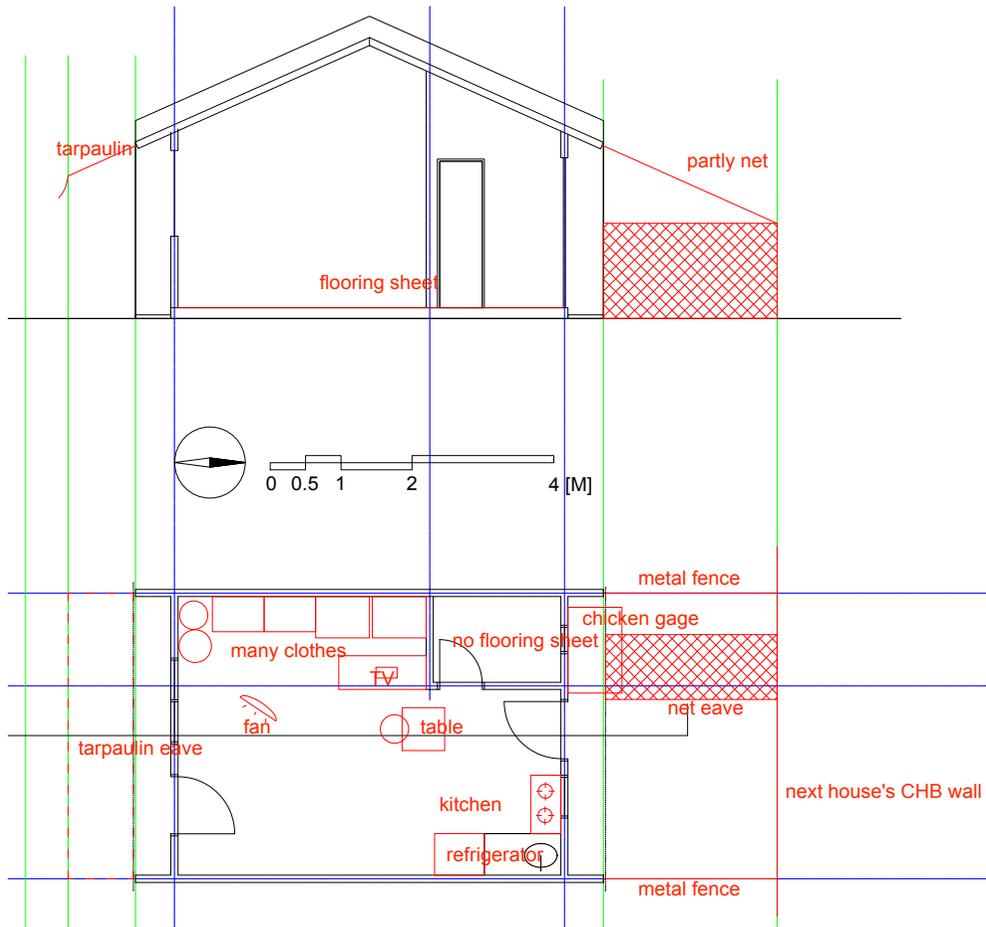
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	-		-	-
	eave/overhang	1	テント布	1500peso (材料費と施工費)	雨と日射を避けるため
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
back extension part	wall/fence	-	-	-	-
	eave/overhang	1	魚業用の網	200peso	鳩除け
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	1	ビニールシート	425peso	見た目
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5人
構成(年齢・学歴)	父(46/小卒)/母(54 小卒)/息子(15 高卒)/孫息子(7 小学生)/孫息子(5)→母親は月1 帰宅

従前居住地

従前コミュニティ	Road10, Mabuhai, Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	大工雇用
当時住戸利用資材	CHB と木材で製作

経済状況

勤労者・職業・職場	父：行商人 (Tondo 週1で帰宅-交通費 150/week)
収入額	8,000-9,000/month
融資の有無	なし

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	3件
St.M 内知人数と知り合った時期	前後 20
St.M 内で頻繁に会話を する友人数 と知り合った時期	後 2
St.M 内の知人友人と会う場所	自宅 or 道端
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/10
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200pesos/month 支払わなければならないが未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2015
コスト	2,125(material+labor)
許可の有無	不要
増改築順序	全て同時(前: 半日/後: 半日/中: 半日)
今後の増改築計画	・近所の家に比べ醜いため見栄えを良くしたい。 ・以前盗難にあったことがあるため、セキュリティを強化したい。

設計

設計者	母
住民の場合 > 誰に教わったか	(自己流)
他者の場合 > 選定理由	-

施工

施工者	近所の大工(他の場所へ移住してしまった)
住民の場合 > 誰に教わったか	-
他者の場合 > 選定理由	ご近所さんだったから

建築資材

資材調達者	父
住民の場合 > 調達方法	/St.M 小学校近くの店舗・Tondo の店舗にて購入
他者の場合 > 選定理由	-
建築資材の決定理由	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	×施工者が移住してしまったため現在は交流なし
増改築生産者は毎回同一人物か	次回は違う大工さんに依頼予定

Date: 2016.10.15 (第1回: 08.08) (第2回: 08.09)
Interviewer: 竹村 (第1回: 川崎) (第2回: 保坂)
Interviewee: 住戸19 母

外観



内観



CR



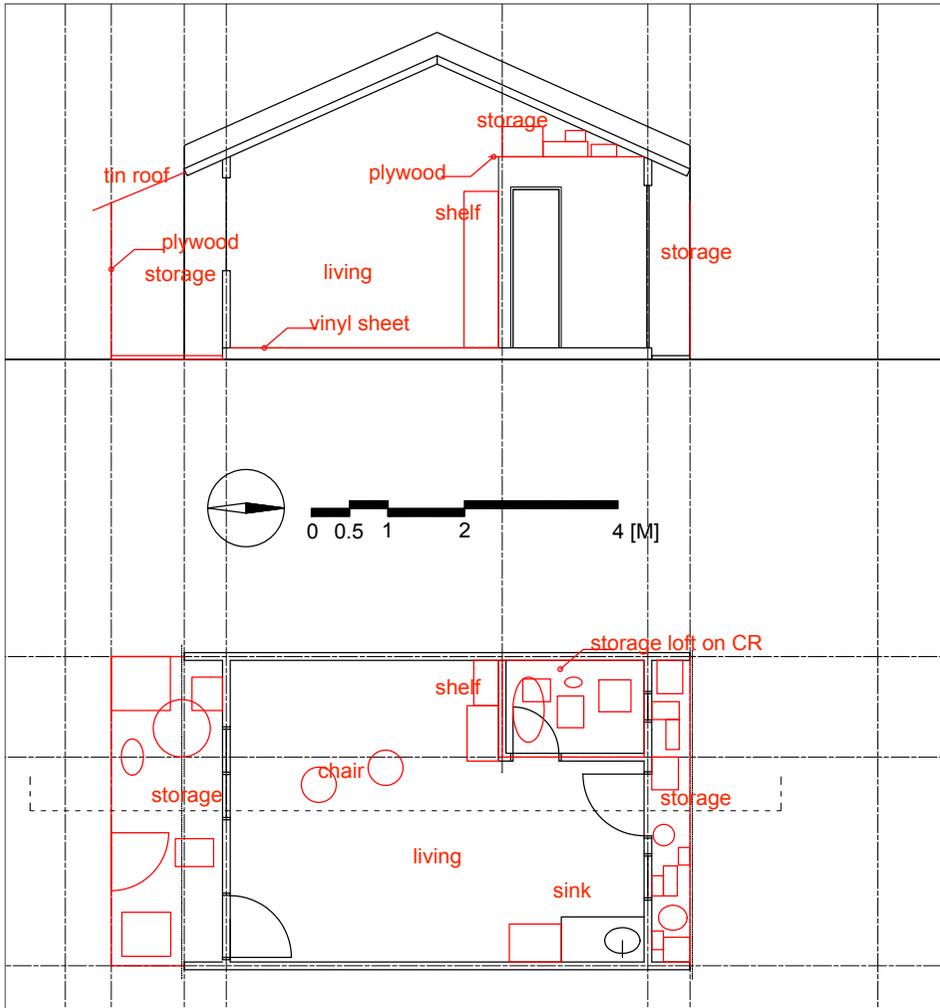
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	ベニヤ	?	防犯
	eave/overhang	1	ベニヤ 防水シート	?	防犯
	window	1	金属板戸 金属フェンス	?	防犯 初めは金属板戸のみだったが、後にセキュリティ強化のために鉄格子を追加した。
	door	1	木板	?	防犯
	floor	-	-	-	-
【前面部増改築資金】 インディアン貸付人がタオルを利子付き分割払いで購入しないかと話をもちかけ、その返済が終わればサリサリストアを営営するためのお金を貸すと約束し、実際にそのお金で前面部を増築した。					
back extension part	wall/fence	2	ベニヤ	-	キッチン、ランドリー、息子の寝室のための場所が不足していたため。
	eave/overhang	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	door	?	?	?	?
	floor	?	?	?	?
Renovation part	partition	3	家具		娘の寝室のプライバシーのため。
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	3	タイル		既存の床が粗かったため。元々はセメント仕上げの予定だったが、安価にタイルを提供してくれる人がいたためタイルに変更した。
	CR	3	天井板張り	?	?(写真より物置と想定される)
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	9
家族構成(年齢・学歴)	母(58or62)/弟(60or62)/長男(32)/次男(28)/三男(27or26)/四男(24or20)/娘(20or17) /孫娘(14) /孫娘(12)/孫娘(11)/孫息子(9)/孫娘(6)

従前居住地

従前居住地	Manila, Tondo, Pier18
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者(職業・職場)	3人息子:ゴミ収集(メトロマニラ Pier18 週末のみ帰宅) /母:フロアクッション製作(自宅) 材料費1,000peso 販売価格 2,000peso
収入額	母 :1,000-1,200/week(20 個のクッションを売った場合)+3人息子:1,000/week=8,000-8,800/month
融資状況	現在はなし サリサリストア運営の融資は返済済み

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	◎息子家族(3人)が同じブロックに住んでいて、毎日会う
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	後 150(店の客) St.M では一般的に事後払いのため、客の名前と住所を聞く。
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後 50(友人ではなくただのご近所さん) 後 10(友人)
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	家の中か外
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	×バスやトライシクルで行くことは可能だが遠い。
St.M 移住後の交友関係満足度	△深い付き合いではない 以前の借家では親しい友人はいなかった。St.M では親しい友人をつくり、所有権を得て永く住みたい。

再定住事業

移転時期	2014/08/
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	ローン未納
St.M 永住希望	×電気・水道代が高い。豚の飼育場と田んぼが近く悪臭と洪水がひどい。

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	3,000(material)
許可の有無	不要 セメントや CHB による増改築には規制があるが、木材による増改築は規制されない。
順序・期間	前(日曜のみ4日間)>後(日曜のみ10日間)>中(空いた日曜のみ5ヶ月)
今後の計画	部屋が狭いため拡大希望。2階を倉庫として利用予定。見栄えを良くしたい。

設計

設計者	息子
設計技術の取得方法	Pier18 で木材建設経験あり
設計者の選定理由	-

施工

施工者	3人息子と母の弟(息子の叔父)
施工技術の取得方法	経験より
施工者の選定理由	-

建築資材

資材調達者	息子たち
資材調達方法	Baque 店舗購入 前の家の資材持参 (NHA から、セントマーサエステート内に資材店があると聞いたことがあるらしい。)
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	コスト・質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.15 (1回目: 08.09)
Interviewer: 竹村 (1回目: 川崎)
Interviewee: 住戸20 母

外観



内観



CR・キッチン



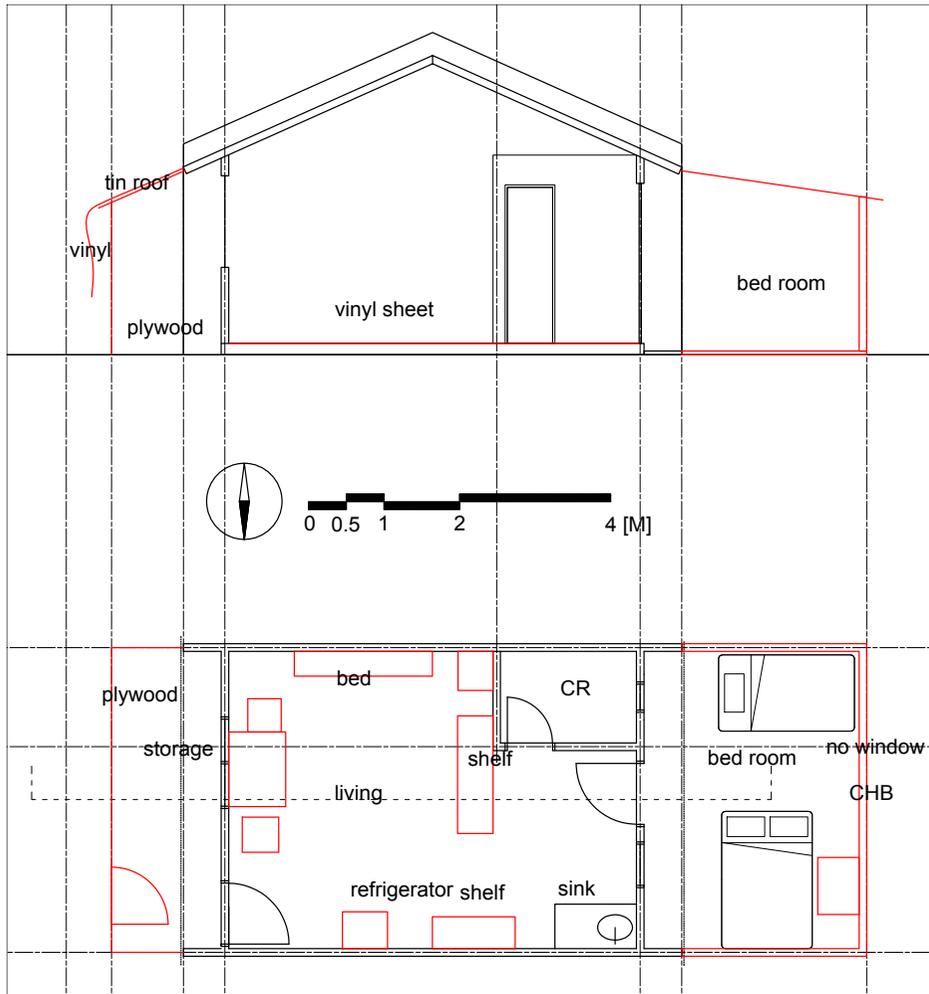
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	トタン・ベニヤ	?	店舗経営
	eave/overhang	2	防水シート (開口部まで被覆)	?	店舗経営 防雨
	window	2	金属格子窓	?	店舗経営
	door	2	金属格子戸	?	店舗経営
	floor	?	?	?	?
	【増改築理由】 店舗経営のために室内化したしたが、経営がうまくいかず現在は倉庫として利用している。 【増築期間】 少しずつ施工し、1週間。				
back extension part	wall/fence	1	CHB	?	息子・娘の寝室
	eave/overhang	1	?	?	息子・娘の寝室
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	1	セメント・シート	?	息子・娘の寝室
【増築期間】 少しずつ施工し、2ヶ月。					
renovation part	partition	?	家具	?	
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	?	シート	?	既存床は粗かったため、快適に過ごせるように。
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-
【コスト】 全体 3,000peso (資材費のみ)					

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	7
家族構成(年齢・学歴)	母(36)/父(38)/子供(13)/子供(12)/子供(10)/子供(7)/子供(5) ※父は週末のみ家に帰ってくる

従前居住地

従前居住地	Delmonte, Bulacan
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	父(父から教わる)
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者 (職業・職場)	父:プロ建設者(マニラ Pasig の DFS という建設会社)
収入額	最低 8,000/week=32,000~/month
融資状況	CR の配管修理費を友人から借りた (お金を友人から借りるのは一般的なことらしい。)

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	-
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	後 100 ほぼ近隣住民
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後 10
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	外、家の近く
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	○現在も St.M に住む知人と週 3-4 会う
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/09/29
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	? 1 週間
コスト	3,000
許可の有無	なし
順序・期間	後(2ヶ月少しずつ)>前(1週間少しずつ)
今後の計画	サリサリストア開店のため前面部増築希望

設計

設計者	父
設計技術の取得方法	彼の父から
設計者の選定理由	-

施工

施工者	父
施工技術の取得方法	彼の父から
施工者の選定理由	-

建築資材

資材調達者	父
資材調達方法	Corpus Hardware 購入 (St.M から 10 分程度 in Batia)
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	?

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.16 (1回目: 08.09)
Interviewer: 竹村 (1回目: 川崎)
Interviewee: 住戸21 母

写真: 全て10月撮影

外観



内観



CR・キッチン



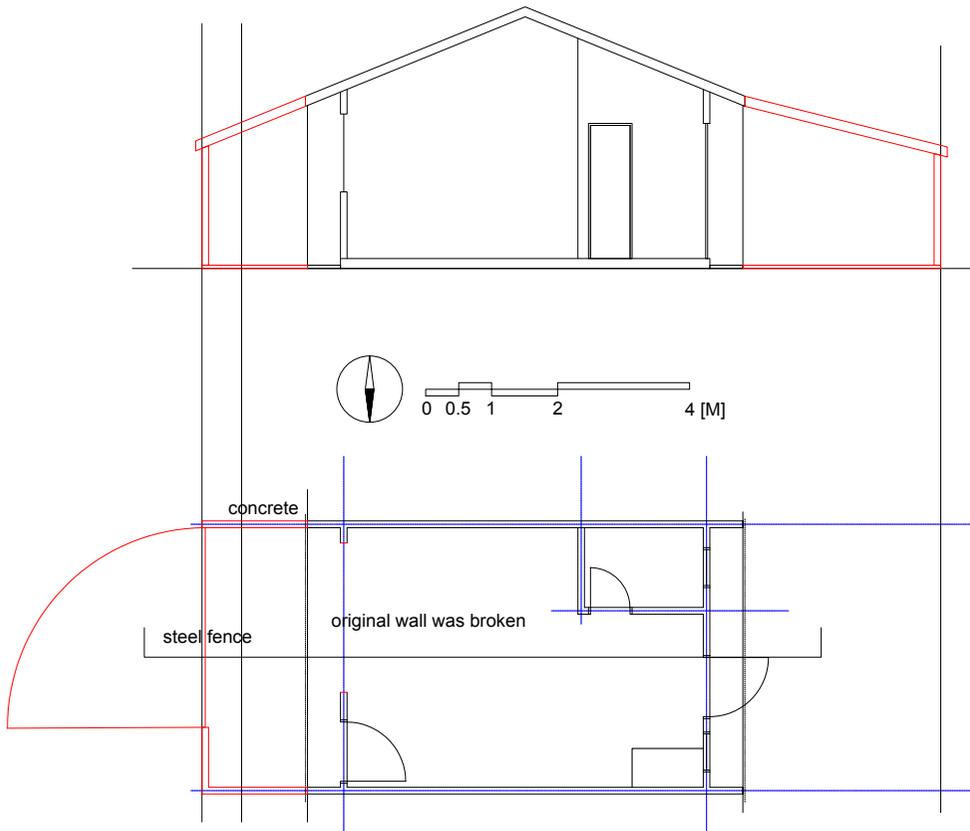
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	CHB モルタル仕上げ	?	防犯
	eave/overhang	1	トタン	?	防犯
	window	1	金属格子窓	?	防犯
	door	1	金属格子戸	?	防犯
	floor	1	セメント	?	防犯
back extension part	wall/fence	-	-	-	-
	eave/overhang	2	防水シート	?	-
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
renovation part	partition	3	カーテン	?	
	exist wall	3	ペンキ	?	夫が、オレンジ色が好きだから
		3	前壁取り壊し	?	トライシクルを駐車するため
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	CR	?	?	?	?
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	4
家族構成(年齢・学歴)	母(29)、父(30)、子供(7)、子供(4)

従前居住地

従前居住地	Tondo
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者 (職業・職場)	父: トライシクルドライバー (near St.M)
収入額	300/day=9,000/month
融資状況	増築時父の友人からお金を借りた(返済済み)

現在のコミュニティ状況

St.M 内在住の親戚	-
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	前10 (前のご近所さん)
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	前5 (今のご近所さん)
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	外ときどき自宅
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	○現在もご近所さん
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/05
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	? 2週間
コスト	3,000(only labor cost=300/day×2week(10days)=3,000)
許可の有無	NHA 許可済み
順序・期間	前>後>中 (前面増築時、トライシクルのパーキング用に基本住戸の前面部を取り払った。)
今後の計画	後に寝室をつくりたい they are now planning to build a bedroom on the back side (the wall we can see now is their neighbor's wall)

設計

設計者	父
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	父/St.M 在住大工
施工技術の取得方法	大工から
施工者の選定理由	?

建築資材

資材調達者	施工担当大工
資材調達方法	-
資材調達者選定理由	不明 (父が決定したため母にはわからない)
資材の決定要因	?

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	○交友継続
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.08.09
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸2 2 次女・父

外観
(外観左側のみ 10月撮影) → 右側 8月撮影



内観 (以下 8月撮影)



キッチン



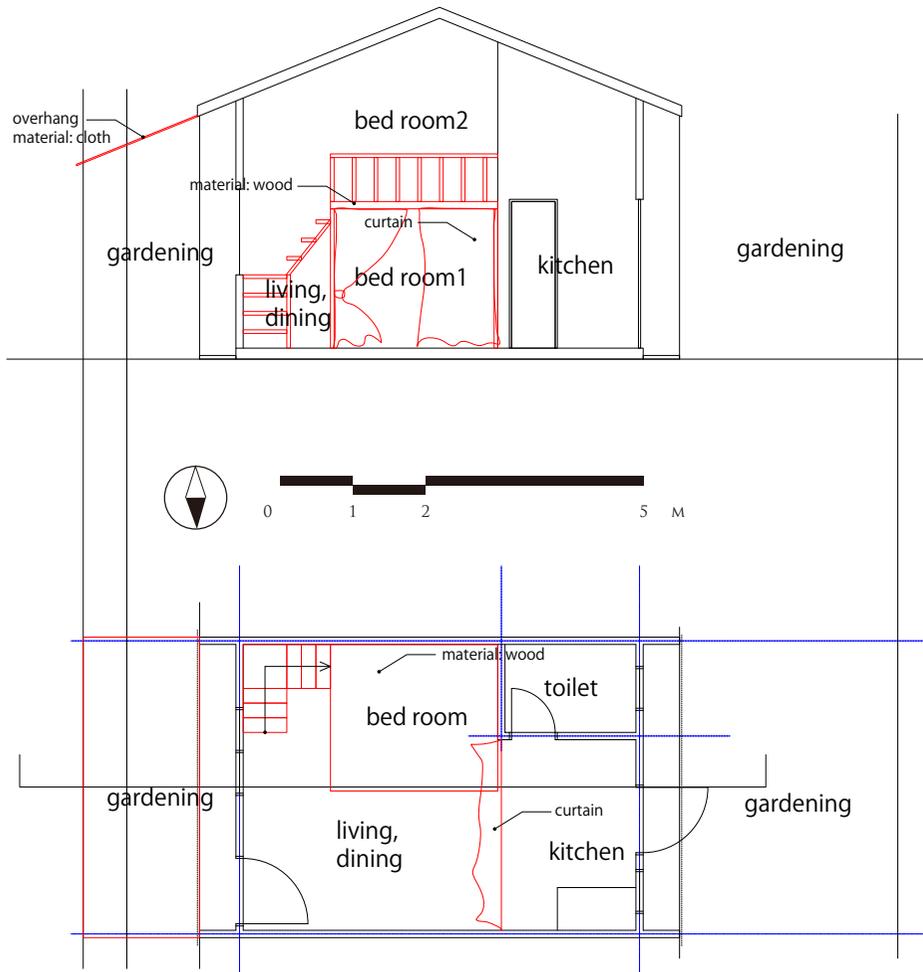
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	-		-	-
	eave/overhang	?	ビニール	?	?
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	plant	?	植物	0 (隣人からの譲渡)	母の趣味
back extension part	wall/fence	-	-	-	-
	eave/overhang	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	plant	?-	植物	0 (隣人からの譲渡)	母の趣味
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	?	ビニールシート	?	?
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-
	loft	?	木材	3,000peso	プライバシー

住民ヒアリング内容

解答者：次女
住民概要

住人数	6
構成(年齢・学歴)	母(47・5年教育済)/父(57・6年教育済)/長女(25高卒)/次女(22高校中退)/息子(21高卒)/三女(17・10年生) 次女は学校が怖くなり不登校に。

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo
当時住戸所有形態	借家 10,000pesoでレンタル
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父：スイーツ販売、機会があれば大工(St.M付近)
収入額	150-500/day×20days=3,000-10,000/month
融資の有無	?

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	△母の妹B14L39 母とその妹が喧嘩中のため会わない。 この喧嘩は娘の一人が叔母を褒め称えたところから始まった。 >『喧嘩するほど仲が良い』と言えるかもしれない。
St.M内知人数と知り合った時期	?
St.M内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	?
St.M内の知人友人と会う場所	?
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	○現在も近隣に住んでいる
St.M内交友関係満足度	○互いに助け合っており幸せである

解答者：父
再定住事業

移転時期	2013/05/09
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	未納 現在ハウスキーパーとして働いている母と相談しないと支払いができない。
永住希望	○トンドには火事等の様々な危険がある。

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	3,000(only for materials)
許可の有無	不要 規制許可が必要となるのは2階建をつくるときだけである。
増改築順序・期間	?1日
今後の増改築計画	レストスペースを前面部に増築し、現在前面で育てている野菜などを背面部で育てたい。

設計

設計者	父
住民の場合>誰に教わったか	両親より教わった
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父
住民の場合>誰に教わったか	両親より教わった
他者の場合>選定理由	-

建築資材

資材調達者	父
住民の場合>調達方法	Batia店舗購入
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○植物を分けてくれた人とは現在も友人
増改築生産者は毎回同一人物か	-

Date: 2016.10.18
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸2 3

外観



内観



キッチン・CR



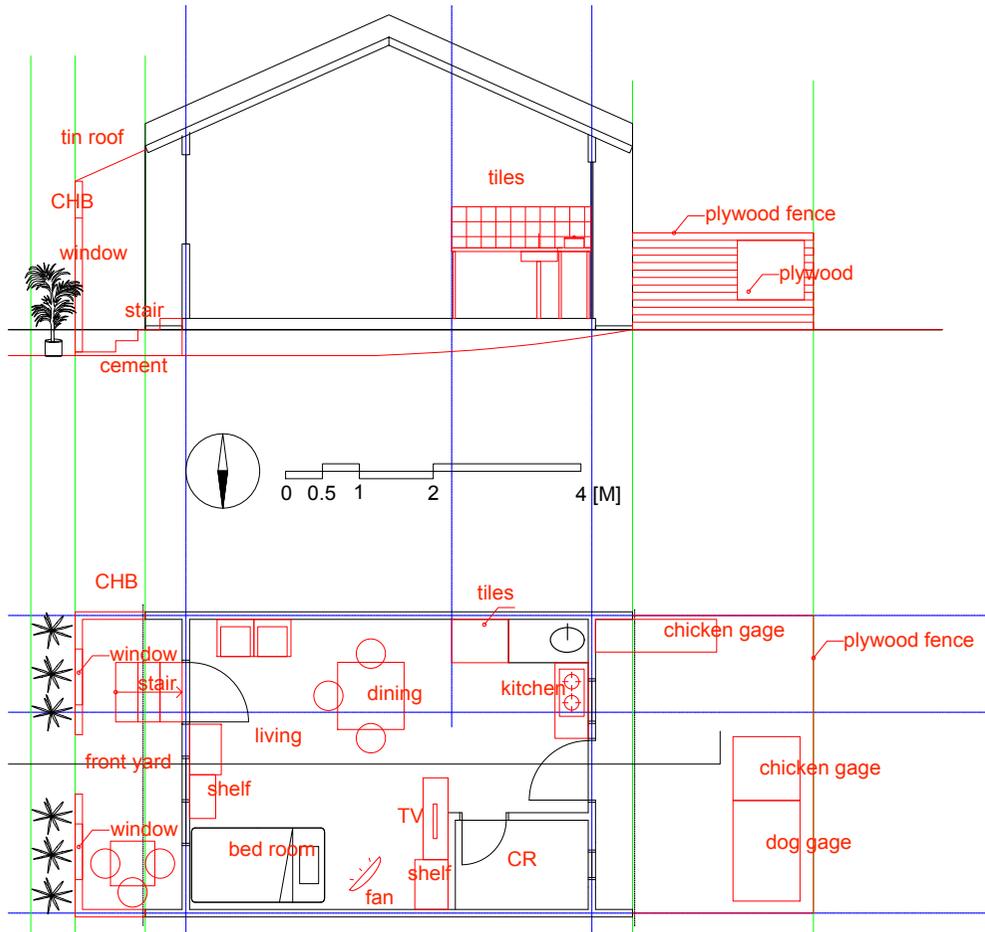
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3	CHB	1,000peso	防犯
	eave/overhang		トタン屋根		雨除け
	window/ door		オープン		換気 採光
	floor		セメント		仕上げが荒かったため
	light		電球		?
	stair		CHB セメント		段差が大きかった
	plant		植物		?
back extension part	wall/fence	1	木材 トタン	300peso	防犯
	eave/overhang	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
		-	-	-	-
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	2	モルタル	2,000peso	仕上げが汚かったため
	ceiling	-	-		-
	roof	-	-		-
	window	-	-		-
	floor	-	-		-
	CR	2	床タイル		?
	kitchen	-	-		-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	8人
構成(年齢・学歴)	父(54小卒)/母(45小卒)/長男(28高卒)/次男(24高卒)/長女(20高卒)/三男(16高校生)/次女(14高校生)/四男(10小学生)

従前居住地

従前コミュニティ	Road10, Mabuhai, Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	木材使用

経済状況

勤労者・職業・職場	父:トラックドライバー(メトロマニラ交通費150/day週末のみ帰宅)
収入額	500/day×30day=15,000/month
融資の有無	増改築にSSS(government loan)

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	-
St.M内知人数と知り合った時期	後20
St.M内で頻りに会話をする友人数と知り合った時期	後4
St.M内の知人友人と会う場所	友人宅
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	なし
St.M内交友関係満足度	○(だが、もっと友人ほしい)

再定住事業

移転時期	2013/5/16
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2016/08/
コスト	3,300(material+labor)
許可の有無	
増改築順序	後>中>前
今後の増改築計画	背面部に新しい部屋をつくりたい

設計

設計者	長男
住民の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	近所の友人大工 Rolly (前) (500pesos/day)・Tondoに住む友人(前) (500pesos/day)
住民の場合>誰に教わったか	-
他者の場合>選定理由	?

建築資材

資材調達者	長男
住民の場合>調達方法	/PNP購入
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	コスト・質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○現在も友人で今後も依頼したい
増改築生産者は毎回同一人物か	

Date: 2016.10.15
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸2 4

外観



内観



ロフト



CR



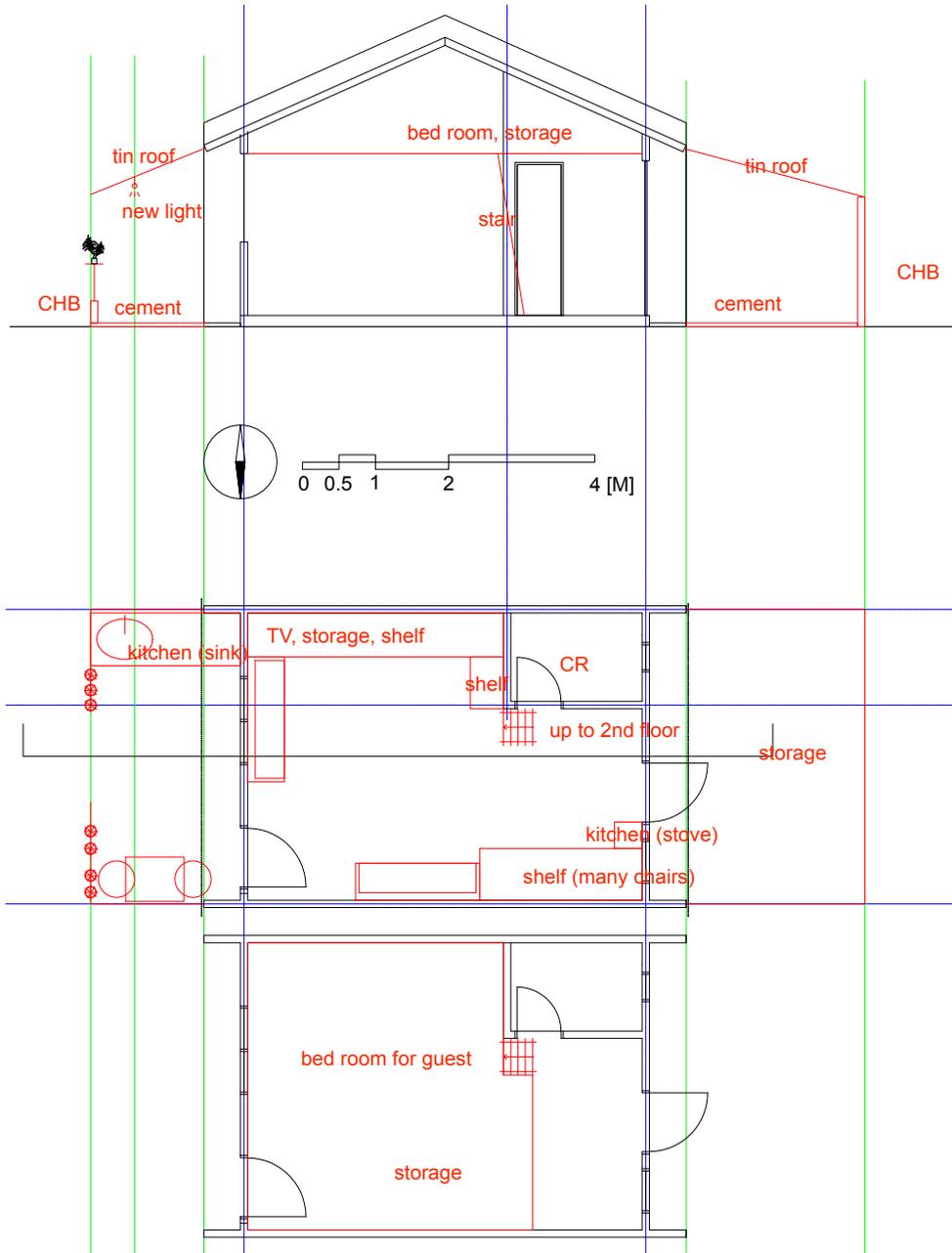
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3	コンクリートブロック	2,000peso	洗濯場と居室にするため
	eave/overhang		トタン	1,500peso	
	window		腰壁以外は開口	-	
	door		-	-	
	floor		-	-	
	plant		植物		
back extension part	wall/fence	1	コンクリートブロック	1,000peso	物置にするため
	eave/overhang		トタン		
	window		窓なし	-	
	door		-	-	
	floor		-	-	
renovation part	partition	2	-	-	-
	exist wall		-	-	-
	ceiling		木造ロフト	0 古い家のリユース材	普段は物置、来客時は寝室として使っている
	roof		-	-	-
	window		-	-	-
	floor		-	-	-
	CR		-	-	-
	kitchen		-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	7人
構成(年齢・学歴)	母(38)/父(38)/長男(20)/次男(17 在学中)/長女(14)/三男(12 在学中)/次女(10 在学中)/四男(2ヶ月)

従前居住地

従前コミュニティ	Barangy105,Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	ハンマー・釘・木を使用(コンクリート未使用)

経済状況

勤労者・職業(職場)	父:トライシクルドライバー (St.M内)
収入額	父 200-300/day=6,000-9,000/month
融資の有無	学校への支払いを友人から借りている

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	◎
St.M内知人数と知り合った時期	後100
St.M内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	後20
St.M内の知人友人と会う場所	自宅周辺
現在属しているコミュニティグループ	mother leaders community(900pesos/month for attending)
従前居住地知人とのつながり	
St.M内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/6
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200支払い中?
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	移住した次の日
コスト	4,500(only for materials)
許可の有無	
増改築順序	後>中ロフト>前
増改築理由	広さ:前(ランドリー・リビング)/後(倉庫)/中ロフト(倉庫→来客があったときは寝室)
今後の増改築計画	狭いためロフト部分を改修したい

設計

設計者	父・息子
住民の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父・息子
住民の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	-

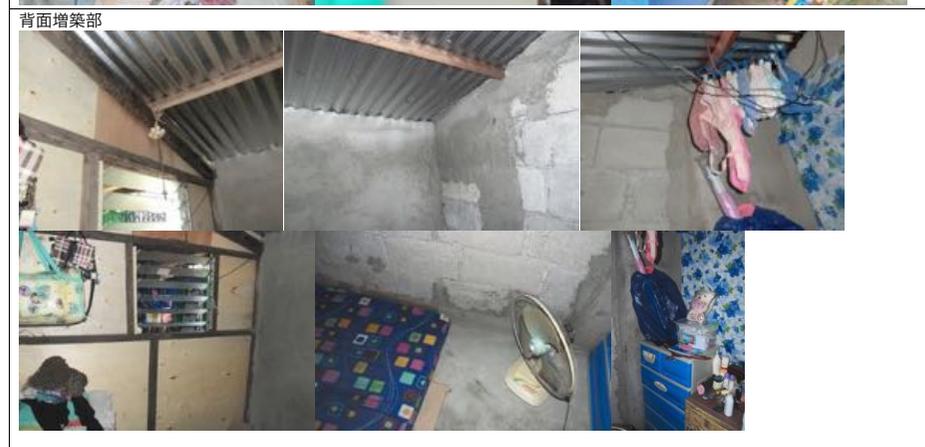
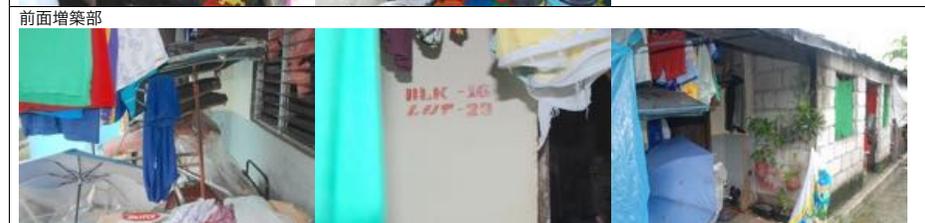
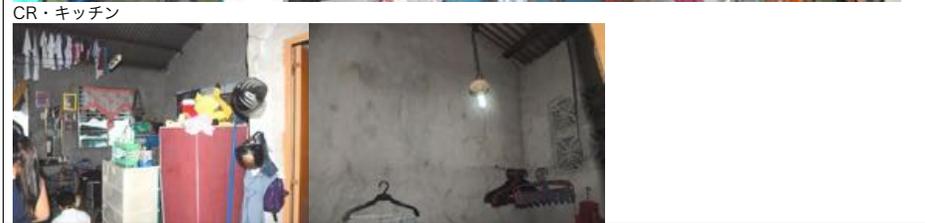
建築資材

資材調達者	父
住民の場合>調達方法	/St.Mから15分程離れた店舗にて購入・前の家から持参
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	室

増改築を通じたコミュニティ形成

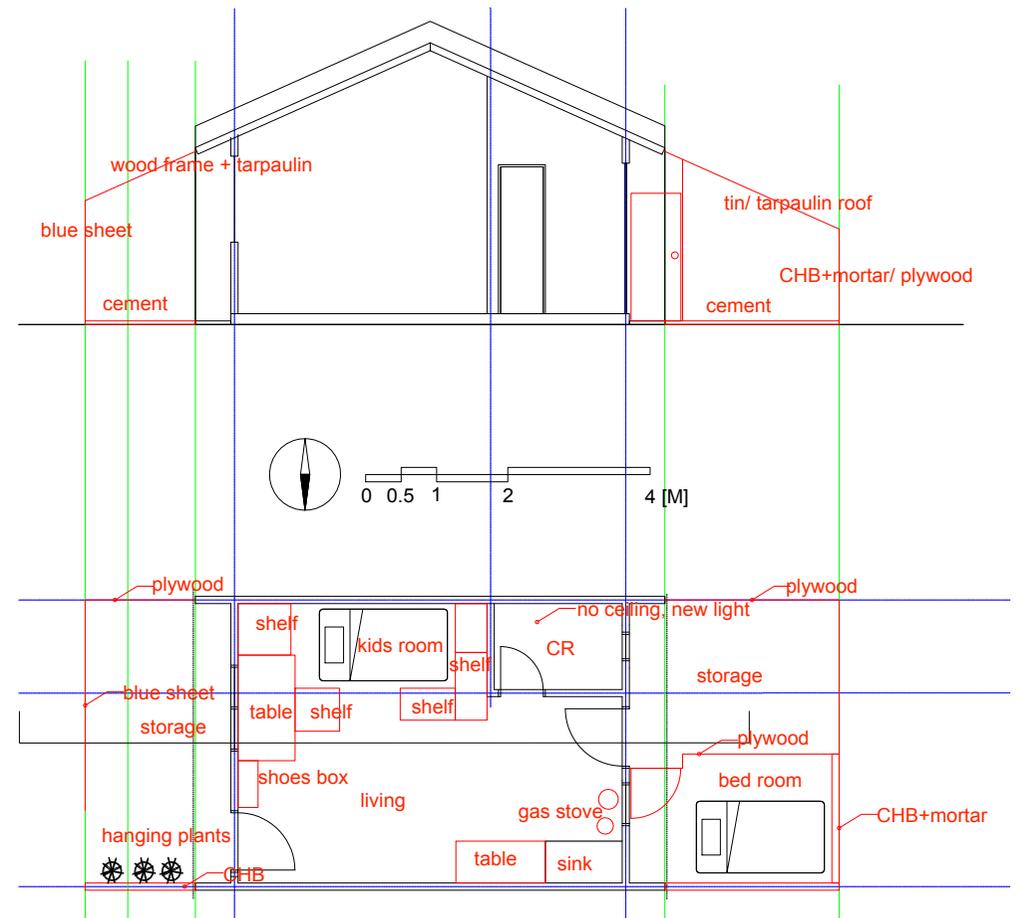
増改築で知り合った人々との現在の関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	

Date: 2016.10.16
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸2 5





住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason	
front extension part	wall/fence	2	木材	0 (NHA がトンドマニラから無料で運送した)	?	
	eave/overhang		木材		日射と雨を避けるため	
	window		-		-	
	door		-		-	
	floor		セメント		掃除しやすいように	
back extension part	wall/fence	3	CHB モルタル仕上げ鉄フェンス	5,000peso	家族のプライバシーのため	
	eave/overhang		トタンテント布			
	window		-			
	door		-			
	floor		セメント			
			-			
renovation part	partition	-	-	-	-	
	exist wall	-	-	-	-	
	ceiling	-	-	-	-	
	roof	-	-	-	-	
	window	-	-	-	-	
	floor	1	モルタルで仕上げた部分とシートを敷いている部分がある	0 (友人からの譲渡)	元々の床が凸凹していて汚かったから	
	CR	-	-	-	-	
	kitchen	-	-	-	-	

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5人
構成(年齢・学歴)	母(29高卒)/父(39高卒)/長男(19高校中退)/義娘(18高卒)/次男(9小学生)

従前居住地

従前コミュニティ	Sitio Damayan,Tondo
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父:トライシクルドライバー(St.M 周辺・ガソリン代 150/week)
収入額	400/day×30day=12,000/month
融資の有無	バイクローン

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	△(市場でたまに会うのみ)
St.M 内知人数と知り合った時期	前後 30
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	後 3
St.M 内の知人友人と会う場所	ほとんど自宅 たまに St.M 学校や友人宅
現在属しているコミュニティグループ	Block leader/HOA meeting(週 3 回)
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/7/16
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2014/01/
コスト	5,000(only for material)
許可の有無	
増改築順序	中>前>後
増改築理由	プライバシー：後（寝室） 室内環境改善：中床（美化）／前軒（遮光・防雨）／前床（美化）
今後の増改築計画	床シート貼りをモルタル仕上げにして耐久力を向上させたい/CRを背面増築部に移動したい(フィリピンの伝統住戸はキッチンとリビングはトイレと分離しているらしい)

設計

設計者	父母
住民の場合 >誰に教わったか	(父が時々施工者として働いている)
他者の場合 >選定理由	-

施工

施工者	父母
住民の場合 >誰に教わったか	(父が時々施工者として働いている)
他者の場合 >選定理由	-

建築資材

資材調達者	住民・NHAが従前居住地から運送・友人から譲渡
住民の場合 >調達方法	/店舗購入
他者の場合 >選定理由	-
建築資材の 決定理由	① 質,②コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○友人
増改築生産者は毎回同一人物か	

Date: 2016.10.15 (1回目: 08.08)
Interviewer: 國江 (1回目: 小司)
Interviewee: 住戸26 母 Maribeth

10月撮影

外観



内観



キッチン・CR



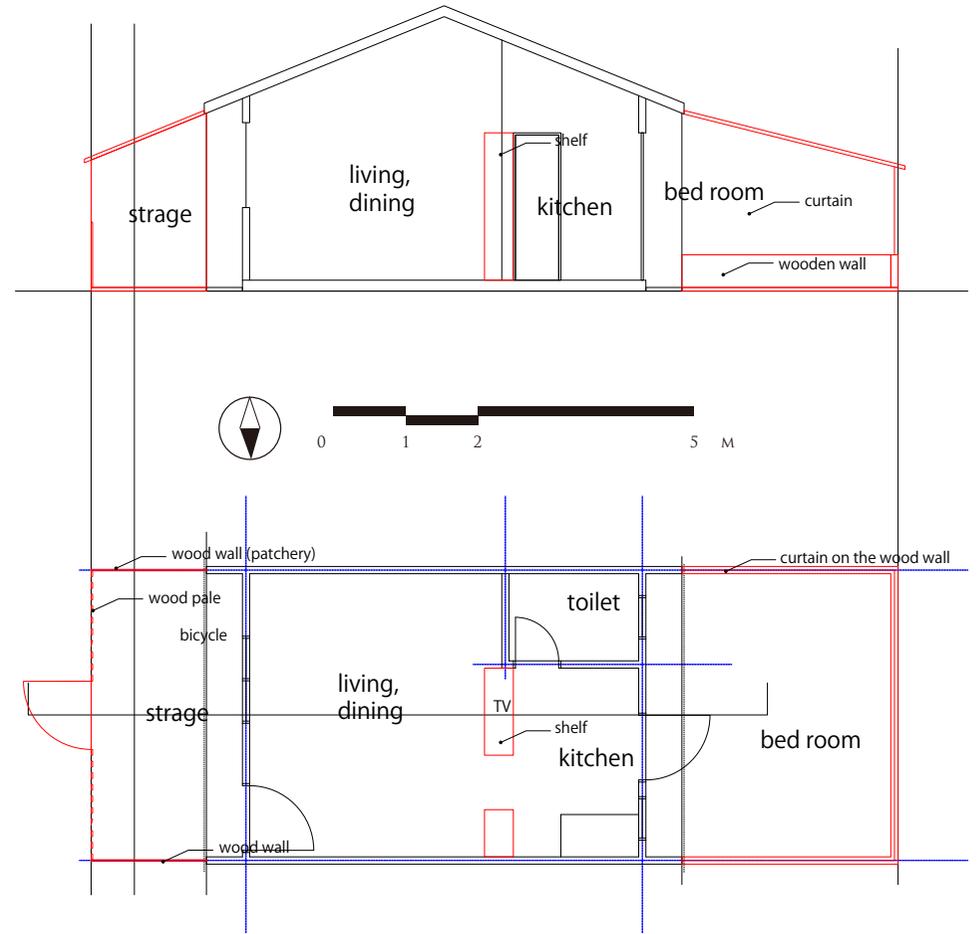
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3	木フェンス	下記参照	犬逃亡防止
	eave/overhang	3	トタン	下記参照	犬逃亡防止
	window	-	-	-	-
	door	3	金属格子戸	下記参照	犬逃亡防止
	floor	3	セメント	下記参照	犬逃亡防止
	【コスト】 3,500pesos (labor cost=2,400/ material cost=1,100) 【施工期間】 1日				
back extension part	wall/fence	2	ベニヤ・カーテン		レストスペース・寝室
	eave/overhang	2	トタン		レストスペース・寝室
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	2	セメント		レストスペース・寝室
	【コスト】 2,000peso (labor cost=300/ material cost=1,700) 【施工期間】 2日				
Inside original housing unit	partition	(0)	家具	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	(0)	ビニールシート		
	CR	?	?	?	?
	kitchen	-	-	-	-
	【施工時期】 随時				

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	4
家族構成(年齢・学歴)	母(41)、父(41)、長女(19大学生)、次女(11小学生)

従前居住地

従前居住地	Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	木材

経済状況

勤労者(職業・職場)	父：カーテン販売(マニラ)/母：マット製作(自宅)
収入額	3,000/month
融資状況	叔母の治療費+増改築費(返済済み) 借金あり。居住者であるおばさんが持病を抱えており、その治療代のため。 増改築費は夫の仕事先の上司から借りて、現在は返済済み。

現在のコミュニティ状況

St.M 内在住の親戚	△母の従兄弟 B3 めったに会わない
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	前 10
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	前 10
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	家の外
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	× 母の妹がマニラに住んでいるが、交友は崩壊した
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/4/29
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	5,500(material+3labor)2labor=1,200, 1labor=300 後面増築に 3,500pesos / 前面増築に 2,000pesos 大工に施工費を支払っていた。 後面増築の際には 2人にそれぞれ 1,200pesos を 前面増築の際には 1人に 300pesos を支払った。
許可の有無	なし
順序・期間	中(随時)、後(2日)>前(1日)
今後の計画	なし。お金がない。

設計

設計者	母
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	父+大工(前2人:1,200peso for each、後1人:300peso) 大工に施工費を支払っていた。 後面増築の際には 2人にそれぞれ 1,200pesos を 前面増築の際には 1人に 300pesos を支払った。
施工技術の取得方法	?
施工者の選定理由	?

建築資材

資材調達者	父
資材調達方法	店舗購入
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	?
増改築生産者は毎回同一人物か	各部位で違う施工者

Date: 2016.10.15
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸 27

外観



内観



CR・キッチン



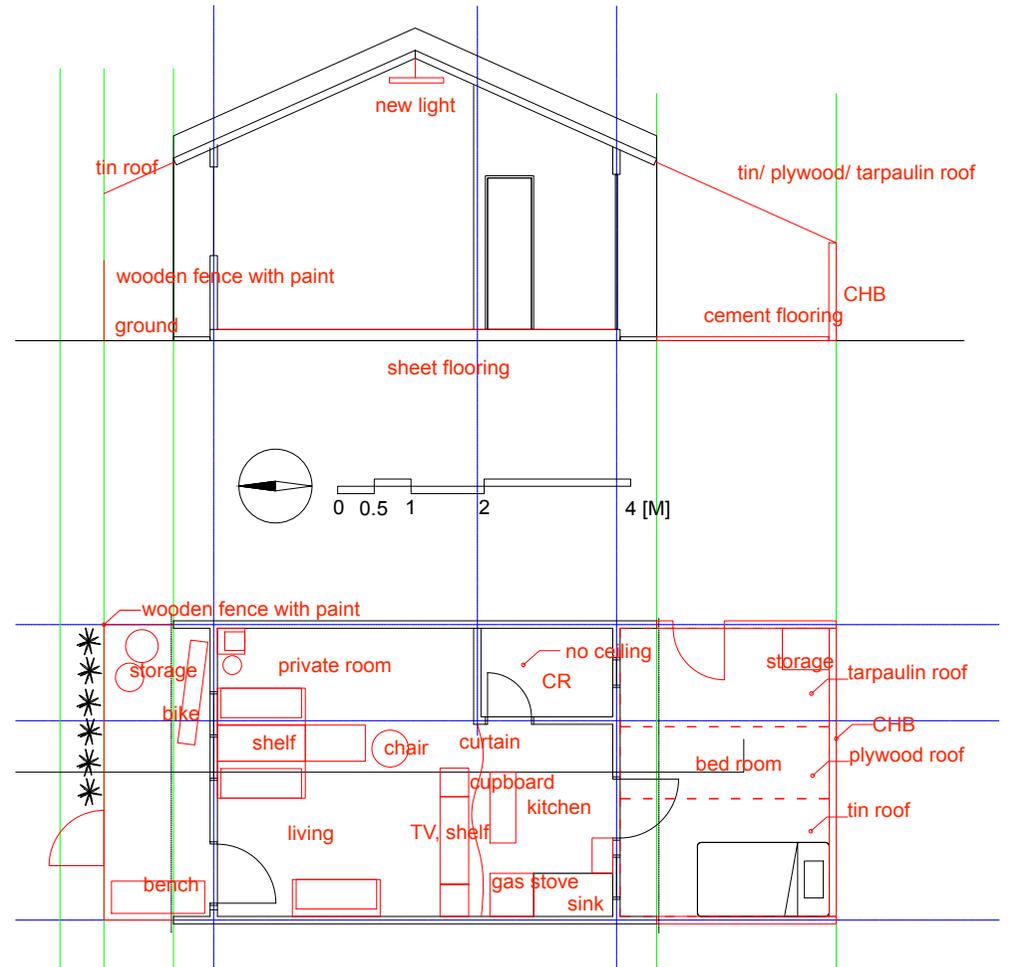
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3	木材のフェンス	2,000peso	スペースの拡張
	eave/overhang		トタン		
	window		-	-	-
	door		-	-	-
	floor		-	-	-
	plant		植物	?	?
back extension part	wall/fence	4	木材	5,000peso	スペースの拡張
	eave/overhang		トタン 合板 布		
	window		-		
	door		木材		
	floor		セメント		
		-	-	-	-
renovation part	partition	2	カーテン	1,500peso	プライバシー 見たい
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	1	ビニールシート	1,000peso	仕上げが荒かったため
	CR	?	電気 モルタル	?	?
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5人
構成(年齢)	義父(45)/母(55)/四男(24)/五男(19)/娘(15 高校生)→3人息子は独立

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	店舗購入した木材を使った住宅

経済状況

勤労者・職業・職場	父：大工(不定期・メトロマニラ交通費 200/week) /母：洗濯バサミ製作(自宅) /四男：パートタイムジョブ
収入額	5000/month
融資の有無	新規事業を起こすためのビジネスローンを Casagana から借り入れ

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	-
St.M 内知人数と知り合った時期	前後(ほぼ前) 100
St.M 内で頻繁に会話を する友人数と知り 合った時期	前後(ほぼ前) 100
St.M 内の知人友人と 会う場所	自宅・友人宅・道端
現在属しているコ ミュニティグループ	Casagana community (毎週木曜ヘッドの家で mtg)
従前居住地知人との つながり	
St.M 内交友関係満足 度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/10
所有権	受益者は住民の義父
所有権を得る条件と 現在行っていること	200 支払い中
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	移住1年後(2014)
コスト	7,500(only for materials)
許可の有無	
増改築順序	中(床>新壁)>前>後
今後の増改築計画	床と壁の仕上げを完了したい

設計

設計者	父母
住民自身の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父・息子
住民の場合>誰に教わったか	(幼少期に大工が周囲にたくさんいた)
他者の場合>選定理由	-

建築資材

資材調達者	父母
住民の場合>調達方法	//パティアのNIKAという店舗にて購入
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	コストと質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	-

Date: 2016.10.15 (1回目: 08.09)

Interviewer: 竹村 (1回目: 川崎)

Interviewee: 住戸28 母

【前提】

4-8,10に住んでいた受益者は借金の抵当として現在4-8に住む家族に住戸を提供している。
現在4-8の住民は元々4-10に住んでいたが4-8に越して増改築を行った。なぜなら4-8の受益者は彼らの親戚だったから。
4-8,10の元々の受益者は現在マニラに住んでいる。

外観



内観



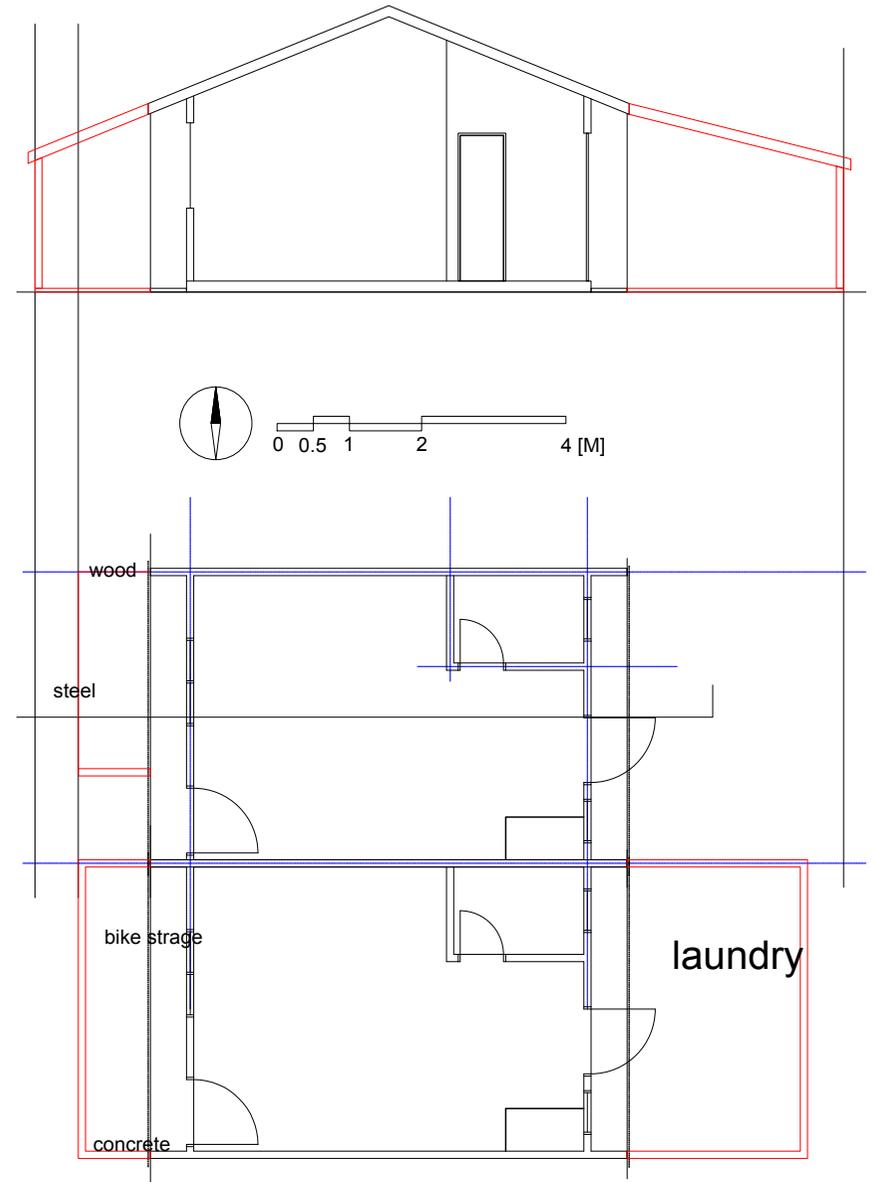
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	タイル		見た目と掃除のしやすさ
	eave/overhang		-	-	-
	window		ガラス		雨が落ちてこないように
	door		鉄格子		外で遊んでいる子供が見守れるように
	floor		タイル		見た目と掃除のしやすさ
	お祝い事の時にパーティーや受付をするため前面にスペースを作った				
back extension part	wall/fence	-	-	-	-
	eave/overhang	3	-	-	雨が落ちてこないように 来客や元々の家の所有者のためのスペース（普段は現在の住民の寝室）
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
Renovation part	partition	2	-	-	-
	exist wall		-	-	-
	ceiling		-	-	鉄板の屋根から断熱のため
	roof		-	-	-
	floor		タイル	-	見た目と掃除のしやすさ
	CR		-	-	元々のドアが損傷していたから
	kitchen		-	-	-
	front door, window		鉄格子		二重防犯
家族が快適に暮らせるように改修した					
others					

住民ヒアリング内容

住民概要	
住人数	6
構成(年齢・学歴)	母(36)、父(42)、子供(18)、子供(15)、子供(8)、子供(4)

従前居住地	
従前コミュニティ	Tondo
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況	
勤労者・職業・職場	父：ドライバー（BocauのTGカンパニー従業員）
収入額	平均 9,000/week=36,000/month
融資の有無	なし

現在のコミュニティ状況	
St.M内親戚	◎B10に1件 毎週会う
St.M内知人数と知り合った時期	前4後4 移住前に知り合った人々とは、皆違う場所で知り合っていて、St.Mに越してきた後に彼らもまたSt.Mにいることに気がついた。 後の4人はご近所さん。
St.M内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前4
St.M内の知人友人と会う場所	家の内外（週1〜2回家に招待）
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	○現在もSt.Mに住む
St.M内交友関係満足度	○

再定住事業	
移転時期	2015.08
所有権	転売 オリジナルオーナーは現在の住民に借金をしており、返済が困難になったため家を売ってトンドへ移住した。
所有権を得る条件と現在行っていること	200支払い中
永住希望	×トンドに移住希望

増改築基本情報

開始時期	? 3-4 週間
コスト	8,000peso(labor+material) labor cost=400/day
許可の有無	なし (オリジナルオーナーがアドバイス)
増改築順序	前(4,5日)>中>後(3-5日)
今後の増改築計画	現在も増改築途中だが金銭不足で一旦停止中

設計

設計者	父
住民の場合 >誰に教わったか	経験
他者の場合 >選定理由	-

施工

施工者	St.M 在住大工 Jowy(B5-L6)
住民の場合 >誰に教わったか	-
他者の場合 >選定理由	父の親戚の勧め

建築資材

資材調達者	父
住民の場合 >調達方法	St.Mariaの Warter Market 購入
他者の場合 >選定理由	-
建築資材の 決定理由	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

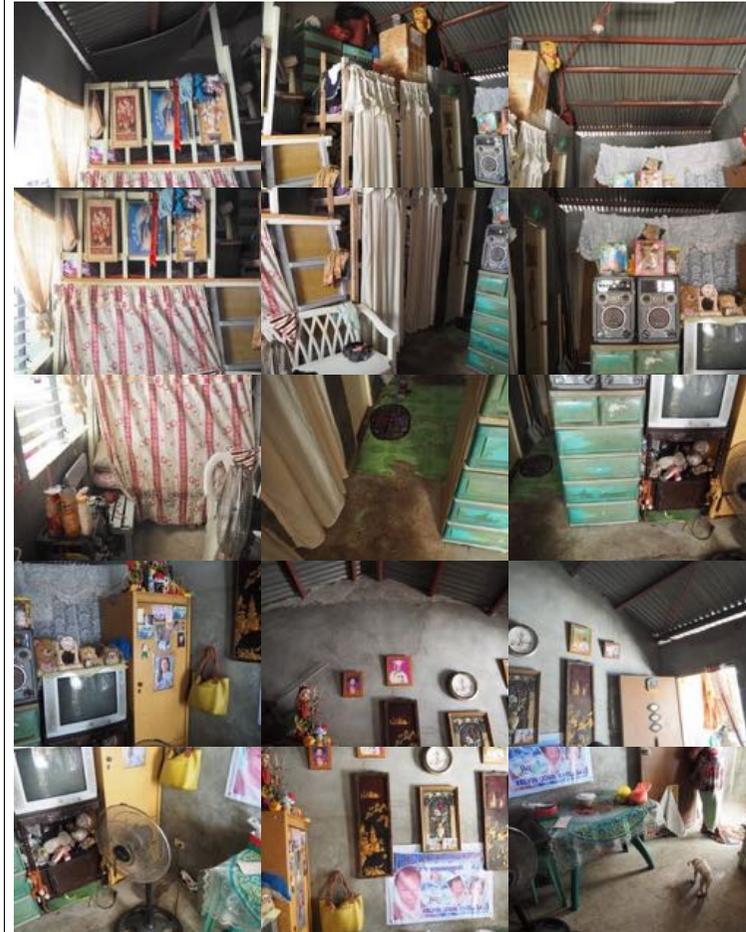
増改築で知り合った人々との現在の関係	△知人
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.18
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸 2 9

外観



内観



キッチン・CR



ロフト



2段ベッド



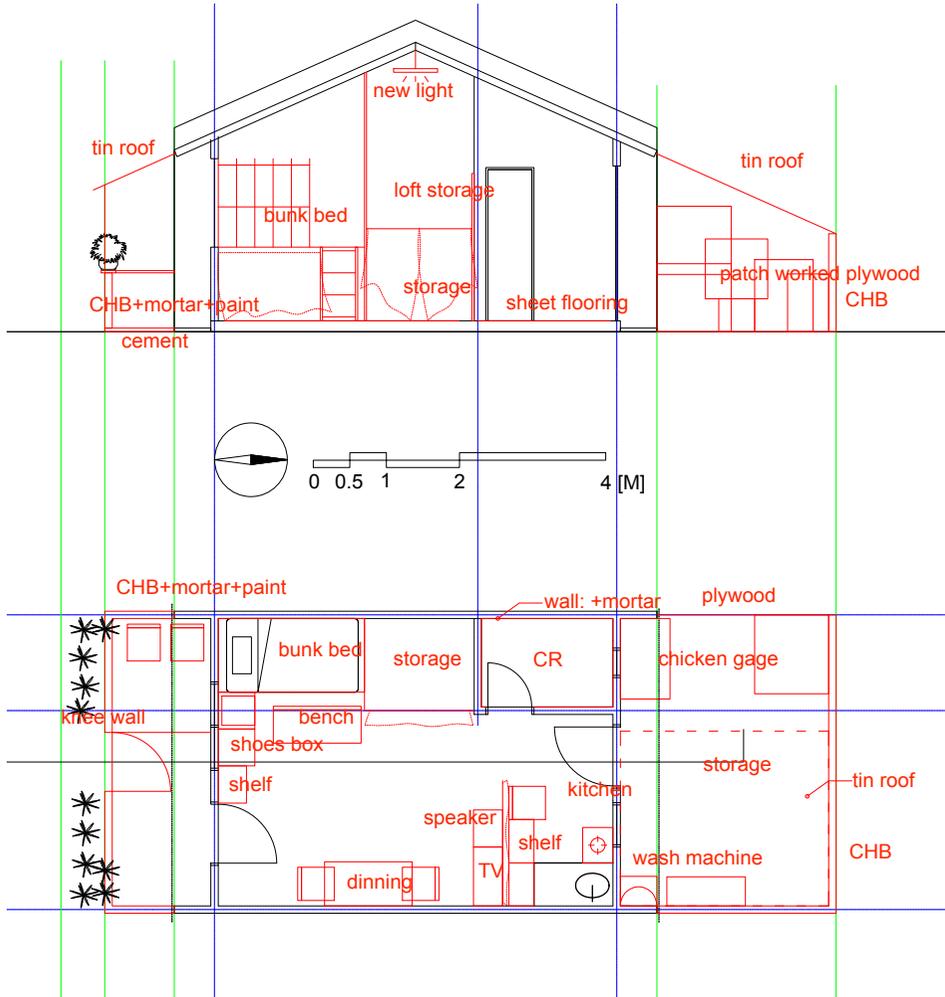
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	CHB モルタル仕上げ	合計 2,000peso	防犯
	eave/overhang	2	トタンペンキ塗装	500peso	防犯
	window	2	開口のみ	合計 2,000peso	防犯
	door	2	木板戸	合計 2,000peso	防犯
	floor	2	セメント	合計 2,000peso	防犯
back extension part	wall/fence	-	-	-	-
	eave/overhang	4 ('16 2月~)	トタン・ビニールシート	3,000peso	スペース不足
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
Inside original housing unit	partition	3 ('14~'15年)	家具・カーテン	?	見栄え
	exist wall	1	モルタル	?	見栄え
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	?	ビニールシート	60peso/yard × 17yard = 1,020peso	見栄え
	CR	1	壁モルタル	?	見栄え
	kitchen	-	-	-	-
	bunkbed	4 ('16)	木	2,000peso	スペース不足

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	7名
家族構成(年齢・学歴)	女性(70)/息子(41 大学中退)-妻(39 学校卒業)/息子(21 大学中退)-妻(19 学校卒業)-孫息子(1)/娘(14 高校生)

従前居住地

従前居住地	Road10, Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド(幼少期の周囲環境より手法学ぶ)
当時住戸利用資材	木造住宅建設

経済状況

勤労者 (職業・職場)	長男：塗装職人（セントマーサ）/妻：家事手伝い(週3日連続-メトロマニラ-往復 150pesos)
収入額	6000/month
融資状況	有（食料や日用品の融資を店舗から受けている）

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	◎ 3件
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	前後 100
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	前後 40
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	道・家
現在所属するコミュニティグループ	"BCF(Batia Christian Friendship) B48 の教会で週1 mtg
従前居住地での知人との現状交友関係	
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/05/?
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	?
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2013
コスト	8,020(for only materials)
許可の有無	
順序・期間	中(既存壁)>前>中(新壁)後>中(2段ベッド)
今後の計画	狭いため背面部増築希望

設計

設計者	住民
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	住民
施工技術の取得方法	自己流
施工者の選定理由	-

建築資材

資材調達者	住民
資材調達方法	/パティアの資材店購入(配達料トライシクルで 200peso)
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	質

増改築を通じたコミュニティ形成

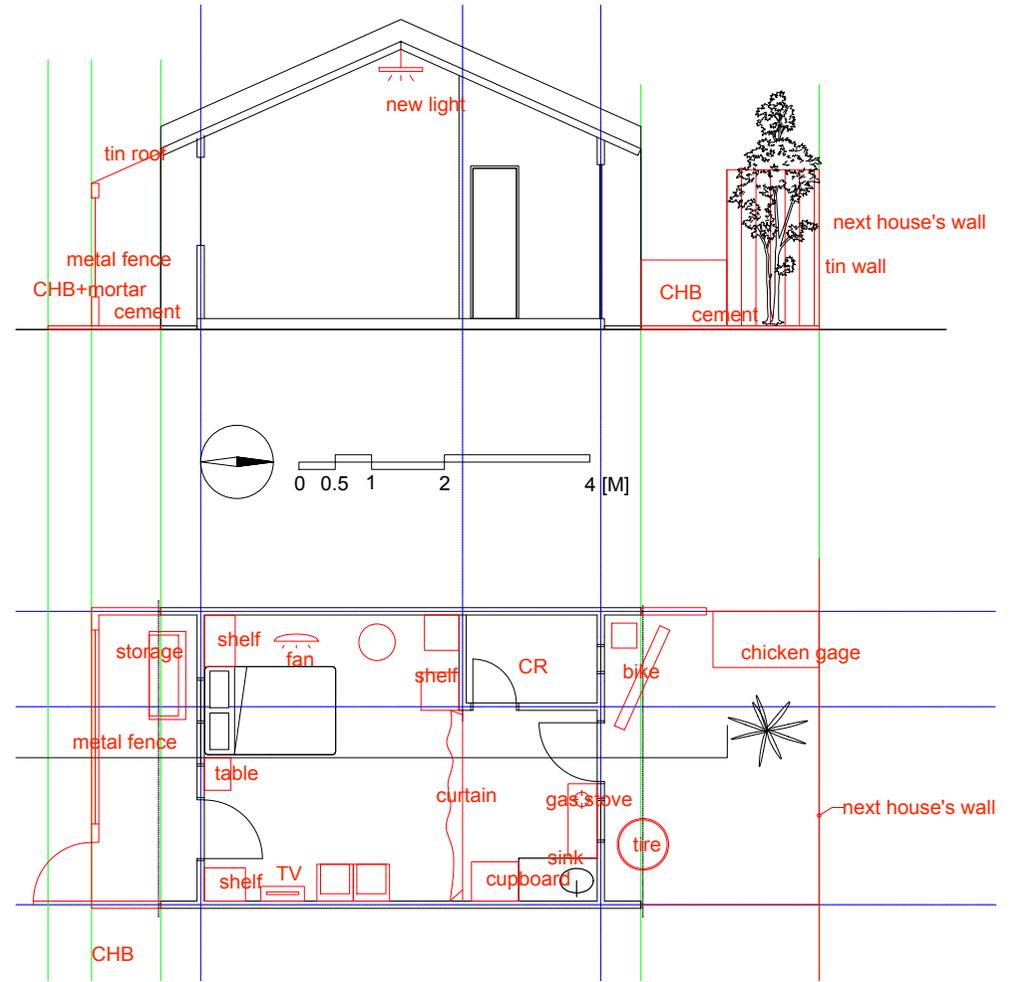
増改築生産者との現在の交友関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.16
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸30





住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	CHB モルタル 鉄格子	5,000peso	防犯 元々は売店を開くつもりだった
	eave/overhang		トタン	0 (友人から譲渡された)	
	window		鉄格子	2,500peso	
	door		鉄格子		
	floor		セメント	?	
back extension part	wall/fence	-	-	-	-
	eave/overhang	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
		-	-	-	-
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-
	light				元々備え付けられていた

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	"2人"
構成(年齢・学歴)	父(41 高卒)/母(41 小卒)"

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	"セルフビルド"
当時住戸利用資材	木材・樹脂素材利用"

経済状況

勤労者・職業・職場	父:トライシクルドライバー (St.M)
収入額	300/day×30day=9,000/month
融資の有無	バイクローン・増改築費を SSS に

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎ (隣と B34 の 2 件)
St.M 内知人数と知り合った時期	前 100
St.M 内で頻繁に会話をする友人知人数と知り合った時期	前 100
St.M 内の知人友人と会う場所	道端
現在属しているコミュニティグループ	tricycle driver community(in St.M)
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/4/23
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2014
コスト	9,100 (7500peso 資材/1800peso 大工・労働者)
許可の有無	
増改築順序	前のみ
今後の増改築計画	床の上で寝るためきれいにしたい

設計

設計者	住民
住民の場合 > 誰に教わったか	?
他者の場合 > 選定理由	-

施工

施工者	近所の友人大工・労働者 (後) 大工: 400peso/day 労働者: 200peso/day
住民の場合 > 誰に教わったか	-
他者の場合 > 選定理由	友人だから

建築資材

資材調達者	住民・友人譲渡
住民の場合 > 調達方法	/店舗購入
他者の場合 > 選定理由	譲渡
建築資材の決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○現在も友人
増改築生産者は毎回同一人物か	

Date: 2016.10.16
Interviewer: 國江
Interviewee: 住戸3 1

外観



内観



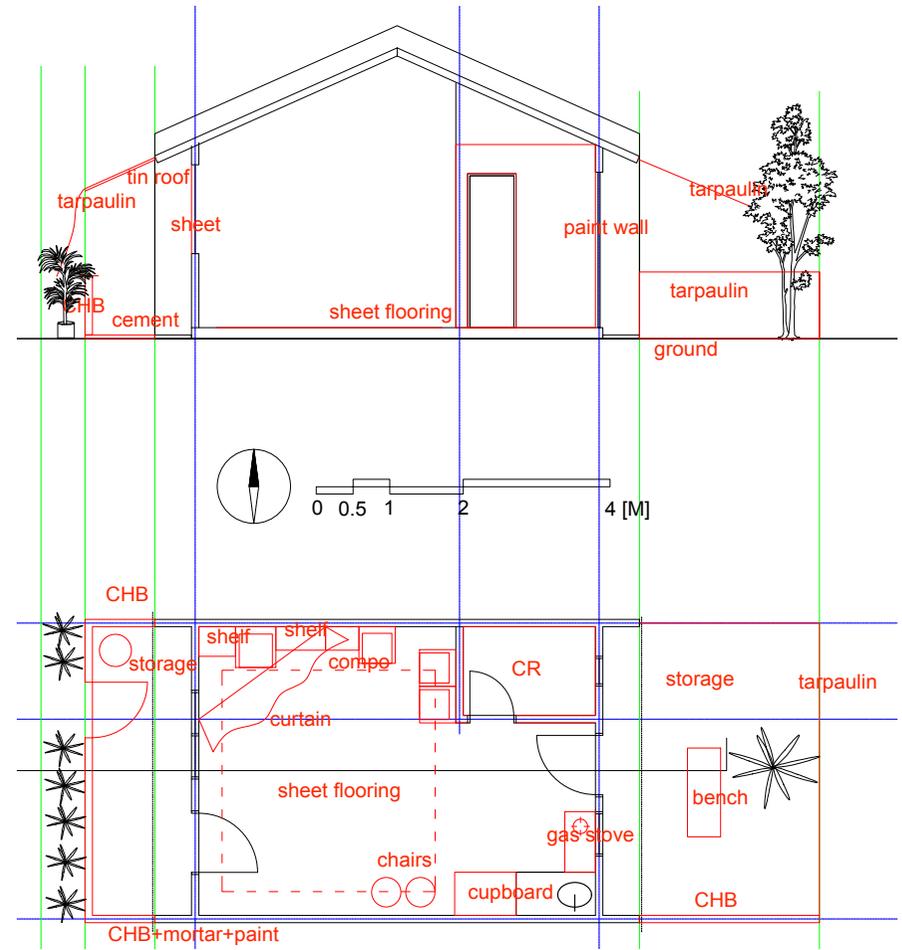
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	CHB モルタル ペンキ仕上げ	8,000peso	防犯 日射と雨を避けるため
	floor		モルタル		
	eave/overhang		トタン	0	
	window		テント布	?	
	door		テント布	?	
	plant	?	植物	?	
back extension part	wall/fence	3	テント布	0	防犯 日射と雨を避けるため
	eave/overhang		テント布	0	
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
		-	-	-	-
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	1	ビニールシート	1,000peso	床の仕上げが汚かった 床の上でご飯を食べるため
	CR	4	壁をペンキ仕上げ	200peso	ゴキブリ対策
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	2家族7人
構成(年齢・学歴)	父(45小卒)/母(50小卒)/長女(28)-孫(6)/長男(24)/次女(22)/次男(18)

従前居住地

従前コミュニティ	Road10.Mabuhai, Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	ココランバー使用(母の父が大工)

経済状況

勤労者・職業・職場	父:宅配業(メトロマニラ交通費150/week)/母:洗濯バサミづくり(自宅)
収入額	父1,500/week+母130/day=9,900/month
融資の有無	なし

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	◎B32-29に母の母の家があり、毎日通っている。
St.M内知人数と知り合った時期	前後20-30
St.M内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前後20-30
St.M内の知人友人と会う場所	母の母の家・道端
現在属しているコミュニティグループ	—
従前居住地知人とのつながり	
St.M内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/3
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200未納
永住希望	○(子供に相続予定)

増改築基本情報

開始時期	2013/06/
コスト	9200(material+labor)
許可の有無	
増改築順序	中床>前>後>中既存壁塗装
今後の増改築計画	?

設計

設計者	住民
住民の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	—

施工

施工者	父・友人の友人のプロ大工(後)
住民の場合>誰に教わったか	?
他者の場合>選定理由	友人の紹介

建築資材

資材調達者	父・大工/店舗購入・友人/譲渡
住民の場合>調達方法	/店舗購入(フリーデリバリー)
他者の場合>選定理由	?
建築資材の決定理由	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	増改築を機に施工者と友人になったが、St.M外へ移住したため次は違う人に依頼しなければならない。
増改築生産者は毎回同一人物か	

Date: 2016.10.16
 Interviewer: 保坂
 Interviewee: 住戸32

外観



内観

リビング



玄関から入って左手前の寝室



玄関から入って右奥の部屋(キッチンのあった場所)



CR



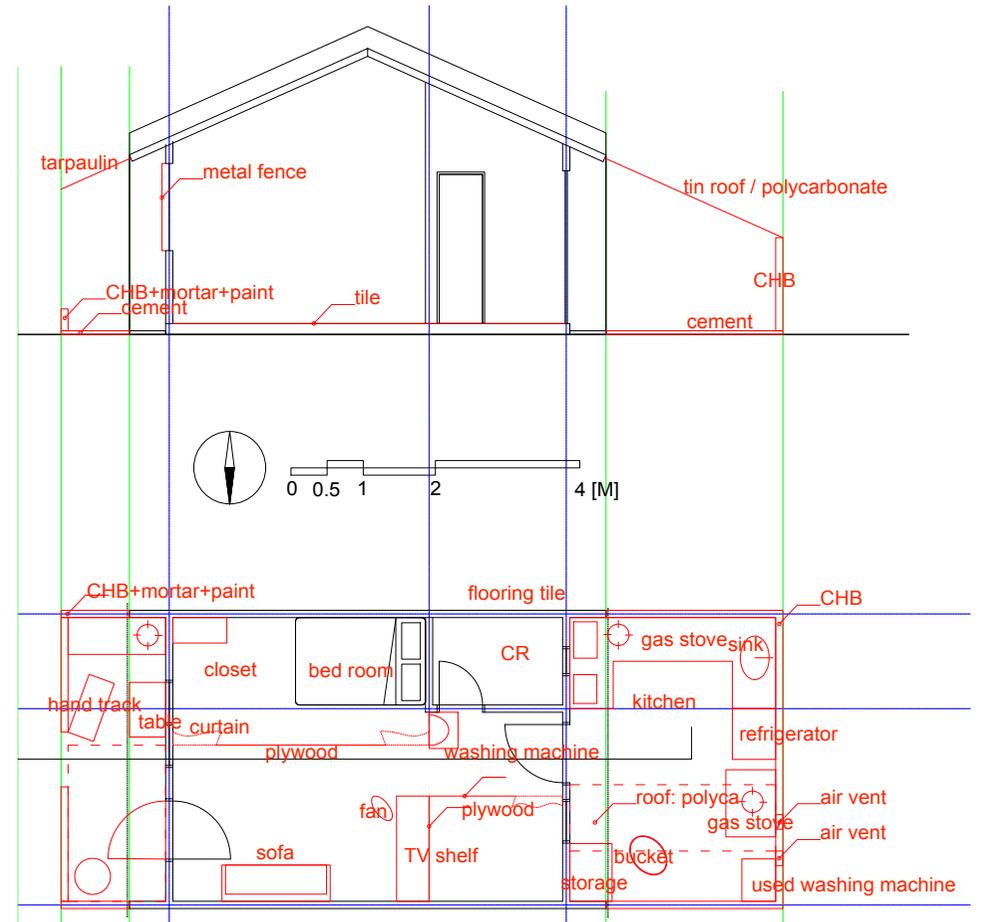
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason		
front extension part	wall/fence	2	CHB モルタル ペンキ仕上げ	1,000peso	防犯		
	eave/overhang		トタン テント 布				
	window		-				
	door (二重ドア)		木材				
	floor		セメント				
back extension part	wall/fence	1	CHB	5,000peso	物置 防犯		
	eave/overhang		トタン ポリカーボネート				
	window		花ブロック				
	door		-				
	floor		セメント				
	kitchen		CHB タイル			0 (譲渡された)	キッチン
renovation part	partition	0 (住む前にすでにできていた)	合板 タイル	-	-		
	exist wall	2	モルタル	-	元々の仕上げが荒かったから		
	ceiling	-	-	-	-		
	roof	-	-	-	-		
	window	-	-	-	-		
	floor	4	タイル	5,000peso	掃除のしやすさのため		
	floor of CR	3	タイル	0 (譲渡された)	-		
	kitchen	-	-	-	-		

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	7人
構成(年齢・学歴)	父(41 高卒)/母(47 小卒)/長男(17 高校生)/次男(15 高校生)/娘(10 小学生)/三男(7 小学生)/四男(3)

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父：大工(St.M)/母：パンケーキづくり(St.M 市場)
収入額	父 300/day+母 300/day=18,000/month
融資の有無	なし

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	-
St.M 内知人数と知り合った時期	前 100
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前 100
St.M 内の知人友人と会う場所	自宅周辺
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/05/?
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	移住5ヶ月後
コスト	11,000(material)
許可の有無	
増改築順序	中新壁(移住前に親戚が作成)>後(3日)>前(1日)>中(既存壁モルタル仕上げ>CR床タイル>リビング床タイル(3日))
今後の増改築計画	前面増築を完了させたい

設計

設計者	父
住民の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父・息子
住民の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	-

建築資材

資材調達者	父・タイルを買いすぎてしまい余っていた客からの譲渡
住民の場合>調達方法	/市場購入(フリーデリバリー)
他者の場合>選定理由	タイルを買いすぎた客から譲渡
建築資材の決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	

Date: 2016.10.16
 Interviewer: 小司
 Interviewee: 住戸33

外観



内観

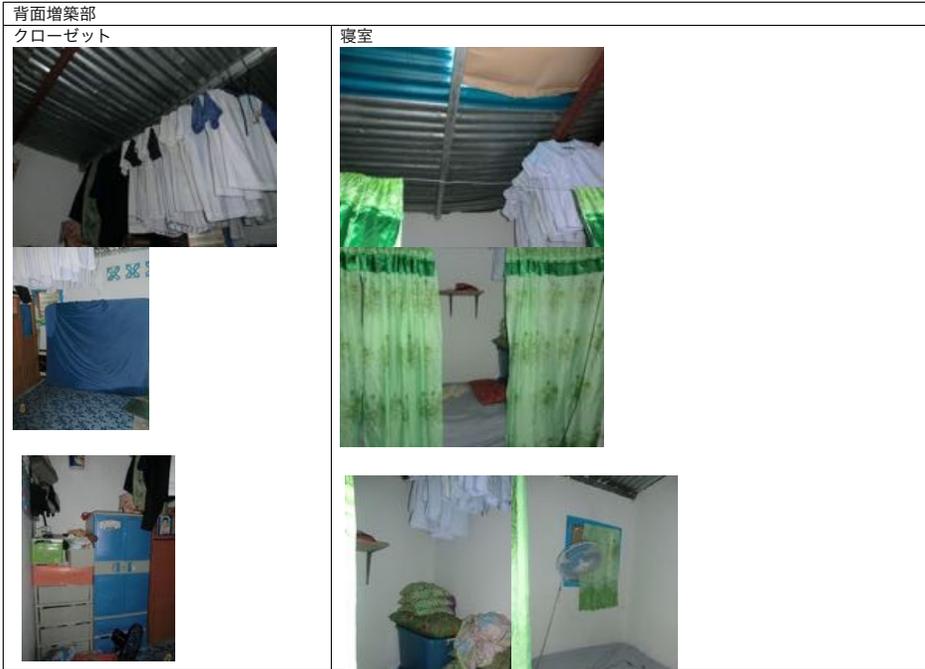


CR・キッチン

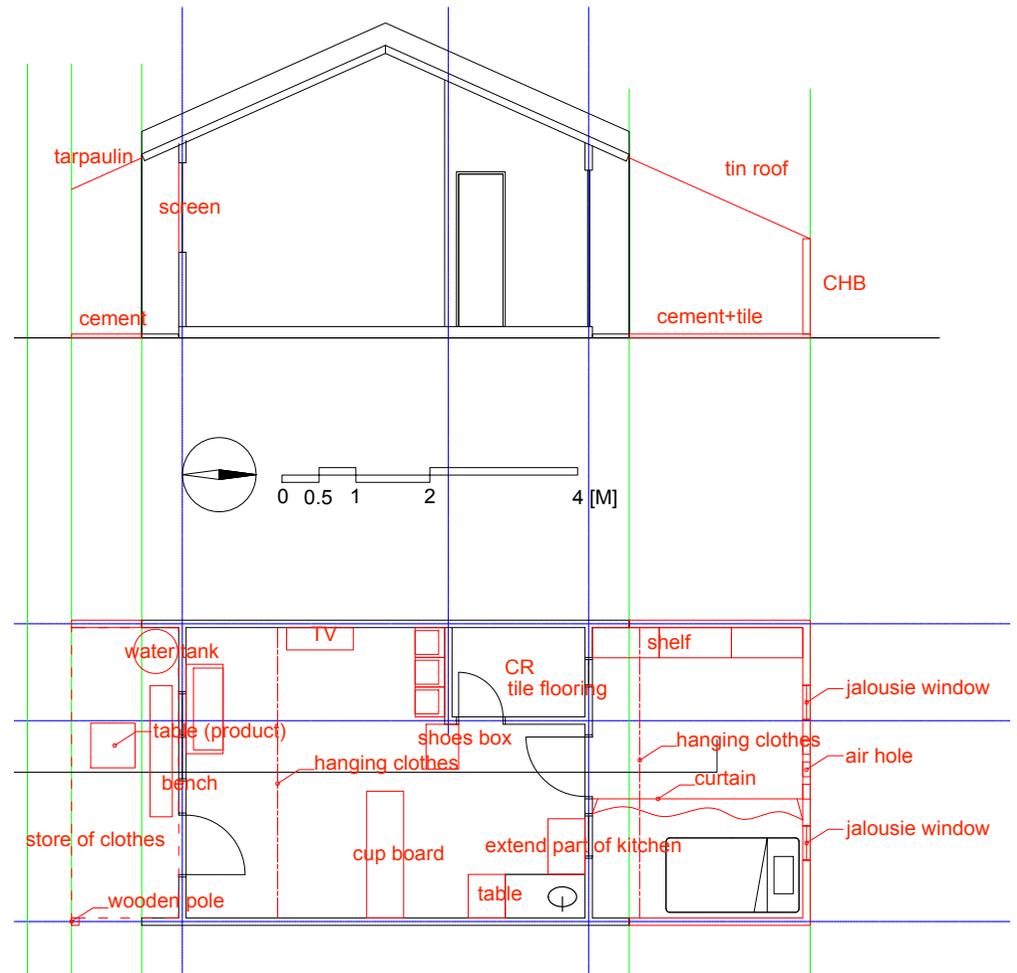


前面増築部





住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1		-	-
	eave/overhang		テント布	500peso	日射と雨を避けるため
	window		-	-	-
	door		-	-	-
	floor		セメント	0 (隣人からの譲渡)	仕上げが荒かったから
back extension part	wall/fence	3	CHB モルタル ペンキ仕上げ	10,000peso	プライバシーのため
	eave/overhang		トタン		?
	window		ジャルジー窓 花ブロック		換気
	door		-		-
	floor		セメント		-
			-		-
renovation part	partition	2	-	-	-
	exist wall		ペンキ仕上げ	1,000peso	見た目
	ceiling		-	-	-
	roof		-	-	-
	window		-	-	-
	floor		セメント タイル	2,000peso	dusty
	CR		-	-	-
	kitchen		-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	6人
構成(年齢・学歴)	母(35)/父(32)/長男(14 高校生)/長女(13 高校生)/次女(12 小学生)/三女(10 小学生)

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo,Zaragosa,Road10
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	母：洋服仕入れ・販売(自宅)
収入額	400/day×30day=12,000/month
融資の有無	無

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	-
St.M 内知人数と知り合った時期	前後 50(何人かはただのお客さん)
St.M 内で頻りに会話を する友人数と知り合った時期	前後 10
St.M 内の知人友人と会う場所	近所の友人宅
現在属しているコミュニティグループ	4P's(月1回多目的ホールにて mtg)
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/22
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 支払い中
永住希望	○(家が大きくて嬉しい)

増改築基本情報

開始時期	2013(全行程 2 週間)
コスト	13,500(materials12,150+labor1,350=450/day×3day) =1,350pesos
許可の有無	
増改築順序	前>中>後
今後の増改築計画	お金がなくて考えられない

設計

設計者	母・子供
住民の場合 >誰に教わったか	(自己流)
他者の場合 >選定理由	-

施工

施工者	父・父の友人大工
住民の場合 >誰に教わったか	(周囲の施工を見ていた)
他者の場合 >選定理由	友人だから

建築資材

資材調達者	父
住民の場合 >調達方法	//パティア店舗にて購入
他者の場合 >選定理由	近所友人譲渡
建築資材の 決定理由	室

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○現在も友人
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.16 (1回目: 2016.08.09)

Interviewer: 竹村 (1回目: 小司)

Interviewee: 住戸34a、住戸34b 母

【前提】

- 現在、2世帯が3住戸を共有して暮らしており、入らせてもらったのは住戸34aと住戸34bの2ユニットである。(住戸34a: サリサリストア、キッチン、CR/L23: リビング、寝室、CR)
- インタビューを受けてくれた女性(以後、Aと呼ぶ)が住戸34aの受益者であり、その妹の夫が住戸34bの受益者である。
- Aは住戸34aでサリサリストアの経営を始めたが、ビジネスが軌道にのり店舗が手狭になったため、隣戸へ店舗を拡大した。住戸34aは店舗用、住戸34bは住戸として2家族が2ユニットを共有して住むようになった。
- それでもスペースが不足したため、Aは、住戸34aの向かいに位置する住戸34cの住民がマニラへ移住し空き家になると聞き、買い取った。
- この時点では、住戸34aと住戸34dがAの所有物、住戸34bが妹夫婦の所有物である。
- しかし、向かい合う住戸よりも隣接した住戸の方が使い勝手が良いという理由から、Aと妹夫婦は住戸を取り替え、Aは住戸34a、住戸34bを所有し、妹夫婦は住戸34dに暮らすこととなった。
- また、Aの夫の妹が近くの住戸に住んでおり、現在サリサリストアの従業員として働いている。

住戸34a



内観・全面増築部 (連続)





背面増築部（住戸34bと連続している。住戸34b側から住戸34aをみる。）



住戸34b

外観



内観



キッチンだった場所（現在寝室）・CR



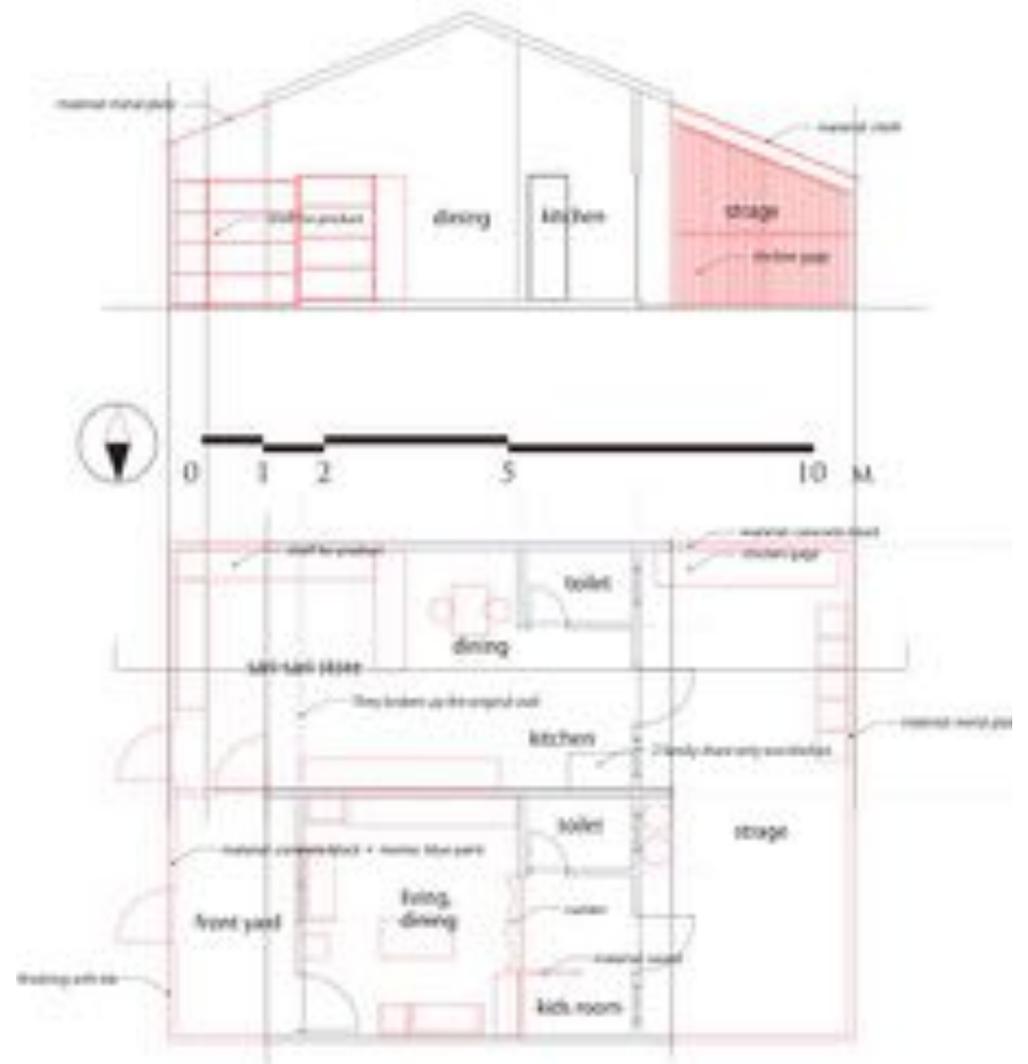
前面増築部



背面増築部 (住戸34aと連続)



住戸プラン (08.09時点)



増改築実態(L21)

part	part	order	materials	cost	reason	
front extension part	wall/fence	1	CHB モルタルペンキ仕上げ	合計 15,000peso	サリサリストア	
	eave/overhang	1	トタン・防水シート	合計 15,000peso	サリサリストア	
	window	1	金属格子+木板戸つき窓	合計 15,000peso	サリサリストア	
	door	1	金属格子戸	合計 15,000peso	サリサリストア	
	floor	1	セメント	合計 15,000peso	サリサリストア	
back extension part	wall/fence	1	トタン腰壁	合計 15,000peso	サリサリストア	
	eave/overhang	1	防水シート	合計 15,000peso	サリサリストア	
	window	-	-	-	-	
	door	-	-	-	-	
	floor	1	セメント	合計 15,000peso	サリサリストア	
【補足】 L21 と L23 の背面部は連続している。						
Inside original housing unit	partition	1	家具	合計 15,000peso	サリサリストア	
	exist wall	1	前壁取り壊し	合計 15,000peso	サリサリストア	
	ceiling	-	-	-	-	
	roof	-	-	-	-	
	window	-	-	-	-	
	floor	-	-	-	-	
	CR	?	?	?	?	
	kitchen	-	-	-	-	

増改築実態(L23)

part	part	order	materials	cost	reason	
front extension part	wall/fence	2	CHB モルタルペンキ仕上げ	合計 20,000peso	サリサリストア/防犯	
	eave/overhang	2	トタン	合計 20,000peso	サリサリストア/防犯	
	window	2	金属格子窓ペンキ塗装×2	合計 20,000peso	サリサリストア/防犯	
	door	2	金属格子戸ペンキ塗装	合計 20,000peso	サリサリストア/防犯	
	floor	2	セメント+タイル	合計 20,000peso	サリサリストア/防犯/見栄え	
back extension part	wall/fence	4	トタン腰壁	合計 20,000peso	店舗商品と生活用品の倉庫	
	eave/overhang	4	防水シート	合計 20,000peso	店舗商品と生活用品の倉庫	
	window	-	-	-	-	
	door	-	-	-	-	
	floor	4	セメント	合計 20,000peso	店舗商品と生活用品の倉庫	
【補足】 L21 と L23 の背面部は連続している。						
Inside original housing unit	partition	3	家具・カーテン	合計 20,000peso	?	
	exist wall	-	-	-	-	
	ceiling	-	-	-	-	
	roof	-	-	-	-	
	window	-	-	-	-	
	floor	3	ビニールシート	合計 20,000peso	既存床が粗く、不衛生だったため	
	CR	-	-	-	-	
	kitchen	3	取り壊し	合計 20,000peso	L21 にあるため不要だった	
【青いペンキ塗装の理由】 父が、息子が生まれたときに青いペンキで塗装すると決めていた (ジンスク?)						

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	3
家族構成(年齢・学歴)	母(38)/父(40)/息子(12・6年生)

従前居住地

従前居住地	Tondo
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者 (職業・職場)	1. 2台のジープのレンタル(マニラ) >レンタル料: 900peso/day (1台分) >運航日: 26 days/month →900peso/day×26day×2=46,800/month サリサリストア収入 >3,000peso/day >300peso/day を日々の生活費で消費 >残りの一部を新たな商品購入に利用する。
収入額	(From the information above, their monthly income can be considered as over 55800 pesos)
融資状況	ビジネスの商品運送用の軽トラ購入ローン(マニラのco-op(co-operation)から借入れ) 200,000pesos を借りており、10ヶ月で返済しなければならない。ただし、利子2%なので、204,000pesosの返済が必要。(担保: ジープのオリジナル領収書)

現在のコミュニティ状況

St.M内在住の親戚	◎△2件(B24L22とどこか) B24の親戚には毎日会うが、もう一方にはたまにしか会わない。
St.M内在住の知人数・知り合った時期	150
St.M内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	10(父の親戚、ご近所さん、母の友人) 親戚以外はSt.M移住後に知り合った。
St.M内在住の知人・友人と会う場所	親戚: 住戸内 友人: 住戸外
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	×何人かは共にSt.Mに越してきたが、何人かは違う再定住地に移住してしまった。 St.Mに越してきた人たちとも、現在はあまり交流がない。
St.M移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/10
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	未納
St.M永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	L23: 20,000(labor cost=3,000) L21: 15,000(labor cost=8,000) labor cost: 400/day
許可の有無	NHA 訪問済み
順序・期間	L21>L23(前>中>後) 全部で1ヶ月くらい
今後の計画	背面部増築希望(セキュリティ強化のため。今までに盗難があったことはないが、念のため。)

設計

設計者	父
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	近隣住民(B24L20)
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	?

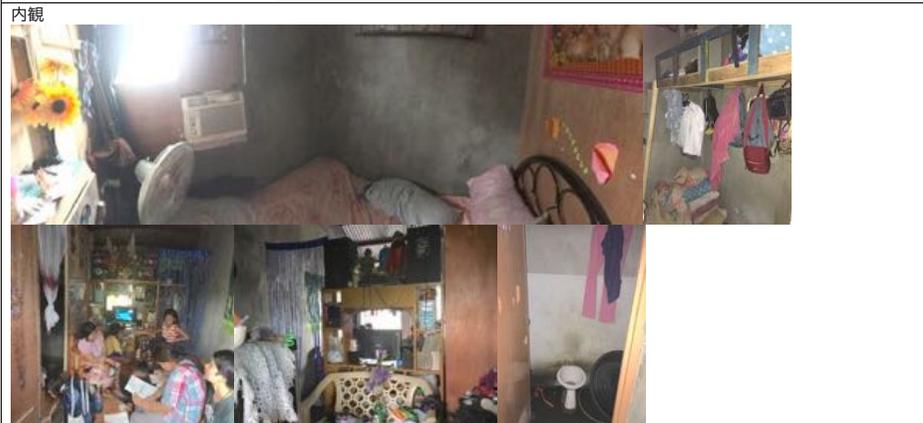
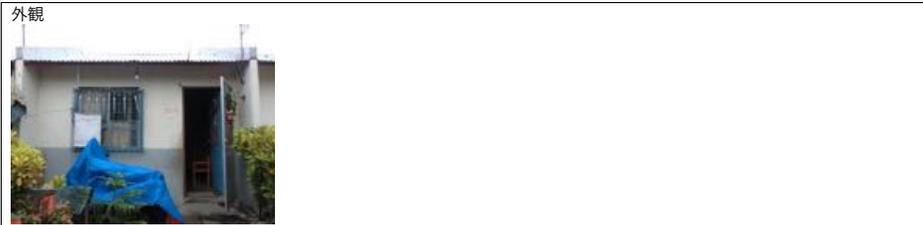
建築資材

資材調達者	父
資材調達方法	Corpus hardware にて購入
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	質

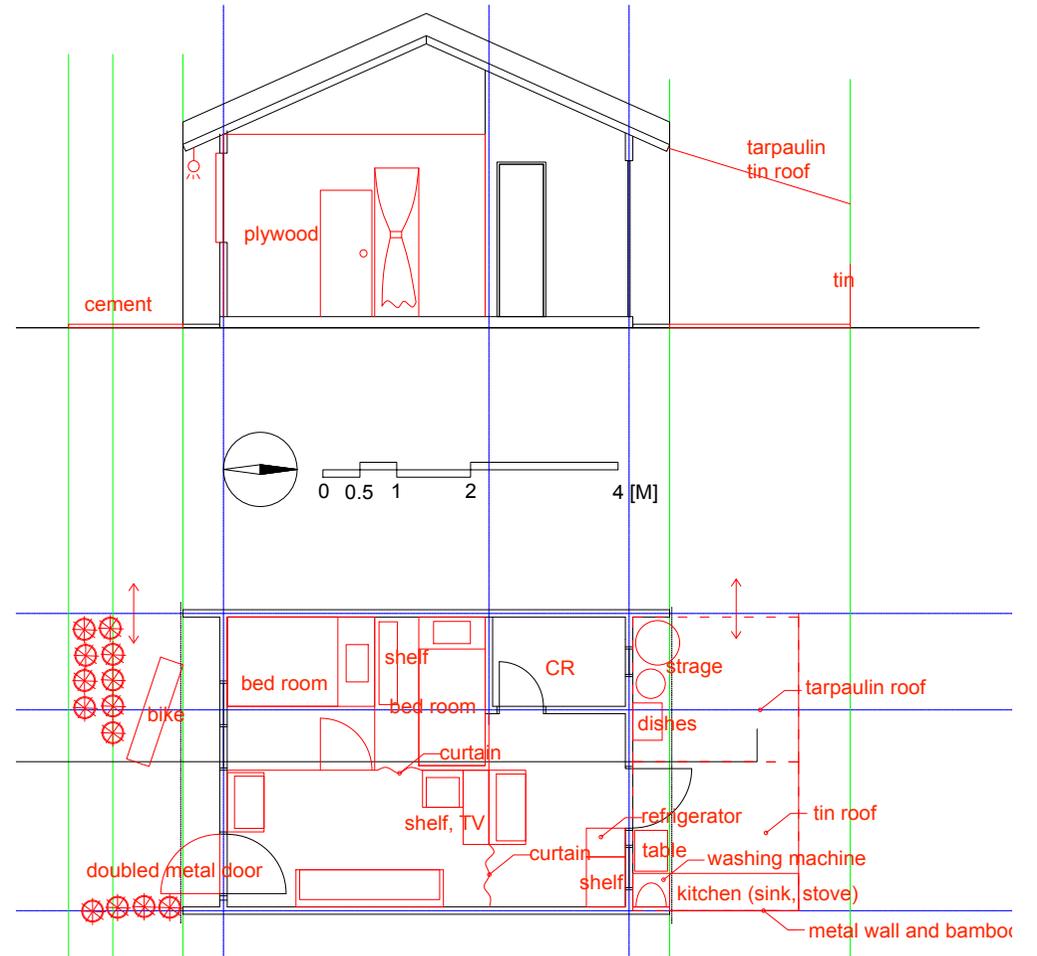
増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	△必要なときにしか会わない
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.15
 Interviewer: 保坂・小司
 Interviewee: 住戸3 5



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	-		-	-
	eave/overhang	-		-	-
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	light	?	電球	500peso (正確ではない可能性あり)	?
	plant	?	植物	?	?
back extension part	wall/fence	4	鉄板	4,000peso	スペース拡張のため
	eave/overhang	2	トタン		
	window	-	-		
	door	-	-		
	floor	3	セメント		
		-	-		
renovation part	partition	3	合板	-	子供部屋
	exist wall	-	モルタル	-	掃除と子供の安全のため
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window/door	1	鉄格子窓 鉄板ドア	2,000peso	防犯
	floor	2	ビニールシート	5,000peso	掃除と子供の安全のため
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	ビニールシート	-	-
	light	?	電球	500peso (正確ではない可能性あり)	?

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5名
構成(年齢・学歴)	父(30 高校卒業)/母(31 高校卒業)/娘(13 高校生)/息子(11,小学生)/娘(9 小学生)

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父：労働者(メトロマニラ Calowocan-週 6or7 日-交通費 400pesos/day)
収入額	14,000~20,000/month (派遣のため幅あり)
融資の有無	バイクとエアコン

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎ 2件
St.M 内知人数と知り合った時期	前 100
St.M 内で頻繁に会話をする友人知人数と知り合った時期	0
St.M 内の知人友人と会う場所	近所の人の家先
現在属しているコミュニティグループ	4P's 毎日 covered court にて mtg
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/9
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200pesos/month 必要だが、支払い中かは不明
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2014
コスト	17,500 (施工費 壁：500pesos/day, 床：700pesos/day 5日間)
許可の有無	
増改築順序	前>後軒・中床≥後中床>後壁
今後の増改築計画	見栄えを良くしたい

設計

設計者	母
住民の場合>誰に教わったか	(ネットで手法検索)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父・息子/施工経験のある父の兄弟
住民の場合>誰に教わったか	-
他者の場合>選定理由	-

建築資材

資材調達者	住民
住民の場合>調達方法	/店舗購入
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	兄弟
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.16
 Interviewer: 保坂
 Interviewee: 住戸36

外観



内観



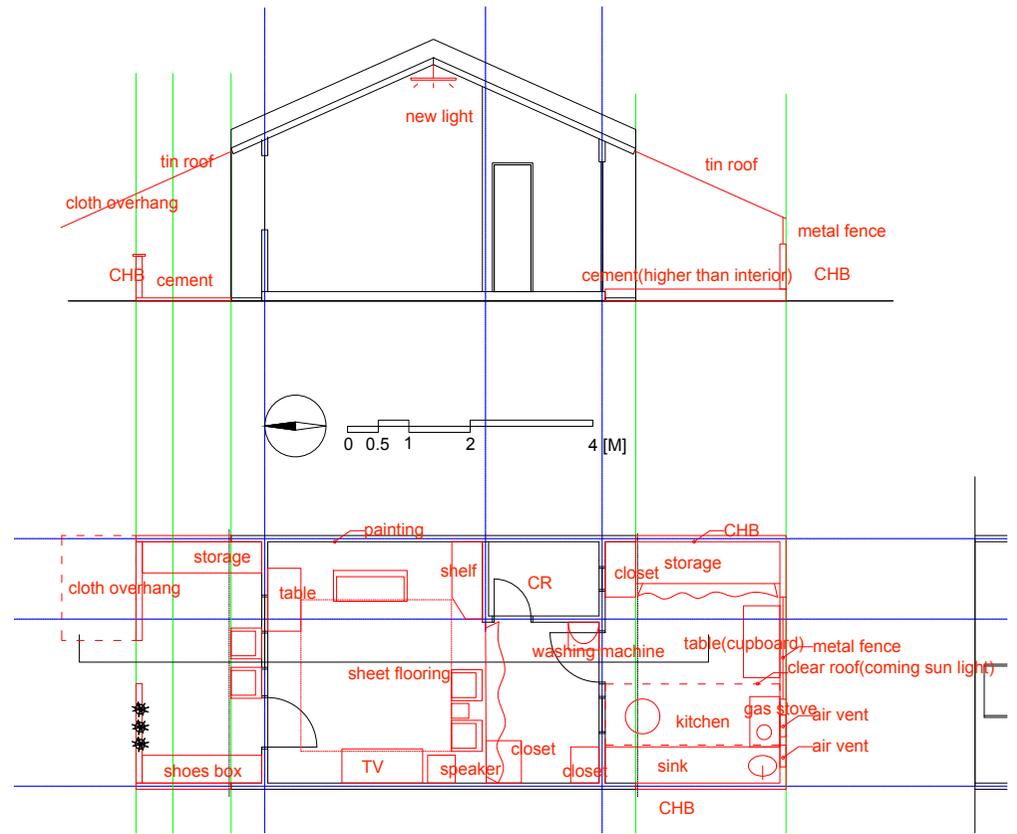
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	CHB	8,000peso	スペースの拡張
	eave/overhang		トタン テント布		
	window		オープン		
	door		オープン		
	floor		セメント		
back extension part	wall/fence	1	CHB カーテン	10,000peso	スペースの拡張 防犯 キッチン 洗濯場所
	eave/overhang		トタン ポリカーボネート		
	window		鉄格子 花ブロック		
	door		鉄格子		
	floor		セメント		
	kitchen		セメント		
renovation part	partition	0	カーテン	0 (元々住んでいた家から)	リビングと洗濯場を分けるため
	exist wall	?	モルタル ペンキ仕上げ	?	?
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	0	マット	0 (友人からの譲渡)	譲渡されたから
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	8人
構成(年齢)	父(41)/母(39)/長女(15 高校生)/次女(11 小学生)/三女(10 小学生)/長男(10 小学生)/四女(3)/次男(8ヶ月)

従前居住地

従前コミュニティ	Quezon
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	セメントと木材を利用

経済状況

勤労者・職業・職場	父：大工(メトロマニラ・ケソン交通費200/day) / 母：針仕事(自宅)
収入額	合計3000pesos/month
融資の有無	以前行っていた米販売ビジネスのため借金

現在のコミュニティ状況

StM内親戚	◎
StM内知人数と知り合った時期	前50~100
StM内で頻繁に会話を する友人 数と知り 合った 時期	前50~100
StM内の知人友人と会う場所	家の前 or 相互の住宅
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	
StM内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/7
所有権	受益者は住民の叔母
所有権を得る条件と現在行っていること	200pesos/monthの支払いが必要だが、支払っているかは不明。
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	移住後すぐ
コスト	1,8000(labor1,800+material16,200)
許可の有無	
増改築順序	中>後(3日)>前(3日)
今後の増改築計画	前増築・扉の二重化

設計

設計者	父
住民の場合 >誰に教わったか	(ケソンでの施工経験とそのとき共に作業していた人から)
他者の場合 >選定理由	-

施工

施工者	父、父同僚
住民の場合 >誰に教わったか	(ケソンでの施工経験とそのとき共に作業していた人から)
他者の場合 >選定理由	?

建築資材

資材調達者	父
住民の場合 >調達方法	/St.M 外の友人経営店舗にて購入・前の家から持参
他者の場合 >選定理由	友人譲渡
建築資材の 決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○交友継続
増改築生産者は毎回同一人物か	

Date: 2016.08.08

Interviewer: 保坂

Interviewee: 住戸37 住戸38父に調査(住戸38に親戚が住んでおり、2戸を同時調査)

外観



内観



前面増築部

写真なし

背面増築部

(左写真: 隣戸から見る)



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason	
front extension part	wall/fence	?	木フェンス	0	防犯スペース	
	eave/overhang		トタン植物			
	window	-	-	-	-	
	door	-	-	-	-	
	floor	-	-	-	-	
back extension part	wall/fence	-	-	-	-	
	eave/overhang	?	ネット	0	防犯スペース	
	window	-	-	-	-	
	door	-	-	-	-	
	floor	-	-	-	-	
	kitchen	-	-	-	-	
renovation part	partition	-	-	-	-	
	exist wall	-	-	-	-	
	ceiling	-	-	-	-	
	roof	-	-	-	-	
	window	-	-	-	-	
	floor	?	バズルマット	0	防犯スペース	
	CR	-	-	-	-	
	kitchen	-	-	-	-	

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	3
構成(年齢・学歴)	父(24)/母(21)/子供(1)

従前居住地

従前コミュニティ	Tacloban その前には Leyte で生活していた。
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者・職業・職場	ステージセット
収入額	7,500pesos/month
融資の有無	?

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎父の兄弟とその家族 B7-L4 共同生活
St.M 内知人数と知り合った時期	?
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	?
St.M 内の知人友人と会う場所	?
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	?
St.M 内交友関係満足度	?

再定住事業

移転時期	1月 →2016/01
所有権	転売
所有権を得る条件と現在行っていること	200peso/month のローンを NHA に支払い中
永住希望	?

増改築基本情報

開始時期	移住4ヶ月後 →2016/05
コスト	0
許可の有無	なし
増改築順序	1週間(L04と合わせて)
今後の増改築計画	?

設計

設計者	L04 父
住民の場合 > 誰に教わったか	-
他者の場合 > 選定理由	L04と同時増改築だから

施工

施工者	近所大工 Ariel Sandos (施工費 20,000peso) 普段トライシクルドライバーをしている
住民の場合 > 誰に教わったか	-
他者の場合 > 選定理由	L04で施工されているときに共同で行った。

建築資材

資材調達者	父
住民の場合 > 調達方法	職場で無料調達 ステージセットを手がける職場で、木材を調達した。
他者の場合 > 選定理由	-
建築資材の決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	?
増改築生産者は毎回同一人物か	施工者との関係不明 -

Date: 2016.08.08
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸38

外観



内観



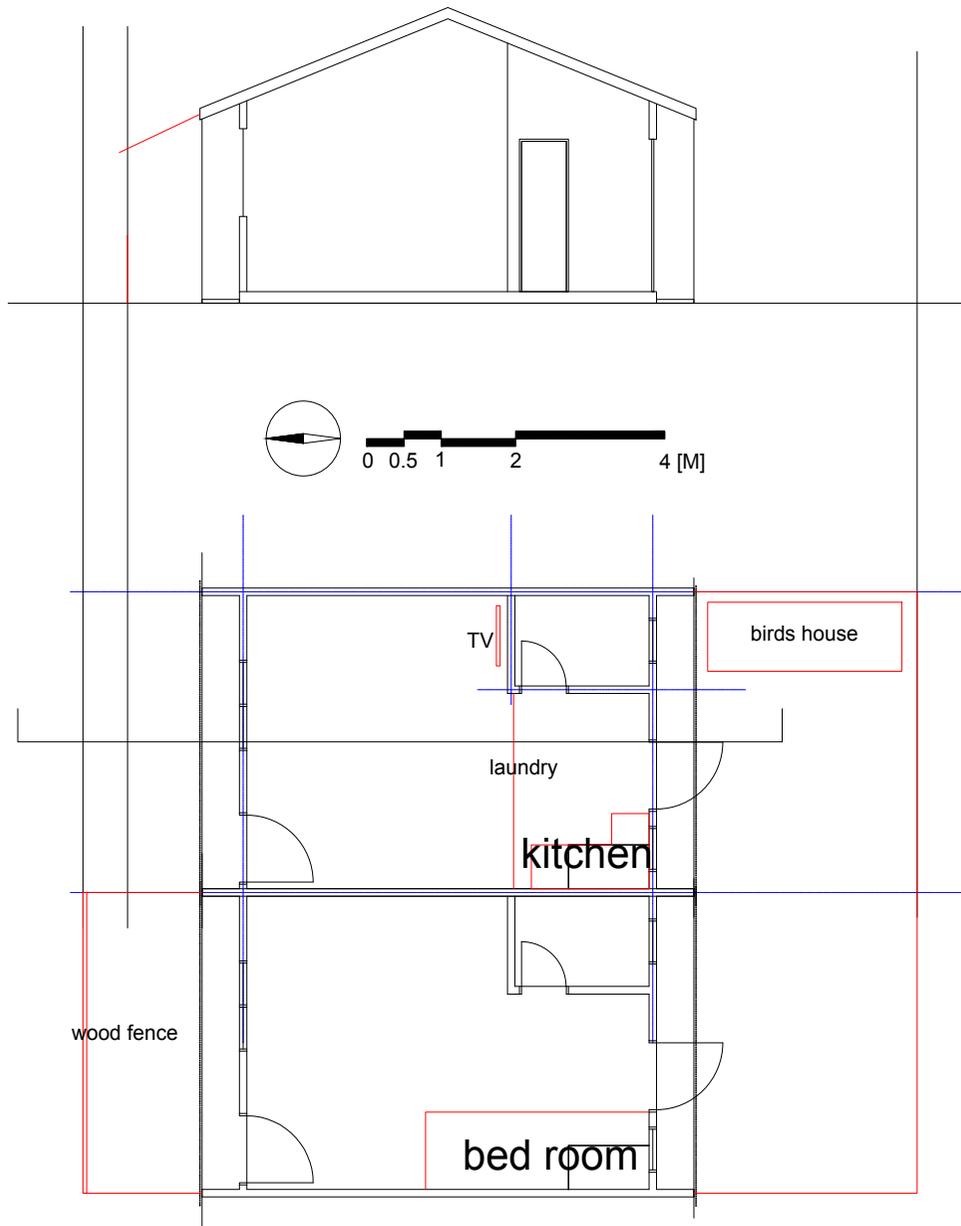
前面増築部

写真なし

背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	?	コンクリートブロック モルタル	36,000~37,000p eso (背面と合わせて)	防犯 スペース拡張
	eave/overhang		トタン屋根		
	window		鉄格子 ベンキ仕上げ		
	door		鉄格子 装飾 ベンキ仕上げ		
	floor		セメント		
-	-	-	-	-	-
back extension part	wall/fence	?	コンクリートブロック	36,000~37,000p eso (前面と合わせて)	防犯 スペース
	eave/overhang		テント布		
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-
renovation part t	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	7
構成(年齢・学歴)	父(37)-子供(11,9,7,4)/父の弟(29,29)

従前居住地

従前コミュニティ	Tacloban その前には Leyte で生活していた。
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者・職業・職場	写真や映像撮影のライティングクルー
収入額	8,000pesos/month
融資の有無	?

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎父の兄弟家族 B7-L3 共同生活
St.M 内知人数と知り合った時期	?
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	?
St.M 内の知人友人と会う場所	?
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	× 以前住んでいた再定住地でも友人をつくらなかった。
St.M 内交友関係満足度	?

再定住事業

移転時期	1月 →2016/01
所有権	転売
所有権を得る条件と現在行っていること	200peso/monthのローンをNHAに支払い中
永住希望	△現在の住居も悪くはないが、機会があれば越したい。

増改築基本情報

開始時期	移住4ヶ月後 →2016/05
コスト	36,000-37,000(labor+material) (la20,000+ma16,000-17,000)
許可の有無	なし
増改築順序	?(1週間)
今後の増改築計画	子供の寝室として2階増築希望 現在は子供部屋がない。

設計

設計者	住民
住民の場合>誰に教わったか	自己流、経験なし
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	近所大工 Ariel Sandos (施工費 20,000peso) 普段トライシクルドライバーをしている隣戸である7-3と同時に施工。
住民の場合>誰に教わったか	-
他者の場合>選定理由	<ul style="list-style-type: none"> 経験が豊富である 近所に住んでいる

建築資材

資材調達者	住民
住民の場合>調達方法	PNP 経営店舗購入 PNP=Philippines National Police St.Mの外にあり、歩いて15分かかる。 この家の住民はトライシクルで訪問した。(交通費:片道10peso)
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○友人
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.15 (第1回: 08.06)
Interviewer: 竹村 (第1回: 小司)
Interviewee: 住戸39

外観



内観



CR・キッチン



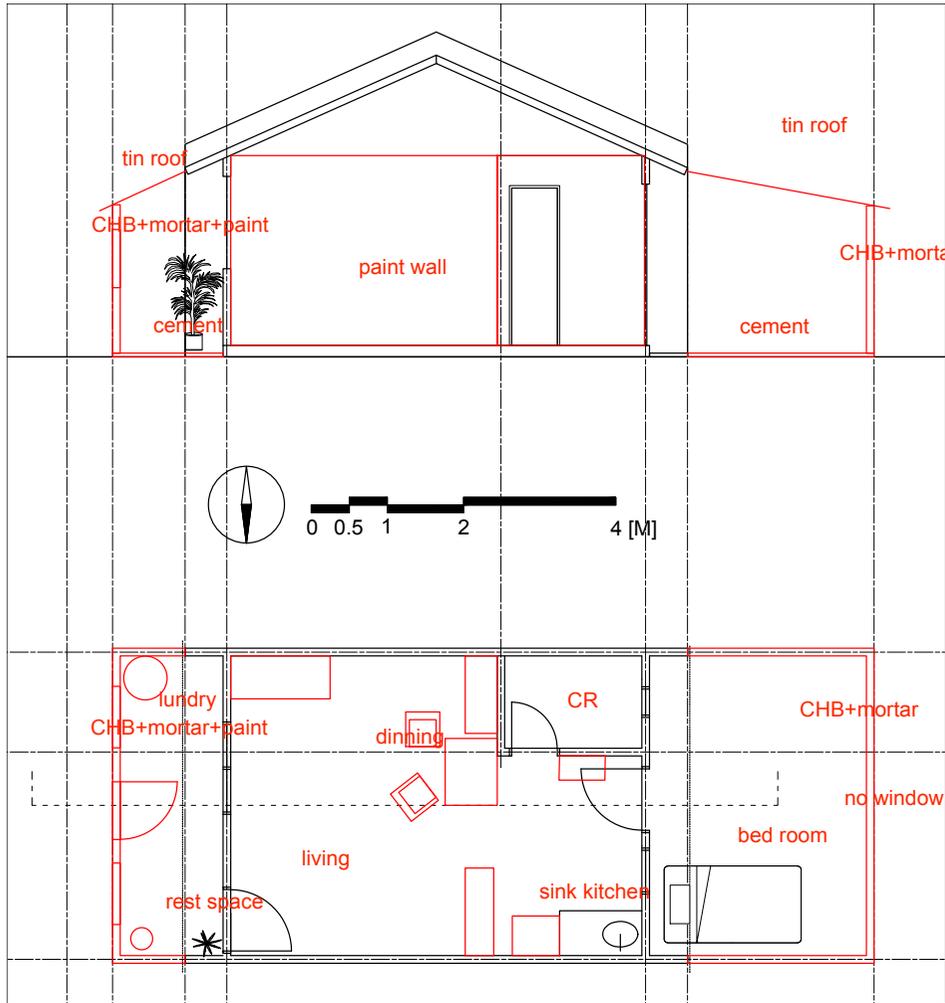
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	?	CHB モルタルペンキ仕上げ	?	防犯
	eave/overhang	?	トタン	?	防犯
	window	?	金属横連子窓	?	防犯
	door	?	金属格子戸	?	防犯
	floor	?	セメント	?	防犯
back extension part	wall/fence	?	CHB モルタル仕上げ	?	子供の寝室のため
	eave/overhang	?	トタン	?	子供の寝室のため
	window	?	なし	?	子供の寝室のため
	door	?	なし	?	子供の寝室のため
	floor	?	セメント	?	子供の寝室のため
renovation part	partition	?	家具	?	キッチンが外から見えるのを防ぐため
	exist wall	?	ペンキ仕上げ	?	清潔にするため・見栄えを良くするため
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	?	前窓内部 金属格子取付	?	防犯
	floor	-	-	-	-
	CR	?	床・壁タイル貼	?	見栄えを良くするため
	kitchen	-	-	-	-
【全体の増改築理由】 防犯					

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5
家族構成(年齢・学歴)	父(38)/母(40)/娘(11小学生)/長男(10小学生)/次男(4小学生)

従前居住地

従前居住地	Montalban, Rizal province
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	知人(経験なし)
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者(職業・職場)	父:警備員(メトロマニラ週1帰宅)
収入額	15,000/month(残業代9,000-10,000含む)
融資状況	増改築費をSSSとPag-ibig(government program)に借りている。2年間の返済契約で現在支払い中。

現在のコミュニティ状況

St.M内在住の親戚	△父の親戚が隣のブロックに住むがあまり会わない
St.M内在住の知人数・知り合った時期	後30
St.M内在住の頻りに会話をする友人数・知り合った時期	後5
St.M内在住の知人・友人と会う場所	外(時々住戸内)
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	×それぞれ離れた場所で暮らしている。ほとんどが再定住地ではなくprivate house(一般住宅)に住んでいる。
St.M移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2014
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	200支払い中
St.M永住希望	×private house移住希望

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	前15,000+後9,000=24,000
許可の有無	なし
順序・期間	後>中(前窓鉄格子取り付けも含め)>前
今後の計画	後増築が途中なので完了させて子供部屋にしたい(現在は雨漏りがするため倉庫)。2階の増築希望。

設計

設計者	母
設計技術の取得方法	施工者からアドバイスを受ける
設計者の選定理由	-

施工

施工者	St.M在住大工2人 うち1人はGrack(B2-L35)
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	?

建築資材

資材調達者	母
資材調達方法	Corpus hardware 購入(施工者提案)
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	×現在は交友なし
増改築生産者は毎回同一人物か	前後それぞれ異なる施工者

【補足】

この家は快適かと尋ねたところ、NOと返事。ここに住むほとんどの人が無職だからだと言う。この家の住民は住環境への意識が高く、中所得層的な暮らしをしたいという考えが強いように感じた。

Date: 2016.10.18 (第1回: 08.06)
Interviewer: 小司 (第1回: 保坂・川崎)
Interviewee: 住戸40a, 住戸40b 母

写真は住戸40aのみ

外観 (8月撮影)



内観(CR以外10月撮影)



CR(8月撮影)



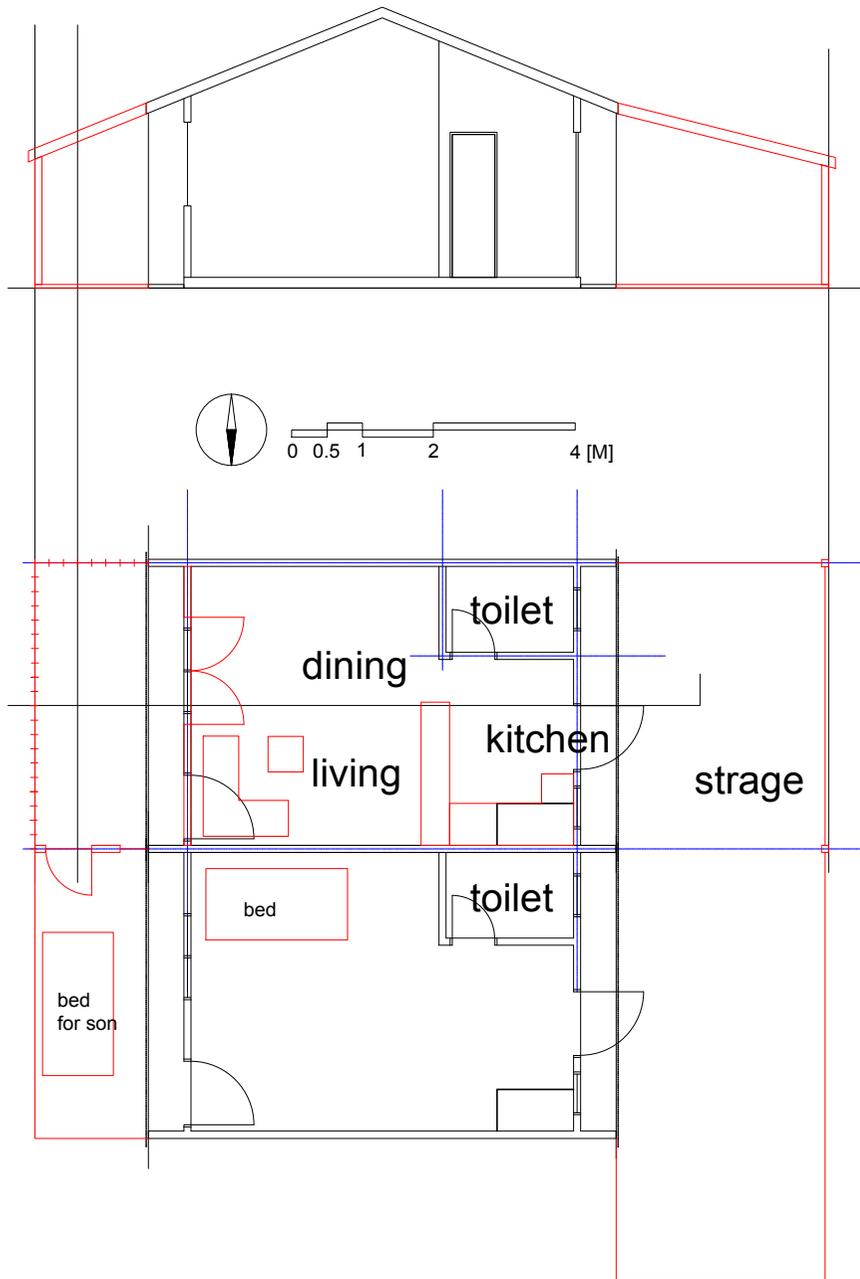
前面増築 (10月撮影)



背面増築部 (10月撮影)



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason	
front extension part	wall/fence	1	CHB モルタルペンキ仕上げ	?	住環境改善/見栄え	
	eave/overhang	6	トタン一部ペンキ塗装/雨樋	?	住環境改善/見栄え	
	window	1	金属格子窓ペンキ塗装 各住戸1つずつ	?	住環境改善/見栄え	
	door	1	金属格子戸ペンキ塗装/カーテン	?	住環境改善/見栄え	
	floor	1	セメントタイル貼り	?	住環境改善/見栄え	
	counter	?	木造カウンター ペンキ塗装	?	住環境改善/見栄え	
back extension part	wall/fence	5	ベニヤ/木格子柵	?	住環境改善/見栄え	
	eave/overhang	6	トタン	?	住環境改善/見栄え	
	window	-	-	-	-	
	door	-	-	-	-	
	floor	5	セメント	?	住環境改善/見栄え	
renovation part	partition	4	家具	?	住環境改善/見栄え	
	exist wall	3	ペンキ	?	住環境改善/見栄え	
	ceiling	4	木材ペンキ仕上げ(照明一体)	?	住環境改善/見栄え	
	roof	-	-	-	-	
	window	2	前窓 ガラス引き違い窓に取り替え	?	住環境改善/見栄え	
	floor	4	タイル	?	住環境改善/見栄え	
	CR	4	壁床タイル	?	住環境改善/見栄え	
	kitchen	4	壁床タイル	?	住環境改善/見栄え	
	door	4	装飾付き木造扉 に取り替え	?	住環境改善/見栄え	

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	4
家族構成(年齢・学歴)	母(34)/父(50)/娘(20)/息子(13)

従前居住地

従前居住地	Barangy 105, Sitio Damayan, Tondo, Manila
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド(家族の一員から手法教わる)
当時住戸利用資材	木材、コンクリート、スチール

経済状況

勤労者(職業・職場)	父: 施工者/母: ボカウエ市に許可を得たビジネス(自宅)
収入額	20,000-50,000/month
融資状況	なし

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	△ 3件(父方の親戚祝いの席で会う)
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	前後たくさん
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	前2後2-3
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	道端
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	○現在も近隣住民 ブロック1のほとんどの人が彼らと同じ Damayan からきている Habagat/Bagyo Pedring (=台風"pedring") による被害を受けた人に向けて NHA がボランティアをしている。セントマーサ内のバスケットボールコートにやってきて物資の支援をしてくれる。
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/05/13
所有権	転売 ※彼らは2つの住戸と3つの家の背面部分を倉庫として所有しており、元のオーナーは既に亡くなっている。
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中 (1月~8月は 5pesos/month をペナルティとして追加徴収された) →以前支払いを滞納していた?
St.M 永住希望	xお金と機会があれば他のより良い村へ移住希望

増改築基本情報

開始時期	2015.01- 約1年間
コスト	50,000(material+labor)
許可の有無	なし
順序・期間	前床>中床>中壁塗装>中天井>後>前後軒
今後の計画	キッチンを屋外へ移動希望(現状のキッチンはとても暑い)

設計

設計者	父
設計技術の取得方法	近隣住民から
設計者の選定理由	-

施工

施工者	近隣大工 Joseph Capional(トンド出身)(+父:補助のみ)
施工技術の取得方法	父大工
施工者の選定理由	父の親戚+経験あり

建築資材

資材調達者	父
資材調達方法	Sandal Wood hardware とリサイクルショップにて購入 hardware shop はバイクで20分と少し遠いが、近隣住民の提案でこの資材店を知った。
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	親戚
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

【補足】

- この家族は2ユニットを有しており、背面部はその隣も借りて3住戸分の背面部をバックヤードとして利用している。
- B42の大工から聞いた話を以下に記す。
父は建設会社に勤めており、セントマーサエステートにおける大エリダーである foreman の一人らしい。
他にも、foreman は B59 の"ジョイフルハウス"と大きく描かれた住戸に住む Romeo などがいる。

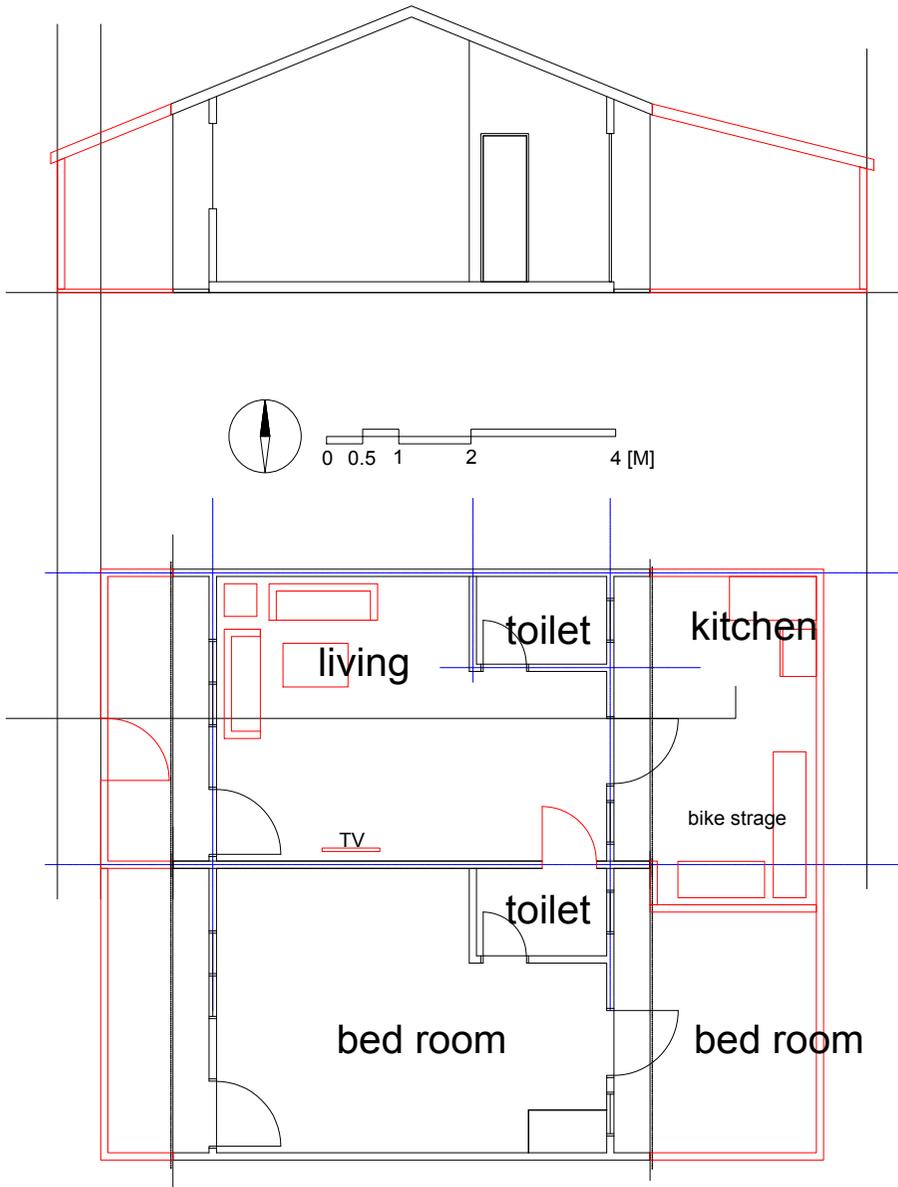
Date: 2016.10.18 (1回目: 0806)
 Interviewer: 小司 (1回目: 保坂川崎)
 Interviewee: 住戸41a, 住戸41b 母

【前提】

- ・ インタビューを受けてくれた方が、この住宅のオーナーの姉妹であり、ケアテイカーだった。
- ・ オーナーは現在仕事の都合でトンドにいる。
- ・ トンドにいるオーナーは受益者から家を買取った。増改築は全て現在のオーナーによるもの。

住戸41b	住戸41a
外観 	
内観 	-前半分 

	 <p>あり</p> 
前面増築部 	
背面増築部 	



part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	CHB モルタルタイル仕上げ	下記参照	サリサリストア・見栄えを良くする
	eave/overhang	2	トタン屋根ペンキ塗装・雨樋ペンキ塗装・木材天井ペンキ塗装	下記参照	サリサリストア・見栄えを良くする遮光
	window	2	金属格子窓ペンキ塗装裝飾付き 2	下記参照	サリサリストア・見栄えを良くする
	door	2	金属板戸ペンキ塗装 1 金属シャッター 1	下記参照	サリサリストア・見栄えを良くする
	floor	2	セメント・タイル	下記参照	サリサリストア・見栄えを良くする
【コスト】 20,000peso (資材費+施工者雇用費)					
back extension part	wall/fence	3	CHB モルタルペンキ仕上げ	下記参照	住空間拡大
	eave/overhang	3	トタン屋根+木材ペンキ塗装天井	下記参照	住空間拡大遮光
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	3	セメント・タイル	下記参照	住空間拡大
	kitchen(L28)	3	セメント・タイル	下記参照	住空間拡大
【コスト】 20,000peso (資材費+施工者雇用費)					
Inside original housing unit	partition	1	家具	下記参照	見栄えを良くするため
	exist wall	1	モルタルペンキ仕上げ	下記参照	見栄えを良くするため
	ceiling	1	木材ペンキ塗装照明一体	下記参照	屋根からの熱を抑えるため
	roof	1	ペンキ	下記参照	見栄えを良くするため
	door	1	L26のCRとL28の間に扉	下記参照	L26とL28を往来するため
	floor	1	L28 タイル L26 シート	下記参照	見栄えを良くするため
	CR	1	壁床タイル	下記参照	見栄えを良くするため
	kitchen	1	L28 背面部へ移動	下記参照	住空間拡大
【コスト】 10,000peso (資材費+施工者雇用費)					

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	7
家族構成(年齢・学歴)	母(28)、3人の姪(3~11)、3人の甥(3~11) ※彼女たちの両親はマニラで働いていて、ヒアリング対象者は甥と姪の正確な年齢がわからない

従前居住地

従前居住地	Mindanao
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者 (職業・職場)	夫：稼ぎ(海外)+仕送り(子供達の世話代を親戚から) 基本的にお金と食料は親戚から
収入額	-
融資状況	なし

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	-
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	後~10
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後5友人
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	住戸前部の店先
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	△1年に1度ミンダナオ島に親戚に会いに行く 親戚のみに会いに行く?
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2014/05/
所有権	転売
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	8月調査：366,000(material+labor)→10月調査では、50,000(material+labor)
許可の有無	NHA に前後増築は許可を得た(2Fはなし)
順序・期間	後>前>中 L26,28 合わせて1ヶ月
今後の計画	2階増築希望 NHA の許可がおりれば

設計

設計者	母の姉妹(子供達の母親)
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	4人の大工(Rovelto) Tondo の大工 the name of construction worker is "Rovelto De Lacaros" in B46 (residents forget the lot number.)
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	知人の推薦

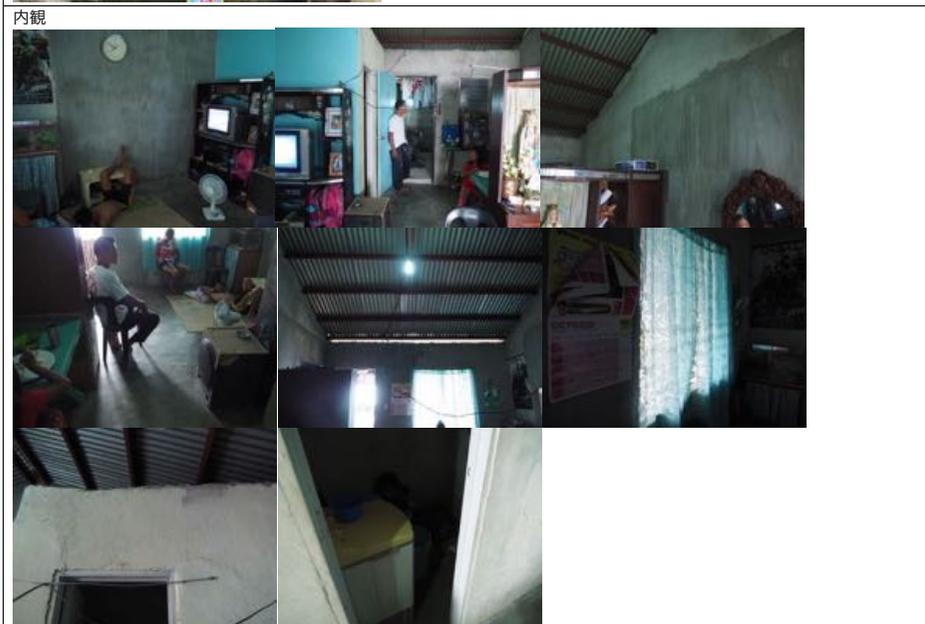
建築資材

資材調達者	大工
資材調達方法	-
資材調達者選定理由	SANDAL WOOD HARDWARE にて購入
資材の決定要因	デザイン

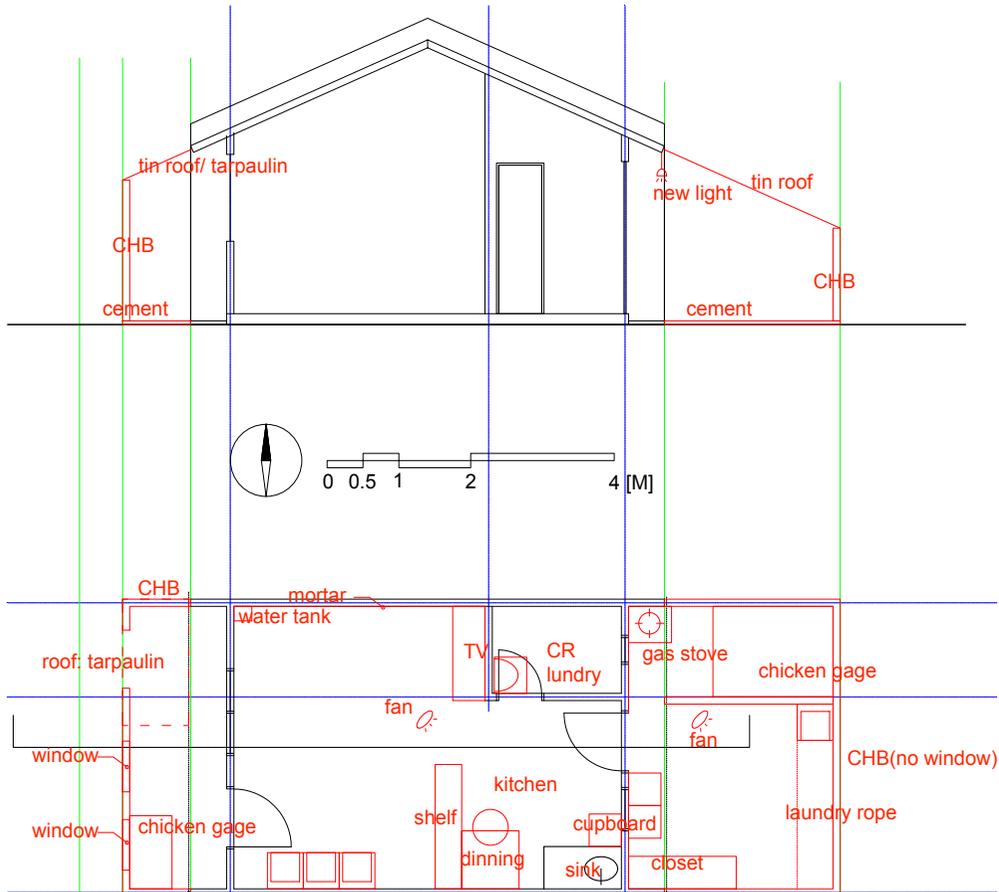
増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	○交友継続
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.16
Interviewer: 保坂
Interviewee: 住戸4 2



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	CHB	6,000peso	スペース拡張のため
	eave/overhang		トタン テント布		
	window		オープン		
	door		オープン		
	floor		セメント ウッドデッキ		
back extension part	wall/fence	1	CHB	20,000peso	スペース拡張のため プライバシー
	eave/overhang		トタン		
	window		-		
	door		-		
	floor		セメント		
	light		電球		
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	1,2	モルタル ペンキ仕上げ	-	仕上げが荒かったから
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	-	-	-	-
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5人
構成(年齢)	父(51 大卒)/母(40 高卒)/息子(15 高校生)/長女(11 小学生)/次女(8 小学生)

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	他者による施工
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父:トライシクルドライバー (St.M内)
収入額	500-700/day=15,000-21,000/month
融資の有無	salary loan

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	-
St.M内知人数と知り合った時期	前100
St.M内で頻りに会話を する友人数と知り合った時期	前100
St.M内の知人友人と会う場所	道端・家の前
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	
St.M内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/3
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200支払い中?
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2016/07/
コスト	26,000 (only for materials)
許可の有無	後>前 (中は少しずつ前後増築と同時に)
増改築順序	前後
今後の増改築計画	床にタイル貼り・前面部店舗化

設計

設計者	父・息子
住民自身の場合>誰に教わったか	(Tondoで現場を見ながら育った)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父・息子
住民の場合>誰に教わったか	(Tondoで現場を見ながら育った)
他者の場合>選定理由	-

建築資材

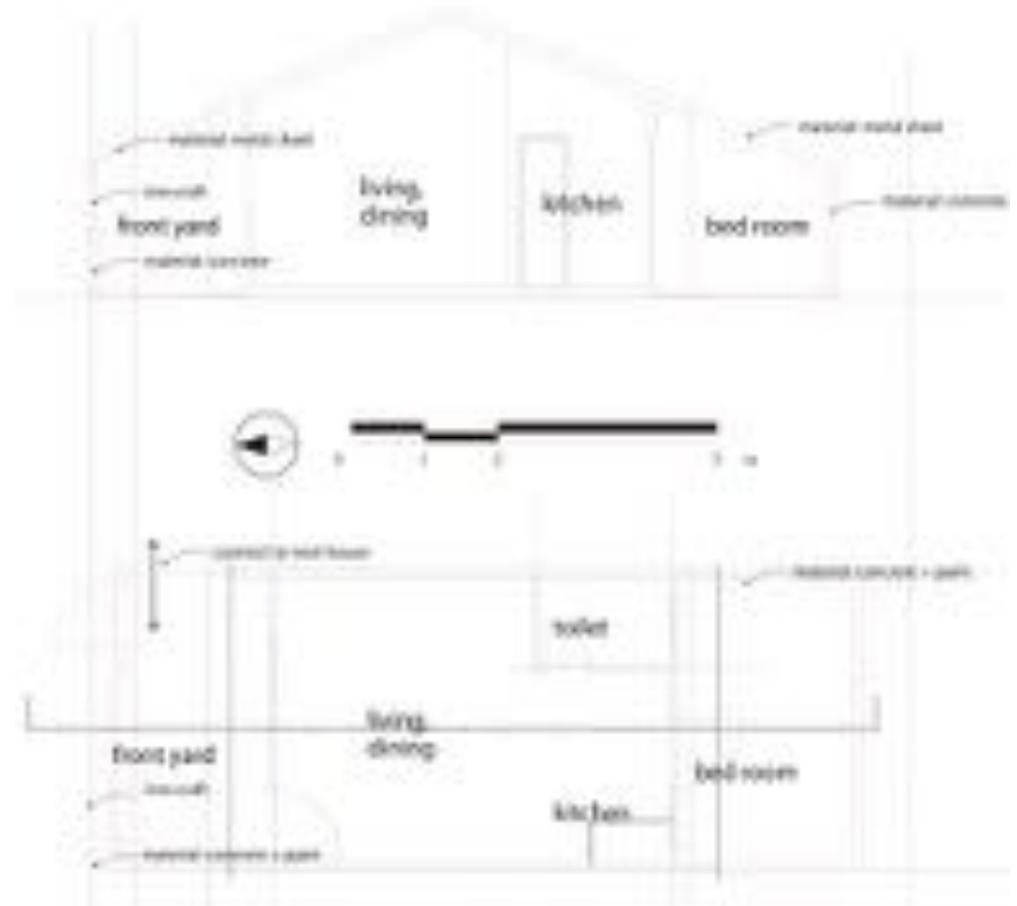
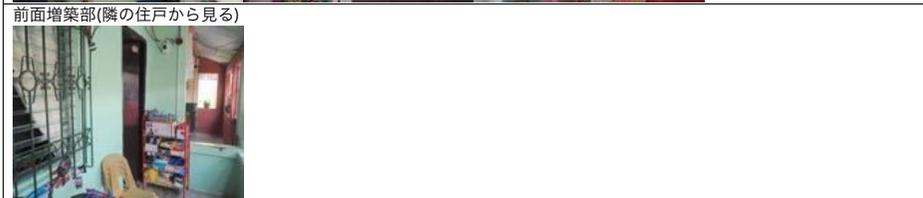
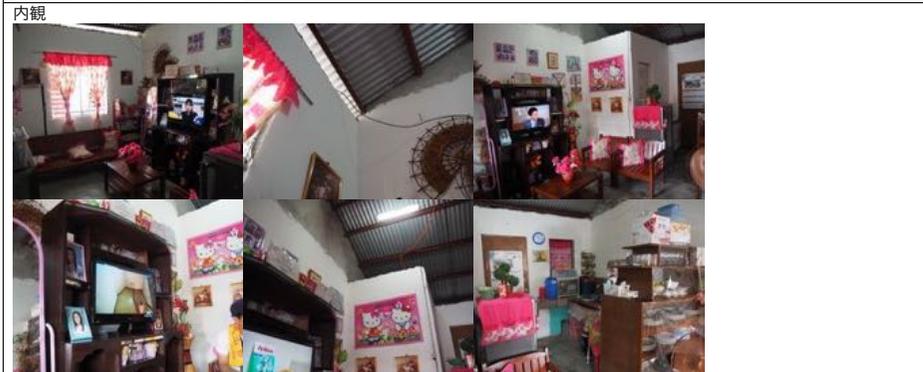
資材調達者	父
住民の場合>調達方法	/PNP店舗購入
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	質(とコストも少し)

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	

Date: 2016.08.04
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸43 母

住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	コンクリートブロック モルタル ベンキ仕上げ		
	eave/overhang		トタン テント 布 ライト		
	window/door		鉄格子 ベンキ 仕上げ 装飾		
	floor		セメント		
	plant		植物		
back extension part	wall/fence	1	コンクリートブロック モルタル	全部で 20,000peso	防犯
	eave/overhang		トタン		
	window	-	-		
	door	-	-		
	floor	-	-		
	kitchen	-	-		
renovation part	partition	?	-		
	exist wall		ベンキ仕上げ		
	ceiling		電球		
	roof		ベンキ仕上げ		
	window		-		
	floor		-		
	CR wall, floor		タイル		
	kitchen wall		タイル		

住民ヒアリング内容

住民概要	
住人数	4
構成(年齢・学歴)	母(37)/父(35)/長女(13)/次女(5) ※父は週に1回のみ帰宅
従前居住地	
従前コミュニティ	Baltazar, Quezon
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?
経済状況	
勤労者・職業・職場	父：プロ施工者(マニラのAJ company 所属) 職場付近に住んでおり、週1でSt.Mの自宅に帰る。
収入額	15,000/month
融資の有無	?
現在のコミュニティ状況	
St.M内親戚	◎父の親戚 B749-16 →毎日顔を合わせる 母の親戚は Irococ という不法占拠居住地に住んでいる。 →子供の学校があるため、年に1度しか会わない
St.M内知人数と知り合った時期	?
St.M内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	?
St.M内の知人友人と会う場所	?
現在属しているコミュニティグループ	Kalinga community(週1 mtg)
従前居住地知人とのつながり	×台風オンドイにより破壊
St.M内交友関係満足度	?
再定住事業	
移転時期	? > 親戚の話より、2016/01と想定される。
所有権	? > 近所の人の話より、転売と想定される。
所有権を得る条件と現在行っていること	?
永住希望	? 現在の住戸は快適だと話していた。

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	20,000
許可の有無	NHA によるチェック済み
増改築順序・期間	後(週1作業1ヶ月)(L9-11 背面部同時施工)>前(5日)
今後の増改築計画	リビング床にタイル張り希望

設計

設計者	父母
住民の場合>誰に教わったか	自己流
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父
住民の場合>誰に教わったか	プロ施工者
他者の場合>選定理由	-

建築資材

資材調達者	父
住民の場合>調達方法	? >親戚の話より、corpus hardware 購入と想定される。
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

s	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.08.04

Interviewer: 小司

Interviewee: 住戸44 母

外観



内観



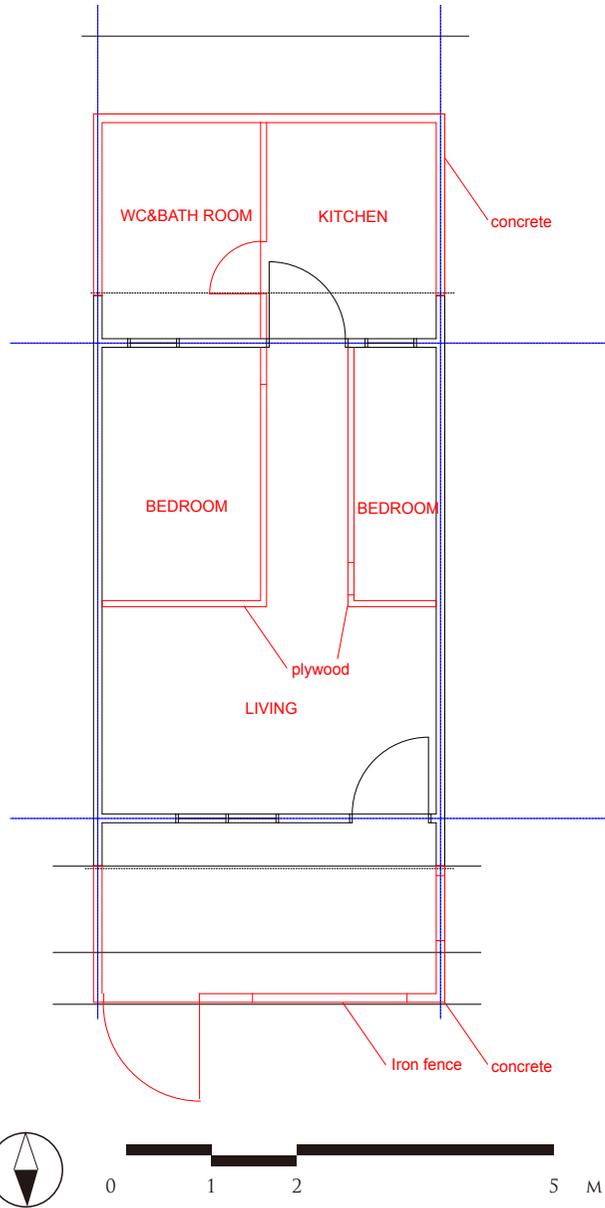
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	?	コンクリートブロック モルタル ベンキ仕上げ	60,000peso	スペース拡張と外見のため
	eave/overhang		トタン		
	window/ door		鉄格子ベンキ仕上げ 装飾 テント布		
	floor		セメント		
	plant		植物		
back extension part	wall/fence	?	コンクリートブロック モルタル ベンキ仕上げ	60,000peso	スペース拡張と外見のため
	eave/overhang		トタン		
	window		花ブロック 2個		
	door		-		
	floor		-		
renovation part	partition	?	合板	60,000peso	スペース拡張と外見のため
	exist wall		ベンキ仕上げ		
	ceiling		-		
	roof		ベンキ仕上げ		
	window		鉄格子		
	floor		-		
	CR wall		タイル		
	kitchen wall		タイル		

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	3
構成(年齢・学歴)	母(34)/父(34)/娘(8 小学生)

従前居住地

従前コミュニティ	Baltazar Quezon
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者：職業(職場)	父：料理人(サウジアラビアのレストラン) 2年のうち45日帰宅 →1年に22-23日帰宅→月2回ほど
収入額	20,000-30,000/month
融資の有無	?

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎同じブロックの人に毎日会う
St.M 内知人数と知り合った時期	?
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	?
St.M 内の知人友人と会う場所	?
現在属しているコミュニティグループ	△あるが、あまり参加していない。
従前居住地知人とのつながり	×互いに離散してしまい、現在どこに住んでいるのか分からない。
St.M 内交友関係満足度	?

再定住事業

移転時期	? →親戚の話より、2016/1と想定される。
所有権	? →近隣住民の話より、転売と想定される。
所有権を得る条件と現在行っていること	?
永住希望	?

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	60,000
許可の有無	?
増改築順序	?(全行程1ヶ月)
今後の増改築計画	?

設計

設計者	母
住民の場合>誰に教わったか	自己流、経験なし
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	母の兄(B7L09の父)
住民の場合>誰に教わったか	-
他者の場合>選定理由	親戚であり、プロの施工者だから。

建築資材

資材調達者	住民
住民の場合>調達方法	BatiaにあるCorpus hardwareにて購入 L9-16に住む親戚は全てここで購入した。
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	親戚
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.16 (第1回08.04)
Interviewer: 竹村 (第1回小司)
Interviewee: 住戸45母

写真

外観



内観



キッチン・CR



前面増築部



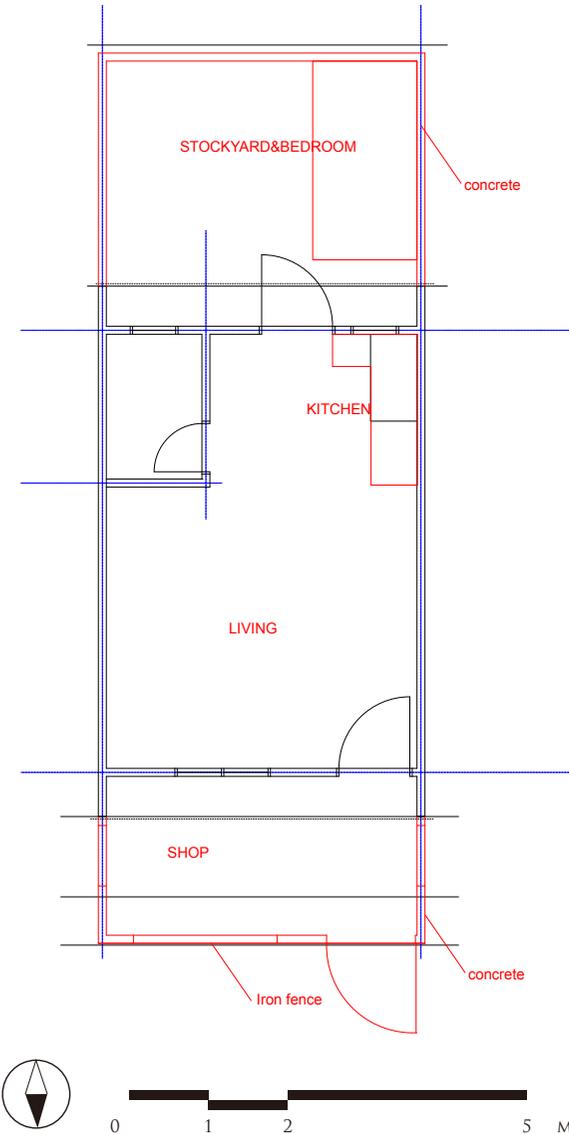
背面増築部



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3	コンクリート モルタル ベン キ仕上げ		店をつくるため
	eave/overhang		トタン		
	ceiling		合板 電球		
	door/window		鉄格子		
	floor		セメント		
back extension part	wall/fence	2	コンクリートブ ロック モルタ ル	10,000peso (4,000peso for steel)	-
	eave/overhang		トタン		-
	window		-		-
	door		-		-
	floor		セメント		-
	ceiling		合板		-
renovation part	partition	4	-		-
	exist wall		白ベンキ仕上げ		見た目をよくするため 部屋を明るくするため
	ceiling		合板		天井からの断熱
	roof		-		-
	floor		-		-
	CR		-		-
	kitchen		-		-
	front window		1		鉄格子

住戸プラン (08.04 時点)



住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	3
構成(年齢・学歴)	母(60)/息子(27・中退)/孫娘(13) ※母には7人の息子がいて、 - 長男は建設会社に勤め、L09に住んでいる - 次男が料理人で一緒に住んでいる - 三男はニュージーランドで勤務 - それ以降は不明。

従前居住地

従前コミュニティ	Baltazar, Quezon
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者：職業(職場)	次男：料理人(fairview)/三男：仕送り(ニュージーランド)/母：サリサリストア経営(自宅)
収入額	8,000/month
融資の有無	なし

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	◎3件(長男住戸43/娘住戸44/B60)
St.M内知人数と知り合った時期	後100
St.M内で頻繁に会話をする友人知人数と知り合った時期	後50
St.M内の知人友人と会う場所	ほとんど家の外で、たまに住戸内
現在属しているコミュニティグループ	Kalinga community 会合などは積極的に開かれているが、彼女はサリサリストア経営があり参加できない。
従前居住地知人とのつながり	?
St.M内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2016/01/
所有権	? →近隣住民の話によると、転売と想定される。
所有権を得る条件と現在行っていること	200/month支払い中 (2016年1月に越してきたばかりのため、ローンは来年2月まで支払う必要はないのだが、現在前もって200pesos/month払っている。四年後にはローンが2倍額になる。)
永住希望	○これ以上移住したくない

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	10,000pesos うち、4,000pesosがスチールにかかった費用。 前面増築費はサリサリストアの収益を使い、後面増築費は1~3番目の息子たちから出してもらった。
許可の有無	NHAチェック済み
増改築順序	中(窓)>後(1ヶ月以上)>前(2日)>中(窓以外) 後はL09-11まで同時に施工
今後の増改築計画	×お金がない

設計

設計者	母
住民の場合>誰に教わったか	自己流
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	長男 (L09,10の施工者と同一人物)
住民の場合>誰に教わったか	-
他者の場合>選定理由	親戚かつプロだから

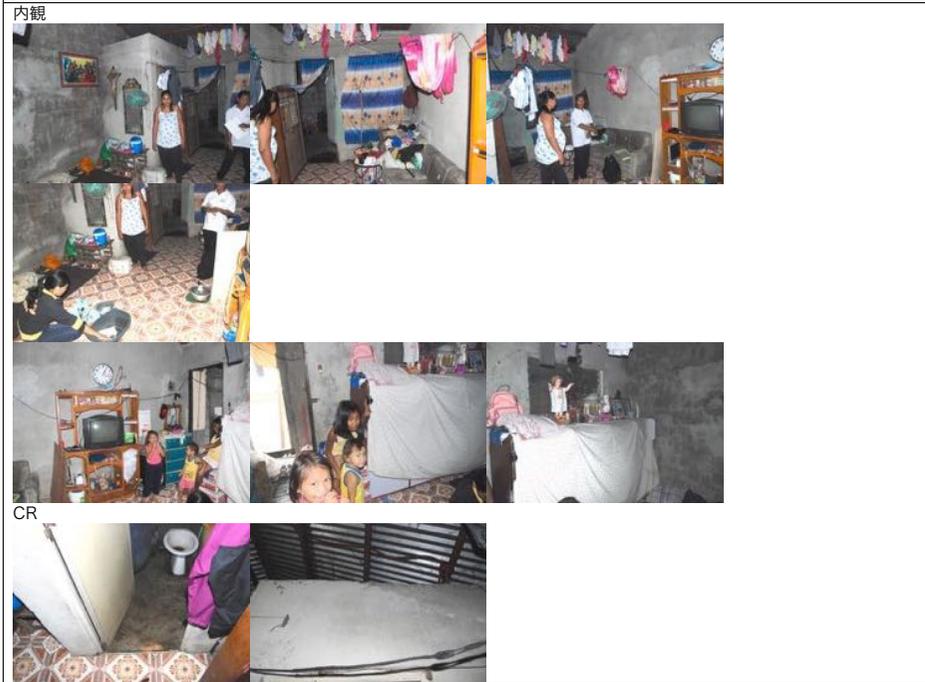
建築資材

資材調達者	住民(L09,10の親戚と共同)
住民の場合>調達方法	Corpus hardwareにて購入 (Batia在住のEddiが配達をしてくれた。)
他者の場合>選定理由	?
建築資材の決定理由	質

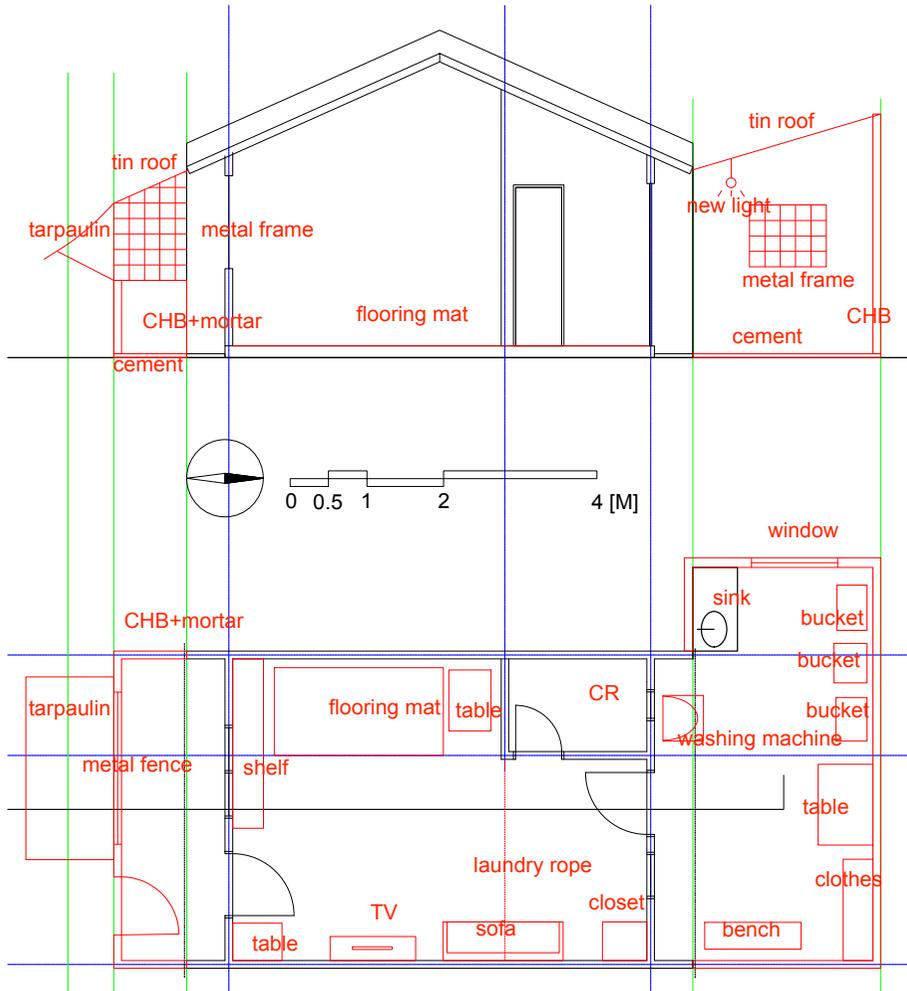
増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	親戚
増改築生産者は毎回同一人物か	-

Date: 2016.10.16
Interviewer: 國江
Interviewee: 住戸4 6



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	CHB	6,000peso	防犯 (サリサリストア経営時に強盗被害の経験あり)
	eave/overhang		トタン テント布		
	window		鉄格子		
	door		鉄格子		
	floor		モルタル		
back extension part	wall/fence	2	CHB	?	
	eave/overhang		トタン		
	window		鉄格子		
	door		鉄格子		
	floor		セメント		
	kitchen		セメント		
	light		電球		
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	3	タイル	2,500peso	元々の仕上げが荒く、汚かった子供の安全のため
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	8人
構成(年齢・学歴)	父(30 高卒)/母(28 小卒)/長女(11)/次女(9)/三女(7)/四女(3)→1-3 女在学中

従前居住地

従前コミュニティ	Moriones,Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	父の父(大工)が施工
当時住戸利用資材	ココランバー使用

経済状況

勤労者・職業(職場)	父:トラックドライバー(メトロマニラ交通費 100/day)/母:パスタ販売(自宅)
収入額	父 0-4000/week+母 100-150/day =3,000-20,500/month
融資の有無	娘入院費(8000pesoを140peso/dayで返済中)

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	夫の母親 B31
St.M内知人数と知り合った時期	so many(お客さん)
St.M内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前10
St.M内の知人友人と会う場所	色々な場所
現在属しているコミュニティグループ	B31 community
従前居住地知人とのつながり	交友継続
St.M内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/23
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200peso支払わなければならないが、未納。
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2015 初め
コスト	31,000(only for materials)
許可の有無	なし
増改築順序	前>後>中
今後の増改築計画	背面増築部の壁にモルタル仕上げ予定

設計

設計者	住民
住民自身の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	夫の父(大工)
住民の場合>誰に教わったか	-
他者の場合>選定理由	親戚だから

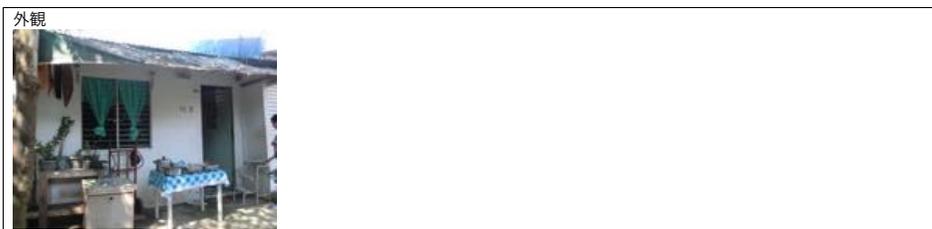
建築資材

資材調達者	住民/
住民の場合>調達方法	St.M外の店舗購入(フリーデリバリー)
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	コストと質

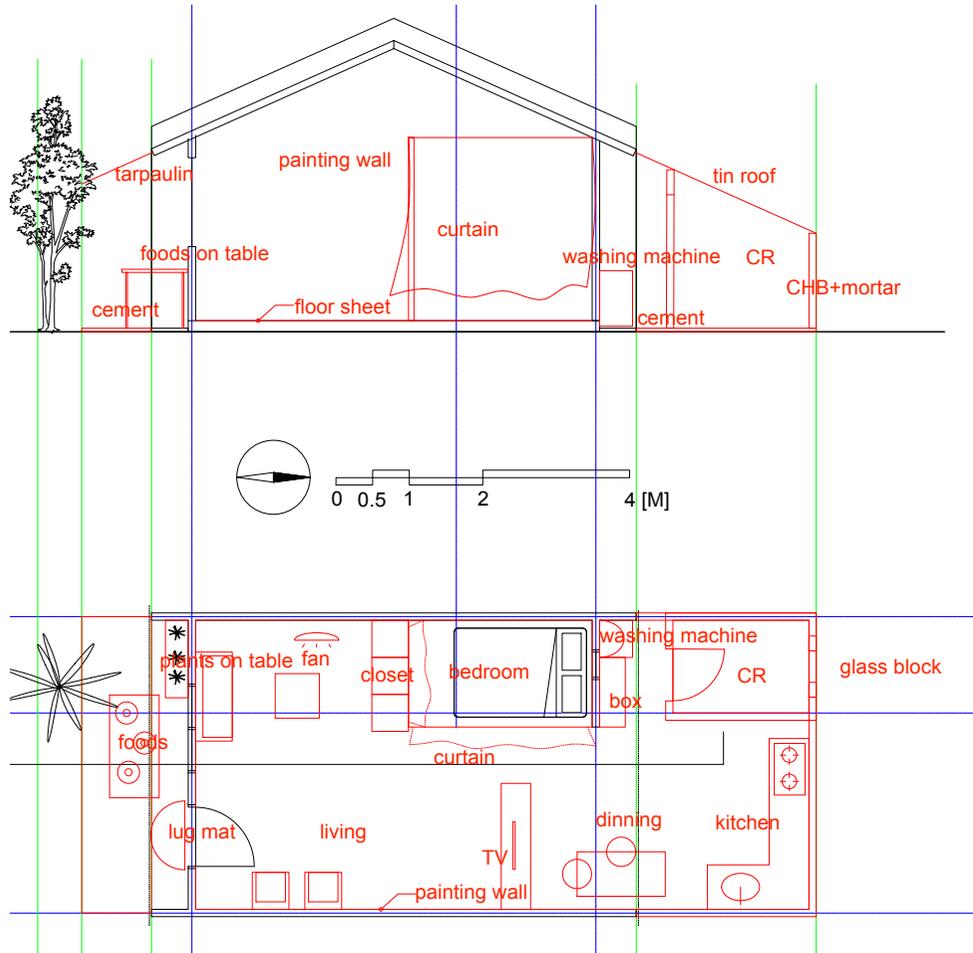
増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	親戚
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.18
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸47



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	4		-	-
	eave/overhang		ビニール	400peso	雨除け
	window		-		-
	door		-		-
	floor		セメント		地面を綺麗にするため
	lighting		電球		
	plant		植物	隣人からの譲渡	母の趣味
back extension part	wall/fence	3	CHB	30,000peso (施工費込み)	雨除け
	eave/overhang		トタン屋根		-
	window		-		-
	door		-		-
	floor		セメント		地面を綺麗にするため
	CR,kitchen		セメント		スペース拡大のため
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	1	ペンキ仕上げ	0 (父の職場の上 司から譲渡され た)	仕上げが荒かったため
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	2	ビニール	3,000peso	仕上げが荒かったため
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	2人
構成(年齢・学歴)	父(50 小卒)/母(46 高卒)

従前居住地

従前コミュニティ	Feaview, Quezon
当時住戸所有形態	家政婦として間借り
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父：個人家族ドライバー(メトロマニラ交通費 600/day 週 2 回帰宅)/母：料理販売(自宅)
収入額	父 400/day+母 100/day=15,000/month
融資の有無	母のビジネスローンを ASA foundation(micro finance)にて

現在のコミュニティ状況

StM 内親戚	◎隣に住んでいる
StM 内知人数と知り合った時期	前後 70
StM 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前 10
StM 内の知人友人と会う場所	友人宅 or 道端 (大きな木があり木陰が気持ちよい)
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	○現在も近所に住んでいる
StM 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/7
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 支払い中
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	
コスト	33,600(labor cost=200/day)
許可の有無	
増改築順序	中(壁塗装>床シート貼り)(週末のみ 3 週間)>後(2 週間)>前(1 日)
今後の増改築計画	寝室に間仕切りが欲しい

設計

設計者	父母(
住民の場合>誰に教わったか	自己流)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	近所の友人プロ大工 Boya
住民の場合>誰に教わったか	-
他者の場合>選定理由	友人だから

建築資材

資材調達者	父母、職場ボス譲渡
住民の場合>調達方法	//バティア店舗(Mil and Merry)購入フリーデリバリー
他者の場合>選定理由	譲渡
建築資材の決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○施工者交友継続。
増改築生産者は毎回同一人物か	次回も依頼したい。

Date: 2016.10.15 (第1回: 08.06)
Interviewer: 竹村 (第1回: 小司)
Interviewee: 住戸48

外観



内観



CR・キッチン



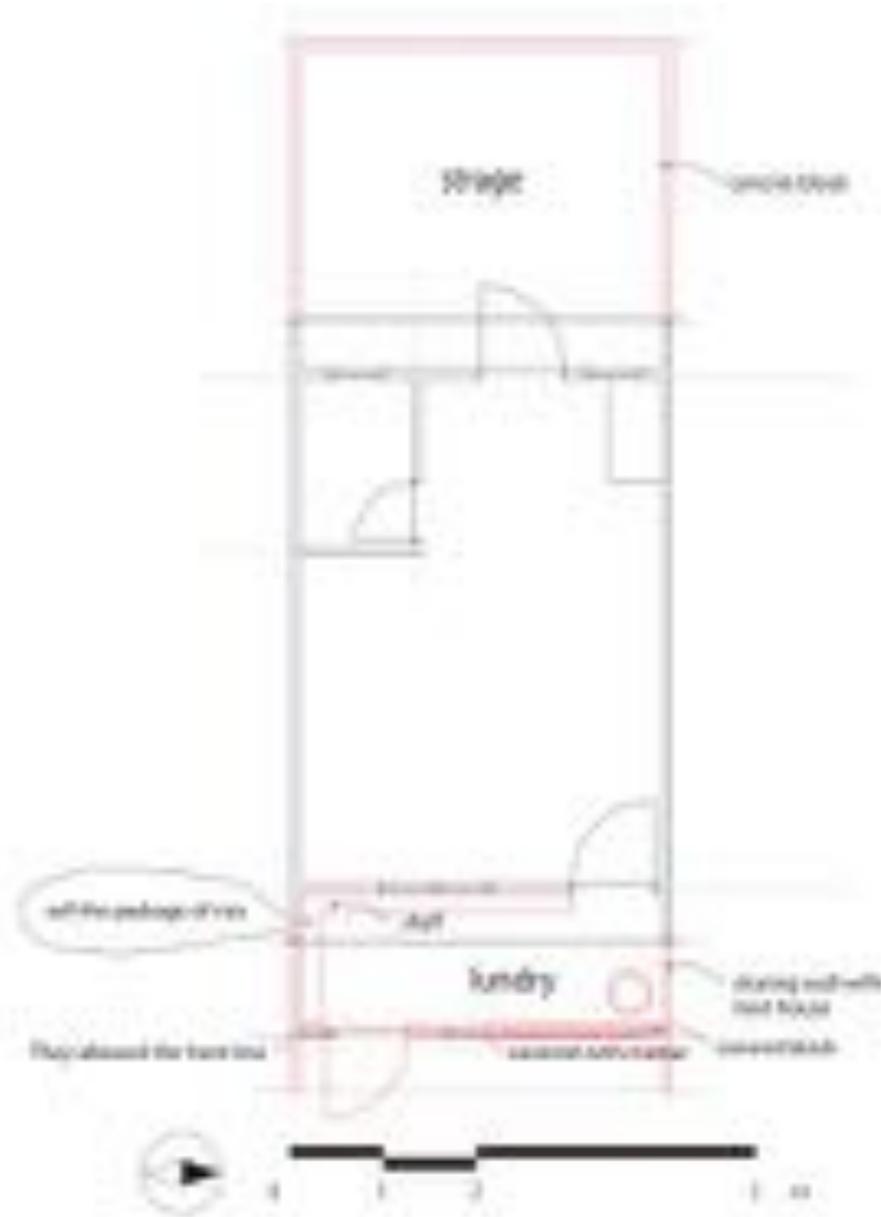
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	?	CHB 外部のみモルタルペンキ仕上げ装飾つき	?	サリサリストア運営／防犯
	eave/overhang	?	トタンペンキ塗装	?	サリサリストア運営／防犯
	window	?	金属格子窓1	?	サリサリストア運営／防犯
	door	?	金属格子戸1	?	サリサリストア運営／防犯
	floor	?	セメント	?	サリサリストア運営／防犯
back extension part	wall/fence	?	CHB	?	倉庫
	eave/overhang	?	トタン	?	倉庫
	window	?	なし	?	倉庫
	door	?	なし	?	倉庫
	floor	?	セメント	?	倉庫
renovation part	partition	-	-	-	
	exist wall	?	ペンキ	0	彼らの前に住んでいた受益者が既に塗装していた。
	ceiling	-	-	-	
	roof	-	-	-	
	window	-	-	-	
	floor	-	-	-	
	CR	-	-	-	
	kitchen	?	タイル	?	清掃を簡易化するため

【全体増改築理由】
部屋を広くする／防犯

住民ヒアリング内容

【前提】
8月には母親にインタビューを行ったが、出かけていたため娘とその夫と息子（8月インタビュアーの孫）に話を聞いた。彼らは3-4ヶ月前に孫の良い教育のために越してきた。

住民概要

住人数	5
家族構成(年齢・学歴)	父(59)/母(41)/孫息子(6)>8月時点 おそらく孫息子の両親が St.M に移住してきたのだろう。

従前居住地

従前居住地	Leyte province, Santa Fe, 海辺の barangay
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	地元大工
当時住戸利用資材	St.M と似たような住戸

経済状況

勤労者 (職業・職場)	父:農家(Cagayan Deoro)(+Leyte 在住の娘から仕送り)
収入額	父:15,000/week(+α仕送り)
融資状況	なし

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	△父の親戚がセントマーサ内に住んでいるがマニラに働きに出ており滅多に会わない
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	後 5-7 (近所)
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後 5-7 (近所)
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	家の前の外
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	△SMS のみ(遠い) 父方の母と携帯でメッセージのやり取りをしているが、現在も Santa Fe に住む彼らと会うのは距離的に遠いことが懸念事項となり難しい。
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013.11
所有権	転売(80,000peso で購入)
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中
St.M 永住希望	×孫の教育過程修了後 Leyte 移住希望

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	40,000
許可の有無	NHA の許可あり NHA の増築許可は得ているが、最終チェックは受けていない。なぜなら NHA がセントマーサに来る日はランダムだから。守らなければならないのは公共道路にはみだして増築してはならない、ということだけらしい。
順序・期間	母が設計したためわからない。
今後の計画	あり

設計

設計者	母
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	父の父(大工)
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	親戚かつプロだから

建築資材

資材調達者	父母
資材調達方法	Corpus hardware 購入 (父が買うものリストを作り、母が購入)
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	親戚 施工者（父方の父）は普段 Pangasinang で大工として働いているが、仕事のないときはセントマーサのこの家で共に暮らして居るらしい。
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ（増改築継続中）

【補足】

- 「この家は快適か」と尋ねたところ、「とても暑くて2つファンを入れたけど涼しくなんてならない」と不満そうだった。
- 彼女たちは元々のオーナーではないようだ。元のオーナーはローンを支払えなくなり、80,000 ペソで彼らに家を売った。塗装だけは元のオーナーによるものだが、それ以外の増改築は現在のオーナーによるもの。
- 恐らく同じ通りの住戸は皆元々のオーナーではないだろうと話していた。お米を販売しているようだったが、違法なのであまり大々的には売れない、と話していた。理由は聞けなかった。

Date: 2016.10.18
Interviewer: 小司
Interviewee: 住戸49

外観



内観



CR・キッチン



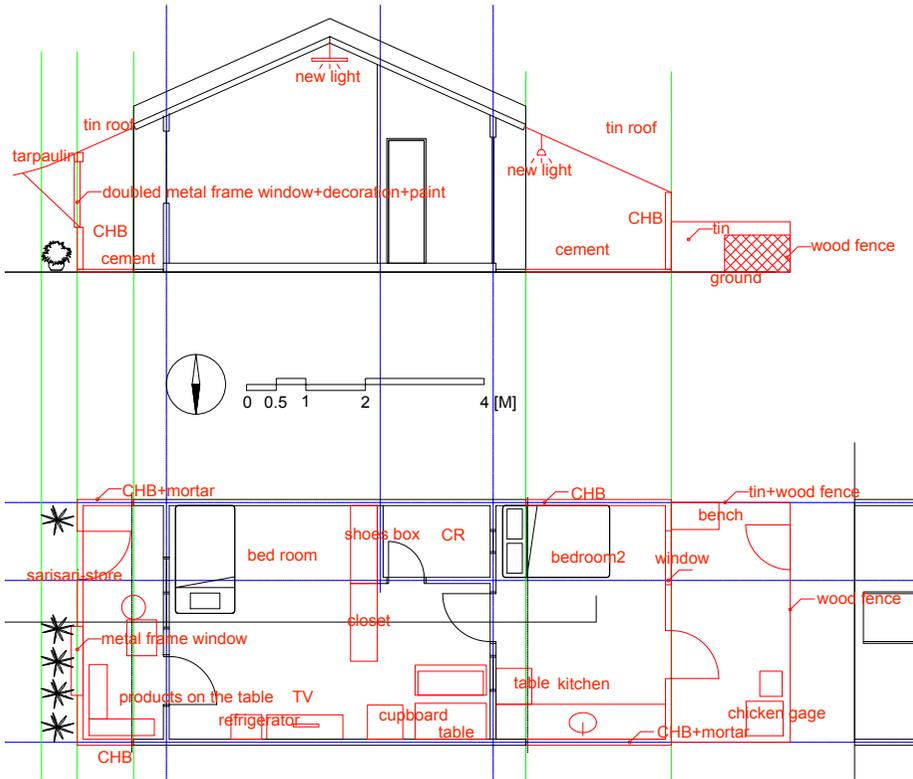
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	CHB	17,500peso	サリサリストアを運営するため
	eave/overhang		トタン		
	window		鉄格子		
	door		鉄格子		
	floor		セメント		
	light		電球		
	plant		植物		
back extension part	wall/fence	3	CHB	17,500pesos	寝室 プライベート スペースの拡張
	eave/overhang		トタン		
	window		-		
	door		-		
	floor		セメント		
	lighting		電球		
	kitchen		セメント		
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	1	ビニールシート	1,000	掃除のため
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	8
構成 (年齢・学歴)	父(49 小卒)/母(46 小卒)/長女(19 高卒)/次女(17 高卒)/長男(16 高校生)/次男(14 小学生)/三男(11 障害児)/三女(7)

従前居住地

従前コミュニティ	Mabuhai, Tondo
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業(職場)	母：店舗経営 (自宅) /父：果物運送(メトロマニラ毎週土曜帰宅) 父の通勤と子供達の通学の合計交通費：100/day
取入額	父 400/day+母 200/day =18,000/month
融資の有無	店舗、電気水道代

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎父の従兄弟が B31 に住んでいて、毎日顔をあわせる。
St.M 内知人数と知り合った時期	前後 20
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前 10
St.M 内の知人友人と会う場所	店先
現在属しているコミュニティグループ	4P's Genny says, 4P's = Pantawid Family ang Piliino Program (Bridging Filipino Family Program) their target is indigent family (poverty level family). Beneficially ordinary can receive 1,200 pesos/month per 1 child. But it depends on the distance from Metro-Manila. They have monthly meeting. If they don't attend the meeting, they can't receive money. This program just started 2 years ago by government. 1,000 pesos and only 1kg food pack/person they were given from NHA when they came to St.M.
従前居住地知人とのつながり	現在も近所に住んでいる
St.M 内交友関係満足度	○ (だが、もっと友人ほしい)

再定住事業

移転時期	2013/5/3
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納
永住希望	×母の生まれ故郷へ帰省希望

増改築基本情報

開始時期	2014/01/
コスト	46,000(labor cost=500/day×10days=5,000pesos)
許可の有無	
増改築順序	中>前(5 日)>後(5 日)
今後の計画	既存住戸の前面窓をガラスの引き戸に変え、床にタイルを敷き、壁に塗装を施して、見栄えを良くしたい。

設計

設計者	母
住民の場合 > 誰に教わったか	(近所の友人から教わった)
他者の場合 > 選定理由	-

施工

施工者	母・息子 (床のシート貼りのみ)、近所の友人(プロの施工者経験あり)
住民の場合 > 誰に教わったか	?
他者の場合 > 選定理由	(仕事が早く、デザインをよく理解してくれる。)

建築資材

資材調達者	母、近所友人譲渡(植物のみ)
住民の場合 > 調達方法	//パティア店舗購入
他者の場合 > 選定理由	譲渡
建築資材の決定理由	?

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○施工者とは近所の友人として交友継続。
増改築生産者は毎回同一人物か	次回も依頼したい。

Date: 2016.10.15 (1回目: 08.06)
Interviewer: 竹村 (1回目: 小司)
Interviewee: 住戸50 父母

写真

外観: 8月撮影



内観: 10月撮影



寝室



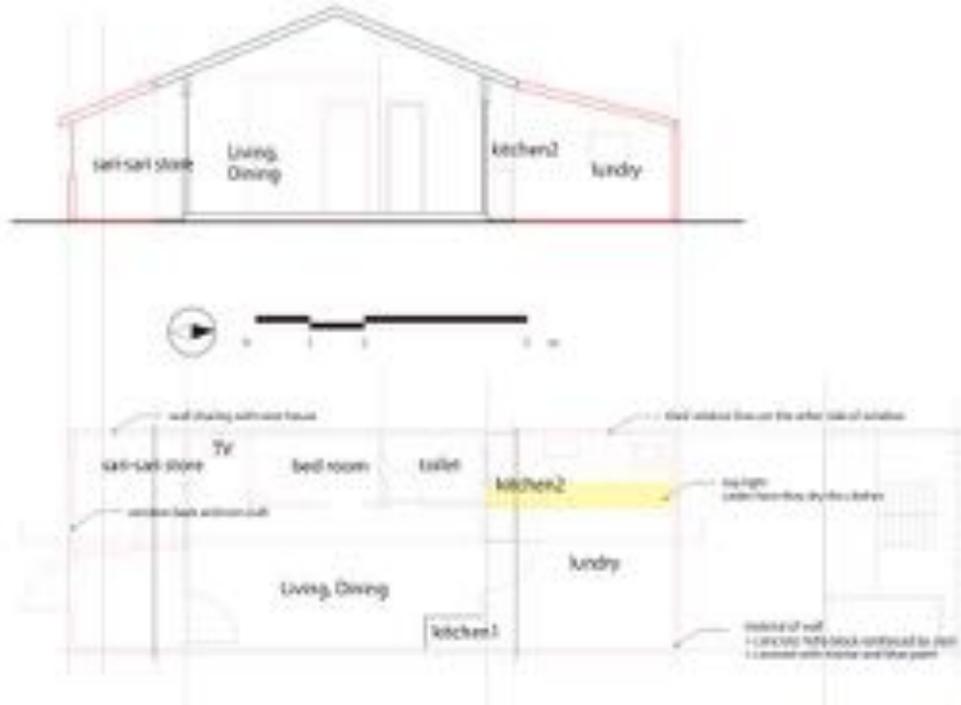
前面増築部: 8月撮影



背面増築部: 10月撮影



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	CHB モルタルペンキ仕上げ	?	防犯
	eave/overhang	1	トタン	?	防犯
	window	1	金属格子窓ペンキ塗装金属戸つき	?	防犯
	door	1	木板戸ペンキ塗装	?	防犯
	floor	1	セメント	?	防犯
【前面部増改築資金】 インディアン貸付人がタオルを利子付き分割払いで購入しないかと話をもちかけ、その返済が終わればサリサリストアを経営するためのお金を貸すと約束し、実際にそのお金で前面部を増築した。					
back extension part	wall/fence	2	CHB モルタルペンキ仕上げ	?	キッチン・ランドリー・息子の寝室
	eave/overhang	2	トタン	?	キッチン・ランドリー・息子の寝室
	window	2	-		キッチン・ランドリー・息子の寝室
	door	2	-		キッチン・ランドリー・息子の寝室
	floor	2	セメント(ランドリースペースが一段下がる)	?	キッチン・ランドリー・息子の寝室
	kitchen	2	机にガスコンロ	?	キッチン・ランドリー・息子の寝室
renovation part	partition	3	ベニヤペンキ塗装	?	娘の寝室のプライバシーを守るため
	exist wall	3	ペンキ	?	?
	ceiling	3	-	-	-
	roof	3	-	-	-
	window	3	-	-	-
	floor	3	タイル	?	既存の床が粗かったため。元々はセメント仕上げの予定だったが、安価にタイルを提供してくれる人がいたためタイルに変更した。
	CR	3	-	-	-
	kitchen	3	タイル貼り	?	?

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5
家族構成(年齢・学歴)	母 Michel (39小卒)、父 Batayola (38高卒)、子供2人 (15・14NorthVile 在学)、父方の祖母 (75)

従前居住地

従前居住地	父:Cavite province/母:Tondo(の前は Leyte)
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	彼ら以外
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者 (職業・職場)	父：大工(時々)/母：サリサリストア(自宅)
収入額	不安定
融資状況	サリサリストア開業金のローンは返済済み

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	△5-22に親戚いるが月に一度しか会わない 彼らは“Elia Divisoria”という店でモバイル機器を売っているためセントマーサにはあまりいない
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	後150 お店のお客さんが多い。後払いのため名前と住所を聞く。
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後50(うち10友人) ご近所さんが友人ではない人も含む
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	家の内外
現在所属するコミュニティグループ	HOA(ブロックリーダー-mtg) 母が2014年からあるコミュニティグループに属している。(名称は思い出せないようだった)フェーズ1aの中で1ブロックにつき1人のリーダーがあり、リーダーのみのミーティングが開催されているようだ。(おそらくHOAのこと)
従前居住地での知人との現状交友関係	x
St.M 移住後の交友関係満足度	△もっと親しくなりたい。 以前住んでいた場所はレンタルだったため親しい友人は一人もいなかったが、St.M では所有権を得て永く住むため深い友人が欲しい。

再定住事業

移転時期	2013/05/24
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中
St.M 永住希望	xお金があれば移転希望

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	後 17,000+前 10,000+中 20,000=47,000 室内改修にはキャビネットやキッチン・棚づくりを含む
許可の有無	なし
順序・期間	前(日曜少しづつ 4日)>後(日曜少しづつ 10日)>中(日曜少しづつ 5ヶ月)
今後の計画	なし →子供の教育費にお金を回したい

設計

設計者	住民
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	父
施工技術の取得方法	自己流
施工者の選定理由	-

建築資材

資材調達者	父母
資材調達方法	Corpus hardware 購入+配達
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.16 (1回目: 08.08)
Interviewer: 竹村 (1回目: 小司)
Interviewee: 住戸51 母

外観: 8月撮影(左)、10月撮影(右)



内観: 10月撮影



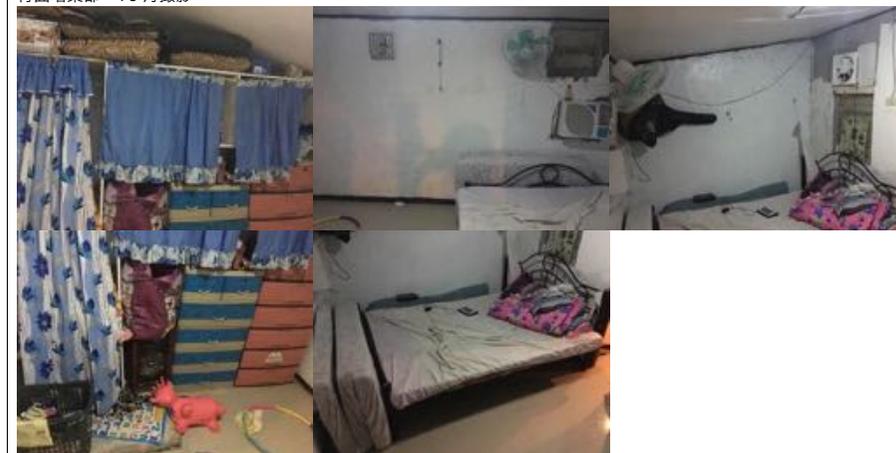
キッチン・CR



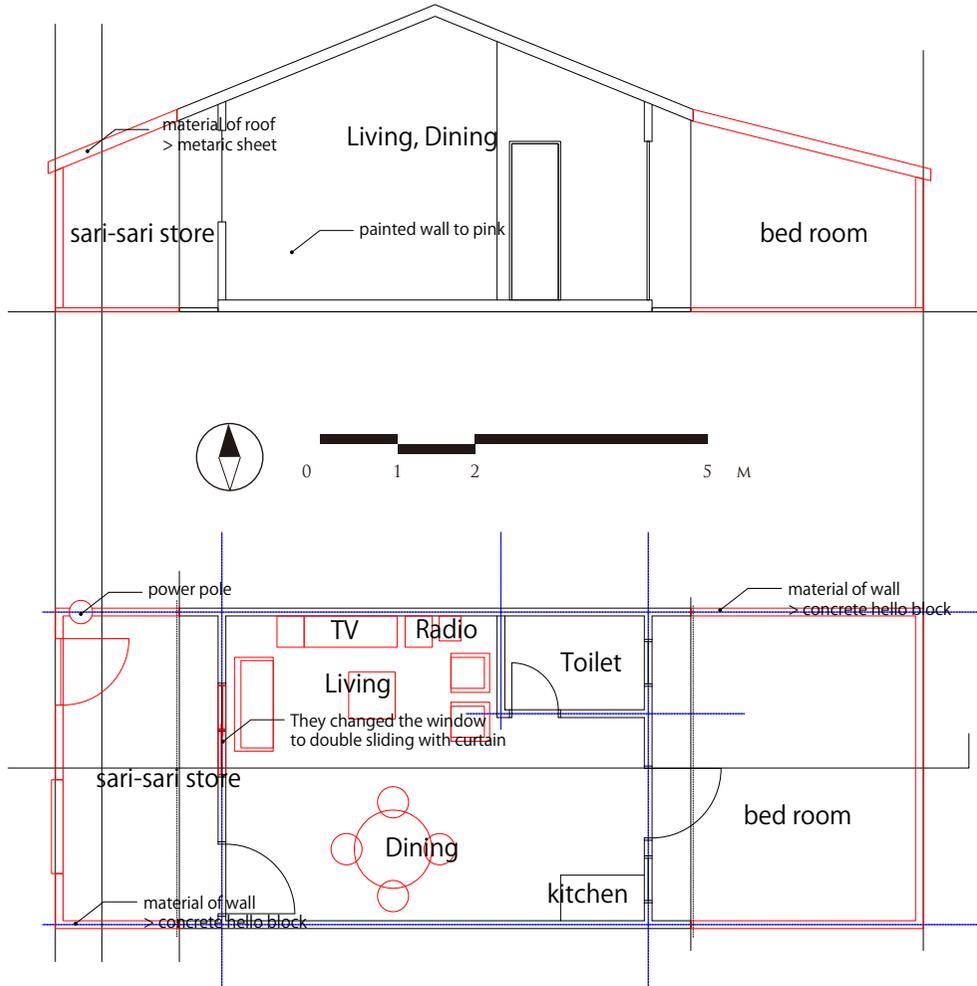
前面増築部: 10月撮影



背面増築部: 10月撮影



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	CHB	下記参照	店舗経営のため
	eave/overhang	1	トタン・防水シート	下記参照	店舗経営のため
	window	1	金属格子窓	下記参照	店舗経営のため
	door	1	金属格子戸	下記参照	店舗経営のため
	floor	1	セメント	下記参照	店舗経営のため
back extension part	wall/fence	1	CHB モルタルペンキ仕上げ	下記参照	寝室のため
	eave/overhang	1	トタン屋根ベニヤ天井ペンキ塗装照明一体	下記参照	寝室のため
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor	1	セメント・タイル	下記参照	寝室のため
Inside original housing unit	partition	-	-	-	-
	exist wall	2	ペンキ	下記参照	妻がピンク色を好むため
	ceiling	2	ベニヤペンキ塗装照明一体	下記参照	屋根からの熱を防ぐため
	beam	2	ベニヤペンキ塗装照明一体	下記参照	より良いデザイン・装飾のため
	roof	-	-	-	-
	front window	2	ガラス引き違い窓に変更	3,800peso	主室に扇風機があるため、隙間をなくし部屋を涼しくする。
	back window	2	窓被覆(キッチン・CR 上両方)	下記参照	背面増築部(寝室)に空調機があるため、断熱し、涼しくする。
	floor	2	タイル	下記参照	
	CR	2	床タイル	下記参照	
	kitchen	2	シンクタイル	下記参照	

【コスト】 合計 50,000peso (施工費 10,000+資材費 40,000)

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5
家族構成(年齢・学歴)	母(31)、父(41)、長女(5幼稚園)、次女(3)、母の弟=叔父(23)

従前居住地

従前居住地	Tondo
当時住戸所有形態	借家 当時も現在のように政府から提供された住戸に住んでいて、洪水のためセントマーサへ移転した。
当時住戸建設者	政府機関
当時住戸利用資材	St.Mのような住戸

経済状況

勤労者 (職業・職場)	父: general purpose worker/母: サリサリストア(自宅) コンテナ運送などを手伝う人 →何でも屋? 正規雇用ではない気がする
収入額	15,000/month
融資状況	増改築費を銀行から借りて返済中(5年)+友人から生活費を借りている

現在のコミュニティ状況

St.M内在住の親戚	- 母方の親戚は province (メトロマニラ外)に住んでいて、3ヶ月に1回しか会わない。
St.M内在住の知人数・知り合った時期	後10
St.M内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後10(近隣住民)
St.M内在住の知人・友人と会う場所	外たまに住戸内
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	×
St.M移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2014
所有権	転売(50,000peso) 彼らは元々のオーナーではなく、元々のオーナーがトンド時代の知人で50,000pesoでこの家を購入した
所有権を得る条件・現在の取り組み	200支払い中
St.M永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	? 前面、後面増築合わせて8ヶ月
コスト	50,000(labor+material) 施工費: 10,000pesos(前面、後面、室内改修あわせて) 資材費: 40,000pesos(うち引き違い戸は3,800pesos)
許可の有無	なし
順序・期間	前後>中
今後の計画	なし。お金がなし。

設計

設計者	父
設計技術の取得方法	施工者大工 この家の増改築施工を担当した大工からアドバイスをもらって
設計者の選定理由	-

施工

施工者	親戚大工 親戚の旦那さんと、Caviteに住んでいる。
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	親戚紹介

建築資材

資材調達者	母
資材調達方法	店舗購入(複数店舗利用) 近くの資材店で購入(店名は忘れてしまったらしい)。元の住戸のジャルジー窓を引き違い戸に変えていたが、これは違う資材店で購入したらしい。
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	コスト

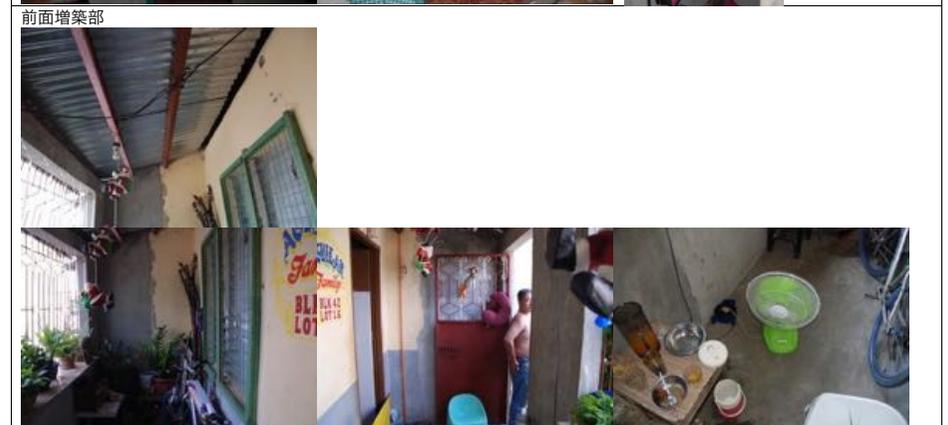
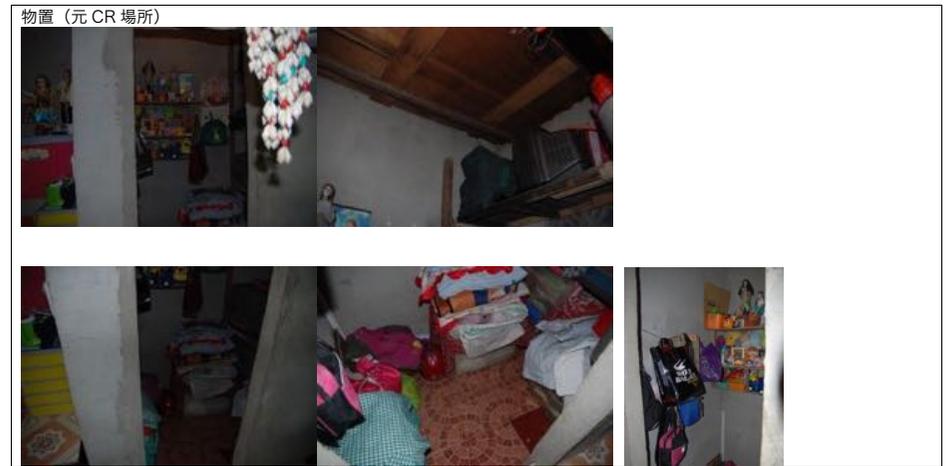
増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	△必要な時のみ 増改築時に担当してくれた大工さんとは、現在も必要なときには会うらしい。
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.18
Interviewer: 國江
Interviewee: 住戸5 2



背面増築部から基本住戸内観をみる





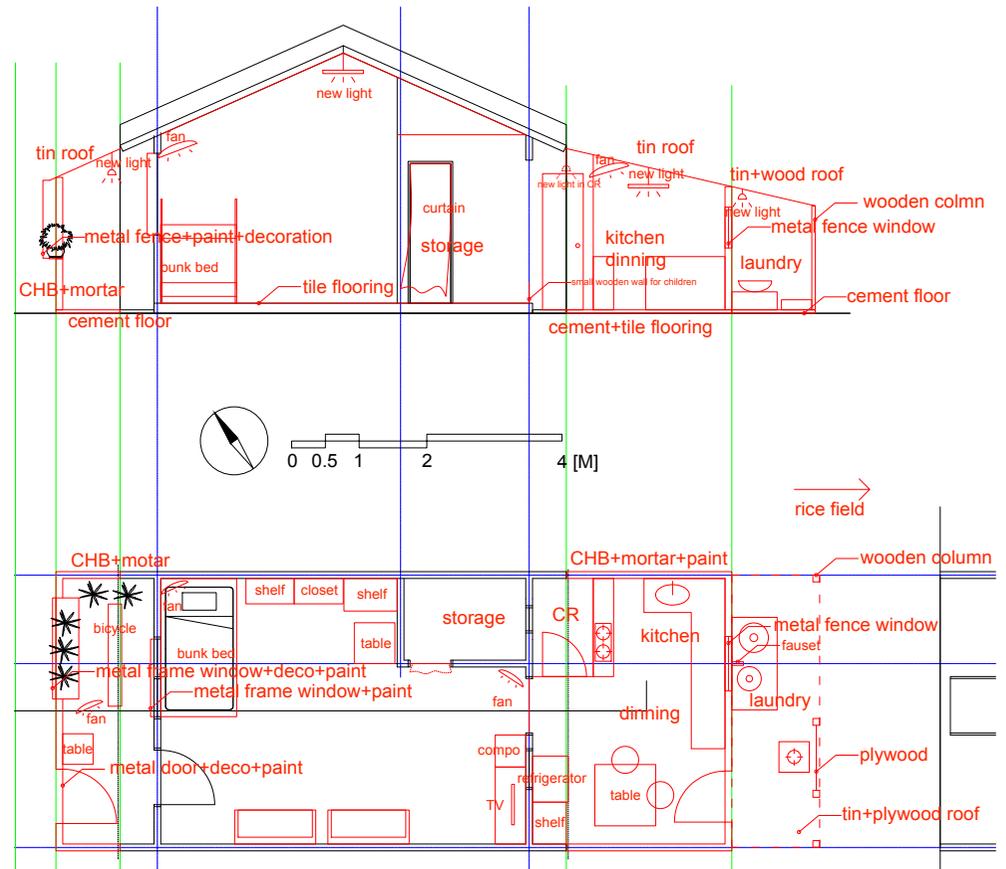
CR



ランドリー



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3	CHB モルタル	20,000peso	防犯と通風のため
	eave/overhang		トタン屋根 電球		
	window/door		鉄格子 ベンキ仕上げ 装飾		
	floor		セメント		
	plant		植物		
back extension part 1	wall/fence	1	CHB モルタル ベンキ仕上げ	50,000peso	満足な部屋ではなかったから
	eave/overhang		トタン屋根 電球		
	window/door		鉄格子ドア 鉄格子窓		
	floor		セメント タイル		
	Kitchen		タイル		
	CR		床タイル		
back extension part 2	wall/fence		木材の柱		
	eave/overhang		合板 電球		
	window/door		-		
	floor		セメント		
	tap		tap		
renovation part	partition	2	-	-	-
	exist wall		モルタル	?	?
	ceiling		合板	0 (トンドマニラから)	日射熱からの断熱
	roof		-	-	-
	floor		タイル	16,000peso	床が汚かったから
	Front window		鉄格子 ベンキ仕上げ	?	?
	CR ceiling		合板	0 (トンドマニラから)	物置

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	7人
構成 (年齢・学歴)	父(71 小学校中退)-母(65 6年まで)/娘(45 高卒)/長男(26 高卒)-孫息子(1 歳)/次男(24 高卒)/孫息子(3)→父親はメトロマニラ

従前居住地

従前コミュニティ	Road10,Moriones,Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	施工者雇用
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	娘：OL(メトロマニラ週末のみ帰宅交通費 175/week)
収入額	娘 400-500/day+母年金 1,200/month =13,200-16,200
融資の有無	無

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎
St.M 内知人数と知り合った時期	前後 100
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前後 15
St.M 内の知人友人と会う場所	友人宅 or 道端
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/25
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	移住1年後
コスト	86,000(for materials and labor)
許可の有無	
増改築順序	後(2日)>中(2日)>前(1週間)
増改築理由	広さ：後 セキュリティ：前 室内環境改善：前(換気)/中(屋根(防暑)/中床タイル貼り(美化))
今後の増改築計画	寝室として2階建設

設計

設計者	住人
住民の場合>誰に教わったか	(自己流)
他者の場合>選定理由	—

施工

施工者	近所の友人大工 (Roger)
住民の場合>誰に教わったか	—
他者の場合>選定理由	友人だから

建築資材

資材調達者	父
住民の場合>調達方法	店舗購入(1.Nikamil 2.Corpus 3.PNP)1~3の順に店舗を回り、良いものがあれば購入。
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	コスト・質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○ 現在も友人
増改築生産者は毎回同一人物か	だが、忙しいため次回は違う大工に依頼する。

Date: 2016.10.16 (1回目: 08.08)

Interviewer: 竹村 (1回目: 保坂)

Interviewee: 住戸53 母

写真: 10月撮影

外観



内観



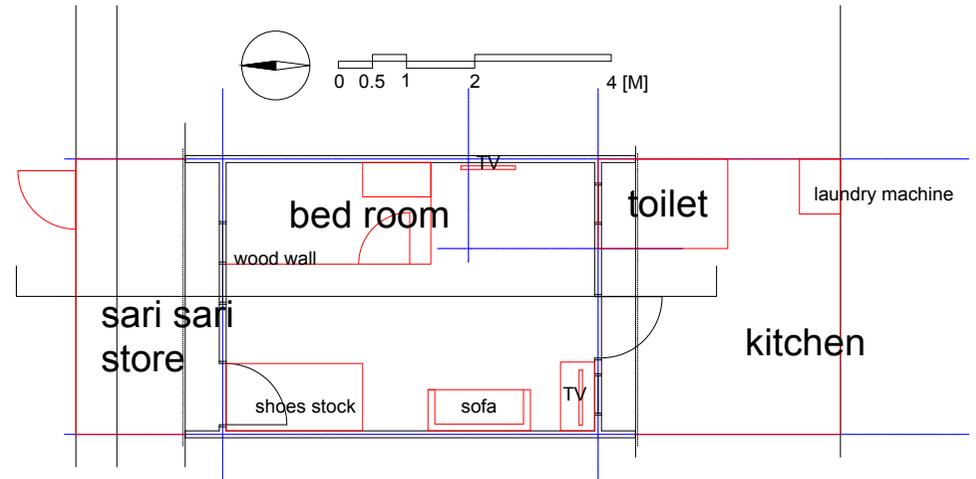
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason	
front extension part	wall/fence	3	CHB モルタルペンキ仕上げ	38,000peso (資材費： 30,000peso、施 工費： 8,000peso)	元々は防犯と安全性のために室内化したが、現在はサリサリストアとして利用している。	
	eave/overhang	3	トタン・雨樋ペンキ塗装			
	window	3	金属格子窓ペンキ塗装装飾つき+防水シート1			
	door	3	金属格子戸ペンキ塗装装飾つき			
	floor	3	セメント+ビニールシート			
back extension part	wall/fence	2	CHB モルタルペンキ仕上げ	20,000 peso (資材費： 15,000peso、施 工費：5,000peso)	キッチン・CR・ランドリーのため	
	eave/overhang	2	トタン・ポリカーボネート			
	window	2	金属格子窓ペンキ塗装装飾つき			キッチン・CR・ランドリーのため/防犯
	door	-	-			キッチン・CR・ランドリーのため
	floor	2	セメント+ビニールシート			キッチン・CR・ランドリーのため
	kitchen	2	タイル			キッチン・CR・ランドリーのため
CR	2	床タイル	キッチン・CR・ランドリーのため			
renovation part	partition	1	ベニヤ・カーテン	26,000peso (資材費： 22,000peso、施 工費： 4,000peso)	前寝室(親用)と後寝室(子供用)をリビングと分離するため。プライバシー	
	exist wall	1	ペンキ		部屋を明るくするため	
	ceiling	1	ベニヤペンキ塗装・照明一体		屋根からの熱を防ぐため	
	roof	1	ペンキ		?	
	window	-	-		?	
	floor	1	ビニールシート		既存床が粗く、ひび割れていて、汚れていたため。	
	CR	1	背面部移動		上記参照	
	kitchen	1	背面部移動		上記参照	
【増改築全体の理由】 住戸の見栄えを良くして快適に過ごしたい。						

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	6
家族構成(年齢・学歴)	母(40)、父(45)、姉(45)ベビーシッター、長男(10)、次男(6)、甥(9)

従前居住地

従前居住地	Hunter street, Tatalon, Quezon city →セントマーサから南に約31キロ
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者(職業・職場)	父：ドライバー(MDC company) /母：工場で商品の品質管理(Bayview company) /姉：サリサリストア(自宅)
収入額	母8,000+父18,000+姉3,000=29,000/month
融資状況	天井敷設にお金を借りたが返済済み 15,000peso借りて、6,000/monthを3ヶ月返済しなければならない。(利子：1ヶ月1,000peso) 【ヒアリング当時原文】In addition to the money she rent from the company, she has borrowed money from her office mate to build the ceiling. She borrowed 15000 pesos and she payed 6000 pesos /month for 3 months. (1000peso interest per month) She already finished repayment of this loan. Since she is shy, she could not ask the company to lend her extra money.

現在のコミュニティ状況

St.M 内在住の親戚	1件 母の甥がどこかに住んでいる
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	後50
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後20 (ご近所さんであり友人でもある)
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	前面部で営む店先(家の中ではない)
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	× 時間がなくて会いに行けない
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2014/02/
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中? 2016年2月から25年間200 peso/monthのローンを支払い続けられれば所有権を得られると考えている。 ただ、お金があるならば一括払いも可能だと話していた。
St.M 永住希望	○都心部は物価が高いため永住希望

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	95,000 (all コストのみ 10 月調査より把握) 前面部→38,000peso (資材費：30,000peso、施工費：8,000peso) 背面部→20,000 peso (資材費：15,000peso、施工費：5,000peso) 天井改修→26,000peso (資材費：22,000peso、施工費：4,000peso) 施工者手配料：いくらか→11,000peso?
許可の有無	なし
順序・期間	中>後(5日)>前(2週間) 少しずつ施工
今後の計画	現在も部屋が狭いため、2階建てにして寝室をつくりたい。

設計

設計者	父
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	前：St.M 住民 (経験なし) /後:近所友人の親戚 (Mindanao 在住) /天井:母の母の友人 St.M 住民 前面部→施工経験がなく、普段トライシクルドライバーをしているフェーズ1の住民。(親戚ではない) 背面部→ご近所さんの兄弟で、現在 Mindoro 島に住む人 天井→ヒアリング対象者の母の友人で、フェーズ1の住民
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	近隣住民の紹介 (手数料あり) 施工者を探しているときに、何人かの近所の人が手伝ってくれた。(手数料目当てに)

建築資材

資材調達者	父
資材調達方法	PNP 店舗購入(フリーデリバリー) 店名は忘れてしまったようだが、PNP (Philippines National Police) の住宅で運営されているお店。 トライシクルでそこまで行ったようだが、資材を購入すればトライシクル代は無料になるらしい。
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	<input type="radio"/> 交友継続
増改築生産者は毎回同一人物か	各部位で異なる

Date: 2016.10.18
Interviewer: 國江
Interviewee: 住戸 5 4

外観



内観



前面増築部

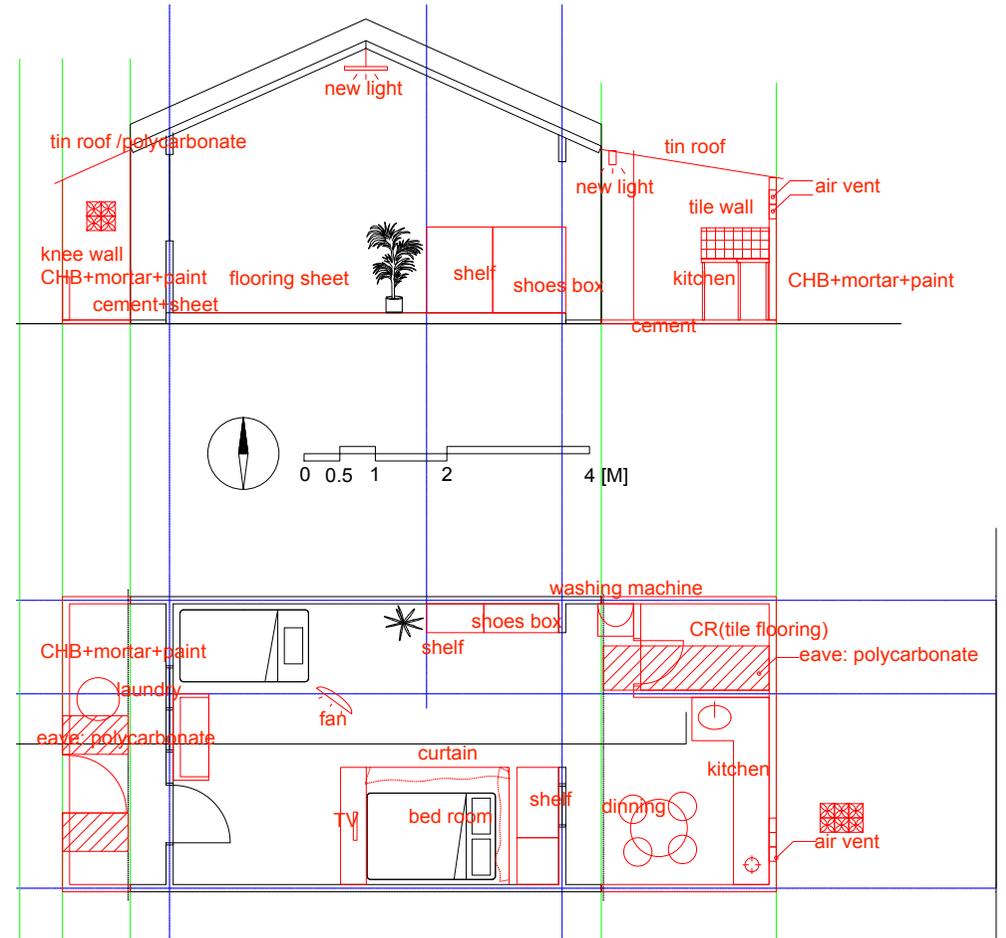


背面増築部





住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1	CHB モルタル ペンキ仕上げ	8,000peso	雨除け
	eave/overhang		トタン		
	window		なし (腰壁)		
	door		-		
	floor		セメント		
back extension part	wall/fence	2	CHB モルタル ペンキ仕上げ	30,000peso	物置
	eave/overhang		トタン ポリカーボネート		
	window		花ブロック		
	door		-		
	floor		セメント		
	kitchen		セメント		
	CR		タイル床		
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	3	ペンキ仕上げ 背面の壁が壊れている	65,000peso	見た目
	ceiling		-		-
	roof		-		-
	window	-	-	-	-
	floor	-	タイル	-	冷え防止
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5人
構成 (年齢・学歴)	父(40 高卒)/母(31 高校中退)/祖母(54 小学校中退)/息子(11 小学生)/娘(8 小学生)

従前居住地

従前コミュニティ	Road10,Mabuhai,Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	CHB と木材を利用した2階建住戸

経済状況

勤労者・職業・職場	母：yema(kind of milk)販売(自宅)(時々交通費 300/week)
収入額	6000
融資の有無	無

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	◎
St.M 内知人数と知り合った時期	前後100
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	前後20
St.M 内の知人友人と会う場所	自宅 or 道端
現在属しているコミュニティグループ	—
従前居住地知人とのつながり	
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/3
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200 未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2015
コスト	103,000(for materials and labor)
許可の有無	
増改築順序	前(3日)>後(5日)>中(1日)>仕上げ(2日)
増改築理由	広さ：後 室内環境改善：前(防雨)／中床タイル貼り(防寒) 見栄え：中既存壁塗装
今後の増改築計画	子供部屋として2階建設

設計

設計者	父
住民の場合>誰に教わったか	(同僚から学んだ)
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父、近所の友人天工2人、甥
住民の場合>誰に教わったか	(同僚から学んだ)
他者の場合>選定理由	友人・親戚

建築資材

資材調達者	住民
住民の場合>調達方法	/パティオ店舗購入
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○ 親戚・友人関係継続
増改築生産者は毎回同一人物か	

Date: 2016.10.15 (1回目: 08.06)
Interviewer: 國江(1回目: 保坂・川崎)
Interviewee: 住戸55 母

8月撮影 (現在も改装中のため恥ずかしいとって10月は写真撮影不可、8月も全体は撮影させてくれなかった。)

外観

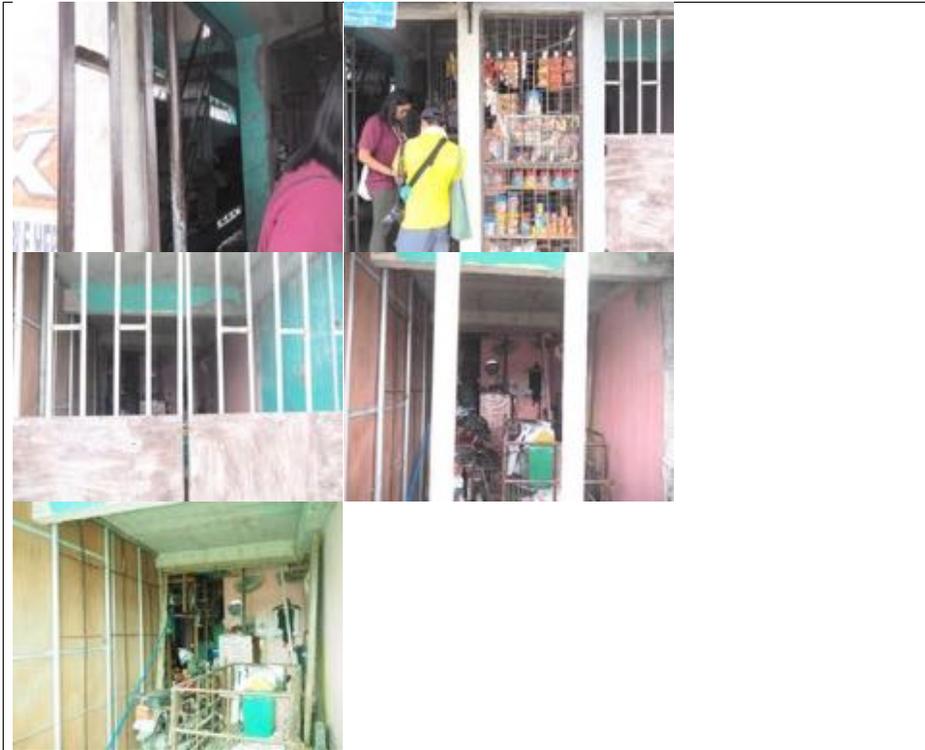


以下2枚 10月撮影



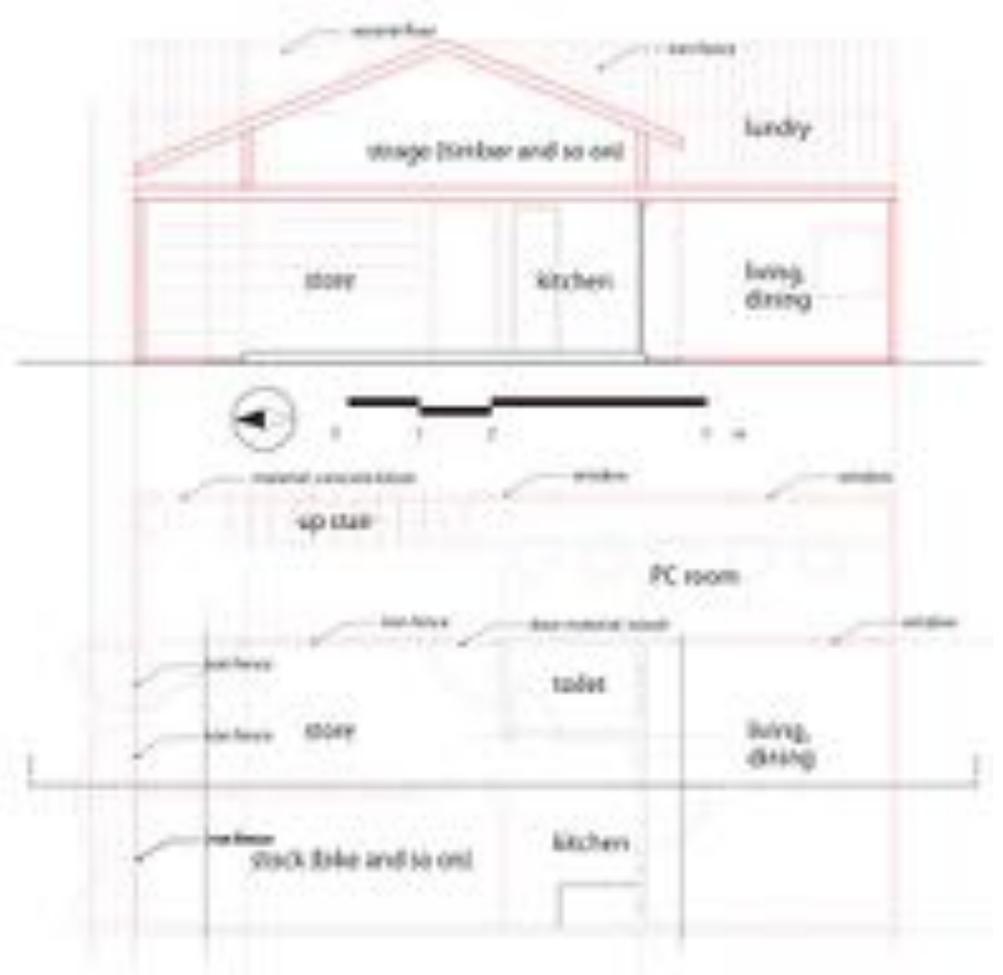
前面部・内観





背面増築部
-撮影不可

住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	3	CHB 内側のみモルタルベンキ塗装	合計 400,000peso	子供が多くなり手狭になったため。商売はスペースを広げた後に開始した。
	eave/overhang	3	トタンベンキ塗装		
	window	3	金属格子窓		
	door	3	金属格子両開き戸1・片開き2		
	floor	3	セメント		
back extension part	wall/fence	1	?		
	eave/overhang	1	?		
	window	1	?		
	door	1	?		
	floor	1	?		
renovation part	partition	?	ベニヤ		
	exist wall	?	ベンキ前壁取り壊し		
	ceiling	?	セメント		
	roof	?	トタンベンキ塗装 新設		
	window	?	金属格子窓		
	floor	?	セメント		
	CR	?	?		
	kitchen	?	?		
Side extension part	wall/fence	2	CHB 内側のみモルタルベンキ仕上げ		
	eave/overhang	2	セメント		
	window	2	通気口×6		
	door	2	住戸内との間に木板戸		
	floor	2	セメント		
2nd floor	wall/fence	2	CHB 内側のみモルタルベンキ仕上げ		

	eave/overhang	2	トタンベンキ塗装		
	window	2	金属格子窓ベンキ塗装		
	door	2	?		
	floor	2	セメント		

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	6
家族構成(年齢・学歴)	母(47)/子供(20,18,13,10)/姪(18)

従前居住地

従前居住地	Quezon
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	住民(自己流)
当時住戸利用資材	スチール・セメント・CHB

経済状況

勤労者 (職業・職場)	サリサリストア・PC ショップ(自宅)
収入額	不定
融資状況	Rending company より増改築費の融資

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	なし
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	前後たくさん(客) 自宅店舗のお客さん
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後 30
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	家の外
現在所属するコミュニティグループ	なし
従前居住地での知人との現状交友関係	B18 に住んでおり、毎日会う
St.M 移住後の交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	毎月ローン支払い(額は不明)
St.M 永住希望	×

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	400,000
許可の有無	NHA による許可あり
順序・期間	後>側・2階>前 1年以上
今後の計画	寝室をつくりたい

設計

設計者	住民
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	1階：近所大工、2階：母の兄弟(海外在住)
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	?

建築資材

資材調達者	施工者
資材調達方法	-
資材調達者選定理由	St.Maria hardware 購入 (自転車です 18分)
資材の決定要因	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	○親戚・友人
増改築生産者は毎回同一人物か	部位毎に異なる

Date: 2016.10.16 (1回目: 0806)
Interviewer: 竹村 (1回目: 川崎)
Interviewee: 住戸56 父

外観



内観



ロフト



前面増築部



側面増築部



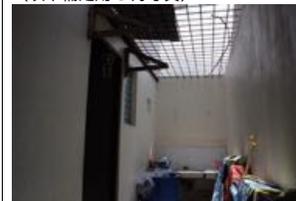
(以下補足用8月写真)



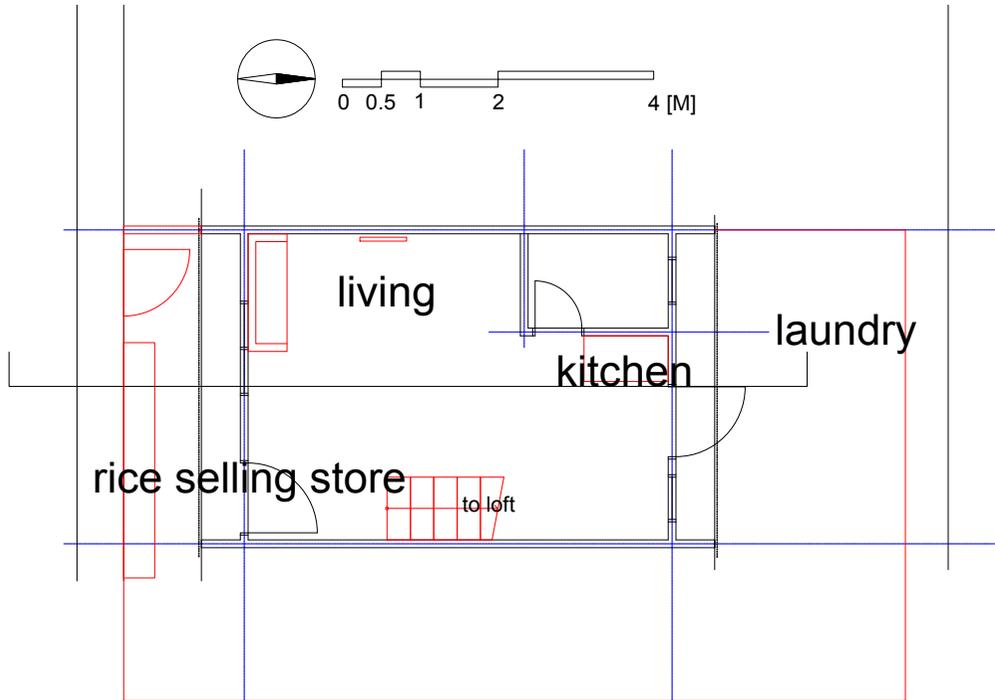
背面増築部



(以下補足用8月写真)



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	?	CHB モルタルペンキ仕上げ	下記参照	お米販売店舗のため
	eave/overhang	?	トタンペンキ塗装・雨樋ペンキ塗装	下記参照	お米販売店舗のため
	window	?	金属格子+シャッター窓3 ガラススライド窓1	下記参照	お米販売店舗のため
	door	?	木板戸1	下記参照	お米販売店舗のため
	floor	?	セメント・タイル	下記参照	お米販売店舗のため
back extension part	wall/fence	?	CHB モルタルペンキ仕上げ	下記参照	ランドリー
	eave/overhang	?	一部金属格子	下記参照	洗濯物が日光に当たり乾きやすいように
	floor	?	?	?	?
	washstand	?	セメント・タイル	下記参照	
side extension part	wall/fence	?	CHB モルタルペンキ仕上げ	下記参照	?
	eave/overhang	?	トタン屋根 ベニヤペンキ塗装天井	下記参照	?
	door	?	前後増築部とつながる	下記参照	?
	floor	?	セメント・タイル	下記参照	?
	exist wall	?	ペンキ	下記参照	?
	ceiling	?	ベニヤペンキ塗装	下記参照	?
	roof 既存屋根を取り外して新設	?	トタンペンキ塗装	下記参照	ロフトを設けるため
	window	?	ロフト部に窓2	下記参照	?
	floor	?	タイル	下記参照	?
	CR	?	タイル	下記参照	?
	kitchen	?	CR 横に移動	下記参照	?
loft	?	木材	下記参照	?	

【増改築費】全部で500,000peso (資材費+施工費)
 施工者が資材購入等をしたため、住民は細かい料金を把握していない。
 【増改築順】増改築順に関しても同様。
 【全体増改築理由】8月調査時に、全体の増改築理由は防犯のためだと回答していた。

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	6
家族構成(年齢・学歴)	父(32)、叔父(47)、祖母(60)、長男(11)、長男(5)、娘(4)

従前居住地

従前居住地	Bocau, Bulacan
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者 (職業・職場)	家族：米販売(自宅・St.M市場)
収入額	3,000/day=90,000/month
融資状況	現在はなし(増改築費を職場の上司に借りて返済済み) For the renovation, he (the father) borrowed the money from his boss

現在のコミュニティ状況

St.M内在住の親戚	-
St.M内在住の知人数・知り合った時期	後25
St.M内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	後5友人
St.M内在住の知人・友人と会う場所	外 中には入れない
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	× 昔の知人がどこに暮らしているか知らない
St.M移住後の交友関係満足度	△あまり良くはないが気にしない

再定住事業

移転時期	?
所有権	受益者(叔父)
所有権を得る条件・現在の取り組み	200支払い中
St.M永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	500,000peso(labor+material) 資材は施工者が購入
許可の有無	不明 叔父しかわからない
順序・期間	同時 5ヶ月 →終了?(現在も継続中と8月は言っていた) 内部施工完了後住み始めた
今後の計画	現在も継続中

設計

設計者	叔父
設計技術の取得方法	友人から
設計者の選定理由	-

施工

施工者	地元住民(プロ) SIMBILIO CONSTRUCTION という大規模な建設会社での経験がある地元住民
施工技術の取得方法	-
施工者の選定理由	?

建築資材

資材調達者	施工者
資材調達方法	-
資材調達者選定理由	?
資材の決定要因	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	現在も継続中(8月時点)
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.16 (第1回: 08.06)
Interviewer: 竹村 (第1回: 川崎)
Interviewee: 住戸57 母

外観



内観



CR



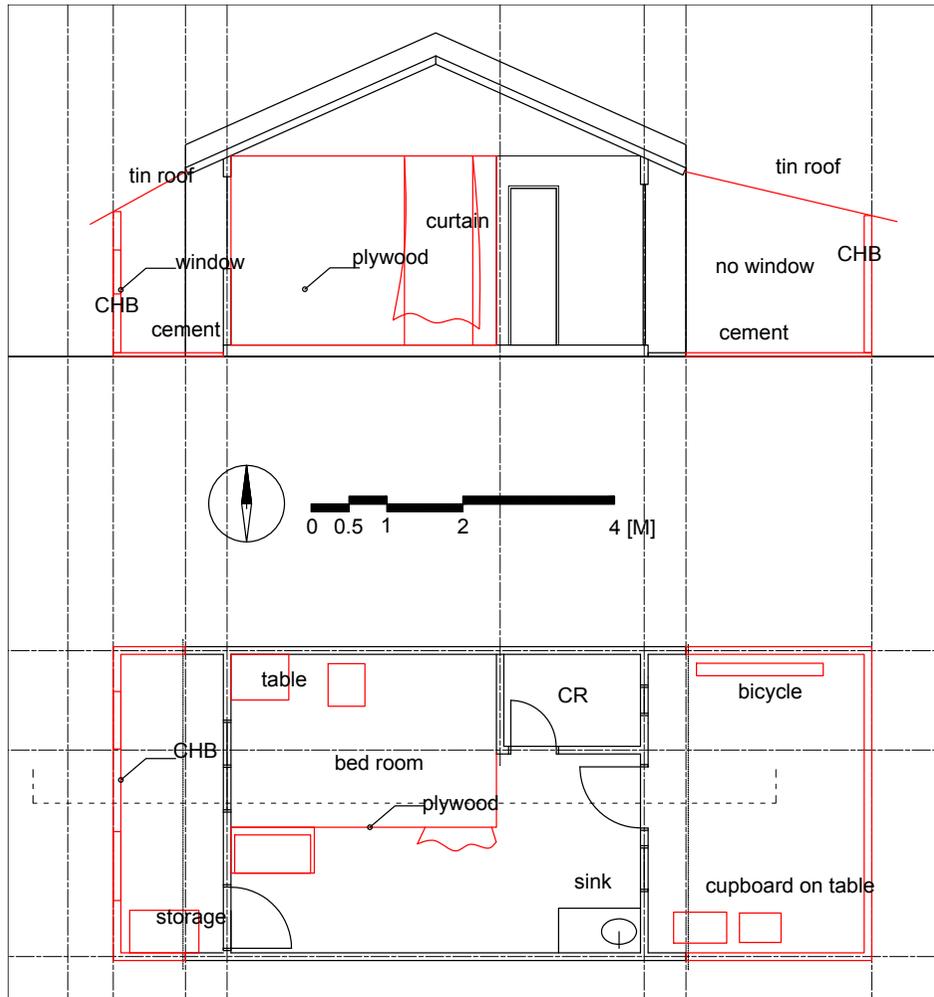
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	CHB 外部のみモルタル仕上げ	?	防犯
	eave/overhang	2	トタン	?	防犯
	window	2	開口のみ	?	防犯
	door	2	開口のみ	?	防犯
	floor	2	セメント	?	防犯
back extension part	wall/fence	1	CHB	?	防犯
	eave/overhang	1	トタン	?	防犯
	window	1	なし	?	防犯
	door	1	なし	?	防犯
	floor	1	セメント	?	防犯
	kitchen	1	テーブルにガスコンロ・食器類をのせている	?	住戸内に寝室を設けたかったため
【前後増築理由】 防犯					
renovation part	partition	3	ベニヤ・カーテン	?	?
	exist wall	3	入って右側の壁にカーテン	?	電気コンセントに子供が触れないように
	ceiling	3	-	-	-
	roof	3	-	-	-
	window	3	-	-	-
	floor	3	-	-	-
	CR	3	照明取り付け	?	?
	kitchen	1	背面部移動	?	上記参照

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	5
家族構成(年齢・学歴)	母(26)/父(40)/子供(8)/子供(5)/子供(4)

従前居住地

従前居住地	Ulingang, Tondo
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	父セルフビルド (大工)
当時住戸利用資材	スチール、セメント、砂利、木材、GIシート

経済状況

勤労者 (職業・職場)	母:ドアマット・魚行商人 (St.M内) /父:大工
収入額	不定 (季節により変化)
融資状況	なし

現在のコミュニティ状況

St. M 内在住の親戚	-
St.M 内在住の知人数・知り合った時期	So many(お客)
St.M 内在住の頻繁に会話をする友人数・知り合った時期	前 30
St.M 内在住の知人・友人と会う場所	外
現在所属するコミュニティグループ	-
従前居住地での知人との現状交友関係	×台風により破壊
St.M 移住後の交友関係満足度	△ときどき満足できない

再定住事業

移転時期	2013/05/13
所有権	受益者
所有権を得る条件・現在の取り組み	200 支払い中
St.M 永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	不明
許可の有無	NHA による許可あり
順序・期間	後(1週間)>前(4日)>中
今後の計画	ペイントとドア取り付けを完了させたい

設計

設計者	父母
設計技術の取得方法	自己流
設計者の選定理由	-

施工

施工者	父
施工技術の取得方法	大工
施工者の選定理由	-

建築資材

資材調達者	父
資材調達方法	St.Martha Hardware にて購入
資材調達者選定理由	-
資材の決定要因	コスト

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築生産者との現在の交友関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.15 (1回目: 08.06)
Interviewer: 國江 (1回目: 保坂川崎)
Interviewee: 住戸58 母 caretaker のため増改築に関してはあまり詳しく知らなかった

外観: 10月撮影写真がないため、外観のみ8月撮影写真



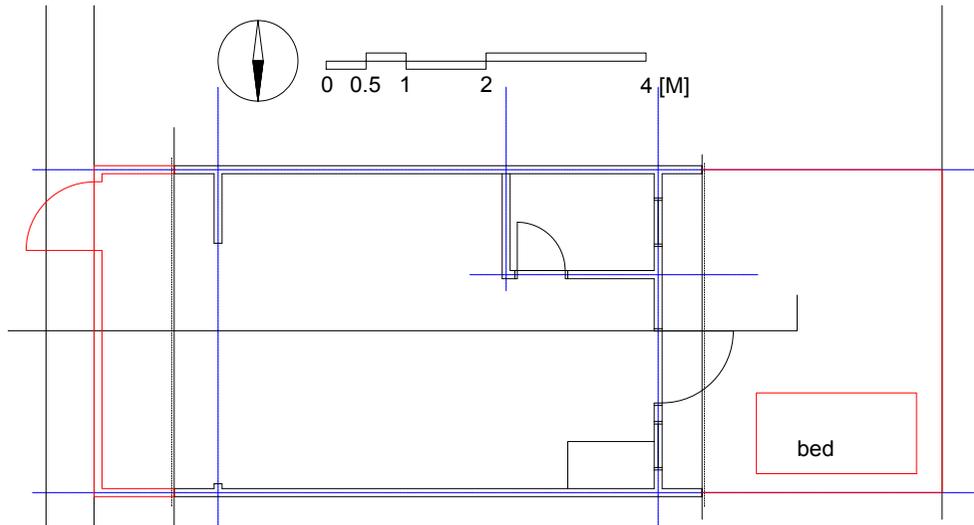
前面部・内観 (境界なし)



キッチン



住戸プラン（8月時点）



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence				
	eave/overhang				
	window/door				
	floor				
back extension part	wall/fence				
	eave/overhang				
	window/door				
	floor				
renovation part	partition I				
	exist wall				
	ceiling				
	roof				
	floor				
others					

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	4
構成(年齢・学歴)	母(23)、父(25)、息子(4)、娘(2)

従前居住地

従前コミュニティ	Bocaue
当時住戸所有形態	?
当時住戸建設者	?
当時住戸利用資材	?

経済状況

勤労者・職業・職場	母：日用品販売(自宅) / 父：トライシクルドライバー(St.M周辺) この住宅を貸してくれている警察官がこの仕事を彼らに与え、この家に住むことを許可している。
収入額	2,500/month
融資の有無	不明 caretaker はわからない

現在のコミュニティ状況

St.M内親戚	-
St.M内知人数と知り合った時期	後5(店のお客さんは除く) 息子の小学校でママ友
St.M内で頻りに会話を する友人 数と知り 合った 時期	後5 息子の小学校でママ友
St.M内の知人友人と会う場所	小学校の送り迎え
現在属している コミュニ ティグル ープ	-
従前居住地 知人とのつ ながり	週1mtg 週に一度、たくさんのメンバーが集まるミーティングがある。
St.M内交友 関係満足度	○

再定住事業

移転時期	?
所有権	転売 彼らは元々の受益者ではなく、警察官から家を借りている。この警察官もまた元の受益者ではないらしい。
所有権を得る 条件と現 行っている こと	不明
永住希望	不明

増改築基本情報

開始時期	不明
コスト	不明
許可の有無	不明
増改築順序	不明 caretaker は知らない
今後の増改築計画	警察官の仕事による

設計

設計者	不明
住民の場合 > 誰に教わったか	-
他者の場合 > 選定理由	-

施工

施工者	不明
住民の場合 > 誰に教わったか	-
他者の場合 > 選定理由	-

建築資材

資材調達者	不明
住民の場合 > 調達方法	-
他者の場合 > 選定理由	-
建築資材の 決定理由	-

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知 り合った 人々との現 在の関係	不明
増改築生産 者は毎回同 一人物か	不明

Date: 2016.10.18
Interviewer: 國江
Interviewee: 住戸59

外観



内観



寝室



CR・キッチン



前面増築部

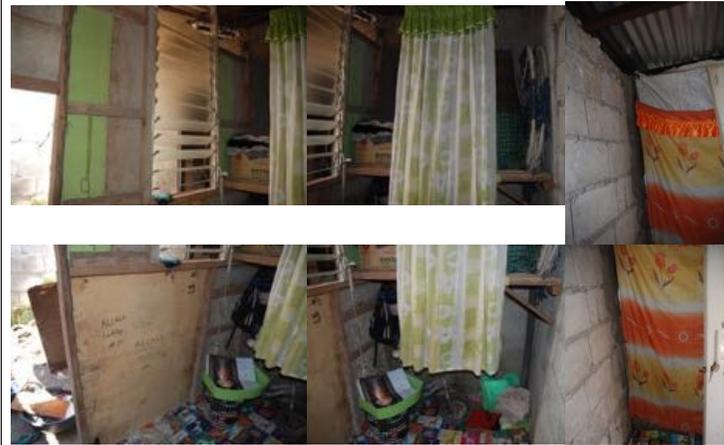


背面増築部

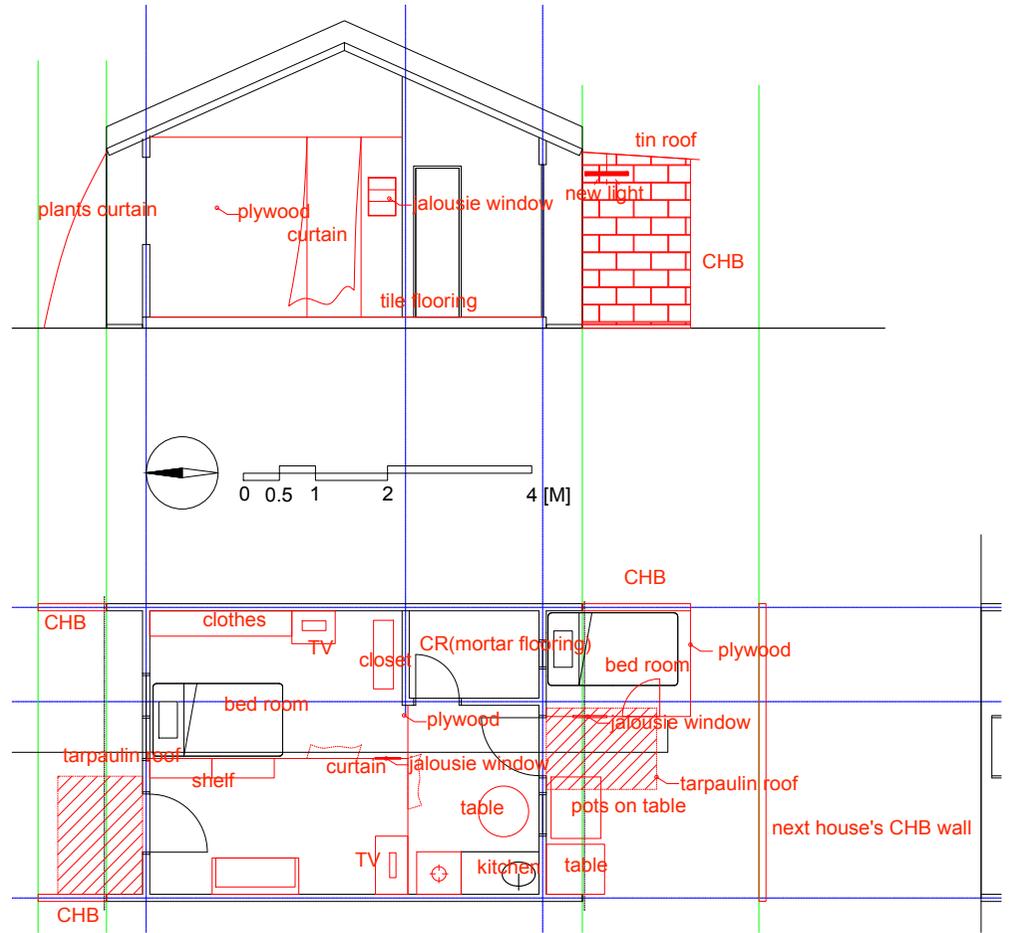




寝室



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	1		-	-
	eave/overhang		テント布	0 (友人からの譲渡)	雨と日射を避けるため
	window		-	-	-
	door		-	-	-
	floor		セメント	覚えていない	?
	plant		植物	?	?
back extension part	wall/fence	2	CHB	覚えていない	現在は住んでいない娘の寝室のため
	eave/overhang		トタン テント布		
	window		ジャルージー窓		
	door		合板		
	floor		ビニールシート		
			-		
renovation part	partition	3	木材	0 (譲渡)	プライバシー
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	3	タイル	譲渡	見た目 清潔にするため
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	7名
構成(年齢・学歴)	父(52,大学1年中退)/母(49,小学校卒業)/娘(15,14,12)/息子(10)/孫息子(2)←母親はめったに家に帰ってこない

従前居住地

従前コミュニティ	11,71 Road10,Mabuhai,Tondo
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父:大工(メトロマニラ-交通費 400pesos/week-日曜のみ帰宅)/母:クリップづくり(家)
収入額	父 500/day×6day/week+母 400-500/day=24,000-27,000/month
融資の有無	なし

現在のコミュニティ状況

StM 内親戚	○時々会う
StM 内知人数と知り合った時期	前 80
StM 内で頻繁に会話を する友人数 と知り合った時期	前 20
StM 内の知人友人と会う場所	家の中か道端
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	○
StM 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/24
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	200未納
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2013/09/
コスト	忘れ
許可の有無	
増改築順序	前1日>後2日>中1日
今後の増改築計画	?

設計

設計者	父母
住民の場合 >誰に教わったか	(自己流)
他者の場合 >選定理由	-

施工

施工者	父(大工)
住民の場合 >誰に教わったか	父の父に手法を教わる
他者の場合 >選定理由	-

建築資材

資材調達者	住民・友人譲渡
住民の場合 >調達方法	/店舗購入
他者の場合 >選定理由	-
建築資材の 決定理由	質

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○友人
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.10.18
Interviewer: 國江
Interviewee: 住戸60

外観



内観



CR・キッチン





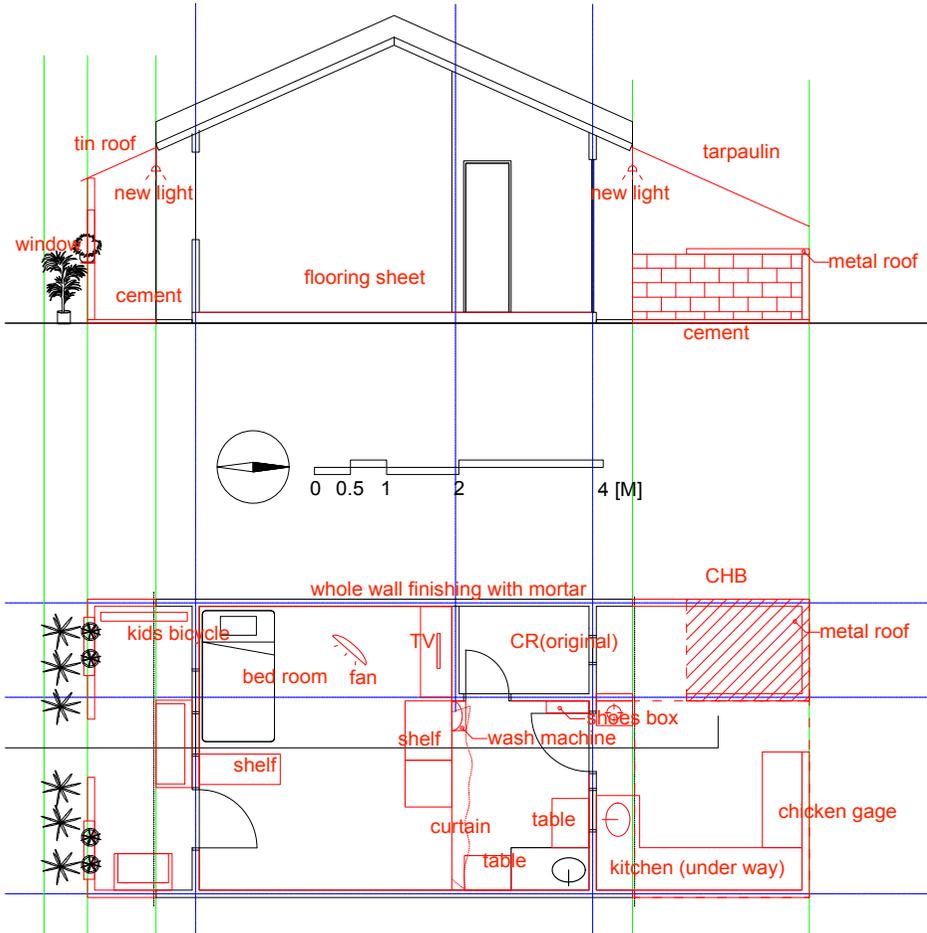
前面増築部



背面増築部



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	2	CHB モルタル	覚えていない	雨除け
	eave/overhang		トタン屋根		?
	window		-		-
	door		-		-
	floor		セメント		?
back extension part	wall/fence	3	CHB	覚えていない	スペースの拡張のため
	eave/overhang		テント布		
	window		-		
	door		-		
	floor		セメント		
renovation part	partition	-	-	-	-
	exist wall	-	-	-	-
	ceiling	-	-	-	-
	roof	-	-	-	-
	window	-	-	-	-
	floor	1	ビニールシート	1,500peso	仕上げが汚かった
	CR	-	-	-	-
	kitchen	-	-	-	-

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	4名
構成(年齢・学歴)	父(40 大学卒業)/母(35 大学2年中退)/娘(5 幼稚園)/子供(5ヶ月)

従前居住地

従前コミュニティ	Road10, Zabaela, Tondo
当時住戸所有形態	借家
当時住戸建設者	-
当時住戸利用資材	-

経済状況

勤労者・職業・職場	父：個人警備員(メトロマニラ-週末のみ帰宅-バイク所有維持費 300pesos/week)
収入額	22,000/month
融資の有無	SSS にバイク修理代の融資

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	-
St.M 内知人数と知り合った時期	前後 15-20
St.M 内で頻りに会話をする友人数と知り合った時期	後 5,6
St.M 内の知人友人と会う場所	家の外
現在属しているコミュニティグループ	-
従前居住地知人とのつながり	毎日家の外で会う
St.M 内交友関係満足度	○

再定住事業

移転時期	2013/5/16
所有権	旦那の親戚が元々の受益者であり、それを彼らが購入
所有権を得る条件と現在行っていること	200 支払い中
永住希望	○

増改築基本情報

開始時期	2015/12/25
コスト	忘れ
許可の有無	
増改築順序	中(床)>前>後 各部位 1日ずつ
今後の増改築計画	背面部にバスルーム設置予定

設計

設計者	住民
住民の場合 > 誰に教わったか	自己流
他者の場合 > 選定理由	-

施工

施工者	父の友人 Rodel
住民の場合 > 誰に教わったか	-
他者の場合 > 選定理由	友人だから

建築資材

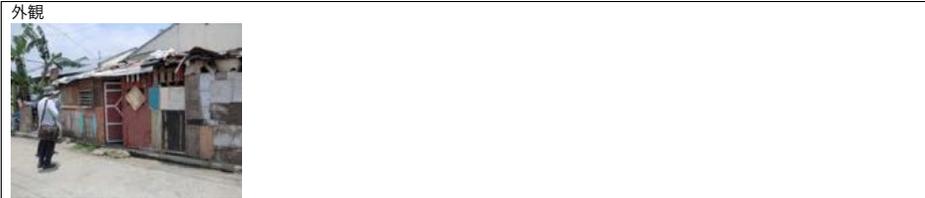
資材調達者	父
住民の場合 > 調達方法	/PNP(Philippines national police housing)購入
他者の場合 > 選定理由	-
建築資材の決定理由	?

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	○施工者は現在も友人
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ

Date: 2016.08.06
 Interviewer: 小司
 Interviewee: 住戸6 1

- 【前提条件】
- 彼らは現在基本住戸の側面・背面部を増築した部分のみに住んでいて、基本住宅ユニット内部には新たな家族が住んでいる。
 - (以後、ヒアリング対象家族を家族A、新たに基本住宅ユニット内部に住んでいる家族を家族Bと記す。)
 - 家族Aの奥さんの目の手術を2016年に行い、家族Aは手術費50,000ペソを家族Bに借りている。
 - 家族Aは他の住戸に移り住もうと考えたが、空いた住戸がなかったため増築部分に住んでいるが、家族Bへの借金の返済を終えて住戸を取り戻したいと考えている。
 - 家のローンは家族Bではなく家族Aが支払っているようだ。



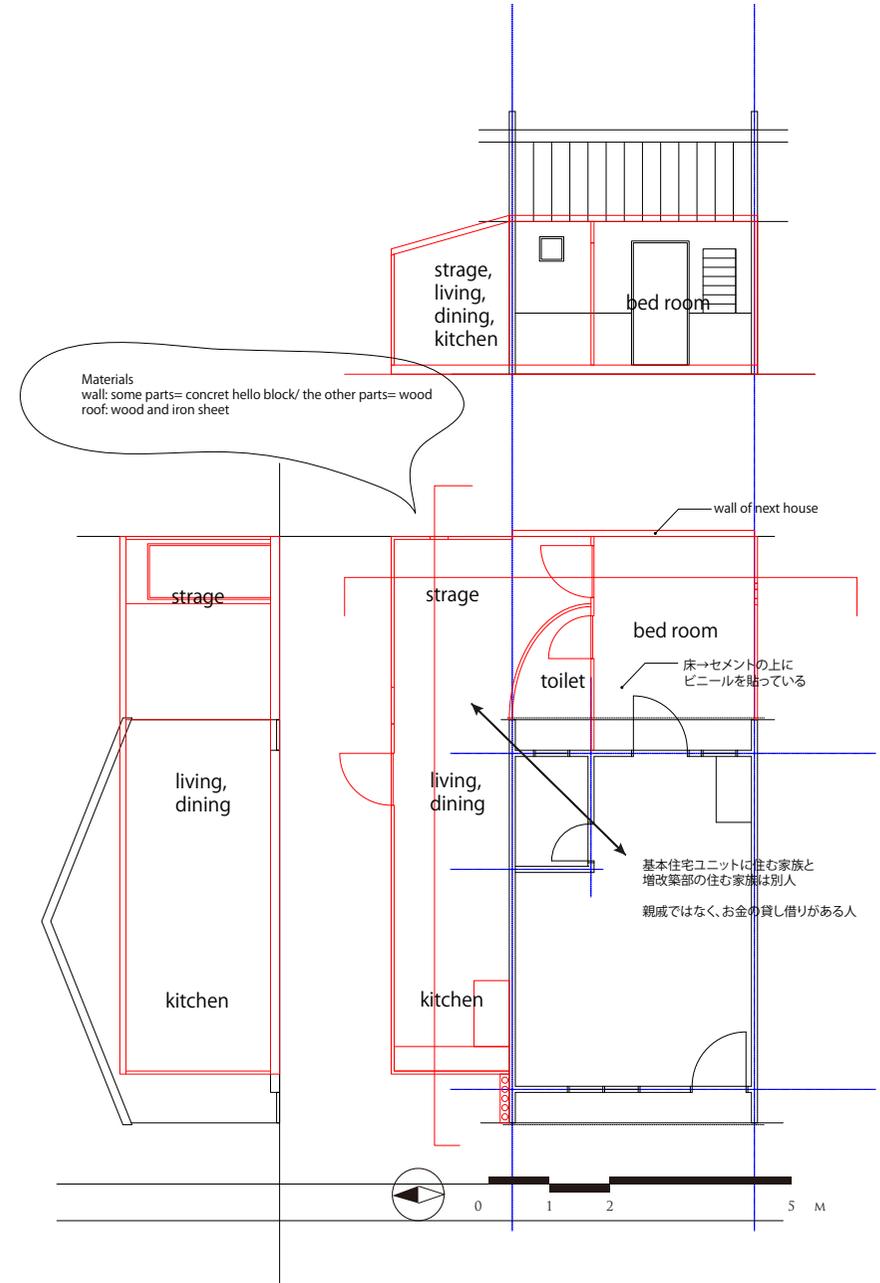
内観・全面増築部
 他の家族が住んでいるため撮影不可能



背面増築部 (左上: 側面部から背面部を見る)



住戸プラン



増改築実態

part	part	order	materials	cost	reason
front extension part	wall/fence	?	CHB モルタル ペンキ仕上げ/ 合板 ペンキ仕 上げ	7,000peso (側面 と合わせて), 古材	リビングを家族 B のリビングと分け るため
	eave/overhang		合板		
	window		穴		
	door		穴		
	floor		合板 ビニール シート		
back extension part	wall/fence				
	eave/overhang				
	window	-	-	-	-
	door	-	-	-	-
	floor				
renovation part	partition				
	exist wall				
	ceiling				
	roof				
	window				
	floor				
	CR				
	kitchen				
side extension part	wall/fence	?	合板 飾り ペン キ仕上げ	7,000peso (前面 と合わせて), 古材	リビングを家族 B のリビングと分け るため
	eave/overhang		木材 トタン		
	window/door		ホルダー ジャ ルルージー窓		
	floor		セメント		

住民ヒアリング内容

住民概要

住人数	6
構成 (年齢・学歴)	父(49・高卒)/母(49・高卒)/子供(27・大学1年中退)/孫娘(3,3)→双子 孫息子(8・小学生)がマニラの小学校に行っているため、基本的にはマニラにいる。

従前居住地

従前コミュニティ	Tondo, Sitio Da Mayan, Barangay 105
当時住戸所有形態	所有
当時住戸建設者	セルフビルド
当時住戸利用資材	足元：スチール、上：木材

経済状況

勤労者・職業・職場	父：大工(St.M・メトロマニラ) 調査した住戸の中に、彼に施工を依頼したというものがあつた。
収入額	不定
融資の有無	母の目の手術費

現在のコミュニティ状況

St.M 内親戚	△B11 必要な時に会うのみ 同時に St.M に移住してきた。
St.M 内知人数と知り合った時期	?
St.M 内で頻繁に会話をする友人数と知り合った時期	?
St.M 内の知人友人と会う場所	?
現在属しているコミュニティグループ	Samahan Na Mga Kapitbahay (月1mtg と臨時集会在代表の家で開かれる) コミュニティ改善を目的としている非営利組織。 Kabibahay=neighbor
従前居住地知人とのつながり	?
St.M 内交友関係満足度	?

再定住事業

移転時期	2013/05
所有権	受益者
所有権を得る条件と現在行っていること	240/month 支払い中 最初の5年間は240peso だが、その後2倍になる。
永住希望	△所得に応じて住む場所を選択する。

増改築基本情報

開始時期	?
コスト	7,000(only for material)
許可の有無	なし
増改築順序	?(1週間)
今後の増改築計画	元の住戸を取り戻したい

設計

設計者	父
住民の場合>誰に教わったか	大工経験
他者の場合>選定理由	-

施工

施工者	父
住民の場合>誰に教わったか	大工経験
他者の場合>選定理由	-

建築資材

資材調達者	住民
住民の場合>調達方法	近隣住民からリサイクルマテリアルを調達
他者の場合>選定理由	-
建築資材の決定理由	場所を区切れるもの。 基本住戸には異なる家族が住んでいるため、その人たちとの距離をとるため。

増改築を通じたコミュニティ形成

増改築で知り合った人々との現在の関係	セルフビルド
増改築生産者は毎回同一人物か	同じ